



DS AUTOMOBILES

DS 4

取扱説明書

ごあいさつ

このたびはDS 4をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、DS 4の取り扱いについて記載してあります。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、ご理解を深めるようお願い申し上げます。

本書は車内に保管し、いつでも読み返すことができるようにしてください。

車に添え付けられているメンテナンスノート（整備手帳）は、携行が義務付けられています。この取扱説明書とともに常時携行していただくようお願い申し上げます。



おことわり

- ・この取扱説明書は、発売時点の車両仕様をもとに作成しております。DS AUTOMOBILESでは絶えず製品の改良を行っており、予告なく仕様が変更されることがあります。お客様の車両と装備品、仕様等が本書に掲載されている写真、イラスト、仕様等と細部が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。
- ・本書は、オプション装備を含む当モデルの全ての装備の説明を記載しております。各装備の有無については車両の仕様によって異なるため、お求めいただいた車両に装備されていない物が記載されていることがありますのであらかじめご了承ください。

重要安全情報

この取扱説明書には、車を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。

また、車を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されており、それに伴う事故を避けるためのアドバイスも含まれています。これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や車の破損などにつながる可能性があります。

危険に関する警告や注意は、車体各部に貼り付けた3種類の警告ラベルで表示されています。さらに、本書は注意に関する記載を、人身と物損に分けています。

警告

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

注意

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が傷害を負うおそれがあることを示しています。

注意

指示に従わなかった場合、車を破損させるおそれがあることを示しています。



取り扱い上で、重要な点や注意点、アドバイスなどを示しています。

 このマークが付いた指示に従わなかった場合、人身に関わる(死亡や傷害の)おそれがあることを示しています。

はじめに

車をご使用いただく前に

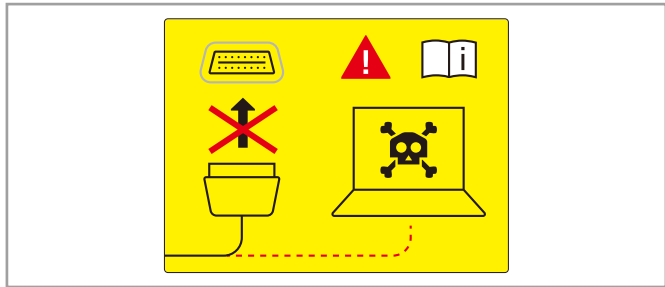
● 消耗品、アクセサリについて

DS 4に使用する消耗品やアクセサリ類は、当社の純正部品をご使用ください。市販されている汎用の消耗品やアクセサリ類の中には、車の機器に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性がある製品が含まれていることがあります。DSシリーズ車本来の安全性や耐久性を損わないためにも、純正の部品やアクセサリ類のご使用をお勧めします。

● 故障診断コネクタについて

故障診断コネクタには、点検整備用の故障診断機以外を接続しないでください。車の電子機器に悪影響をおよぼしたり、バッテリーが上がったりするなど、思わぬ故障につながるおそれがあります。

また、故障診断機以外の取り付けによる故障は保証の適用外にあることがあります。



● 改造について

DS 4の非合法な改造は、法に触れるだけでなく車の安全性や耐久性を著しく損なうおそれがありますので、むやみな改造を行わないでください。本書に記載のない整備や修理については、当社指定サービス工場にご用命ください。

この車の電気配線には、多重通信システムの制御信号が流れています。当社純正以外のナビゲーションシステムやラジオなどのアクセサリ類の取り付けのために車の配線に加工や接続をすると、エンジンやブレーキの制御に障害を与え、その結果、機器の故障や事故に至るおそれがあります。これらの取り付けにあたっては、当社指定サービス工場にご相談ください。

また、当社が供給していないアクセサリ類の取り付けや、あるいは当社の指示に従わない装着方法によって発生した、車または機器の不具合もしくは事故などに関わる損害の補償をいたしません。

● エコノミーモード

エンジンが停止してから、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大40分間行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。

引き続きアクセサリを使用したいときはエンジンを始動して5分以上回してください。

● ディーゼル車について

AdBlue[®]の残量がなくなった場合、エンジンを始動できなくなります。AdBlue[®]の補充は早めに当社指定サービス工場にお申し付けください。

環境・リサイクルへの取り組み

●自動車リサイクル法

自動車リサイクル法は、使用済自動車（廃車）を適正に処理して、資源の再利用を促進することでゴミを減らすことを目的に作られた法律です。

具体的には、廃車することで発生する再利用できないシュレッダーダストの削減、環境に有害な物質の適正処理などを行い、環境保護に役立てるものです。そのため、車の所有者、自動車会社（輸入事業者を含む）、自動車関連事業者それぞれに役割が定められています。

●リサイクルへの取り組み

当社では、自動車リサイクル法が制定される以前から環境保護を行うためのリサイクルに関して対応してきております。

DS-4は、リサイクル可能な素材を車体の多くの部分や部品に採用しています。

車の総重量のうち、90%は何らかの形でリサイクルすることが可能です。

すべてのプラスチック部品には、素材を表す記号がつけられており、簡単に取りはずしや分解ができるように考慮されています。

そのほとんどは熱可塑型を使用していますので、熔解したり粉砕して別の自動車部品として蘇らせることができます。

金属部品も同様に、100%の再利用が可能です。この中にはアルミニウムを始め、プラチナやロジウムといった貴重な金属も含まれます。

なお、アスベストやカドミウムといった有害物質は、設計の段階から使用を除外しています。

●環境への配慮

当社指定サービス工場での定期点検整備をきちんと行うことは、環境保護と公害発散の防止につながります。

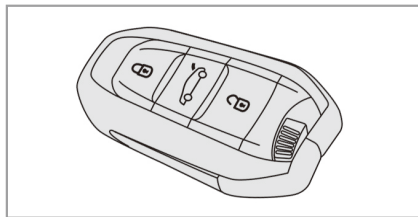
当社指定サービス工場では、交換済みのオイルや油脂類、損耗部品などを正しく処理することによって環境保護のために貢献しています。

回収や破壊などの適正な処置をとるためにも、車を廃車にするときは当社指定サービス工場にご相談ください。

環境保護は、たとえキーレスエントリーのリモコンの電池1個であっても、お客様のご協力によって実践することができます。

DS 4 操作・使用方法早わかり

●スマートキー（→P.2-2）



スマートキーをリモコンとして使い、ボタンの操作で施錠／解錠することができます。

車の解錠



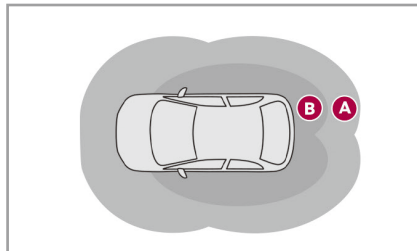
車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

車の施錠



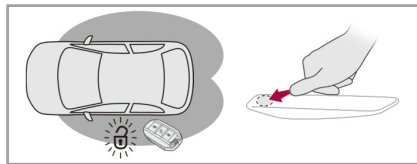
車に向けてリモコンの施錠ボタンを押します。ブザーが鳴り、すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。

●プロキシミティキーレス エントリー（→P.2-2）



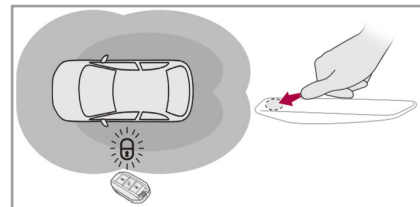
スマートキーを携帯して車両の検知エリアに入る／出ると車の解錠／施錠が自動的に行われます。

車の解錠



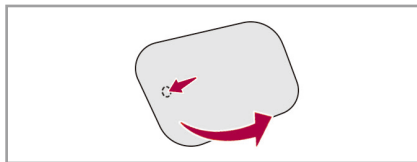
スマートキーを携帯してゾーンBに入ります。または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、ドアハンドルを軽く押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

車の施錠



スマートキーを携帯し、車両から離れてゾーンAから出ます。ブザーが鳴り、すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、ドアハンドルを軽く押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。

● フュエルリッド (→P.2-38)

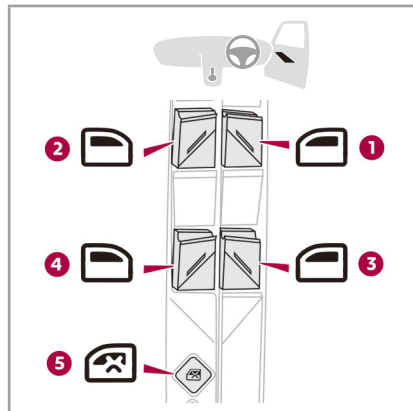


1. ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。
2. 給油フラップの後ろ側を押して開きます。
3. フュエルキャップを左（反時計方向）に回してはずします。
4. はずしたフュエルキャップは、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。
5. 給油ノズルを給油口に一番奥まで差し込み給油を開始します。



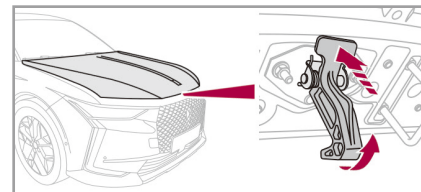
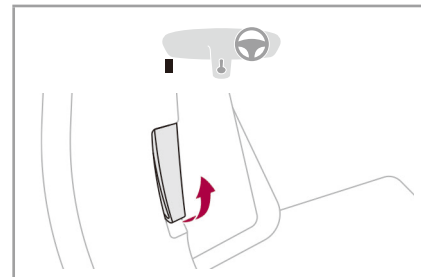
燃料タンクの容量は、ガソリン車が約52リットル、ディーゼル車が約53リットルです。

● パワーウィンドウ (→P.2-22)



- ①：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
- ②：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
- ③：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
- ④：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
- ⑤：リアウィンドウキャンセルボタン

● ボンネット (→P.2-28)



1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネット下のロックレバーを手前に引き上げてから、ボンネットを持ち上げます。

DS 4 操作・使用方法早わかり

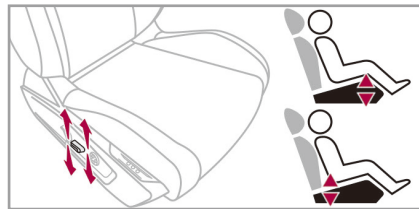
● フロントシートの調整 (→ P.1-3)

シートの前後調整 (電動)



スイッチを前後にスライドして調整します。

シートの高さ調整 (電動)



- ・ 高さ：スイッチの後端を上下して調整します。
- ・ 角度：スイッチの前端を上下して調整します。

背もたれの角度調整 (電動)



スイッチを前後に倒して背もたれの角度を調整します。

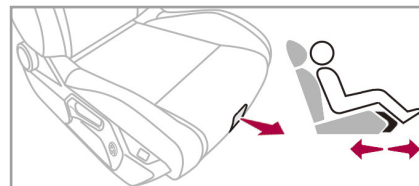
ランバーサポートの調整 (電動)



スイッチの前後を押してランバーサポートの張り出しを調整します。

スイッチの上下を押してランバーサポートの高さを調整します。

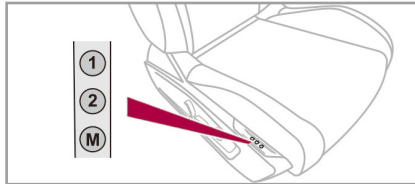
シートクッションの奥行き調整*



ハンドルを引き、シートクッションの前部を前後に動かしてシートクッションの奥行きを調整します。

*仕様により異なります。

●シートポジションメモリー* (→P.1-5)



お好みのシートポジション（運転席の位置、ドアミラーの角度）およびDSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ*の高さ調整を登録し、ワンタッチで呼び出すことができます。

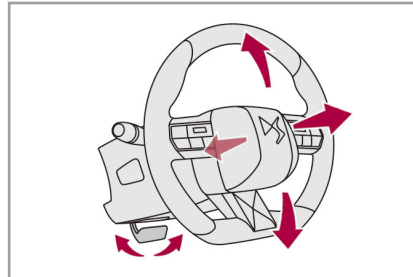
シートポジションを登録する

ボタンMを押して4秒以内に、登録したいボタン1または2を押します。登録が完了すると、チャイムが鳴ります。

登録ポジションを呼び出す

ボタン1または2を短く押します。呼び出しが完了すると、チャイムが鳴ります。

●チルト・テレスコピックステアリング (→P.3-6)

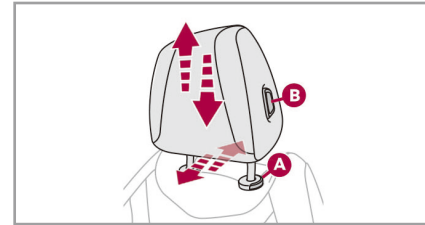


1. ロックレバーを手前に引き、ステアリングのロックを解除します。
2. ステアリングホイールの高さや奥行きを調整します。
3. ロックレバーを押し下げて、ステアリングをロックします。

⚠ 警告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

●フロントヘッドレストの調整 (4ウェイ) (→P.1-4)



調整は、ヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うようにします。

高さ調整

ヘッドレストを引き上げると上がります。ボタンBを押しながらヘッドレストを押すと下がります。

前後調整

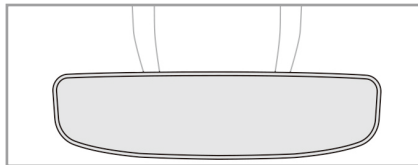
ボタンBを押しながらヘッドレストを前後させます。

ヘッドレストの取りはずし

1. 背もたれを後方へ倒します。
2. ヘッドレストを最上の位置に移動します。
3. 根元のラグAを押しながら引き上げます。

DS 4 操作・使用方法早わかり

● バックミラーの調整 (→P.1-12)

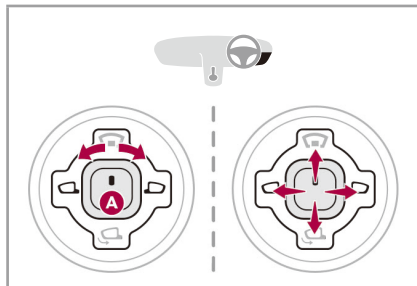


ミラーを動かして、後方がよく見えるように角度を調節します。

自動防眩バックミラーは、センサーで周囲の明るさやミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。

なお、シフトポジションを**R**にすると、後方視界を確保するために一時的に明るくなります。

● ドアミラーの調整 (→P.1-11)



1. スイッチ **A** を左または右に回して調整するミラーを選択します。
2. スイッチ **A** を上下左右に動かして、角度を調整します。
3. 調整が終わったら、スイッチ **A** を中央の位置に戻します。

スイッチ **A** を下側に回すと、ミラーが格納されます。
スイッチ **A** を上側に回すと、ミラーが展開されます。

● フロントシートベルト (→P.1-16)

水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをかチッと音がするまでバックルに差し込みます。

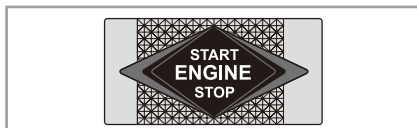
バックルの赤いボタンを押すとはずれません。



必要に応じてシートの高さを調整し、シートベルトが適切な位置で着用できていることを確認してください。

*仕様により異なります。

● エンジンの始動 (→ P.3-2)



スマートキーが車内にあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. シフトポジションがPになっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら **ENGINE START/STOP** スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。



ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

エンジンの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションをPにします。
3. アクティブクルーズコントロール(ストップ&ゴー機能付き) / レーンポジションニングアシスト*をオフにします。
4. **ENGINE START/STOP** スイッチを押します。
5. エンジンが停止します。

ENGINE START/STOP スイッチのポジション

オフ

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリポジションのとき、ブレーキペダルを踏まずに **ENGINE START/STOP** スイッチを押すとオフになります。また、**ENGINE START/STOP** スイッチがスタートポジション（エンジンが始動している状態）のとき、**ENGINE START/STOP** スイッチを押すとオフになります。

ハザードランプが使用できます。

アクセサリポジション

ENGINE START/STOP スイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずに **ENGINE START/STOP** スイッチを押すと、アクセサリポジションになります。

警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリ装備が使用できます。

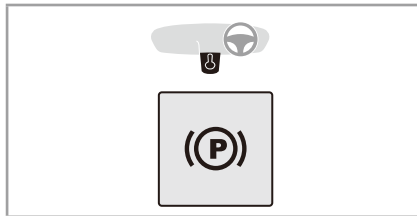
スタートポジション

ブレーキペダルを踏みながら **ENGINE START/STOP** スイッチを押すと、スタートポジションになります。

エンジンが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリ装備が使用できます。

DS 4 操作・使用方法早わかり

●エレクトリックパーキングブレーキ (→P.3-16)



手動操作

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに、ブレーキペダルを踏みながらパーキングブレーキスイッチを押し込んでから放すと、パーキングブレーキが解除されます。

自動操作

エンジンを停止すると、パーキングブレーキが自動的にがかかります。アクセルペダルを踏んで発進すると、パーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。



この表示灯が点灯しているときは、パーキングブレーキの操作をすべて手動で行う必要があります。

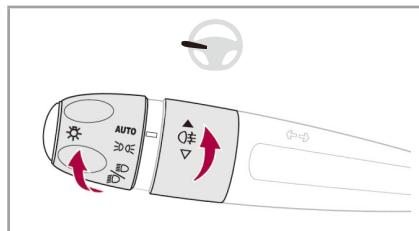
⚠ 警告

エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリポジションの状態のまま、またはエンジンが始動している状態のままで、お子さまを車内に残して車を離れないでください。



エンジンが始動した状態のままで車を離れるときは、手動でパーキングブレーキをかけてください。

● ライトスイッチ (→P.4-43)



ヘッドランプ



オートライトモード



ポジションランプが点灯します。



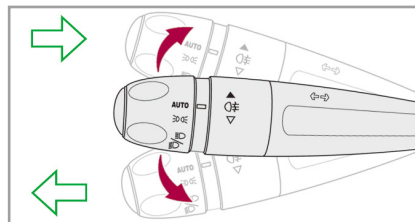
ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

リアフォグランプ



リアフォグランプが点灯／消灯します。

● 方向指示器 (→P.4-58)



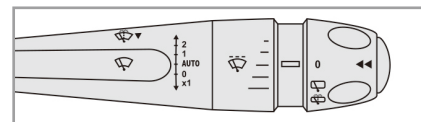
ライトスイッチレバーを上下に動かします。



ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

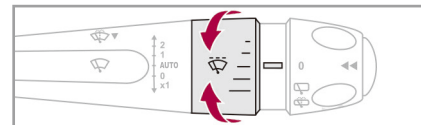
● フロントワイパー (→P.4-59)

AUTOモード



オートモードにするには、ワイパーレバーを**AUTO**の位置にします。ワイパーレバーを**AUTO**以外の位置にするか、**0**の位置にするとオートモードが解除されます。

AUTOモードのセンサーの感度調整



オートモードでは、雨滴／日射センサーの感度が高いほど、雨に反応しやすく、ワイパーの休止時間が短くなります。センサーの感度を調整するときは、ワイパーレバーのリングを上下に回します。リングを下側に回すと感度が低くなります。リングを上側に回すと感度が高くなります。

DS 4 操作・使用方法早わかり

● タッチスクリーン (→P.5-11)

タッチスクリーンからエアコン、車の設定、オーディオシステムの操作など、さまざまな操作や設定が行えます。

タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンは、タップ、ロングタップ、スワイプ、ドラッグ&ドロップなど、画面上の指の動作で操作します。また、次のアイコンで示されたタッチスクリーン/ダッシュボード/センターコンソール上のボタン/スイッチ/ダイヤルの操作やタッチスクリーン上のアイコンをタップすることで、さまざまな機能の設定画面の表示や設定操作をします。



ボタンを押すとホームページを表示します。画面を左右にスワイプすると、ホームページを切り替えられます。



ボタンを押すと先進運転支援システム (ADAS) をオン/オフするためのショートカットページが表示されます。



スイッチを押すとエアコンの設定画面が表示されます。



アイコンをタップすると画面右側のメニューが表示/非表示されます。



アイコンをタップすると前のページに戻ります。



アイコンをタップすると機能のオン/オフが切り替わります。スライダーのひし形のカーソルが右側にある場合はオンの状態です。左側にある場合はオフの状態です。



アイコンをタップすると項目が選択されます。アイコンが塗りつぶされている状態の場合は、項目が選択されている状態です。塗りつぶされていない状態の場合は、項目が選択されていない状態です。



アイコンをタップすると機能や項目の説明が表示されます。



アイコンをタップすると機能や項目の設定画面が表示されます。



ボタンを押すとミュート（消音/停止）またはタッチスクリーンがオン/オフします。



ダイヤルを回すと音量を調整できます。



タッチスクリーンの画面を上から下にスワイプすると、通知センターが表示されます。通知センターでは、さまざまな通知内容の表示と、いくつかの機能のクイック設定を行うことができます。

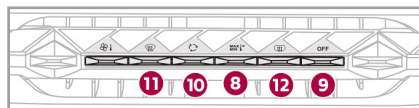
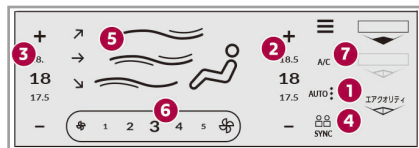
アプリケーション

タッチスクリーンにはいくつかのアプリケーションが用意されています。ホームページに表示される各アプリケーションのアイコンをタップすると、さまざまな設定が行えます。



タッチスクリーンを指3本でタップするとアプリ一覧が表示されます。

● 左右独立式オートエアコン (→ P.5-3)



エアコンの設定は、タッチスクリーンのエアコン設定画面およびダッシュボードのコントロールパネルで行います。エアコン設定画面は、ダッシュボードのスイッチを押すと表示されます。

①：オートモードの設定

AUTO ①をタップするとオートモードになります。オートモードでは、作動モード(**AUTO SOFT** / **AUTO NORMAL** / **AUTO FAST**)を切り替えることで室内の送風量(弱/中/強)を調整することができます。作動モードを切り替えるには、**AUTO** ①をタップします。

*仕様により異なります。

②・③：運転席側／助手席側の温度の設定

+/-をタップ、または数値表示部分を上下にスワイプして温度を設定します。

④：SYNCモード

助手席側の温度設定を運転席側の設定に合わせる機能です。**SYNC** ④をタップしてオン/オフします。

⑤：吹き出し口の切り替え

アイコンをタップすると吹き出し口が切り替わります。

⑥：風量の調整

ファンのアイコンをタップ、または風量の数値表示部分を左右にスワイプするか、タップして風量を設定します。

⑦：エアコンの作動／停止

A/C ⑦をタップしてエアコン(冷房・除湿機能)を作動/停止します。

⑧：クイック作動機能*

スイッチ⑧を押すと車内の温度に合わせて自動的にエアコンを作動します。再度押すとオフになります。

⑨：エアコンの全機能のオフ

スイッチ⑨を押すとエアコンの全機能が停止します。

⑩：内／外気の切り替え

スイッチ⑩を押す度に内気モード/外気モードが切り替わります。

⑪：フロントウィンドウ視界確保モード

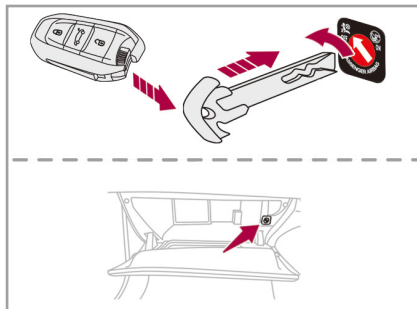
スイッチ⑪を押すと視界確保モードが作動し、フロントウィンドウの曇りを取り除きます。再度押すと解除されます。

⑫：リアウィンドウ視界確保モード

スイッチ⑫を押すと視界確保モードが作動し、リアウィンドウやドアミラーの曇りを取り除きます。外気温に応じて自動的に解除されます。

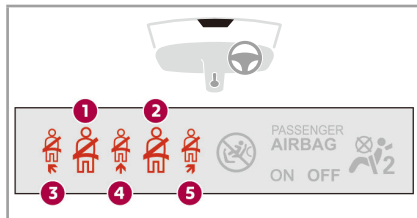
DS 4 操作・使用方法早わかり

● 助手席エアバッグキャンセルスイッチ (→P.1-31)



1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
2. グローブボックスを開きます。
3. スマートキーから緊急用キーを取り出します。
4. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込みます。
5. 助手席に大人が乗車しているとき、もしくは助手席に前向きチャイルドシートを取り付けた場合は**ON**にします。助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けた場合には、必ず**OFF**にします。
6. そのまま緊急用キーを抜きます。

● シートベルト着用／非着用ディスプレイ (→P.1-17)



インストルメントパネルの警告灯とシートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯①から⑤が点灯または点滅して、シートベルトの着用状況を表示します。



シートベルトが着用されています。



シートベルトが着用されていません。



警告灯①③⑤の場合（仕様により①のみの場合）：乗員が着席していない状態です。

警告灯④の場合（仕様により③④⑤の場合）：シートベルトが着用されていません。

● ストップ&スタート (→P.3-29)

ストップ&スタートは、交通渋滞や赤信号などで停止しているときに自動でエンジンを止め（停止モード）、発進時には自動でエンジンを始動（スタートモード）する機能です。

ストップ&スタートのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。

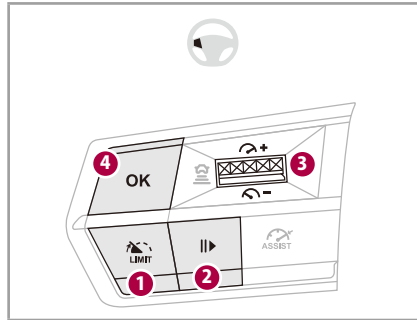


ストップ&スタートをオフにすると、インストルメントパネルの表示灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。



エンジンを始動すると、ストップ&スタートはオンになります。

●スピードリミッター (→P.3-77)

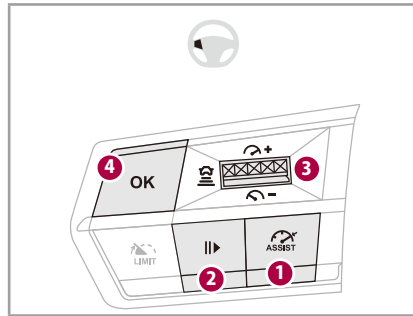


スピードリミッターは、ステアリングスイッチのボタンを使用して設定します。

- ①：スピードリミッターのオン／オフ切り替え
- ②：システムの作動／停止
- ③：設定速度の増加と減少
- ④：システムの作動／トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

エンジンが始動している状態のときに速度を設定してください。

●アクティブクルーズコントロール (ストップ&ゴー機能付き) (→P.3-59)

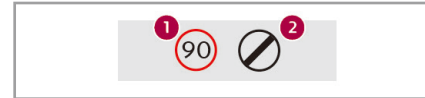


アクティブクルーズコントロールは、ステアリングスイッチのボタンを使用して設定します。

- ①：アクティブクルーズコントロールのオン／オフ切り替え
- ②：システムの一時的停止／復帰／自動ブレーキによる車両停止後の再発進許可
- ③：速度設定／設定速度の増加と減少／車間距離の表示と設定
- ④：速度設定／トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

速度の設定およびシステムの作動は、走行中および停車中にも可能です。

●トラフィックサインインフォメーション (→P.3-53)



- ①：速度規制標識の制限速度表示
- ②：速度規制区間終了の表示

速度規制標識を認識して、インストルメントパネル内のディスプレイに制限速度を表示します。表示された制限速度は、アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）やスピードリミッターの走行速度に設定することができます。また、進入禁止の道路標識を認識し、車両が進入禁止区域に進入したと判断したときは、進入禁止の道路標識とともにメッセージを表示します。

速度規制標識の認識機能、進入禁止の道路標識の認識機能のオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。

目 次

安全なドライブについて	
安全装置について	
運転装置について	
もしものとき	
その他	

第 1 章 安全に運転するために

フロントシート	1-2
ミラー	1-11
リアシート	1-14
シートベルト	1-16
チャイルドシート	1-20
エアバッグ	1-29
アクティブボンネット	1-35
走行する前に	1-36
使用燃料について	1-36
冬季の取り扱い	1-37
保安炎筒	1-39
触媒コンバーター	1-40

第 2 章 各部の開閉のしかた

プロキシミティキーレスエントリー	2-2
イモビライザー（盗難防止システム）	2-11
ドア／ドアロック／チャイルドセーフティ	2-13
アラーム	2-18
パワーウィンドウ	2-22
スライディングガラスルーフ	2-25
ボンネット	2-28

テールゲート	2-29
ハンズフリーエレクトリックテールゲート	2-31
フュエルリッド（給油口）	2-38

第 3 章 運転装置の使いかた

エンジンの始動	3-2
ステアリング／ホーン	3-6
DS E-TOGGLE	3-7
ドライブモード	3-13
DSアクティブスキャンサスペンション	3-15
エレクトリックパーキングブレーキ	3-16
ヒルスタートアシスタンス	3-20
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）	3-21
SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）	3-25
DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター） （ディーゼル車）	3-28
ストップ&スタート	3-29
レーンキープアシスト	3-33
ドライバーアテンションアラート	3-39
アクティブセーフティブレーキ	3-44
トラフィックサインインフォメーション	3-53
アクティブクルーズコントロール （ストップ&ゴー機能付き）	3-59
レーンポジショニングアシスト	3-69
スピードリミッター	3-77
ブラインドスポットモニターロングレンジ	3-80
フロント／バックソナー	3-82
バックカメラ	3-87

360° ビジョン	3-91
リアクロストラフィックアラート	3-97

第4章 メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル	4-2
DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ	4-6
警告灯類／表示灯類	4-12
冷却水温度計	4-34
サービスインジケーター	4-35
エンジン油量インジケーター	4-38
オドメーター	4-39
マニュアルチェック	4-40
インストルメントパネルの調整（言語／色／明るさ）	4-41
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、 方向指示器、ハザードランプ）	4-43
ワイパー／ウォッシャー	4-59
間接式タイヤ空気圧警告	4-64
DSナイトビジョン	4-67
ドライブコンピューター	4-71

第5章 室内装置の使いかた

エアコンディショナー	5-2
タッチスクリーン	5-11
DSスマートタッチ	5-25
ルームランプ	5-29
インテリア	5-32
ラゲッジルーム	5-39

第6章 お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ	6-2
内装のお手入れ	6-4
長期間使用しないとき	6-6
エンジンルームの点検	6-7
電球の交換	6-12
ヒューズの交換	6-14
燃費の改善について	6-15
推奨交換時期	6-16
推奨油脂類	6-17
推奨点検時期	6-17

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換	7-2
パンク修理キット	7-8
12Vバッテリーが上がったとき	7-13
けん引されるとき	7-19
AdBlue®（尿素水）の補充（ディーゼル車）	7-21
燃料切れしたとき（ディーゼル車）	7-23

車両データ・アクセサリ類・索引

車両データ	8-2
アクセサリ類	8-3
索引	8-6
付録	8-13

安全のために

重大な事故や車両火災におよぶおそれのある内容と回避方法、一般的な注意事項などについて記載してあります。重要な内容ですので、必ずお読みください。

点検整備のお願い

点検整備を必ず実施してください

- ・車を安全に使用していただくため、お客様の責任において日常点検と法定定期点検の実施が法律で義務付けられています。点検内容については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- ・日常点検を行い異常があるときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。（音、振動、臭い、水・油漏れなど）

走行する前の注意

燃えやすいものは積まないでください

- ・燃料が入った容器や可燃性のガスが入ったスプレー缶などは積まないでください。炎天下の駐車で室内が高温になったときや万一のとき、引火や爆発するおそれがあります。



安全なドライブについて

運転席足元・運転席下にはものを置かないでください

- ・空き缶などを置くと、ブレーキペダルやアクセルペダルに挟まり、走行中にペダル操作ができなくなるおそれがあります。思わぬ事故につながりますので、絶対に行わないでください。



フロアマットはしっかりと固定して使用してください

- ・運転前にフロアマットが正しく取り付けられていることを点検してください。また、フロアマットを重ねて敷くことはしないでください。フロアマットがペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがあります。

スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください

- ・誤って mph 表示 (マイル) にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ダッシュボードなどにもものを取り付けたり、置かないでください

- ・ダッシュボードなどにもものを置いたまま運転すると、視界の妨げや移動して安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・また、アクセサリ品を取り付けたり、シールを貼り付けると、エアバッグ作動の妨げやエアバッグ作動時にアクセサリ品が飛ばされて、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。



荷物は確実に固定してください

- ・助手席や後席に荷物を積むと、急ブレーキのときなど荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。荷物はできるだけラゲッジルームに積み、アクセサリ品 (オプション) のネットやベルトを使用して固定してください。
- ・荷物の積み重ねによる後方視界の妨げがないようにしてください。

燃料補給時の注意

指定以外の燃料を使用しないでください

- ・燃料は、ガソリン車には無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン、ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm以下）を給油してください。
- ・ガソリン車に有鉛ガソリンや粗悪なガソリン、指定以外の燃料（軽油、高濃度アルコール含有燃料など）を給油したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を給油すると、エンジンなどに悪影響を与えますので使用しないでください。
- ・ディーゼル車に指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続けることがあります。また、DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）の故障につながるおそれがあります。

燃料補給時には次のことをお守りください

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは、十分に注意して給油してください。

1. エンジンは必ず停止して、ドアやウィンドウを閉めます。タバコなどの火気は近づけないでください。
2. フュエルリッド、フュエルキャップを開けるなどの給油作業を行う前に、車体や給油機などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。
身体に静電気が帯電していると、放電による火花で燃料に引火し、やけどをするおそれがあります。また給油口には、身体の静電気を除去した方以外の人を近づけないでください。
3. フュエルキャップは、何度かに分けて開き、燃料タンク内の圧力を少しずつ下げてからはずします。
フュエルキャップが「シュー」と音を出すときは、その状態で鳴り止むのを待ってから開けます。いっきに開けると、燃料が給油口から噴き返して、傷害を受けたり火災になるおそれがあります。
4. 給油作業中は、車内に戻ったり、帯電している人やものに触れないでください。再び帯電するおそれがあります。
5. 燃料を車体にこぼさないように注意してください。塗装面を傷めるおそれがあります。
6. 給油時に気化した燃料を吸い込まないように注意してください。燃料の成分には、有害物質を含んでいるものがあります。
7. 給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。
8. その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

安全なドライブについて

走行するときの注意

走行中は ENGINE START/STOP スイッチを押さないでください

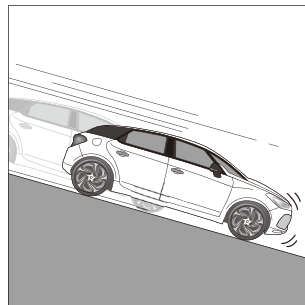
- ・ 走行中に ENGINE START/STOP スイッチを押し続けるとエンジンが停止して、ブレーキ倍力装置が働きません。そのためにブレーキの効が悪くなり、ハンドル操作も重くなるために思わぬ事故につながるおそれがあります。非常に危険なので、絶対に行わないでください。

長い下り坂ではエンジンブレーキ*を併用してください

- ・ ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効が悪くなるおそれがあります。坂の勾配に応じて、適切なレンジを選択し、エンジンブレーキを併用してください。

* エンジンブレーキ

走行中にアクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ



安全なドライブについて

車を移動するときはエンジンを始動してください

- ・ エンジンが始動していないときは、ハンドルやブレーキの操作力の補助がなくなり、ハンドルが重くなったりブレーキの効きが悪くなります。また、ステアリングロック装備車は、ハンドルがロックされて操作ができなくなることもあります。車を少し移動させるときでも、必ずエンジンを始動してください。車を押したり傾斜を利用して車を移動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください。また、エレクトリックパーキングブレーキのオートマチック機能を解除している場合は、パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください

- ・ ブレーキパッドが早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください

- ・ ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を、運転中に操作することは法律で禁止されています。
- ・ ハンズフリーであっても注意力が散漫になり、事故の原因につながるおそれがありますので、車を安全な場所に停車して使用することをお勧めします。



カーナビゲーションシステムなどの操作は停車時に行ってください

- ・ 運転中にカーナビゲーションシステムなどを操作しないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。

安全なドライブについて

雨天の走行は次のことに注意してください

- ・濡れた路面では、タイヤのグリップが低下して滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけ、急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避けてください。
- ・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、ハイドロプレーニング現象*を起こしてハンドル操作やブレーキが効かなくなります。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起きやすいので注意してください。

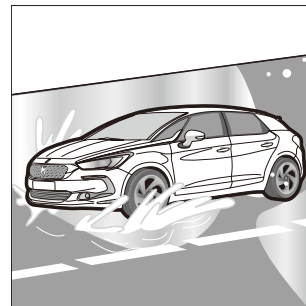
* ハイドロプレーニング現象

水たまりを高速で走行しているときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、車がコントロールできなくなる現象。

- ・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、周囲の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで繰り返しブレーキペダルを軽く踏んでください。

冠水した道路の走行は避けてください

- ・冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、水を吸い込んだエンジン破損などの車両故障につながるおそれがあります。



やむを得ず冠水した道路を走行するときは次のことをお守りください。ただし、冠水した道路の水面が15cmを超えるような場合は走行しないでください

- ・ストップ&スタートを解除する
- ・エンストしない程度に速度を落とし、時速10km以上で走行しない
- ・車を停止したり、エンジンを停止したりしない

冠水した道路から脱出したら、できるだけ早く安全な場所で、ブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキの湿りを乾かしてください。車の状態に不安がある場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

安全なドライブについて

霧で見えにくいときはフォグランプを併用してください

- ・霧で視界が悪いときは、昼間でもヘッドランプ（下向き）とフォグランプを点灯して、周囲の車や歩行者に車の存在を知らせてください。走行は、センターライン、ガードレール、前の車のテールランプを目安にして十分な車間距離をとってください。
- ・オートライトシステムは、周囲が明るい昼間はヘッドランプが点灯しません。手動で点灯してください。

雪が降っているときの滑りやすい路面に注意してください

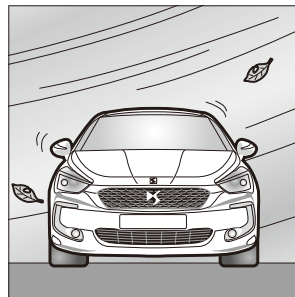
- ・雪道や路面が凍結しているときは、非常に滑りやすくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。冬用タイヤまたはタイヤチェーン／ネットを使用している場合でも急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避け、十分な車間距離をとり低速で走行してください。

燃えやすいものに注意してください

- ・紙や枯草、木材などの燃えやすいものの上を走行しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため引火するおそれがあります。

横風が強いときに走行が乱れないように注意してください

- ・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に下げてください。
- ・特にトンネルの出口、橋や土手の上、大型車の追い越しや追い越されたときなどには、横風の影響を受けやすいので注意してください。



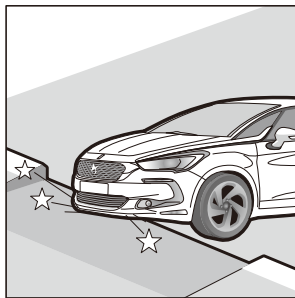
高速道路に入る前には燃料などの確認をしてください

- ・燃料は十分に給油してあるかを確認してください。
- ・タイヤの空気圧を確認してください。空気圧不足で高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するおそれがあります。
- ・万一のために、停止表示板（停止表示灯）を車に用意しておいてください。（法律で義務付けられています。）

安全なドライブについて

段差ではフロントスポイラーのこすれに注意してください

- ・段差のある場所は、速度を落としてゆっくりと進んでください。路面の状態によっては、フロントスポイラーがこすれることがあります。
- ・フロント側から進入すると車止めにこすれたり当たることがありますので注意してください。



車を後退させるときは周囲に注意してください

- ・バックミラーやカメラには確認できない死角があります。車を後退させるときは、前もって車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

安全なドライブについて

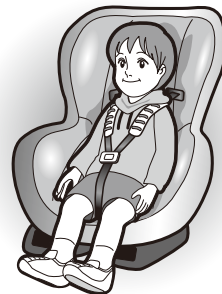
お子さまを乗せるときの注意

お子さまは後席に座らせてください

- ・ お子さまを助手席に乗せないでください。走行中にお子さまの動作が気になったり、運転装置へのいたずらなど事故につながるおそれがあります。
- ・ また、万一の事故などで助手席のSRSエアバッグが作動したときに、ケガをするおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用させてください

- ・ お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを膝の上に抱いての乗車は、絶対にしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときにお子さまを支えることができず、ケガをするおそれがあります。シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨にかからないなどで正しく着用できない小さなお子さまには、ベビーシートやチャイルドシートを使用してください。



* 仕様により異なります。

安全なドライブについて

チャイルドシートは後席に正しく取り付けてください
(→ P.1-20)

- ・チャイルドシートの使用は6歳未満のお子さまに法律で義務付けられています。6歳以上のお子さまでもシートベルトが正しく着用できないときは、チャイルドシートを使用してください。お子さまの安全のため、短時間の走行でも身体に合った当社純正品のベビーシートやチャイルドシートを使用してください。
- ・取り付け方法は、シートに付属している取扱説明書に従って後席に正しく取り付けてください。乳幼児用のベビーシートは進行方向に対して後ろ向きに、チャイルドシートは前向きに取り付けてください。
- ・やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席の位置を一番後ろに移動して前向きに取り付けてください。ベビーシートタイプで後ろ向きに装着するときは、助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にしてください。衝撃でケガをしたり、最悪の場合死亡するおそれがあります。キャンセルスイッチがない車では、進行方向に対して後ろ向きに装着しないでください。
- ・当社純正のベビーシート、チャイルドシートの詳細については、当社販売店にお問い合わせください。

ドア、ウィンドウ、スライディングガラスルーフ*などの開閉は
大人が操作してください

- ・ドア、ウィンドウ、スライディングガラスルーフなどの開閉は、お子さまに操作させないでください。開閉時に手や首、足などを挟み、思わぬケガをするおそれがあります。また、同乗者が操作するときも十分に注意してください。
- ・後席にいるお子さまが操作できないように、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなるキャンセルスイッチや、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティを必ずご利用ください。

ウィンドウやスライディングガラスルーフ*から手や顔を出さない
でください

- ・急ブレーキ時に窓枠にぶついたり、車外の障害物に当たったりして、思わぬケガをするおそれがあります。

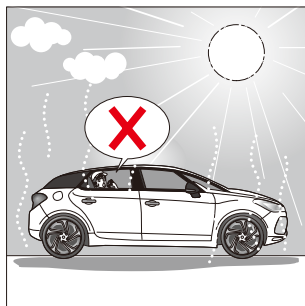
シートの可動部分に気をつけてください

- ・お子さまが、リアシートやフロントシートの隙間に手を入れたり、可動部分に触れたりして思わぬケガにつながるおそれがあります。同乗者の方が十分に注意をしてください。
- ・走行中は必ずベビーシートやチャイルドシートに座らせるか、シートベルトをさせてください。

安全なドライブについて

お子さまだけを車内に残さないでください

- ・車から離れるときは、エンジンを停止し、スマートキーを携行して必ずお子さまも一緒に降ろしてください。
- ・お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・炎天下の車内は50℃以上の高温になり、脱水症状、熱射病などの生命の危険に関わるおそれがあります。



駐停車するときの注意

燃えやすいものや植え込みに注意してください

- ・紙や枯草、木材などの燃えやすいものの上や近くには駐停車しないでください。特に走行後の排気管や排気ガスは高温になるため引火するおそれがあります。
- ・車両後方に燃えやすいものや植え込みがあるときは、車両後端から十分に距離を取って駐車してください。すき間が少ないと、排気ガスによる変色や着火、生育への悪影響につながるおそれがありますので、車の向きも配慮してください。

ハンドルをいっぱいに回した状態を続けないでください

- ・車庫入れなどで、エンジンが始動している状態のままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。

安全なドライブについて

車から離れるときはエンジンを停止し、施錠してください

- ・シフトポジションを **P** にしてからエンジンを停止し、パーキングブレーキがかかっていることを確認して、ドアを施錠してください。無人で車が動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道では、シフトポジションを **P** にし、さらにタイヤに輪止めをしてください。
- ・貴重品を車内に残さないでください。施錠しても盗難につながるおそれがあります。
- ・お子さまや介護の必要な方だけを車内に残さないでください。車の発進や車内の高温／低温による思わぬ傷害などが発生するおそれがあります。

炎天下での駐車時は、ライター、スプレー缶、炭酸飲料などを車内に放置しないでください

- ・車体やシート、ステアリングなどが高温となり、やけどをすることがあります。駐車後に乗車されるときは注意してください。
- ・車内にお子さまやペットなどを乗せたまま車から離れることは、絶対におやめください。車内の温度が50℃を超えることもあり、大変危険な状態になります。
- ・ライターやスプレー缶、炭酸飲料などは、自然発火や破裂を起こすおそれがあります。車内に放置しないでください。
- ・ガスライターを床やシートのすき間に落としたままにすると、シートを動かしたときに着火して火災につながるおそれがあります。
- ・メガネをダッシュボードなどに置いたままにすると、変形やひび割れのおそれがあります。また、レンズにより火災を起こすことがあります。危険です。

安全なドライブについて

仮眠するときは必ずエンジンを停止してください

- ・無意識にブッシュセレクターを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして車が発進するおそれがあります。
- ・エンジンや排気管の異常過熱による火災が発生するなどの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・車内で仮眠するときは、エンジンを停止し、助手席または後席でしてください。
- ・排気管が損傷していたり、風向きや風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



エンジンルーム内に可燃物を放置しないでください

- ・エンジンルーム内に燃えやすい物を置き忘れないように注意してください。引火のおそれがあります。
- ・車両を長時間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝などがいないことを確認してください。もし走行中に焦げた臭いを感じたときは、直ちに停車して確認してください。

走行中に異常を感じたとき

警告灯が点灯・点滅したときは、直ちに停車して適切な処置をしてください

- ・走行中に警告灯が点灯や点滅したときは、直ちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。（「第4章 メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた」を参照）
そのまま走行すると故障の原因になるだけでなく、重大な事故につながるおそれがあります。
- ・走行中は車の状態に気を配り、いつもと異なる音や臭い、振動などを感じたときは、直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。
- ・故障などでやむを得ず路上に停車するときは、ハザードランプの他に停止表示板を使用して、他の車両に停止していることを知らせてください。

走行中にタイヤがパンクやバーストしたときは、あわてずに安全な場所に停車してください

- ・走行中、タイヤに異常があったときは、あわてずにハンドルをしっかりと握り、徐々に速度を下げて安全な場所に停車してください。
急ブレーキや急ハンドルは、車のコントロールができなくなるおそれがあります。

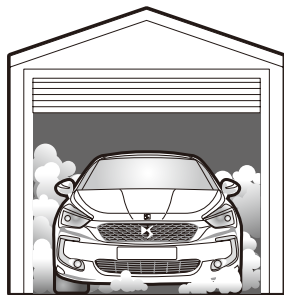
走行中に床下やタイヤなどに大きな音や衝撃を感じたときは車の下部を点検してください

- ・直ちに安全な場所に停車し、車の下部を点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ、サスペンション部品、タイヤ関係、駆動系部品などの変形や損傷は、そのまま使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷を見つけたときは、運転を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

排気ガスについての注意

換気が悪い場所や屋内ではエンジンを始動させた状態のままにしないでください

- ・ 車庫や屋内などの換気が悪い場所では、排気ガスが充満しやすいのでエンジンを始動させた状態のままにしないでください。排気ガスには無色無臭の有害な一酸化炭素が含まれており、吸い込むと排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
- ・ 排気管に腐食などによる穴や亀裂がないかをときどき点検してください。走行中に排気ガスが車内に侵入するおそれがあります。



車内で排気ガスの臭いがしたら次のことをしてください

- ・ 直ちにすべてのウィンドウを全開にする。
- ・ エアコンの内外気の切り替えを外気にして風量を最大にする。
- ・ すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。放置すると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

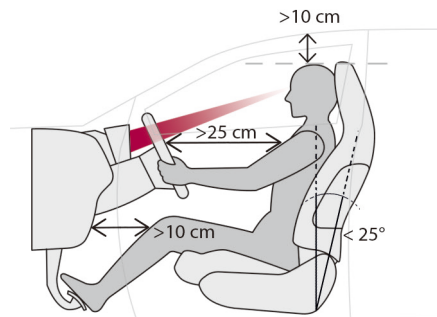
- ・ 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンを始動させた状態のままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

シート位置についての注意

走行する前に、正しい運転（乗車）姿勢がとれるシート位置に設定してください

- ・運転操作を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・万一衝突したときにシートベルトやSRSエアバッグ、ヘッドレストなどの乗員保護装置の効果が軽減されて、重大な傷害を受けるおそれがあります。

運転者



- ・背中が背もたれから離れないように、深く腰掛けます。
- ・フロントウィンドウから前方がよく見える位置に、シートの高さを調整します。
- ・頭の上からルーフまでは10cm以上離します。

- ・ペダルが十分踏み込めるように、シートの前後位置を調整します。
- ・膝がダッシュボードに当たらないように、10cm以上離します。
- ・背もたれは倒しすぎない角度に調整し、25°以上倒さないようにします。
- ・ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。
- ・座面の奥行きが調整できる場合は、腿がシートクッションに乗るようにします。
- ・ランバーサポートの調整ができる場合は、背中に合うように張り出しと高さを調整します。
- ・ステアリングホイールは、胸部から25cm離し、ハンドルを握ったときにひじが伸びきらず、少し曲がっている状態で、メーター類が見やすい位置に調整します。

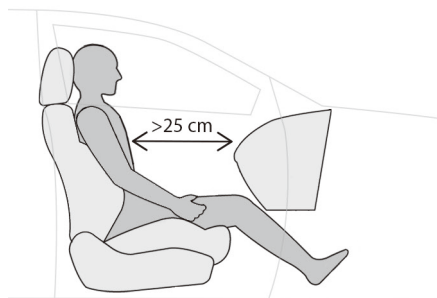
走行する前にミラーの位置を調整してください

- ・後方が確実に確認できるように、ドアミラー、バックミラーを正しく調整してください。
- ・走行中に調整すると、運転操作を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は正しい運転姿勢を保ってください

- ・走行中は正しい運転姿勢を保ち、ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。

他の乗員



- ・背中が背もたれから離れないように、深く腰掛けます。
- ・胸部がダッシュボードから25cm以上離れるように、シートの前後位置を調整します。
- ・ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。

走行中は背もたれを倒しすぎないようにしてください

- ・急ブレーキをかけたときや万一衝突したときにシートベルトなどの乗員保護装置の効果が十分に発揮されず、身体がシートベルトの下に潜り込んだり、シートベルトが首にかかり傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトについての注意

シートベルトは正しく着用してください

- ・乗車した全員が正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しなかったり、正しく着用していないと、万一衝突したときにプリテンショナー*、フォースリミッター**付きシートベルト、エアバッグなどの乗員保護装置の機能が適切に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

* プリテンショナー

前方からの強い衝撃を受けたときに、瞬間的にシートベルトを引き込み身体を固定して乗員保護装置の効果を高める装置。

** フォースリミッター

シートベルトに一定以上の衝撃を受けたときに、身体にかかる衝撃を減少させる装置。

- ・肩部ベルトを肩に十分にかけ、首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。また、腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にしてください。

妊娠中の方や疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください

- ・医師に注意事項をご確認ください。
- ・腰部ベルトが腹部にかからないように、腰骨のできるだけ低い位置にしてください。また、肩部ベルトは腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

損傷のあるシートベルトは直ちに交換してください

- ・損傷したシートベルトを使用すると、衝突したときなどに十分な効果を発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトやブレードを、シートやドアに挟まないでください。傷が付くおそれがあります。
- ・万一重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見受けられなくても、シート、シートベルトを交換してください。
- ・プリテンショナー付きシートベルトの取りはずしや交換・廃棄は当社指定サービス工場以外では行わないでください。

SRS エアバッグについての注意

- ・SRS エアバッグシステムは（SRS = Supplemental Restraint System）補助拘束の事です。
- ・SRS エアバッグは、センサーが一定以上の衝撃を感知したときにのみ作動します。衝突などで車が大きく変形しても、衝撃吸収ボディ構造により衝撃が段階的に吸収されたときは、SRS エアバッグが作動しないことがあります。

フロントエアバッグの効果は正しい姿勢とシートベルトとで発揮します

- ・SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助するシステムで、シートベルトに代わるものではありません。このシステムはシートベルトを必ず着用してください。
- ・シートに正しく座りシートベルトを正しく着用していないと、衝突などで身体が前方に放り出されたときに SRS エアバッグシステムがふくらみ、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・運転者とステアリングホイールとの間には、適当な距離を確保してください。あまり近すぎると、エアバッグの効果が低下したり、エアバッグそのものでケガを負うおそれがあります。
- ・ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。他の位置（12時の位置や真ん中、内側）を持つと思わぬケガにつながったり、エアバッグが作動した際に重大なケガを負うおそれがあります。

安全装置について

フロントエアバッグは車両前方からの衝撃を緩和します

- ・ SRS フロントエアバッグは、ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに、車両前方から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を緩和するシステムです。

フロントエアバッグの保護性能が発揮されるために次の点に注意してください

- ・ 運転者が顔や胸をステアリングに近付けすぎると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい運転姿勢で座り、ステアリングに近付きすぎないようにしてください。
- ・ 助手席に乗車する人は、シート前端に座ったり、ダッシュボードに足を乗せていたりすると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい乗車姿勢で座り、ダッシュボードに近付きすぎないようにしてください。

エアバッグの近くにものを置いたり、ステッカーなどを貼り付けないでください



- ・ ステアリングを交換したり、ステアリングのパット部にステッカーなどを貼り付けしないでください。
- ・ 助手席側エアバッグの周辺（ダッシュボード）にカー用品や芳香剤を置いたり、傘などを立てかけないでください。
- ・ エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされて、ケガをするおそれがあります。

* 仕様により異なります。

SRS サイドエアバッグ／ファーサイドエアバッグ＊ ／カーテンエアバッグについての注意

- ・ SRS サイドエアバッグ／ファーサイドエアバッグ／カーテンエアバッグは、車両側面から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を分散、緩和させる乗員保護装置です。

サイドエアバッグ／ファーサイドエアバッグ／カーテンエアバッグは車両側面からの衝撃を緩和します

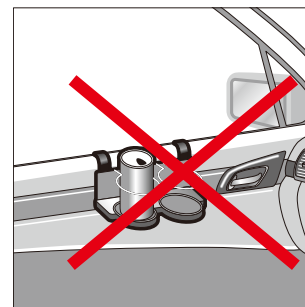
- ・ サイドエアバッグは、前席の背もたれ側面（ドア側）に収納されています。ファーサイドエアバッグは、運転席の背もたれ側面（左側）に収納されています。カーテンエアバッグは、ドアピラー部からルーフにかけて収納されています。
- ・ シートの側面周囲には、ものを置かないでください。
- ・ シートにシートカバーや上着をかけたり、ベルトを巻きつけないでください。

ドアやウィンドウにもたれかからないでください

- ・ SRS サイドエアバッグ収納部に手、足、顔を近づけたり、ドアやウィンドウにもたれかかるような姿勢でシートに座らないでください。エアバッグがふくらむときに強い衝撃を受け、非常に危険です。

ドアやサイドエアバッグの近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けしないでください

- ・ SRS サイドエアバッグ収納部の近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされてケガをするおそれがあります。



ABS と ESC / ASR についての注意

ABS（アンチロックブレーキシステム）を過信しないでください

- ・ ABS は Antilock Brake System の略で、急ブレーキをかけたときに車輪がロックするのを防ぎ車の操縦性を確保しようとする装置で、制動距離を短くするための装置ではありません。
- ・ 次のような路面では、ABS なしの車よりも制動距離が長くなることがあります。速度は控えめにして車間距離を十分にとってください。
 - ・ 砂利道や雪道、凍結路などを走行しているとき
 - ・ タイヤチェーン／ネットを装着しているとき
 - ・ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
 - ・ 石だたみなどの悪路を走行しているとき

ESC / ASR（エレクトロニックスタビリティコントロール／トラクションコントロール）を過信しないでください

- ・ ESC システムは、滑りやすい道路での旋回時などに、車の動きと運転者が意図するコースとに著しい差が発生したとき、自動的にブレーキやエンジンの出力を制御して車の走行安定性を確保しようとするシステムです。
- ・ ASR は滑りやすい道路での発進や急加速時に生じる空転を防ぎ、車の走行安定性を向上させようとするシステムです。
- ・ ESC / ASR が作動した状態でも、車の走行安定性には限界があります。ESC / ASR を過信せずに速度を下げ、車間距離を十分にとって安全運転を心がけてください。

スマートキーについての注意

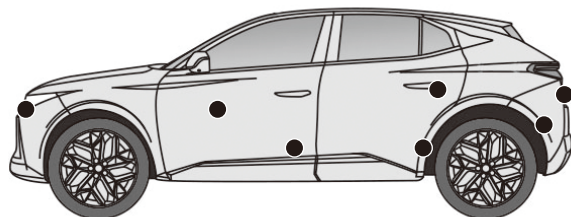
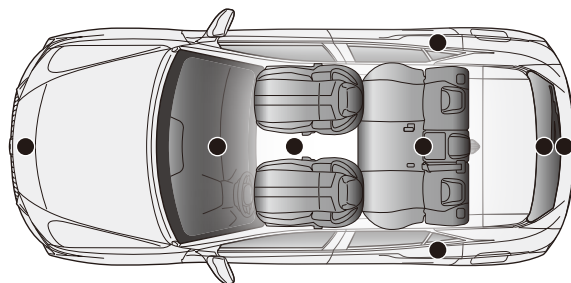
植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、スマートキー検知用の車室内発信機・車室外発信機から約22cm以内に近付かないようにしてください

- ・ 電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- ・ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

運 転 装 置 に つ い て

アンテナ位置

次のイラストの黒丸で示した位置にスマートキー検知用のアンテナが設置されています。



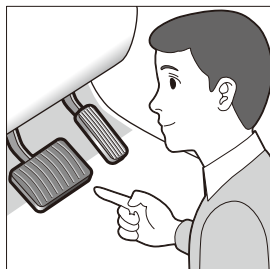
プッシュセレクトの操作についての注意

クリープ現象に注意してください

- ・クリープ現象とは、エンジンが始動している状態のときにシフトポジションを **P** または **N** 以外にすると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出すことです。
- ・停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・特にエンジンの始動直後やエアコン作動時のエンジン回転が上がっているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

ブレーキとアクセルのペダル位置に注意してください

- ・ペダルの踏み違いは、思わぬ事故につながります。エンジンを始動する前にペダルの位置を確認してください。
- ・また、アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



発進前／停車後のプッシュセレクトの操作はブレーキを踏んでください

- ・エンジンを始動するときはブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
- ・プッシュセレクトの操作は、エンジン始動直後やエアコン作動時などはクリープ現象が強くなるので、特にしっかりとブレーキペダルを踏んで行ってください。
- ・発進時のプッシュセレクトの操作は、ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで行ってください。急発進して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アクセルペダルはゆっくり踏んでください

- ・アクセルペダルを急激に踏み込むと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中はシフトポジションをNにしないでください

- ・走行中にシフトポジションを **N** にすると、エンジンブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・オートマチックトランスミッション内のオイルの潤滑が悪くなり、故障するおそれがあります。

後退したあとはシフトポジションをNに戻してください

- ・後退したあとは、すぐシフトポジションを **R** から **N** に戻す習慣をつけてください。

運 転 装 置 に つ い て

シフトポジションは目で確認してください

- ・シフトポジションを変更するときは、必ずシフトポジションを目で確認してください。

追いつきにはキックダウンを利用してください

- ・**D** または2速以上（マニュアルシフトポジション）で走行中に、アクセルペダルをいっぱい踏み込むと自動的に低速ギアに切り替わり、急加速が得られます。
- ・滑りやすい路面や急カーブなどでは使用しないでください。タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車時はシフトポジションをPにしてください

- ・駐車するときはシフトポジションを**P**にして、パーキングブレーキをかけてください。クリープ現象などで無人で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込み、急発進したりし、事故につながるおそれがあります。

無用な空ぶかしはしないでください

- ・万一、シフトポジションが**P**、**N**以外にあると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クルーズコントロールについての注意

クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをオフにしてください

誤ってクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ストップ＆スタートについての注意

車から離れるときは、必ず **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてスマートキーを携帯してください。ストップ＆スタート機能が作動していると、シートベルトをはずしたりドアを開けたときに自動的にエンジンが始動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

先進運転支援システムについての注意

アクティブセーフティブレーキなどの先進運転支援システム各機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、路面や天候などの条件によっては作動しない場合があります。機能を過信せず常に安全運転をお願いします。

オーバーヒートについての注意

オーバーヒートの症状について

- ・ 次のような症状が現れるとともに、インストルメントパネルの STOP 警告灯が点灯します。
- ・ 冷却水温度計がレッドゾーンに入ったり、エンジンの出力が急に低下する。
- ・ ボンネット（エンジンルーム）から蒸気が出てくる。

オーバーヒートの対応について

- ・ ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどをするおそれがあります。
- ・ 冷却水温度が下がるまで、冷却水タンクのキャップを開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出して、やけどをするおそれがあります。
- ・ オーバーヒートを起こしたまま走行を続けると、エンジンなどに重大な損傷を起こすおそれがあります。安全な場所に停車し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

故障したとき／事故が起きたときの注意

走行中に路上で故障したとき

- ・ 一般道では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて、車の後方に停止表示板を置いてください。
- ・ 高速道路や自動車専用道路では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、車内の乗員を安全な場所に避難させてください。次に非常点滅灯を点滅させ、車の後方に停止表示板を置いて（法律で義務付けられています）ください。

路上で動けなくなったとき

- ・ 車を移動するときは、シフトポジションを **N** にしてパーキングブレーキを解除し、安全な場所へ移動させてください。

踏切内で動けなくなったとき

- ・ 同乗者や付近の人に協力してもらい安全な場所まで押してもらってください。車を移動するときは、エンジンを始動してシフトポジションを **N** にし、パーキングブレーキは解除します。
- ・ 車を移動できないときは、乗員を安全な場所へ避難させ、直ちに踏切警報機に設置してある非常ボタンを押します。緊急を要するときは、保安炎筒を使用して列車に車が踏切内に停車していることを知らせます。

事故が起きたとき

・事故が起きてしまったときは、あわてずに次の処置をとります。

1. 続発事故を防ぐために、他の交通の妨げにならない安全な場所へ車を移動し、エンジンを停止します。
2. 負傷者がいるときは、救急車の出動を要請するとともに負傷者に応急手当を行います。
ただし、頭部を負傷しているときは動かさないようにしますが、続発事故のおそれがあるときは安全な場所へ避難させます。
3. 警察に連絡します。
事故が発生した場所、事故状況、負傷者の有無、負傷の程度を報告し、指示を受けてください。
4. 事故の相手があるときは、相手側の氏名や住所、電話番号、自動車保険の番号などを確認してください。
5. 車をご購入された販売店と保険会社に事故状況をご連絡ください。

盗難についての注意

スマートキーは必ず携帯してください

- ・車から離れるときは、必ずエンジンを停止し、スマートキーを携帯してください。
- ・また、スペアキーを車内に置いたり、バンパーや車体の一部に貼り付けておくことは、盗難のおそれがありますので絶対におやめください。

ドア、ウィンドウ、スライディングガラスルーフ*を確認してください

- ・車から離れるときは、すべてのドアが正しくロックされていることを確認してください。また、ウィンドウやスライディングガラスルーフもきちんと閉じているかを確認してください。

路上駐車は絶対におやめください

- ・短時間の駐車でも、いたずらや盗難を防ぐために違法な路上駐車を避け、明るく管理の行き届いた駐車場に入ることを心がけてください。

車内に現金や貴重品は絶対に置いたままにしないでください

- ・現金や貴重品、携帯電話、バッグ、上着などを車内に置いたまま車を離れないでください。

こんなことにもご注意ください

車の改造は禁止されています

- ・車の改造や当社純正部品以外の使用は、車の性能が十分に発揮できないだけでなく、思わぬ事故の原因につながるおそれがあります。また、保証の適用外になるだけでなく、故障の原因になることがあります。
- ・電装品や無線機などの取り付け、取りはずしは、当社指定サービス工場にご相談ください。
取り付け、取りはずしが適切でないと、電子機器部品に悪影響をおよぼすだけでなく、故障や火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ハンドルの取りはずしや交換は、絶対に行わないでください。
ハンドルにはSRSエアバッグが内蔵されていますので、正常に作動しなかったり不意に作動して思わぬ事故になるおそれがあります。

タイヤ、ホイールは指定サイズを使用してください

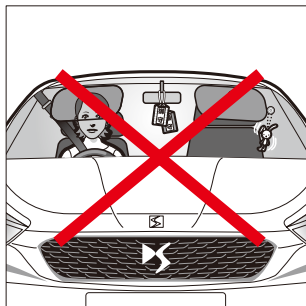
- ・タイヤ、ホイールは指定された規格の製品を使用してください。
指定以外の製品を装着すると、ブレーキシステムに悪影響をおよぼしたり、走行安定性を損なうおそれがあります。
- ・交換は当社指定サービス工場で行ってください。

* 仕様により異なります。

そ の 他

ウィンドウにアクセサリーを取り付けしないでください

- ・ガラス面にアクセサリーなどを取り付けると、視界の妨げになったり、走行中に飛んでケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災を起こすことがあり危険です。



夏季は12V バッテリーのバッテリー上がりが起きやすくなります

- ・電装品の使いすぎは、12V バッテリーのバッテリー上がりにつながります。特に夏季は、エアコンなどの電装品の使用が増えますので12V バッテリーにも負担がかかります。渋滞時の走行では充電量が不足してバッテリー上がりを起こしやすくなりますのでこまめな点検と早めの交換を心がけてください。

冬季はタイヤの滑り止めや解凍剤などをご用意ください

- ・冬季のトラブルを軽減するために、冬用タイヤチェーン／ネットや解凍剤などの準備およびバッテリーの点検を行っておくことをお勧めします。詳しくは当社指定サービス工場にご相談ください。
- ・積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬用タイヤを装着してください。
- ・冬用タイヤに交換するときは、必ず指定サイズで同じメーカーの同じ銘柄のものを4輪に装着してください。
- ・タイヤチェーン／ネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に取り付けてください。
- ・タイヤチェーン／ネットの装着は、安全な場所に停車し、各取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
装着後は100m くらい走行して、ゆるみや車体に当たっていないかを再度確認してください。
タイヤチェーン／ネットに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。
- ・12V バッテリーは、気温が低くなると性能も低下します。バッテリー液や比重、充電状態を点検してください。
- ・ウォッシャー液の凍結を防ぐために、夏季よりも混合割合を高くしてください。

タバコの吸殻の火は消して灰皿へ入れてください

- ・タバコやマッチなどの火は、確実に消して灰皿へ入れてふたを閉めてください。
- ・灰皿の中に吸殻を入れすぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。思わぬ火災につながるおそれがあります。

ワイヤレス充電器についての注意

ワイヤレス充電器の電波がおよぼす影響について

- ・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- ・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

Bluetooth[®] についての注意

このタッチスクリーンは Bluetooth の機能を備えています。植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、タッチスクリーンから約22cm 以内に近付かないようにしてください

- ・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- ・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

車載通信モジュールについての注意

この車両には Wi-Fi 通信やモバイルネットワーク用の車載通信モジュールが備えられています

- ・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- ・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

通信機器についての情報

この車両の通信機器は日本国内の基準に適合しています。
この車両の通信機器を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

EDR（イベントデータレコーダー）

この車両には、EDR（イベントデータレコーダー）が装備されています。EDRは、エアバッグの作動時や道路上の障害物との接触時など、一定の衝突や衝突に近い状態が発生した場合に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDRは車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように設計されています。ただし、衝突の程度と形態などによりデータが記録されない場合があります。

EDRは次のデータなどを記録します。EDRが記録したデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

- ・車両の各システムの作動状況
- ・アクセルペダルやブレーキペダルなどの操作状況
- ・車速などの車両情報
- ・エアバッグの作動に関する情報



●EDRは一定の衝突や衝突に近い状態が発生した場合にデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（氏名・性別・年齢・衝突場所など）や、会話などの音声、前方カメラの画像データは記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータとEDRデータを組み合わせて使用することがあります。



●EDRで記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両またはEDRへ接続する必要があります。DS AUTOMOBILESに加え、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両またはEDRに接続した場合でも情報を読み出すことができます。

EDRデータの開示

DS AUTOMOBILES および DS AUTOMOBILES が委託した第三者は、EDRが記録したデータを車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、DS AUTOMOBILES および DS AUTOMOBILES が委託した第三者は、EDRが記録したデータを第三者へ開示・提供することはありません。

- ・車両の使用者の同意（リース車の場合は借主の同意）がある場合
- ・警察・裁判所・政府機関などからの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両データの記録

この車両には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが装備されています。各機能の作動時や走行状況に応じて、次のようなデータを記録することがあります。

- ・ 車速などの車両情報
- ・ アクセルペダルやブレーキペダルなどの操作状況
- ・ 先進運転支援システムの作動状況（システムの作動に付随して記録される車速などの車両情報、アクセルペダルやブレーキペダルなどの操作状況も含まれます）
- ・ 先進運転支援システムのセンサーのデータ
- ・ 前方カメラの画像データ
- ・ データ記録時の走行距離またはタイムスタンプ
- ・ 車両運転時の環境情報
- ・ 車載されるコンピューターの故障診断の情報
- ・ その他の、車載されるコンピューターの制御に関する情報



- 記録されるデータは車両のグレードや装備により異なります。
- 個人情報（氏名・性別・年齢・衝突場所など）や、会話などの音声や車内の映像は記録されません。
- 先進運転支援システムに関するデータは、各システムが作動した場合に記録されます。事故や衝突の際に各システムが作動しなかった場合や、各システムがオフの状態の場合などでは記録されません。



- 先進運転支援システムに関するデータを読み出すには、特別な装置を車両へ接続する必要があります。DS AUTOMOBILES に加え、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

車両データの開示

DS AUTOMOBILES および DS AUTOMOBILES が委託した第三者は、記録したデータを車両の故障診断、品質の向上、研究開発などを目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、DS AUTOMOBILES および DS AUTOMOBILES が委託した第三者は、記録したデータを第三者へ開示・提供することはありません。

- ・ 車両の使用者の同意（リース車の場合は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などからの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

第1章 安全に運転するために

フロントシート	1-2
ミラー	1-11
リアシート	1-14
シートベルト	1-16
チャイルドシート	1-20
エアバッグ	1-29
アクティブボンネット	1-35
走行する前に	1-36
使用燃料について	1-36
冬季の取り扱い	1-37
保安炎筒	1-39
触媒コンバーター	1-40

フロントシート

⚠ 警告

- 運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
- シートを調整するときには、身体の一部や障害物が妨げにならないように注意し、正しい位置に固定してください。
- シートの下や動いている部分に手や足を近づけないでください。手や指、足を挟まれケガをするおそれやシートを破損するおそれがあります。また、同乗者にも注意喚起してください。お子さまには特に注意してください。
- 運転席はステアリングホイールから25cm以上離れた位置に着席できるように調整してください。ステアリングホイールに近すぎる位置に着席すると、エアバッグが作動したときにケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

シート位置調整用のレバーやダイヤル、スイッチの上に乗ったり体重をかけたりしないでください。ケガをするおそれや、レバーやダイヤル、スイッチを破損するおそれがあります。

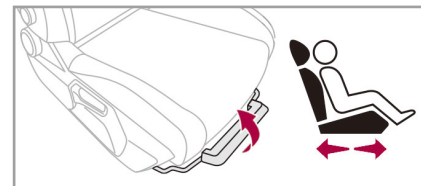
注意

シート表皮には耐久性に優れた素材を使用していますが、品質を長く保つため、次のことをお守りください。お守りいただかないと、シート表皮を傷つけるおそれがあります。

- 金属製のベルトのバックルや面テープなどを長時間押し付けた状態のままにしない
- 金属製のベルトのバックルや面テープなどで強くこすったりしない

● フロントシートの調整（手動）

シートの前後調整



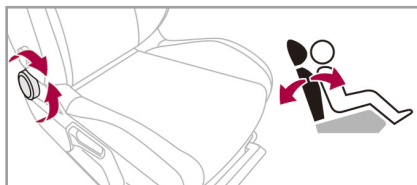
レバーを引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを放すとその位置で固定されます。

シートの高さ調整



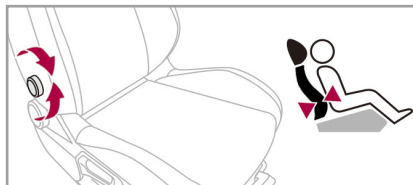
レバーを上下に動かして高さを調整します。

背もたれの角度調整



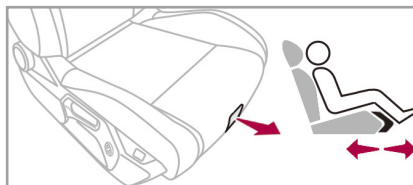
ダイヤルを回して背もたれの角度を調整します。

ランバーサポートの調整 (運転席)



ダイヤルを回してランバーサポートを調整します。

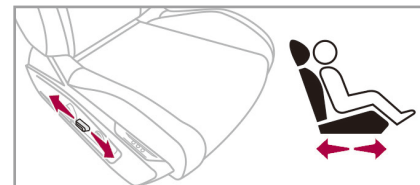
シートクッションの奥行き調整



ハンドルを引き、シートクッションの前端を前後に動かしてシートクッションの奥行きを調整します。

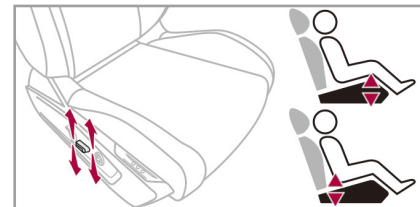
● フロントシートの調整 (電動)

シートの前後調整



スイッチを前後にスライドして調整します。

シートの高さと角度調整



- ・ 高さ：スイッチの後端を上下して調整します。
- ・ 角度：スイッチの前端を上下して調整します。

安全に運転するために

1

背もたれの角度調整



スイッチを前後に倒して背もたれの角度を調整します。

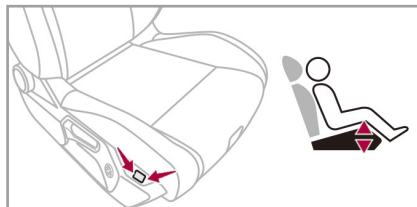
ランバーサポートの調整



スイッチの前後を押してランバーサポートの張り出しを調整します。

スイッチの上下を押してランバーサポートの高さを調整します。

シートの角度調整 (AGR シート)

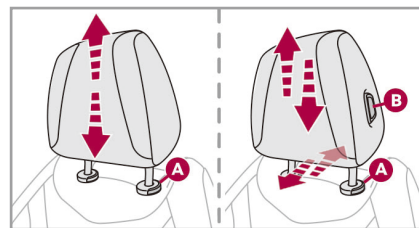


AGR シートに装備された電動のシート角度調整機能です。
スイッチの前後を押してシートの角度を調整します。



電動調整はエンジンが始動している状態のときに行ってください。

●ヘッドレストの調整



2ウェイ

4ウェイ

高さ調整 (2ウェイ)

ヘッドレストを引き上げると上がります。
ラグ **A** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

高さ調整 (4ウェイ)

ヘッドレストを引き上げると上がります。
ボタン **B** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

前後調整 (4ウェイ)

ボタン **B** を押しながらヘッドレストを前後させます。

* 仕様により異なります。

ヘッドレストの脱着

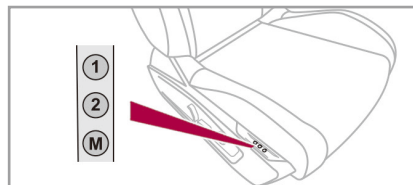
1. 背もたれを後方へ倒します。
2. ヘッドレストを最上の位置に移動します。
3. 根元のラグ **A** を押しながら引き上げます。

ヘッドレストに戻すには、ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

警告

- ヘッドレストは衝突の際にはずれないように、支柱によって支えられています。
- 高さはヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うように調整してください。
- ヘッドレストをはずして運転しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。

●シートポジションメモリー*



好みのシートポジション（運転席の位置、ドアミラーの角度）および DS エクステンデッドヘッドアップディスプレイ*の高さ調整を登録し、ワンタッチで呼び出すことができます。シートポジションは運転席シートにあるボタンに2人分まで登録できます。

シートポジションを登録する

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動します。
2. 運転席の位置、ドアミラーの角度および DS エクステンデッドヘッドアップディスプレイ*の高さを調整します。
3. ボタン **M** を押して4秒以内に、登録したいボタン **1** または **2** を押します。登録が完了すると、チャイムが鳴ります。



新しいシートポジションを登録すると、前の登録に上書きされます。

登録ポジションを呼び出す

車が停止状態で、**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときにボタン **1** または **2** を短く押します。呼び出しが完了すると、チャイムが鳴ります。

警告

登録ポジションの呼び出し中に身体の一部や障害物が妨げにならないように注意してください。



- 登録ポジションの呼び出し中にボタン **M**、**1** または **2** を押すか、シートの調整を行うと呼び出しはキャンセルされます。
- 走行中は登録ポジションの呼び出しはできません。



●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてから約45秒間、登録ポジションの呼び出しができます。

●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてから運転席ドアを開けると、運転席シートが自動的に後方へ移動します。再び **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、運転席シートが自動的に前方へ移動します。この機能のオン／オフは、次の方法で行います。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。

3. **車両設定**をタップします。



4. **車両へのアクセス**をタップします。

5. **ドライバーウェルカム**をタップしてオン／オフします。

●マルチポイントランバーサポート*

エンジンが始動している状態のとき（ストップ&スタートのストップモード時も含む）、運転席と助手席とで別々に作動させることができます。作動すると6分間ランバーサポートのぼう張、収縮が行われ、3分間のインターバルののち再度6分間作動します。1時間経過すると、自動的に停止します。

マルチポイントランバーサポートの設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。

3. **電動ランバーサポート**をタップします。

* 仕様により異なります。

機能の作動

マルチポイントランバーサポートを作動するには、 をタップします。

機能の停止

マルチポイントランバーサポートを停止するには、 をタップします。

サポート量の調整

マルチポイントランバーサポートのサポート量は3段階に調整できます。
マルチポイントランバーサポートのサポート量を調整するには、お好みのサポート量（**1**:小／**2**:中／**3**:大）をタップします。

種類の選択

マルチポイントランバーサポートの種類は8種類から選択できます。
マルチポイントランバーサポートの種類を選択するには、画面を左右にスワイプしてお好みの種類を選択します。



ENGINE START/STOP スイッチをオフにするとマルチポイントランバーサポートは停止します。ただし、サポート量と種類の設定は保持されます。

●シートヒーター*

シートヒーターは運転席と助手席に装備され、エンジンが始動している状態のとき、別々に作動させることができます。シートヒーターの設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **ヒーター（ヒーター／ベンチレーション）** をタップします。
4. シートベンチレーション装備車は、タッチスクリーンを左または右にスワイプしてシートヒーター（赤色のシートのイラスト）を選択します。

安全に運転するために

1

機能の作動／停止

シートヒーターを作動／停止するには、

🕒 をタップします。



シートヒーターが作動すると🕒の点灯色が変わります。

温度の調整

シートヒーターの温度を調整するには、シートのイラストをタップして好みの温度設定にします。

表示灯が1つ点灯：低

表示灯が2つ点灯：中

表示灯が3つ点灯：高



●シートヒーターの温度調整を行うと、低（表示灯が1つ点灯）の次は作動を停止します。再度シートヒーターを作動させるには、🕒 をタップしてください。

●ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてもシートヒーターの設定は保持されます。

⚠ 注意

- 次の方がシートヒーターを使用する場合は、低温やけどを負うおそれがあるため注意してください。
 - ・乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な人
 - ・皮膚の弱い人
 - ・疲労の激しい人
 - ・深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人
- 異常な過熱や低温やけどの原因となるおそれがあるため、シートヒーターを使用するときは次のことをお守りください。
 - ・毛布やクッションなどをかけた状態で使用しないでください。
 - ・長時間連続して使用しないでください。

* 仕様により異なります。

注意

シートヒーターの損傷を防ぐために、次のことをお守りください。

- 重い荷物をシートの上に置いたり、針金やピンなどを突き刺したりしないでください。
- シートの上で立ち上がったたり、膝を突いて体重をかけたりしないでください。
- シートの上に水や飲み物などをこぼさないでください。
- シートが濡れているときはシートヒーターを使用しないでください。



燃費を良くするためにも、以下のことをお守りください。

- シートに乗員が着席していないときは、シートヒーターを使用しないでください。
- シートが十分に温まったら、シートヒーターの温度設定を低くしてください。

●シートベンチレーション*

シートベンチレーションを作動させると、シートの通気が行われます。運転席と助手席に装備され、エンジンが始動している状態のとき、別々に作動させることができます。

シートベンチレーションの設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。
3. **ヒーター／ベンチレーション**をタップします。
4. タッチスクリーンを左または右にスワイプしてシートベンチレーション（青色のシートのイラスト）を選択します。

機能の作動／停止

シートベンチレーションを作動／停止するには、 をタップします。



シートベンチレーションが作動すると  の点灯色が変化します。

安全に運転するために

1

風量の調整

シートベンチレーションの風量を調整するには、シートのイラストをタップしてお好みの風量設定にします。

表示灯が1つ点灯：弱

表示灯が2つ点灯：中

表示灯が3つ点灯：強



●シートベンチレーションの風量調整を行うと、弱（表示灯が1つ点灯）の次は作動を停止します。再度シートベンチレーションを作動させるには、をタップしてください。

●ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてもシートベンチレーションの設定は保持されます。

●ステアリングヒーター *

ステアリングホイールを暖めることができます。外気温が20℃以下で、エンジンが始動している状態のとき作動します。

機能の作動／停止

1. をタップするか、ダッシュボードのスイッチを押します。
は、タッチスクリーンのボタンを押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2. をタップします。
3. シート／ハンドルをタップします。
4. をタップしてステアリングヒーターを作動／停止します。



●ステアリングヒーターが作動すると

の点灯色が変化します。



●ENGINE START/STOP スイッチをオフにするとステアリングヒーターは停止します。

注 意

次のような方は、低温やけどを負うおそれがあるため注意してください。

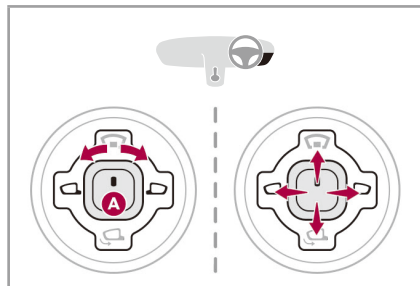
- ・乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な人
- ・皮膚の弱い人
- ・疲労の激しい人
- ・深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人

* 仕様により異なります。

ミラー

●電動ドアミラー

ドアミラーの調整



調整するミラーに合わせて、スイッチ **A** を左側または右側に回します。
ミラーはスイッチ **A** を動かして上下左右に角度が変えられます。
調整が終わったら、スイッチ **A** を中央の位置に戻します。

ドアミラーの格納



スイッチ **A** を下側に回すと、ミラーが格納されます。

ドアミラーの展開

スイッチ **A** を上側に回すと、ミラーが展開されます。

⚠ 注意

ミラーで見た距離感覚と実際の車との距離が異なります。車との感覚を判断する際には、この点に十分ご注意ください。

注意

- ドアミラーを手で倒したり、戻したりしないでください。
- 自走式の洗車機を使用する前に、ドアミラーを格納してください。

ドアロック連動格納機能

プロキシミティキーレスエントリー機能、リモコン、または緊急用キーで施錠または解錠すると、ドアミラーが自動的に格納／展開されます。

この機能はオン／オフすることができます。オン／オフの設定は、次の方法で行います。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **車両へのアクセス**をタップします。
5. **ドアロック連動格納機能のオフ**をタップしてオン／オフします。



- 手などを挟まないように、安全を確認してから操作してください。
- 電動ドアミラーは、センサーで周囲の明るさやミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。
- ドアロック連動格納機能のオフ**がオンの状態では（スライダーのひし形のカーソルが右側にある状態では）、車両を施錠／解錠してもドアミラーは連動して格納／展開されません。
- スイッチ **A** を下側に回してドアミラーを格納した場合は、車を解錠してもドアミラーは復帰しません。スイッチ **A** を上側に回してドアミラーを復帰してください。
- ダッシュボードのコントロールパネルにあるリアウィンドウの視界確保モードスイッチは、ドアミラーの曇り取りも兼用しています。

リバース連動ドアミラー*

シフトポジションを **R** にすると、ドアミラーの角度が変化し、後方側面が見やすくなります。

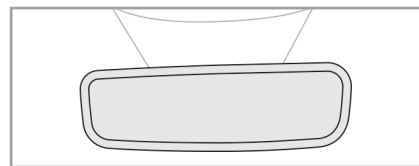
ドアミラーは以下のときに、元の位置に戻ります。

- ・シフトポジションを **R** 以外にする
- ・時速10km 以上で走行する
- ・エンジンを停止する

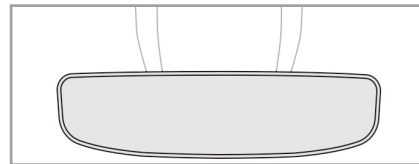
この機能はオン／オフすることができます。オン／オフの設定は、次の方法で行います。

1. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2. をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **セーフティ**をタップします。
5. **リバース連動ドアミラー**をタップしてオン／オフします。

●自動防眩バックミラー



タイプ A



タイプ B

センサーで周囲の明るさやミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。

⚠ 注意

安全のため、ミラーは後方がよく見える位置に調整してください。

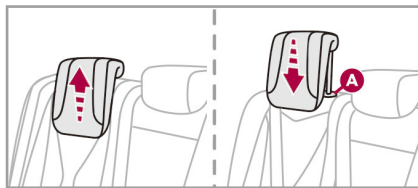


シフトポジションを**R**にすると、後方視界を確保するために一時的にミラーが明るくなります。この機能は、ラゲッジルームに積んだ荷物がリアパーセルシェルフの高さを上回ったときや、リアパーセルシェルフの上に荷物を積んだときは作動しません。

* 仕様により異なります。

リアシート

●リアヘッドレスト



高さ調整

高い位置、低い位置の2段階が選択できます。ヘッドレストを引き上げると上がります。ラグ **A** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

取りはずし

1. ドア側のシートは、背もたれを少し倒します。
2. ヘッドレストを一番高い位置まで引き上げます。
3. ラグ **A** を押してヘッドレストを取りはずします。

取り付け

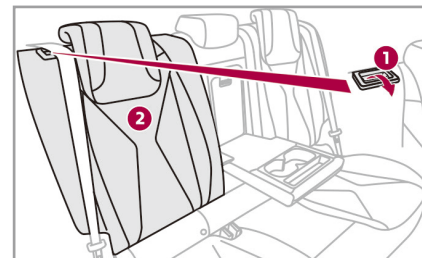
ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

⚠ 警告

- シートに座るときは、ヘッドレストを高い位置に調整してください。
- ヘッドレストを取りはずしたまま走行しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。
- ヘッドレストはそれぞれのシート専用のものを使用してください。

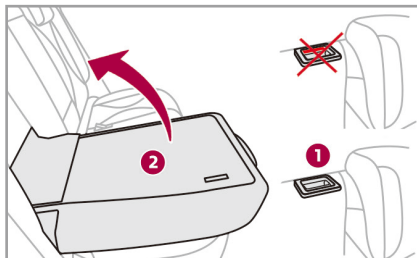
●リアシートの折りたたみ

折りたたみかた



1. リアヘッドレストを低い位置にセットします。
2. リアアームレストを元の位置に戻します。
3. リアシートのすべてのシートベルトをはずします。
4. シートベルトが損傷しないように、両サイドのシートのシートベルトを背もたれの脇に寄せます。
5. ボタン①を引き、背もたれ②のロックを解除します。
6. 背もたれ②を前方へ倒します。

戻しかた



1. 背もたれ②を起こして元の位置に戻します。
2. シートが確実に固定され、ボタン①の赤い目印が見えないことを確認します。
3. バックレストがシートベルトを巻き込んでいないか確認します。

 警告

- リアシートを操作するときは、安全な場所に停車させてから行ってください。
- リアシートを元に戻すときには、背もたれがしっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定されていないと、急ブレーキや事故などのときにケガをするおそれがあります。また、ラゲッジルームの荷物が放り出され乗員がケガをするおそれがあります。

 注意

シートのまわりに障害物がないか確認してください。また、体が挟まれないように十分に注意してください。

注意

リアシートに戻すときにはシートベルトを巻き込まないようにしてください。

シートベルト

●フォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステム

車体が強い衝撃を受けたとき、瞬間的にシートベルトを引き込み、身体を拘束する効果を高める装置です。

この機構は、**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに作動します。

フォースリミッターは、事故の際に身体にかかるシートベルトの衝撃を和らげる働きをします。

●フロントシートベルト

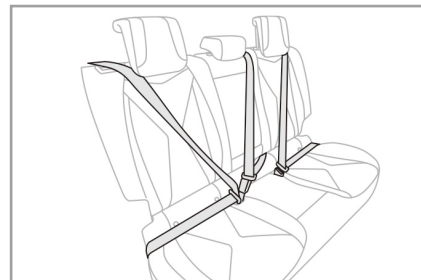
フロントシートのシートベルトはフォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステムです。

水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをかチッと音がするまでバックルに差し込みます。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。



必要に応じてシートの高さを調整し、シートベルトが適切な位置で着用できていることを確認してください。

●リアシートベルト



リアシートベルトは3点式です。両サイドのシートのシートベルトはフォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステムです。

シートベルトのストラップを引き出し、バックルに差し込みます。ストラップを引っ張って、正常に装着されたかを確認します。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

● シートベルトの着用警告



インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯が点灯または点滅して、シートベルトの着用状況を表示します。

- ①：助手席側シートベルト警告灯
- ②：運転席側シートベルト警告灯
- ③：後席左側シートベルト警告灯
- ④：後席中央シートベルト警告灯
- ⑤：後席右側シートベルト警告灯



ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、シートベルトを着用すると、シートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯①②③④⑤が緑色に点灯します。



ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、シートベルトを着用していないと、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。シートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯①②③④⑤が赤色に点灯した場合、点灯した席のシートベルトが締められていません。後席の警告灯④（仕様により後席の警告灯③④⑤）は、シートベルトが締められていない状態のまま約1分経過すると警告灯の色が灰色の点灯に変わります。

時速20km以上で走行中にシートベルトを着用していない（仕様により後席シートを除く）、または着用していたシートベルトをはずすと、約2分間警告音とともにシートベルト警告灯が赤色に点滅します。2分経過後は警告灯のみが赤色に点灯します。

上記の警告は、シートベルトを着用すると解除されます。



ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、助手席およびリアドア側シート（仕様により助手席のみ）に乗員が着席していない場合は（シート座面に重量が加わっていないと着座検知が判断している場合）、警告灯①③⑤（仕様により警告灯①のみ）が灰色に点灯します。

●着座検知

助手席とリアドア側シート（仕様により助手席のみ）の座面に圧力センサーがあり、約35kg以上の重量が加わった状態でシートベルトを着用していないと警告灯は赤く点灯します。



シートに重い荷物を置いて走行する場合は、シートベルトのストラップを引き出してバックルに差し込むと警告灯が点灯しなくなります。

⚠警告

- 着席したシート専用のシートベルトを正しく着用してください。誤って隣接するシートのシートベルトストラップやバックルを使用すると、シートベルトの効果が十分に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 乗車中、短時間のドライブといえどもシートベルトを必ず着用してください。
- 妊娠中の女性も必ずシートベルトを着用してください。ただし、医師に注意事項をご確認願います。
- シートベルトは、正しい姿勢で身体に密着させなければ効果がありません。
- バックルを逆にしてバックプレートを差し込まないでください。また、差し込むときには、ねじらないでください。
- バックルに異物などを入れないようにしてください。また、シートベルトを着用する前に、バックルやバックル周辺に異物などがいないか確認してください。

⚠警告

- シートベルトは、上部を肩にしっかりとかけ、下部は腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。
- シートベルトを2人以上で共有しないでください。
- お子さまを膝の上に抱いて走行しないでください。
- シートベルトの部品をむやみにはずしたり改造しないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってプリテンションシステムを作動させると、ケガをするおそれがあります。
- シートベルトにほつれや傷跡があるようなときは、当社指定サービス工場にご相談ください。部品交換が必要になることがあります。
- シートベルトを修理、交換する場合は当社指定サービス工場にご相談ください。
- シートベルトプリテンションシステムは、一度しか作動しません。作動後は必ず部品交換が必要になりますので、当社指定サービス工場整備を受けてください。

 警告

- シートベルトプリテンションシステムは、エアバッグとは関係なく作動します。大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

注意

- シートベルトが傷んだり、絡まったりしないように、シートベルトを使用しないときは、必ず正しい位置に収納してください。
- シートの位置を調整したあとは、シートベルトがシートに巻き込まれていないか確認してください。

 MEMO

- 降車時には、シートベルトを確実に収納させてください。
- シートベルトがロックして引き出せないときは、ベルトを強く引いてから、ゆるめてください。
- シートベルトが汚れた場合は、せっけん水や洗剤で洗ってください。

チャイルドシート

当社は、お子さまが乗る場合の安全を十分配慮して車の設計と製造を行っておりますが、お子さまが同乗するときの安全対策については、常に大人の方が十分ご注意くださいようお願いします。

警告

- 短時間の乗車でも、チャイルドシートとシートベルトを着用してください。また、思わぬ事故を防ぐためにも、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなるキャンセルスイッチや、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティをご利用ください。
- 後席のウィンドウは3分の1以上開けないようにしてください。
- お子さまの年齢や体格に合った正式に認可されたチャイルドシートを使用してください。適切なチャイルドシートにより、お子さまが守られます。
- お子さまを膝に乗せての運転はしないでください。大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- お子さまが正しい着座位置に座していないと、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。また、エアバッグが作動した場合にも、思わぬケガを負うおそれがあります。

●シート位置別チャイルドシート情報

次の表は、チャイルドシートが車内のどのシート位置に対応しているかを示した一覧表です。

警告

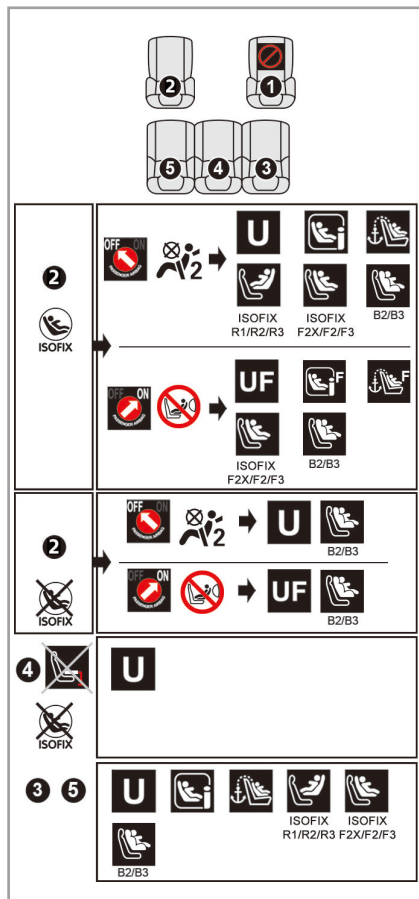
チャイルドシートを取り付けるときは、シート位置別チャイルドシート情報の表を確認し、正しい位置に取り付けてください。誤った取り付けをすると正しく固定されず、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。

	シート位置					
シート位置番号	①運転席	②助手席		③後席右側	④後席中央	⑤後席左側
		エアバッグOFF*1	エアバッグON*2			
シートベルトを使用した一般的な チャイルドシート	X	○*3 *4	○*3 *5	○	○*9	○
i-Sizeチャイルドシート	X	○*6 / X*7		○	X	○
トップテザーアンカーの有無	無	有*6 / 無*7		有	無	有
キャリコット	X	X		X	X	X
後ろ向きISOFIXチャイルドシート	X	R3*6 *8 / X*7	X*6 *7	R3*10	X	R3*11
前向きISOFIXチャイルドシート	X	F3*6 / X*7		F3	X	F3
ブースターシート	X	B3*8		B3	X	B3

- ※ **i-Size** チャイルドシートに対応するシート位置は、**R1**、**R2**、**F2X**、**F2**、**B2**の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。
- ※ **R2**の固定具に対応するシート位置は、**R1**の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。
- ※ **R3**の固定具に対応するシート位置は、**R1**、**R2**の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。
- ※ **F3**の固定具に対応するシート位置は、**F2X**、**F2**の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。
- ※ **B3**の固定具に対応するシート位置は、**B2**の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。
- ※ チャイルドシートを取り付ける際には、確実に固定されているか確認してください。必要に応じて、ヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。
- ※ 当社では可能な限り、すべてのチャイルドシートにおいてリアシートに設置することを奨励しています。

- ：チャイルドシートを取り付けできます。
- X：チャイルドシートは取り付けできません。
- 有：トップテザーアンカーを装備しています。
- 無：トップテザーアンカーを装備していません。
- *1 後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。
- *2 助手席エアバッグの機能をキャンセルしていないときは、前向きチャイルドシートのみ取り付けことができます。
- *3 助手席のバックレストを起こし、シートを一番後ろまで下げてください。高さ調整機能が装備されている場合は、シートの高さを一番高い位置に調整してください。
- *4 グループ0、0+、1、2、および3の、または身長が40cm から150cm までのお子さま用の、前向きおよび後ろ向きのユニバーサルチャイルドシート（U）を取り付けることができます。

- *5 グループ1、2、および3のみ、または身長が76cm から150cm までのお子さま用の、前向きのユニバーサルチャイルドシート（UF）を取り付けることができます。
- *6 **ISOFIX** 取り付け金具が装備されているシート位置（助手席）。
- *7 **ISOFIX** 取り付け金具が装備されていないシート位置（助手席）。
- *8 助手席の前後位置を一番後ろにしてください。
- *9 レッグサポート付きのチャイルドシートは後席中央に取り付けられません。
- *10 運転席の高さを一番高い位置に調整してください。
- *11 助手席の前後位置を中間にしてください。



- ①：運転席
- ②：助手席
- ③：後席右側
- ④：後席中央
- ⑤：後席左側

 チャイルドシートは取り付けることができません。

 助手席エアバッグの機能をキャンセルしている場合。



 助手席エアバッグの機能をキャンセルしていない場合。



U シートベルトを使用した前向きおよび後ろ向きのユニバーサルチャイルドシート (U) (グループ0、0+、1、2および3、または身長が40cmから150cmまでのお子さま用) の取り付けに適しているシート位置。

UF シートベルトを使用した前向きのユニバーサルチャイルドシート (UF) (グループ1、2および3のみ、または身長が76cmから150cmまでのお子さま用) の取り付けに適しているシート位置。

 **i-Size** チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

 レッグサポート付きのチャイルドシートは取り付けできません。

 **i-Size** 「前向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。



トップテザーアンカーをシートのバックレストに装備しています。ISOFIX ユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。



トップテザーアンカーをシートのバックレストに装備しています。ISOFIX「前向き」ユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。



ISOFIX「後ろ向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

R1：ISOFIX 後ろ向き乳児用チャイルドシート

R2：ISOFIX 小型後ろ向き幼児用チャイルドシート

R3：ISOFIX 大型後ろ向き幼児用チャイルドシート



ISOFIX「前向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

F2X：ISOFIX 低型前向き幼児用チャイルドシート

F2：ISOFIX 低型前向き幼児用チャイルドシート

F3：ISOFIX 全高前向き幼児用チャイルドシート



ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具、または3点式のシートベルトを使用したブースターシートの取り付けに適しているシート位置。

B2：低型ブースターシート

B3：最大幅ブースターシート



ISOFIX チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。



ISOFIX チャイルドシートを取り付けることができないシート位置。

警告

- 助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。
- 必要に応じてヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。取りはずしたヘッドレストは車内に常時保管し、動かないようにしっかりと固定してください。しっかりと固定しないと、走行中に飛んでケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。また、チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。大人がシートに着席したときや背もたれの付いていないブースターシートにお子さまが着席したときは、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。

警告

- チャイルドシートは正しく取り付けてください。事故などの場合に十分な保護ができなくなるおそれがあります。
- チャイルドシートは製造メーカーの指定に従って正しくご使用ください。チャイルドシートに指定された適正な年齢や体格を無視すると、事故などの場合に傷害を受けるおそれがあります。

MEMO

- チャイルドシートを取り付ける前に、使用可能なチャイルドシートの種類や取り付け可能な座席位置を必ず確認してください。
- セミユニバーサルチャイルドシートの場合、必要な情報がこの取説に記載されていない場合は、チャイルドシートのメーカーが提供する車種別適合リストや取扱説明書を参照してください。

●チャイルドシートの例

身長40cm から83cm まで、かつ新生児から月齢15か月まで（体重13kg まで）



3点式のシートベルトで取り付けるタイプ。または ISOFIX ベースにより ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具で取り付けるタイプ。後ろ向きに取り付けてください。

身長76cm から105cm まで、かつ月齢15か月から4歳まで（体重9kg から22kg まで）



ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具とトップテザーアンカーを使用して取り付けるタイプ。前向きに取り付けてください。

身長100cm から150cm まで、かつ3.5歳から12歳まで（体重15kg から36kg まで）



ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具で取り付けるタイプ。3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。

お子さまは必ずシートベルトを着用してください。

このチャイルドシートは、可能な限り背もたれを取り付けた状態で使用してください。身長135cm 以上のお子さまの場合は、背もたれを取りはずした状態で使用できるタイプもあります。取りはずしは、製造メーカーの取扱説明書を参照し、指定に従って正しく行ってください。

MEMO

当社推奨のチャイルドシートは当社販売店にご相談ください。

安全に運転するために

1

- 助手席へのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）

後ろ向きチャイルドシート



後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。

⚠ 警告

後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。

前向きチャイルドシート



前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける際、助手席エアバッグの機能はキャンセルしないでください。

助手席の位置



バックレストをを起こし、シートを一番後ろまで下げてください。高さ調整機能が装備されている場合は、シートの高さを一番高い位置に調整してください。

⚠ 警告

シートベルトがしっかりと締まっていることを必ず確認してください。

- リアシートへのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）

後ろ向きチャイルドシート



後ろ向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、チャイルドシートが前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

前向きチャイルドシート



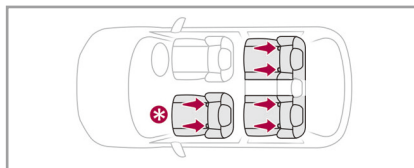
前向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

⚠ 警告

- シートベルトがしっかりと締まっていることを確認してください。
- 前向きチャイルドシートを取り付けるときは、車のバックレストに確実に固定されているか確認してください。また、バックレストとチャイルドシートの間のすき間が少なくなるようにしてください。
- レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。必要に応じて、前席のシート位置を調節してください。
- レッグサポート付きのチャイルドシートを後席中央に取り付けしないでください。

●ISOFIX チャイルドシートの取り付けかた

取り付け可能シート位置



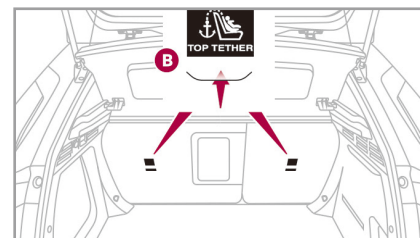
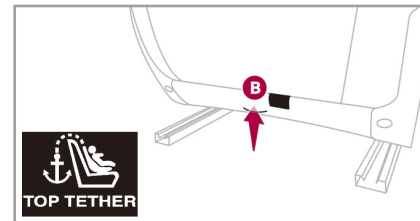
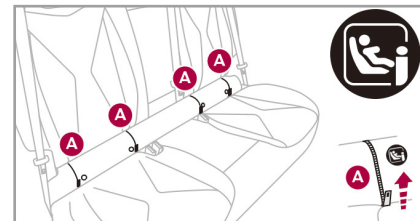
ISOFIX 規格のチャイルドシートを取り付けることができるシートを表しています。

取り付け可能なシート位置にはそれぞれ3つの **ISOFIX** 規格のチャイルドシートをワンタッチで固定するための金具が装備されています。



- 後席中央シートは **ISOFIX** チャイルドシートに対応していません。
- *：仕様により、助手席は **ISOFIX** チャイルドシートに対応していません。

取り付け金具



安全に運転するために

1

シートの背もたれとシートクッションの間に2つの金具 **A** があります。金具 **A** にジッパーが装備されている場合は、ジッパーを開けて使用してください。トップテザー対応のシートは、ストラップを背もたれ裏側のトップテザーアンカー **B** に装着してください。取り付け方法については、チャイルドシートの説明書に従ってください。

警告

- チャイルドシートは正しく取り付けてください。事故などの場合に十分な保護ができなくなるおそれがあります。
- チャイルドシートは製造メーカーの指定に従って正しくご使用ください。チャイルドシートに指定された適正な年齢や体格を無視すると、シートベルトにより傷害を受けるおそれがあります。



ISOFIX チャイルドシートを後席左側シートに取り付けるときは、後席中央シートのシートベルトを車内中央に寄せ、チャイルドシートがシートベルトの使用の妨げにならないようにしてください。

●i-Size チャイルドシート

i-Size チャイルドシートは、助手席*およびリアシートに設置されている、**ISOFIX** 規格のこの車専用チャイルドシートをワンタッチで固定するための金具に取り付けます。

* 仕様により異なります。

エアバッグ

エアバッグはENGINE START/STOPスイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときだけ作動します。

エアバッグは致命的な事故の際にフォーシリミッター付きシートベルトを補助して乗員を最大限守るように設計されています。

万一の際、エアバッグシステムが急激な減速を感知してそれがあつた到達点にまで達していたら即座にシステムが起動して乗員の保護を行います。

その直後エアバッグはしぼんで乗員が脱出しやすい空間を確保します。

エアバッグはシートベルトが十分フォロウできる範囲内の衝撃では開きません。

⚠ 警告

- 展開後のエアバッグ構成部品は熱くなつておりますので、やけどを負う可能性があります。
- 次の部品や部品の設定などが変更されるような装置の取り付けをしないでください。エアバッグが正常に作動しなくなつたり、誤つて作動するなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・車両フレーム
 - ・バンパーシステム
 - ・車高や全高
 - ・フロントエンド／サイドシートメタル
- 次の部品の改造をしないでください。エアバッグが正常に作動しなくなつたり、誤つて作動するなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・フロントシート
 - ・シートベルト
 - ・エアバッグセンサー／診断モジュール
 - ・ステアリング
 - ・インストルメントパネル

⚠ 警告

- ・内側ドアトリム（スピーカーを含む）
- ・エアバッグモジュール
- ・シーリング／ピラー
- ・フロントセンサー
- ・サイドインパクトセンサー
- ・エアバッグ回路
- 次のことを必ずお守りください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・お子さま、動物をエアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしないでください。また、ひざの上にものを抱えるなど、乗員とエアバッグの間にものを置かないでください。
 - ・エアバッグの作動の妨げになるようなものをエアバッグ格納部付近に貼り付けたり、置いたり、エアバッグ展開方向に置かないでください。また、次の部分にものを取り付けしないでください。エアバッグが展開したときに飛ばされて、ケガをするおそれがあります。
 - ・ステアリング
 - ・ダッシュボード

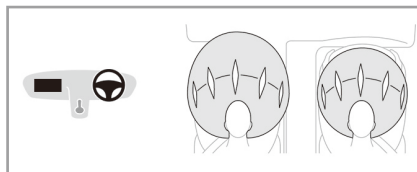
⚠ 警告

- シートの背もたれ
- 天井



- エアバッグは非常に速い速度で展開します。その際、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 展開後のエアバッグはガスが抜けてすぐしぼむようにできています。このガスには若干の刺激性があります。

●フロントエアバッグ



運転席エアバッグはステアリング中央部に収納されています。
助手席エアバッグはダッシュボード内に収納されています。助手席エアバッグは、助手席エアバッグキャンセルスイッチがOFFのときは展開しません。

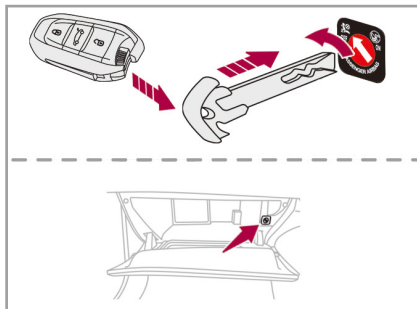
⚠ 警告

- ステアリングのスポーク部を握って運転したり、センターパッド部に手を置いて運転しないでください。
- 助手席に座る人は、ダッシュボードに足を乗せないでください。
- ステアリングをはずしたり、物を突き刺したり、激しく物を当てないでください。

⚠ 警告

- ステアリングホイールと助手席ダッシュボードには、エアバッグが組み込まれています。正しく作動させるために次のことをお守りください。
 - エアバッグの組み込まれた箇所にカバーをかけたり、ステッカーなどを貼らないでください。
 - 助手席側のダッシュボードの上に足や物を置いたり、立てかけたりしないでください。エアバッグがふくらむときに置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。
 - エアバッグや近くにある部品をむやみにはずさないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってエアバッグを作動させるとケガをするおそれがあります。
 - 喫煙中にエアバッグが作動するとケガややけどをするおそれがあります。
- ステアリングホイールやダッシュボードに近付きすぎる乗車姿勢では、作動したエアバッグによりケガをするおそれがあります。

● 助手席エアバッグキャンセルスイッチ



チャイルドシートを進行方向とは逆向きに助手席へ取り付けるときは、助手席のエアバッグが作動しないようにします。これはエアバッグが作動してふくらんだときの衝撃からお子さまを守るためです。

ON

助手席に大人が着席しているときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを **ON** にします。助手席エアバッグが作動します。チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けしないでください。



作動中は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、シートベルト着用／非着用ディスプレイに警告灯が約1分間点灯します。

OFF

チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けたときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にします。助手席エアバッグは作動しません。

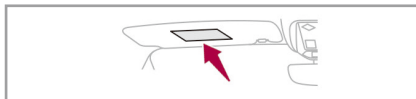
1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
2. グローブボックスを開きます。
3. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込み、**OFF** の位置にします。
4. そのまま緊急用キーを抜きます。



キャンセル中は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、シートベルト着用／非着用ディスプレイに警告灯が点灯します。

安全に運転するために

1



助手席サンバイザーに警告ラベルが貼り付けられています。

⚠ 警告

作動停止設定をしていない前側エアバッグで保護されている座席には、**絶対に**チャイルドシートを後ろ向きに装着しないでください。**お子様の死亡**または**重症**の原因になることがあります。

● サイドエアバッグ

前席の背もたれ側面（ドア側）に収納されており、横からの衝撃に対してのみ左右が独立して展開します。

⚠ 警告

- シートカバーは当社が推奨するものだけを使ってください。
- 背もたれにアクセサリなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- ドア側に近付きすぎた座りかたをしないでください。

● ファーサイドエアバッグ*

運転席の背もたれ側面（左側）に収納されており、横からの衝撃に対してのみ、サイドエアバッグと連動して展開します。

⚠ 警告

- シートカバーは当社が推奨するものだけを使ってください。
- 背もたれにアクセサリなどを取り付けたり貼ったりしないでください。

* 仕様により異なります。

●カーテンエアバッグ

ドアピラー部から天井にかけて収納されており、横からの衝撃に対し前席と後席の乗員を保護するために左右が独立して展開します。

⚠ 警告

- 天井やピラーにアクセサリなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- 天井に取り付けられているグリップハンドルをはずさないでください。カーテンエアバッグが機能するための一部になっています。

●故障しているときは

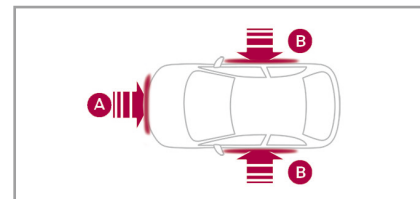


エアバッグに異常が発生したときは、エアバッグ警告灯および **SERVICE** 警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。この警告灯が点灯したときは、衝撃を受けてもエアバッグが作動しないことがあります。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠ 警告

エアバッグ警告灯が点灯しているときは、後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けしないでください。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●エアバッグの作動条件



- A. フロント衝撃ゾーン
- B. サイド衝撃ゾーン

フロントエアバッグの作動条件

フロント衝撃ゾーン **A** に、車両前方から後方へ縦方向の強い衝撃を水平に受けたときに、運転席エアバッグと助手席エアバッグが連動して作動します。助手席エアバッグの作動を解除しているときは、助手席エアバッグは連動して作動しません。

サイドエアバッグ／ファースイドエアバッグ*の作動条件

サイド衝撃ゾーン **B** に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、衝撃を受けた側が作動します。ファースイドエアバッグは、サイドエアバッグと連動して作動します。

カーテンエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーン B に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、サイドエアバッグと連動して作動します。

警告

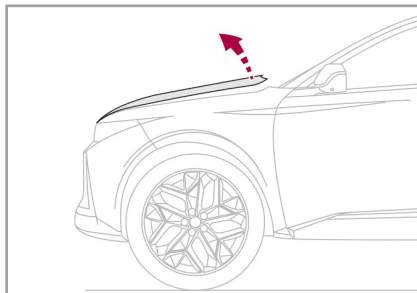
- 車両への衝撃の強さは、衝突時の車速や衝突した障害物によって異なります。
- 車両側面への衝撃や衝突が弱いとき、および横転、転覆したときは、エアバッグが作動しないことがあります。
- 正面衝突したとき、または、追突されたときは、サイドエアバッグ、ファースイドエアバッグ*、カーテンエアバッグは作動しません。
- エアバッグ単独では衝撃を吸収する効果が十分ではありません。必ず、シートベルトを正しく着用してください。
- エアバッグシステムの改造は絶対に行わないでください。



エアバッグは一度しか作動しません。フロントエアバッグ、サイドエアバッグ、ファースイドエアバッグ*、カーテンエアバッグが作動した場合は、シートや内装部材、コントロールユニットなどの交換が必要になります。事故のあとは、必ず当社指定サービス工場で点検や部品の交換を行ってください。

* 仕様により異なります。

アクティブボンネット



万一、歩行者と衝突したとき、車両前方への衝撃を感知すると、ボンネットの後部を瞬時に持ち上げ、エンジンルーム内の部品との空間を広く確保することで、歩行者の頭部への衝撃を軽減します。

アクティブボンネットの作動は音と発煙（無害）によって確認することができます。同時にエアバッグ警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

●故障しているときは



警告音とともにエアバッグ警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。アクティブボンネットは作動しません。当社指定サービス工場ですистেমの点検を受けてください。

⚠警告

- アクティブボンネットが作動したあとはボンネットの開閉を行わないでください。専門業者にけん引を依頼するか、時速30km以下で走行して、当社指定サービス工場で点検を受けてください。持ち上がったボンネットにより前方視界が妨げられないように、走行前に必ず運転席の座席高さを調整してください。
- アクティブボンネットを起動するための装置がボンネットの支柱近くにありま。爆発のおそれがありますので絶対に手を触れないでください。
- アクティブボンネットの改造は絶対に行わないでください。



アクティブボンネットは一度しか作動しません。事故や盗難の被害にあったあとは、必ず当社指定サービス工場ですystemの点検や部品の交換を行ってください。

走行する前に

●タイヤの点検

空気圧の確認

タイヤの空気圧は、スペアタイヤも含めて毎月1回ないし長距離を走行する前に点検してください。

適正値は、運転席側または助手席側のドアピラー部に表示されています。表示されている値は、タイヤの温度が低いときの値です。空気圧はタイヤの温度が上昇すると増加しますので、暖まっている状態で空気圧が高いからといって空気を抜かないでください。

間接式タイヤ空気圧警告灯（→ P.4-64）

車には、タイヤの空気圧に大きな変化があった場合に警告をする機能がついています。警告灯が点灯したら、直ちに空気圧を点検してください。また、空気圧を調整したあとは必ず初期化をしてください。

外観の点検

タイヤの接地面や両サイドに、著しい損傷や亀裂、釘や針金などの異物が刺さっていないかを点検してください。また、タイヤの接地面に部分的な異常摩耗がないかも点検してください。

スリップサイン

タイヤには、摩耗の限度を示すスリップサインが設けられています。タイヤの表面とスリップサインが同じ高さになったら、新品と交換してください。

使用燃料について

ガソリン車には、オクタン価が95オクタン（リサーチ法）以上の無鉛ガソリンを使用してください。

ガソリンスタンドにおける公称オクタン価は安定していないので、無鉛プレミアム（ハイオク）ガソリンの使用をお勧めします。ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm以下）を使用してください。

注 意

ガソリン車に粗悪ガソリンや有鉛ガソリン、有鉛プレミアムガソリン、アルコール含有燃料を使用したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を使用しますと、エンジン・触媒装置などに悪影響を与えるので、絶対に使用しないでください。

●ディーゼル車の燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結してしまい、燃料配管の詰まりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地へ到着するまでに燃料残量を半分以下にし、現地でできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安
JIS 特 1 号軽油	-
JIS 1 号軽油	-1℃
JIS 2 号軽油	-5℃
JIS 3 号軽油	-12℃
JIS 特 3 号軽油	-19℃

冬季の取り扱い

●冬季用タイヤ

積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬季用タイヤを装着することをお勧めします。

冬季用タイヤに交換するときは、必ず納車時に装着されていたタイヤと同じサイズのものをご使用ください。

当社販売店では、車に適した性能の冬季用スタッドレスタイヤも用意しております。

スタッドレスタイヤは、車のバランスを保つために4輪全部に装着してください。

雪道や凍結した道路では、スタッドレスタイヤでも万全ではありません。運転には十分ご注意ください。

安全に運転するために

1

●スノーチェーン、スノーネット

スノーチェーン、スノーネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に装着してください。

取り付けは、平坦な安全な場所で、それぞれの取扱説明書に従って確実に行ってください。

チェーンやネットの装着後は、100m 程度走行してゆりみや車体への当たりがないかを確認してください。

当社販売店では、それぞれのタイヤに合わせた専用チェーンやネットを用意しております。

注 意

- アルミホイール装着車は、スノーチェーンを取り付けたら、スノーチェーンがアルミホイールに接触していないことを確認してください。接触していると、アルミホイールに傷が付くおそれがあります。
- スペースセーバータイヤには、スノーチェーン、スノーネットを装着しないでください。車体に接触し、車体を損傷したり走行に悪影響をおよぼしたりするおそれがあります。
- 雪道や凍結路以外ではスノーチェーン、スノーネットを取りはずして走行してください。路面を損傷したり、スノーチェーン、スノーネット、タイヤの寿命を短くします。



- 市販されているタイヤチェーンの中には、サイズが合っても装着できないものがあります。
- スノーチェーン、スノーネットに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。

スタッドレスタイヤやスノーチェーンは、当社販売店で求めください。

●その他

- ・冬季には、12Vバッテリーに高い負荷がかかります。12Vバッテリーは常にフル充電にしてください。
- ・非常に冷え込んだ天候のときは、パーキングブレーキが凍結することがあります。温度が非常に低い日は、パーキングブレーキの使用を避け、シフトポジションを **P** にして輪止めをかけてください。
- ・ライト類や方向指示器などは、冬季は非常に汚れやすくなります。定期的に清掃するように心がけてください。
- ・キーシリンダーには、潤滑剤を使用して注油しておいてください。
- ・ドアのゴム製シールには、凍結を防ぐためにシリコン潤滑油を塗付します。
- ・空気取り入れ口は、いつもきれいに保つようにしてください。
- ・雪隔け時には特に車が汚れます。また、融雪剤には塩分を含んでいるものがあります。こまめに車全体を洗淨し、車体の下やホイールアーチ部もよく洗ってください。

保安炎筒



車室内に備えつけてあります。

踏み切りや高速道路などの危険な場所で故障したときに使用します。

使用方法は、保安炎筒に記載してあります。あらかじめよく読んでおいてください。

発炎時間は約5分間です。

保安炎筒に表示してある有効期間が切れる前に、新品をお求めになり交換してください。

⚠ 警告

- お子さまに触らせないでください。いたずらなどによる発火で、思わぬ事故になるおそれがあります。
- ガソリンなどの可燃物の近くでの使用は危険です。また、炎を顔や体に向けるとやけどの危険があります。

⚠ 注意

- 非常用信号としてのみご使用ください。
- トンネル内ではハザードランプを使用してください。トンネル内で使用すると、煙により視界が悪くなり危険です。

触媒コンバーター

DS 4には、日本の排気ガス基準に適合させるために、触媒コンバーターが装着されています。

●触媒コンバーター装着車についてのご注意

- ・燃料は、ガソリン車には必ず無鉛ガソリンを使用し、ディーゼル車には指定の軽油を使用してください。指定以外の燃料は触媒を傷めます。
- ・燃料は早めに補給してください。
- ・ミスファイヤなどのエンジン不調のときは、運転を避け、故障箇所を直ちに修理してください。

警告

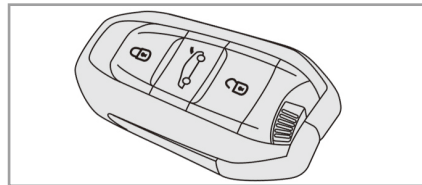
長時間のエンジンの空ぶかしはしないでください。触媒コンバーターが過熱して発火、火災に至ることがあります。

第2章 各部の開閉のしかた

プロキシミティキーレスエントリー……………	2-2
イモビライザー（盗難防止システム）……………	2-11
ドア／ドアロック／チャイルドセーフティ……………	2-13
アラーム……………	2-18
パワーウィンドウ……………	2-22
スライディングガラスルーフ……………	2-25
ボンネット……………	2-28
テールゲート……………	2-29
ハンズフリーエレクトリックテールゲート……………	2-31
フュエルリッド（給油口）……………	2-38

各部の開閉のしかた

プロキシミティキーレスエントリー



DS 4には、スマートキーを携帯しているだけで、ドアやテールゲートの解錠／施錠やエンジンの始動ができる、プロキシミティキーレスエントリー機能が装備されています。

プロキシミティキーレスエントリー機能は、スマートキーを携帯して車両の検知エリアに入る／出るとドアやテールゲートの解錠／施錠が自動的に行われます。また、スマートキーをリモコンとして使い、ボタンの操作で施錠／解錠することもできます。スマートキーには緊急用キーが付いています。

警告

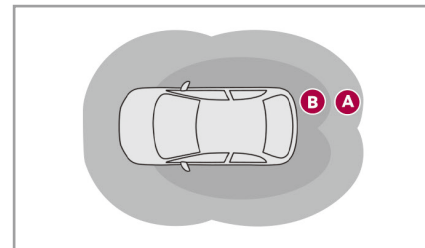
リモコンの電波が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。



スマートキーの内部には電子装置が組み込まれています。故障を防ぐために、次のことをお守りください。

- ・パソコンなどの電化製品の近くに放置しない
- ・水に濡らさない
- ・強い衝撃を与えない
- ・磁気を帯びたものに近づけない
- ・ダッシュボードの上など、直射日光が当たる場所や高温になる場所に放置しない
- ・超音波洗浄機などで洗浄しない
- ・湿気やほこりの多い環境に放置しない

●プロキシミティキーレスエントリー機能の作動範囲



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能の検知エリアはゾーンA、ゾーンBに分けられます。

ゾーンA：車両から約2mの範囲です。車両から離れてゾーンAから出ると自動的に車両が施錠されます。

ゾーンB：車両から約1.5mの範囲です。ゾーンBに入ると自動的に車両が解錠されます。

注意

検知エリアにスマートキーがある場合は盗難に注意してください。



スマートキーは微弱な電波を使用しています。以下の場合、正常に作動しなかったり、不安定な動作になったりすることがあります。その場合は、スマートキーをこれらの設備や機器から離して使用してください。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているとき
- スマートキーが金属に接していたり、覆われたりしているとき

●解錠

ドアの解錠の仕様を、以下の2つから選択することができます。

1. 通常解錠モード
すべてのドアおよびテールゲートを同時に解錠する（フュエルリッドも解錠）
2. 選択解錠モード
最初の操作で運転席ドアのみ解錠する（フュエルリッドも解錠）。次の操作でその他のドアおよびテールゲートを解錠する

設定の変更は、次の方法で行います。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. 車両設定をタップします。
4. 車両へのアクセスをタップします。
5. ドアロックの解除:運転席のみをタップしてオンにすると選択解錠モードになります。



初期設定は通常解錠モードになっています。

各部の開閉のしかた

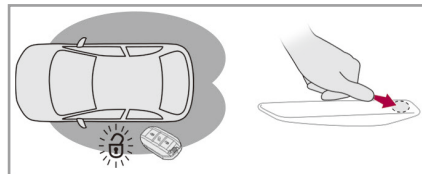
● 通常解錠モード

リモコンを使用する



車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



スマートキーを携帯してゾーンBに入ります。または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、いずれかのドアのドアハンドルを軽く押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

● 選択解錠モード

リモコンを使用する



車に向けてリモコンの解錠ボタンを1回押します。運転席ドアのみが解錠され、運転席ドアのドアハンドルのみが展開します。もう1度解錠ボタンを押すと、その他のドアおよびテールゲートが解錠され、その他のドアのドアハンドルが展開します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する

スマートキーを携帯して運転席側のゾーンBに入ります。または、スマートキーを携帯して運転席ドアのドアハンドルを軽く押します。運転席ドアのみ解錠され、運転席ドアのドアハンドルのみ展開します。その他のドアおよびテールゲートを解錠するには、スマートキーを携帯してその他のドアのドアハンドルを軽く押す、すべてのドアが閉じている状態で車内で運転席ドアにある集中ロックボタンを2回押す、またはその他のドアの内側ドアハンドルを引きます。すべてのドアのドアハンドルが展開します。



- 解錠するとハザードランプが数秒間点滅します。* ドアミラーは最初の解錠と同時に展開します。
- 解錠したあと、30秒以内にドアまたはテールゲートを開かないと、自動的に再度施錠されます。
- ドアの解錠の仕様が選択解錠モードに設定されているときは、スマートキーが解錠操作するドア側の検知エリアにないと、ドアハンドルを押してもドアやテールゲートを解錠することはできません。また、スマートキーを携帯して運転席側以外のゾーンBに入ることによってドアやテールゲートを解錠することはできません。

* 仕様により異なります。



- スマートキーがプロキシミティキーレスエントリー機能の作動範囲内にあるとき、ドアの操作をしないで15分以上経過すると、プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能が停止します。車両を施錠／解錠するには、リモコンを使用するか、いずれかのドアのドアハンドルを軽く押します。ドアハンドルを押しても車両の施錠／解錠ができない場合は、スマートキーを車両に近づけてからもう一度操作してください。

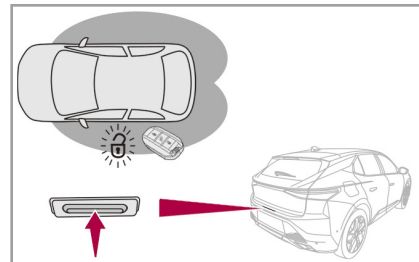
●テールゲートの解錠

リモコンを使用する



車に向けてリモコンのテールゲートオープナーボタンを長押しします。すべてのドアおよびテールゲートが解錠され（すべてのドアのドアハンドルが展開します）、テールゲートが少し開きます。ハンズフリーエレクトリックテールゲートの自動開閉の機能がオンになっているとテールゲートが開きます。*

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、テールゲートのスイッチを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠され（すべてのドアのドアハンドルが展開します）、テールゲートが少し開きます。ハンズフリーエレクトリックテールゲートの自動開閉の機能がオンになっているとテールゲートが開きます。*

各部の開閉のしかた

テールゲートの解錠の仕様を変更する

テールゲートの解錠の仕様を選択解錠モードに変更することができます。ドアやフュエルリッドは施錠された状態のまま、テールゲートのみ解錠します。

設定の変更は、次の方法で行います。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **車両へのアクセス**をタップします。
5. **ドアロックの解除：トランク／テールゲートのみ**をタップしてオンにすると選択解錠モードになります。



- 解錠するとハザードランプが数秒間点滅し*、同時にドアミラーが展開します。
- テールゲートの解錠の仕様が選択解錠モードに設定されているときは、スマートキーがテールゲート周辺の検知エリアにないと、テールゲートのスイッチを押してもテールゲートの解錠はできません。また、スマートキーを携帯してテールゲート側のゾーンBに入ることによってテールゲートを解錠することはできません。
- テールゲートの解錠の仕様が選択解錠モードに設定されているときは、テールゲートを解錠したあと、その他のドアが解錠されていない状態でテールゲートを閉じると自動的に施錠されます。
- テールゲートを解錠したあとは、必ずテールゲートを閉じて施錠してください。

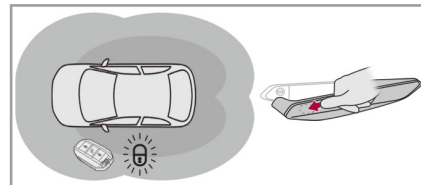
●施錠

リモコンを使用する



車に向けてリモコンの施錠ボタンを押します。ブザーが鳴り、すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



スマートキーを携帯し、車両から離れてゾーンAから出ます。ブザーが鳴り、すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、いずれかのドアのドアハンドルを軽く押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。



- ドアの解錠モードが選択解錠モードに設定されているときは、スマートキーが施錠操作するドア側の検知エリアにないと、プロキシミティキーレスエントリー機能を使用した施錠はできません。*
- 車両のロックが解除されているとき、ドアハンドルが格納されている場合は、ドアハンドルを押すと展開します。もう一度ドアハンドルを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。*
- リモコンの施錠ボタンを押し続けると、パワーウィンドウ*およびスライディングガラスルーフ*が自動的に閉まります。もう一度リモコンの施錠ボタンを押すと、パワーウィンドウおよびスライディングガラスルーフが停止します。仕様により、パワーウィンドウおよびスライディングガラスルーフの閉動作開始前にブザーが鳴ります。



- 施錠するとハザードランプが数秒間点灯する*とともにブザーが2回鳴り、同時にドアミラーが格納します。
- 以下のときは、施錠できません。
 - ・ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリポジションのとき
 - ・エンジンが始動している状態のとき
 - ・いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉まっていないとき
 - ・スマートキーが車内にいるとき



- スマートキーのバッテリーや12Vバッテリーの消費を抑えるために、以下のような状態になることがあります。
 - ・約1週間車両を使用しないと、スタンバイモードとなってプロキシミティキーレスエントリー機能の自動解錠機能が停止します。車両のロックを解除するには、リモコンの解錠ボタンを押すか、いずれかのドアのドアハンドルを軽く押します。その後、エンジンを始動するとプロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能が再開されます。
 - ・長期間（3週間以上）車両を使用しないと、スタンバイモードとなってプロキシミティキーレスエントリー機能が自動的に停止します。機能を復帰させるには、リモコンの解錠ボタンを押して車両のロックを解除してからエンジンを始動してください。これは車外に保管しておいた予備キーでも同様です。

*仕様により異なります。

⚠ 警告

リモコンの施錠ボタンを使用してパワーウィンドウおよびスライディングガラスルーフ*を閉めるときは、乗員が手や頭など、体を挟まれないように確認してから操作してください。

● スーパードアロック*

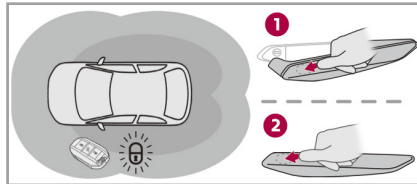
盗難防止のために、仮にガラスを壊すなどしても内側からドアロックが解除できなくなる機能です。

リモコンを使用する



施錠ボタンを押して、すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。3秒以内に再度施錠ボタンを押します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、いずれかのドアのドアハンドルを軽く押して、すべてのドアおよびテールゲートを施錠します①。3秒以内に再度ドアハンドルを軽く押します②。



- スーパードアロックの操作をしたあと、ブザーが2回鳴った場合はスーパードアロックがかかっていません。操作をやり直してください。
- 車両のロックが解除されているとき、ドアハンドルが格納されている場合は、いずれかのドアのドアハンドルを軽く押すと展開します。もう一度ドアハンドルを軽く押すとすべてのドアとテールゲートが施錠されます。3秒以内に再度ドアハンドルを軽く押すとスーパードアロックがかかります。*
- スーパードアロックがされているときも、ステアリングホイールのホーンを使用することができます。

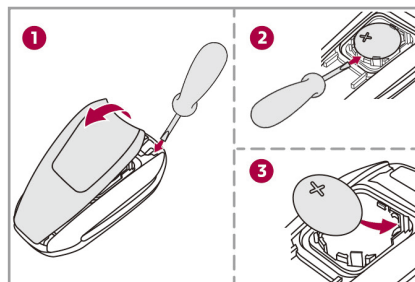
⚠ 警告

- 車内に人がいるときは、スーパードアロックをかけないでください。車内からドアロックが解除できず、閉じ込められてしまいます。

*仕様により異なります。

⚠ 警告

- お子さまだけを車内に残して車を離れないでください。思わぬ事故やケガのもととなります。

● 電池 (CR2032 3V) の交換

リモコンの電池が消耗すると、メッセージが表示されます。

切れ込みに細いドライバーなどを差し込んでケースを開け①、電池を交換してください②③。

⚠ 警告

- 電池交換の際には、お子さまが誤って飲み込むなどしないよう注意してください。化学やけど（化学熱傷）のおそれがあります。
- スマートキーのボタン電池を飲み込むとわずか2時間で重度の化学やけど（化学熱傷）を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。誤ってスマートキーのボタン電池を飲み込んでしまった、または体の一部に入れてしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- 交換用電池および使用済みの電池は、お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- スマートキーのケースがしっかりと閉まらない場合は、そのまま使用せず、お子さまの手の届かない場所で保管してください。また、すみやかに当社指定サービス工場での点検を受けてください。
- 交換用電池は同じ種類の電池を使用してください。異なる種類の電池を使用すると、電池が爆発するおそれがあります。

⚠ 警告

● 次のことを必ずお守りください。電池が爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れるおそれがあります。

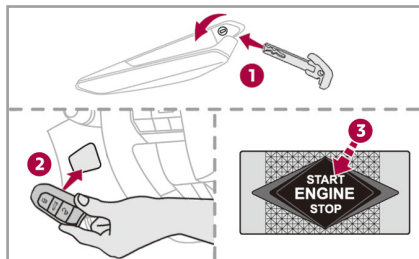
- 温度が極端に高い場所や、高度が高く気圧が極端に低い場所で電池を使用したり、保管したり、持ち込んだりしないでください。
- 新しい電池および使用済みの電池を燃やしたり、つぶしたり、切ったりしないでください。

MEMO

- 交換用電池は当社指定サービス工場でお求めいただけます。
- 環境汚染防止のため、使用済みの電池は正しく廃棄してください。

● リモコンの初期化

電池交換のあとなどにリモコンが作動しなくなったら、以下の手順で初期化をしてください。



1. 助手席ドアのドアハンドルを押し込んで展開します。
2. ドアハンドルを引き、緊急用キー①をドアの鍵穴に差し込みます。
3. ドアハンドルを少し戻し、緊急用キーを回して解錠します。
4. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
5. シフトポジションがPになっていることを確認します。
6. ステアリングコラムのリーダ②にスマートキーを当てます。
7. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチ③を押してエンジンを始動します。

MEMO

- 初期化の手順を行ってもリモコンが作動しないなど、不具合が解消しない場合は、当社指定サービス工場へご連絡ください。
- キーナンバーのついたタグを保管しておいてください。スマートキーを紛失して、新しいスマートキーを作成する際にこの番号が必要となります。
- 車を離れる際、ポケットの中などでリモコンのボタンを誤って押さないようご注意ください。気がつかないうちに車のロックが解除されてしまうおそれがあります。また、車から離れたところで何度もボタンを押すと、認識されなくなることがあります。その際は初期化をしてください。
- アラームがセットされているときに緊急用キーを使用して解錠し、ドアを開けると警報が鳴ります。警報を止めるには**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにするか、エンジンを始動してください。*

* 仕様により異なります。

イモビライザー (盗難防止システム)

DS 4には、イモビライザー（盗難防止装置）が装備されています。

これはスマートキーの内部に車を識別する装置が内蔵されており、車側とのコードが合致しないときは、エンジンの始動ができないようにするものです。

●スマートキー

車とともにお渡しするスマートキーの内部（プラスチック部分）には、車を識別する電子装置が内蔵されています。

それぞれのスマートキーは、車ごとに個別のコードが登録されています。

ENGINE START/STOPスイッチを押すと、車のイモビライザーシステムがこのコードを読み取って、エンジンの始動を可能にします。

もしコードが設定されていなかったり異なるコードのときは、エンジンを始動することはできません。

ENGINE START/STOPスイッチをオフにすると、システムは直ちにエンジンをロックします。

システムに異常が発生したときは、**ENGINE START/STOP**スイッチを押すと、メッセージが表示されます。エンジンは始動しません。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

- 車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。
- イモビライザーの改造をしないでください。故障の原因になるおそれがあります。

各部の開閉のしかた

●スペアキー

車とともにお渡しするスペアキーにもコードが登録されています。

もし予備のスマートキーが必要なとき、あるいはスマートキーを取り替えるときには、すべてのスマートキーを登録し直す必要があります。お手持ちのすべてのスマートキーを当社指定サービス工場にご持参の上、登録作業をお申し付けください。

注 意

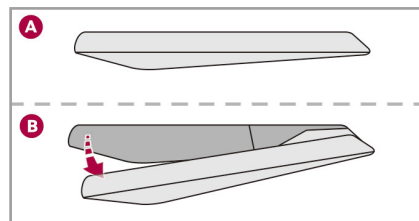
万一、スマートキーを紛失したり盗難にあった場合は、安全のために他のスマートキーを登録し直して失ったスマートキーを無効にする（エンジンを始動できなくする）ことをお勧めします。お近くの当社指定サービス工場にご相談ください。



新しいスマートキーを購入しても、イモビライザーシステムにコードを登録しないかぎり、そのスマートキーでエンジンを始動することはできません。

ドア／ドアロック／チャイルドセーフティ

●リトラクタブルドアハンドル



リトラクタブルドアハンドルは車両の施錠／解錠に合わせて自動的に格納A／展開Bします。

格納する

施錠する、または時速3km以上で走行すると自動的に格納します。

展開する

解錠する、内側ドアハンドルを引いてドアを開ける、または運転席ドアの集中ドアロックボタンを押す（施錠状態のとき：1回押す、解錠状態のとき：2回押す）と自動的に展開します。また、リトラクタブルドアハンドルを軽く押すと展開します。

注 意

ドアハンドルを押し込む動作を繰り返し行くと、リトラクタブルドアハンドルが破損し、展開しなくなるおそれがあります。



- リトラクタブルドアハンドルは、展開後にドアを開閉すると、約3分後にドアの解錠状態を保ったまま自動的に格納されます。
- 12Vバッテリーが上がっているときなど、リトラクタブルドアハンドルが作動しないときは、ドアハンドルを押し込むと展開します。そのまま引き出し、鍵穴に緊急用キーを差し込んでドアを解錠／施錠できます。
- 低温などのためにドアハンドルが凍結し、リトラクタブルドアハンドルが作動しないときは、ドアハンドルを押し込むと展開します。

●車外からドアを開ける

車両を解錠するとドアハンドルが展開します。ドアハンドルを引くとドアが開きます。詳細はP.2-2の「プロキシミティキーレスエントリー」項を参照してください。

各部の開閉のしかた

●車内からドアを開ける

内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。ドアの解錠の様子が選択解錠モードになっているときは、運転席側の内側ドアハンドルを引くと、運転席ドアのロックのみ解除され、運転席ドアのドアハンドルが展開します。その他のドアの内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。



スーパードアロックがされているときは内側ドアハンドルでは一切ドアを開けることができません。*

●半ドア警告



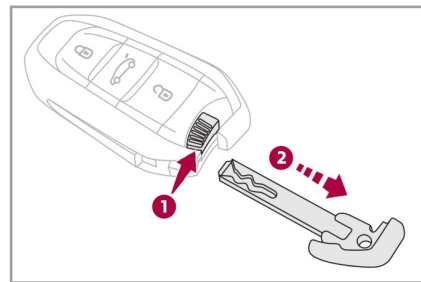
エンジンが始動している状態でドアを開けると、警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。そのまま走行すると、時速10km以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

●緊急用キー

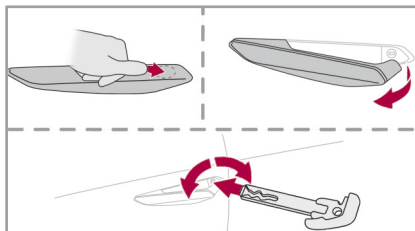
以下のようにスマートキーの機能が使用できないときは、助手席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠／解錠します。

- ・スマートキーで施錠／解錠できないとき
- ・スマートキーの電池がないとき
- ・車両が強い電磁波などを受けているとき

1. スマートキーのレバー①を押して、緊急用キー②を取り出します。



*仕様により異なります。



2. 助手席ドアのドアハンドルを押し込んで展開します。
3. ドアハンドルを引き、緊急用キーをドアの鍵穴に差し込みます。
4. ドアハンドルを少し戻し、緊急用キーを回して施錠または解錠します。



- アラームがセットされているときに緊急用キーを使用して解錠し、ドアを開けると警報が鳴ります。警報を止めるには**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにするか、エンジンを始動してください。*
- 仕様により、緊急用キーで施錠してもアラームはセットされません。*

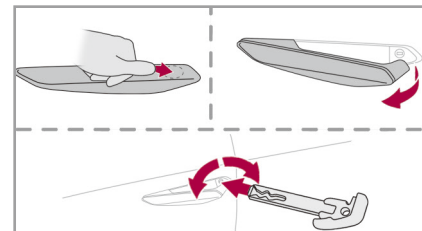


- 緊急用キーを取り出したら、なくさないように注意してください。
- 緊急用キーで車両を解錠した場合は、解錠後にドアまたはテールゲートを開けずに30秒以上経過しても自動的に再度施錠されません。

●マニュアルロック（非常時）

12Vバッテリーが上がっているときや、12Vバッテリーの接続をはずしているときなどで、集中ドアロックが作動しないときには次の方法でドアをロックすることができます。

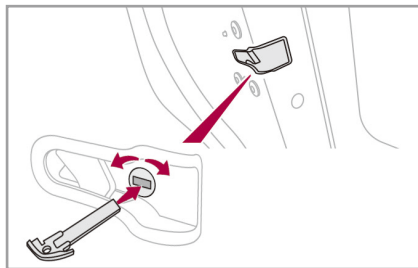
助手席ドア



1. 助手席ドアのドアハンドルが格納されている場合は、ドアハンドルを押し込んで展開します。
2. ドアハンドルを引き、緊急用キーをドアの鍵穴に差し込みます。
3. ドアハンドルを少し戻し、緊急用キーを回して施錠または解錠します。

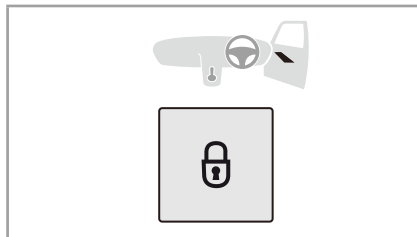
各部の開閉のしかた

運転席ドア／後席ドア



1. 後席ドアはチャイルドセーフティが解除されていることを確認します。
2. 緊急用キーを穴に差し込み、右側のドアは左方向に、左側のドアは右方向に回します。
3. ドアを閉めます。

● ドアロック／オートドアロック



運転席ドアにある集中ロックボタンを押すと、車両が施錠されます。施錠すると集中ロックボタンのインジケーターが点灯／点滅します。もう一度押すと車両が解錠されます。いずれかのドアまたはテールゲート*が開いている場合には内側からの集中ロックはできません。



- 運転席ドアの集中ロックボタンを使用してリトラクタブルドアハンドルを展開するには、施錠状態のときはロックボタンを1回押します。解錠状態のときは2回押します。
- 外側から施錠されている場合、またはスーパードアロック*がかかっている場合は、インジケーターが点滅し、集中ロックボタンを押しても解錠しません。外側から施錠されている場合は、内側ドアハンドルを引いて解錠してください。スーパードアロックがかかっている場合は、キー、リモコンもしくはプロキシミティキーレスエントリー機能を使って解錠してください。

*仕様により異なります。

● オートドアロック機能

時速10km以上で走行すると、自動的に施錠されます。

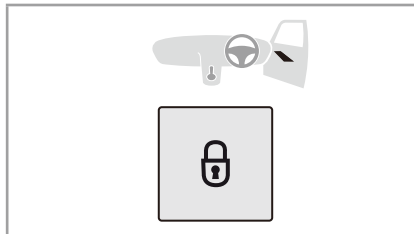


完全に閉まっていないドアやテールゲートがあると、オートドアロックは作動しません。警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

⚠ 警告

オートドアロックされている状態では、非常時に救助活動のため外部からドアを開けることが困難となる場合があります。

● オートドアロック機能のオン／オフ



機能进行オンにするには

運転席ドアにある集中ロックボタンを2秒以上押し続けます。

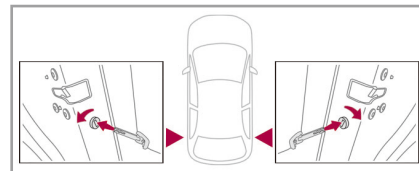
警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

機能进行オフにするには

運転席ドアにある集中ロックボタンを再度2秒以上押し続けます。

警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

● チャイルドセーフティ



車内のドアハンドルで後席ドアを開けられなくすることができます。お子さまの危険防止に有効です。

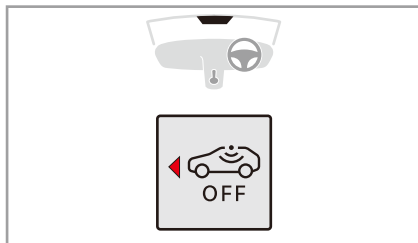
チャイルドセーフティを作動させるには、緊急用キーをドアの端部にある穴に差し込み、左側のドアは左方向に、右側のドアは右方向に回します。

チャイルドセーフティを解除するには、緊急用キーをドアの端部にある穴に差し込み、左側のドアは右方向に、右側のドアは左方向に回します。



チャイルドセーフティが作動していても、外からドアを開けることができます。

アラーム*



DS-4には、車の盗難や車の内外へのいたずらを防止するアラームシステムが備えられています。

● アラームの検知の種類

外部検知

監視状態で、ドアやテールゲート、ボンネットなどが開けられると作動します。

内部検知

監視状態で、ウィンドウが壊されたり、車内の動きを感知すると作動します。

傾き検知

監視状態で、ジャッキアップされたりレッカー車などで持ち上げられて、傾きや振動を感知すると作動します。

改ざん検知

サイレンやコントロールユニット、バッテリーの接続が切断されると作動します。

注意

- アラームシステムの改造をしないでください。
- アラームシステムの点検や整備は当社指定サービス工場にお申し付けください。



駐車時に衝撃を受けた場合は、傾き検知による警報が作動しない場合があります。

*仕様により異なります。

●アラームのセット

1. ENGINE START/STOP スイッチをオフにして、車の外へ出ます。
2. リモコンの施錠ボタンを押す、スマートキーを携帯していずれかのドアのドアハンドルを押す、またはプロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠機能*で施錠します。
3. アラームがセットされます。アラームボタンのインジケーターが1秒間に1回点滅します。



- アラームがセットされるまでに以下の時間がかかります。
 - ・外部検知：5秒
 - ・内部検知：45秒
 - ・傾き検知：45秒
- 完全に閉まっていないドアやテールゲートがあると、ドアロックは作動しません。ただし、リモコンの施錠ボタンを押す、またはスマートキーを携帯していずれかのドアのドアハンドルを押して施錠操作した場合は、ドアロックが作動しなかった場合でも、45秒経過後に外部検知、内部検知および傾き検知が同時にセットされます。*
- 施錠時にパノラミックサンルーフが開いていた場合は、外部検知のみセットされます。内部検知／傾き検知はセットされません。*
- 仕様により、ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠すると、アラームはセットされません。



- 車内に人がいるときはアラームをセットしないでください。人が車内で動いたときや、ドアを開けたときなどにアラームが作動します。
- すべてのドアおよびテールゲートを閉じてから約2分経過すると、施錠されていない状態でも自動的にアラームがセットされます。この状態でドアまたはテールゲートを開けるとアラームが作動します。アラームを作動させないためには、リモコン、いずれかのドアのドアハンドルを使用して施錠、解錠の順に操作してからドアを開けて乗車してください。*
- アラームがセットされている状態でも、車内に現金や貴重品を置いたままにしないでください。盗難のおそれがあります。

各部の開閉のしかた

● アラームの解除

車両を解錠するとアラームが解除されます。アラームが解除されると、アラームボタンのインジケーターが消灯します。



- 緊急用キーを使用して車両を解錠するとアラームは解除されません。そのままドアを開けると警報が鳴ります。
- 解錠したあと、30秒以内にドアまたはテールゲートを開かないと、自動的に再施錠され、アラームがセットされます。

● アラームの作動

約30秒間、警報が鳴ってハザードランプが点滅します。その後、アラームは停止しますが、引き続きセット状態が維持されます。



- 警報を止めるには、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動してください。
- アラームが連続して10回作動すると、11回目で作動が停止します。
- 車両を解錠したあと（緊急用キーで解錠した場合を除く）、アラームボタンのインジケーターが速く点滅する場合は、車を離れている間にアラームが作動したことを示しています。**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動するとインジケーターが消灯します。

● 外部検知アラームだけのセット

次の場合は、内部検知／傾き検知をキャンセルする必要があります。

- ・ウィンドウを少し開けた状態で車を離れるとき
- ・洗車するとき
- ・ホイールを交換するとき
- ・けん引されるとき
- ・海上運送するとき

1. **ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてから10秒以内に、アラームボタンのインジケーターが点灯するまでアラームボタンを押します。
2. 車の外へ出ます。
3. リモコンの施錠ボタンを押す、スマートキーを携帯していずれかのドアのドアハンドルを押す、またはプロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠機能*で施錠します。
4. 外部検知アラームだけがセットされます。アラームボタンのインジケーターが1秒間に1回点滅します。

*仕様により異なります。



内部検知／傾き検知は、アラームを解除すると回復します。キャンセルする必要があるときは、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにする度に設定してください。

● リモコン／プロキシミティキーレスエントリー機能の故障

アラームのセット状態でリモコンもしくはプロキシミティキーレスエントリー機能を使用しても解錠できないときは、次のようにアラームを解除します。

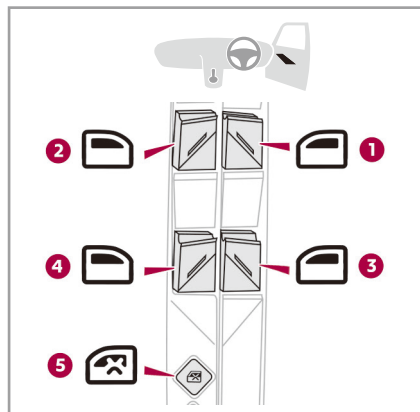
1. 緊急用キーを使用して助手席ドアを解錠します。
2. ドアを開けます（アラームが作動）。
3. **ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動します（アラームが停止しアラームボタンのインジケーターが消灯）。

● アラームの故障

ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリポジションにしたとき、またはエンジンを始動したとき、アラームボタンのインジケーターが点灯する場合は、アラームに異常があります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

各部の開閉のしかた

パワーウィンドウ



- ①：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
- ②：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
- ③：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
- ④：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
- ⑤：リアウィンドウキャンセルボタン

● マニュアルウィンドウ開閉

スイッチを軽く押ししたり引いている間だけウィンドウが開閉します。スイッチから手を離すと同時にウィンドウも停止します。

● ワンタッチ開閉

スイッチを1回強く押すか引くと、スイッチから手を離しても、ウィンドウは自動的に全開閉します。
途中で止めるときは、再度スイッチを押すか引きます。



ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてから約45秒間、パワーウィンドウの操作ができます。それ以降は、再度 **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動してから操作をしてください。

● リアウィンドウキャンセルボタン



リアウィンドウキャンセルボタン⑥を押すと、ボタンのインジケーターが点灯し、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなります。

再度ボタンを押すとボタンのインジケーターが消灯し、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができるようになります。



- 後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなっているときも、運転席ドアにある後席ウィンドウ開閉スイッチでの操作は可能です。
- お子さまが乗車中は、リアウィンドウキャンセルボタンを使用して、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができないようにすることをとお勧めします。

● 挟み込み防止機能

パワーウィンドウには、挟み込み防止機能が付いており、障害物があると上昇をやめて数センチ下降します。



挟み込み防止機能が作動したら、パワーウィンドウ周辺に障害物がないか確認し、取り除いてください。挟み込み防止機能が約10秒以内の間隔で3回続けて作動すると、挟み込み防止機能が働かない状態になる場合があります。それ以降は、マニュアルウィンドウ開閉でのみウィンドウを閉じることができます。パワーウィンドウの再初期化を行うと、パワーウィンドウが正常に動作するようになります。挟み込み防止機能が働かない状態のときは、乗員が手や頭など、体を挟まれないように確認してから操作してください。

● パワーウィンドウの再初期化

12Vバッテリーをはずしたあとなど正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチを引いてウィンドウを全閉にします。
2. ウィンドウが全閉したら、いったんスイッチから手を離し、再度スイッチを1秒以上引き続けてください。

⚠ 注意

初期化中は挟み込み防止機能は働きません。安全に配慮してください。



パワーウィンドウが正常に動作しない状態のときは、次の操作ができない場合があります。

- ・自動でウィンドウを全閉する操作
- ・リモコンの施錠ボタンを押しながらウィンドウを閉じる操作

警告

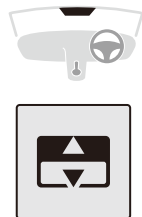
- 走行中や一時停止したときに開いたウィンドウから手や頭、ものなどを出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- 運転者が運転席以外のウィンドウを操作する場合は、ウィンドウを閉めるのに障害物がないか確認をしてください。
- ウィンドウを閉めているとき、誤って障害物などが接触したときは、直ちにウィンドウを開けてください。
- 乗員がウィンドウを閉める際には運転者がその操作に対して注意を払ってください。
- お子さまにはウィンドウの操作をさせないでください。
- 車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携帯してください。

注意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上ウィンドウやドアシールから離してご使用ください。

*仕様により異なります。

スライディングガラスルーフ *



● ガラスルーフ

開くとき

スイッチの後ろを1回軽く押すと、ガラスルーフがチルトアップした状態になります。

スイッチの後ろを軽く押し続けると、押している間はガラスルーフが開きます。スイッチから手を離すとガラスルーフが停止します。

スイッチの後ろを1回強く押すと、ガラスルーフは自動的に全開します。途中で止めるときは、再度スイッチを押します。

閉じるとき

スイッチの前を軽く押し続けると、押している間はガラスルーフが閉じます。スイッチから手を離すとガラスルーフが停止します。

スイッチの前を1回強く押すと、ガラスルーフは自動的に全閉します。途中で止めるときは、再度スイッチを押します。



- ガラスルーフを開くとサンシェードが連動して開きます。ガラスルーフをチルトアップすると、サンシェードが少し開きます。ガラスルーフを閉じてもサンシェードは連動して閉じません。



- **ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときにガラスルーフを開閉できます。また、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてから約45秒間は、ガラスルーフの操作ができます。それ以降は、再度**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動してから操作してください。

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリポジションのときでも、エコノミーモードに入るとガラスルーフの操作はできなくなります。

- ストップ&スタートの停止モードのときもガラスルーフを開閉できます。

各部の開閉のしかた

2

● 挟み込み防止機能

ガラスルーフには、挟み込み防止機能が付いており、閉作動中に障害物があるとガラスルーフが止まって少し開きます。



ガラスルーフの開閉を手動で停止させたり、ガラスルーフを手動で動かしたりすると、挟み込み防止機能が作動しなくなることがあります。挟み込み防止機能を復帰させるには、ガラスルーフを初期化してください。

● ガラスルーフの初期化

12Vバッテリーをはずしたあとなど、正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチの前を押し続けます。ガラスルーフが少しずつ閉方向に動きます。
2. そのままの状態、ガラスルーフが全閉し、再度少し開閉するのを確認します。
3. 開閉動作が完了したら、約1秒後にスイッチから指を離します。



ガラスルーフが正常に動作しない状態のときは、次の操作ができない場合があります。

- 自動でガラスルーフを全閉する操作
- リモコンの施錠ボタンを押し続けてガラスルーフを閉じる操作

● サンシェード

手動で好みの位置まで開閉します。



サンシェードはガラスルーフの開口部まで閉じることができます。

 警告

- 走行中や一時停止したときに開いたガラスルーフから手や頭、ものなどを出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- 走行中や一時停止したときに開いたガラスルーフの端部に腰掛けたりしないでください。急ブレーキや事故の際に投げ出されるおそれがあります。
- ガラスルーフやサンシェードを操作するときは、障害物がないか確認をしてください。誤って接触したときは、直ちにガラスルーフやサンシェードを開けてください。
- 同乗者がガラスルーフやサンシェードを操作するときも十分に注意してください。
- お子さまにはガラスルーフやサンシェードの操作をさせないでください。

注意

- ルーフキャリアを取り付けているときは、ガラスルーフを開閉しないでください。ガラスルーフを破損するおそれがあります。
- ガラスルーフに重い荷物などを置かないでください。
- ガラスルーフに雪が積もっているときは、ガラスルーフ上の雪を取り除いてから操作してください。故障するおそれがあります。
- ガラスルーフの雪を取り除くときは、車体に傷が付かないようなものを使用してください。
- ガラスルーフが凍結しているときは、氷などが完全に溶けるまで操作を控えてください。無理にガラスルーフを動かすと破損するおそれがあります。
- 洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上ガラスルーフシールから離してご使用ください。



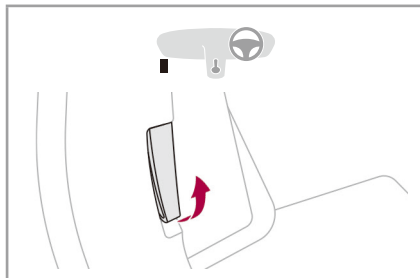
- 車から離れるときや洗車するときは、ガラスルーフが完全に閉じていることを確認してください。
- 雨のあとや洗車後など、ガラスルーフが濡れているときは、ガラスルーフ上の水を拭き取ってから操作してください。室内に水が入ることがあります。
- ガラスルーフシールにゴミや汚れなどが溜まると正常に作動しなくなることがあります。常に汚れを落としてください。

各部の開閉のしかた

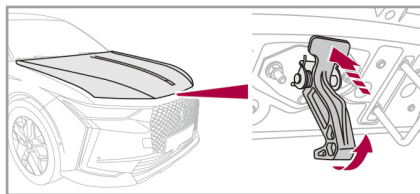
ボンネット

● ボンネットを開けるには

1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部に
あるレバーを引きます。



2. ボンネット下のロックレバーを手前
に引き上げてから、ボンネットを持
ち上げます。



ボンネットを開ける際には、6-7ページ
の警告をお読みください。

⚠ 警告

エンジンルームでどのような作業を
行うときも、あらかじめ**ENGINE
START/STOP**スイッチをオフにし
てエンジンを停止してください。作動
中の部品に巻き込まれるなどして重大
な傷害を受けるおそれがあります。ま
た、ストップ&スタートによりエンジ
ンが急に始動して、思わぬケガをする
おそれがあります。

⚠ 注意

- ボンネットを開ける操作は、必ず停
車してから行ってください。
- 強風時はボンネットが風であおられ
ないようにご注意ください。

● ボンネットを閉めるには

ボンネットを引き下げ、下から30cmぐ
らいの位置で手を離すと、重みで自然に
閉まります。

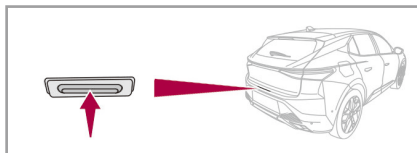
上から押さないでください。

⚠ 警告

ボンネットを閉めたあと、ロックされ
たことを確認してください。

テールゲート

● テールゲートを開ける



ドアの施錠／解錠と連動しています。
テールゲートのスイッチを押してから持ち上げます。
P.2-2の「プロキシミティキーレスエントリー」項を参照してください。

● テールゲートを閉める

テールゲート内側のハンドルを持って引き下げます。

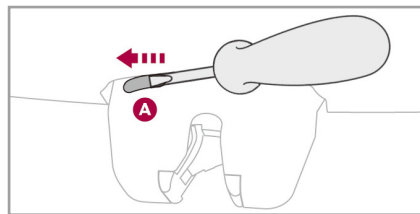
● テールゲート閉め忘れ警告



エンジンが始動している状態のときにテールゲートを開けると、警告灯が点灯するとともに数秒間メッセージが表示されます。そのまま走行すると、時速10km以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが数秒間表示されます。

各部の開閉のしかた

● テールゲートが解錠しないとき



集中ドアロックシステムのトラブルなどでテールゲートが解錠できないときは、次のように行います。

1. リアシートを倒し、テールゲートの内側からロック機構にアクセスできるようにします。
2. 小さいドライバーをAに差し込んで中のバーを左に動かして解錠します。



水没など予期せぬトラブルで車内に閉じ込められた場合、この方法でテールゲートを開けて脱出できます。

⚠ 警告

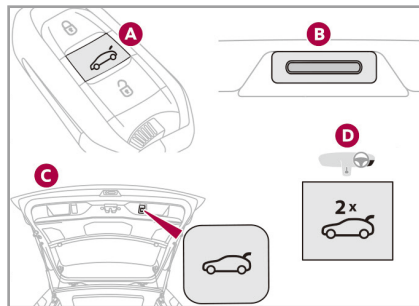
- 安全上、操作上、法律上の理由で、テールゲートを開けた状態での走行はしないでください。
- テールゲートを閉めるときには、指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。
- テールゲートに損傷や作動不良がある場合は、すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。テールゲートが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- テールゲートを開閉するときは、可動範囲に注意し、車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。開閉するときは、壁や天井に当たらないように周囲を必ず確認してから操作してください。
- ストラットダンパーを引いてテールゲートを閉めないでください。ダンパーが変形して開閉ができなくなるおそれがあります。

*仕様により異なります。

ハンズフリーエレクトリック テールゲート*



自動でテールゲートを開閉することが
できる機能です。



テールゲートを開閉すると、ブザーが
鳴ります。

●テールゲートを開ける

A：リモコンを使用する

リモコンのテールゲートオープナーボタ
ンを長押しすると、テールゲートのロッ
クが解除され、自動で開きます。

B：プロキシミティキーレスエントリー 機能を使用する

車両周辺の検知エリアにスマートキーが
あるときに、テールゲートのスイッチを
押すと、テールゲートのロックが解除さ
れ、自動で開きます。

D：車内から開ける

運転席側ダッシュボードにあるスイッチ
を2回押すと、テールゲートのロックが
解除され、自動で開きます。



- テールゲートを開ける操作を行う
と、自動で全開します。ポジション
メモリーを登録している場合は、登
録した位置までテールゲートが自動
で開きます。
- 自動開閉の機能をオフに設定してい
る場合は、テールゲートを開ける操
作を行うと、テールゲートが少し開
きます。テールゲートを閉める操作
を行っても、テールゲートは自動で
閉じません。
- テールゲートを開けると、テール
ゲートの選択解錠モードがオンに
なっていると、テールゲートのみ解
錠されます。選択解錠モードがオフ
になっていると、すべてのドアおよ
びテールゲートが同時に解錠しま
す。

各部の開閉のしかた

●テールゲートを閉じる

B：プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する

テールゲートのスイッチを押すと自動で閉じます。

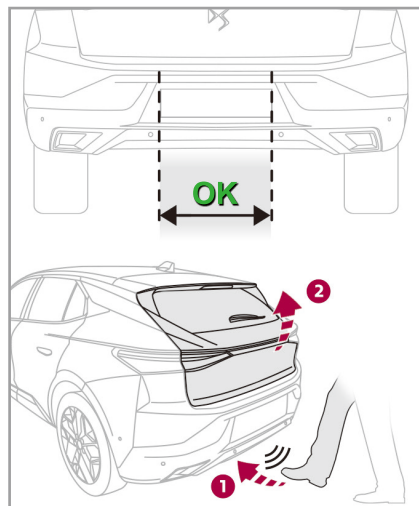
C：テールゲート内側のスイッチを使用する

テールゲート内側にあるスイッチを押すと自動で閉じます。



- テールゲートが開いた状態のまましばらく経過すると、テールゲートの自動閉機能が停止する場合があります。自動閉機能を復帰するには、手動でテールゲートを閉じてください。

●ハンズフリー機能について*



ハンズフリー機能は、車両後方の検知エリアにスマートキーがあるときに、リアバンパーの下部で、イラストのOKの範囲にある検知エリアに足を蹴り出すことで①、テールゲートの開閉、または停止を行うことができます②。

足の蹴り出し動作は、車のナンバープレートの手前に立ち、足をゆっくり上下させるように行います。足の上げ幅が少なかったり、足を早く動かしたり、リアバンパーの下部に足を入れた状態のまましていると、うまく作動しないことがあります。

ハンズフリー機能が作動すると、ハザードランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

*仕様により異なります。

ドアおよびテールゲートの自動施錠*

車両後方の検知エリアにスマートキーがあるときに、ハンズフリー機能を使用してテールゲートを閉じると、ドアおよびテールゲートが自動で施錠されます。この機能はオン／オフすることができます。オン／オフの設定は、次の方法で行います。*

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **車両へのアクセス**をタップします。
5. **ハンズフリースランク／テールゲートロック**をタップしてオン／オフします。



- 仕様により、**ハンズフリースランク／テールゲートロック**のオン／オフ設定ができない場合や、**車両へのアクセス**以外の項目に表示される場合があります。
- 仕様により、ドアおよびテールゲートを自動施錠する機能が装備されていない場合があります。

 警告

足の蹴り出し動作を行うときは、地面の状態やまわりをよく確認してください。バランスをくずしたり、転倒してケガをするおそれがあります。

 注意

走行後の排気管は高温になるため、ハンズフリー機能を使用する場合は、排気管に触れないでください。やけどやケガを負うおそれがあります。



- ハンズフリー機能でテールゲートを開ける操作を行うと、自動で全開します。ポジションメモリーを登録している場合は、登録した位置までテールゲートが自動で開きます。
- 自動開閉の機能をオフに設定している場合は、ハンズフリー機能でテールゲートを開ける操作を行うと、テールゲートが少し開きます。テールゲートを閉める操作を行っても、テールゲートは自動で閉じません。



- ハンズフリー機能でテールゲートを開けると、テールゲートの選択解錠モードがオンになっていると、テールゲートのみ解錠されます。選択解錠モードがオフになっていると、すべてのドアおよびテールゲートが同時に解錠します。
- 足を左右に振る動作では、ハンズフリー機能がうまく作動しないことがあります。
- 連続して足を蹴り出すとうまく作動しないことがあります。一度足を蹴り出したら、次の動作まで2秒以上待ってから再度行ってください。
- 足の蹴り出し動作を何度行ってもハンズフリー機能が作動しない場合は、次のことを確認してください。
 - ・自動開閉の機能とハンズフリー機能がオンになっている
 - ・スマートキーが車外にある、および車両後方の検知エリアにある
 - ・リアバンパー下部の適切な検知範囲内に足を蹴り出している
 - ・リアバンパーの下部に足を入れた状態のままにしていない



- 義足でハンズフリー機能を使用した場合、機能が制限されることがあります。

●自動作動の中断

自動作動を途中で止めるには、リモコンのテールゲートオープンボタン**A**、テールゲートのスイッチ**B**、テールゲート内側にあるスイッチ**C**、運転席側ダッシュボードにあるスイッチ**D**のいずれかを操作するか、ハンズフリー機能装備車はリアバンパーの下に足を蹴り出します。

もう一度リモコンのテールゲートオープンボタン**A**を長押しする、運転席側ダッシュボードにあるスイッチ**D**を2回押すと、テールゲートが開方向に動きます。または、テールゲートのスイッチ**B**、テールゲート内側にあるスイッチ**C**、ハンズフリー機能装備車はリアバンパーの下に足を蹴り出すと、テールゲートが反対方向に動きます。

● テールゲートの手動開閉

自動開閉の機能がオンに設定されている状態でも、テールゲートを手動で開閉することができます。必ず自動開閉を中断させてから操作してください。



手動開閉時はストラットダンパーによる操作力の補助がなくなるため、テールゲートの操作が重くなりますが異常ではありません。

● ポジションメモリー

テールゲートが止まる角度を、お好みの位置に登録することができます。ポジションメモリーの登録は、次の方法で行います。

1. 手動もしくは自動操作でお好みの位置までテールゲートを開きます。
2. テールゲートのスイッチ **B** またはテールゲート内側にあるスイッチ **C** を3秒以上押し続けます。
3. 登録が完了すると、短い確認音が鳴ります。



- 新しいポジションメモリーを登録すると、前の登録に上書きされます。
- 全閉位置付近はポジションメモリーの登録ができないことがあります。

● システムのオン／オフ

自動開閉の機能、およびハンズフリー機能をオン／オフすることができます。オン／オフの設定は、次の方法で行います。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **車両設定** をタップします。
4. **車両へのアクセス** をタップします。
5. 自動開閉の機能は、**電動トランク／テールゲート** をタップしてオン／オフします。

ハンズフリー機能装備車は、ハンズフリー機能は、**ハンズフリーストランク／テールゲートオープン** をタップしてオン／オフします。

各部の開閉のしかた

⚠ 警告

- テールゲートの操作は、安全のため停車中に行ってください。
- テールゲートを閉めるときには、指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人や後部座席の乗員などにぶつからないことを確認してください。特に、開閉中にお子さまがテールゲートに近づく可能性があり、ケガをするおそれがあります。
- テールゲートのロック機構に指などを入れないでください。重大な事故につながるおそれがあります。

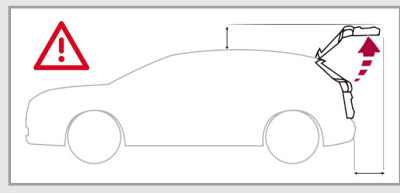


⚠ 注意

テールゲートを開閉するときには、リアバンパーから少し離れた位置から操作してください。テールゲートが開閉したときにぶつかってケガをするおそれがあります。

注意

- テールゲートを開閉するときには、テールゲートの可動範囲に注意し、車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。開閉するときは、壁や天井に当たらないように周囲を必ず確認してから操作してください。



注意

●ハンズフリー機能装備車は、以下のようなときに、ハンズフリー機能が作動してテールゲートが不意に開いたり閉じたりすることがあります。スマートキーを車両後方の検知エリアから離すか、自動開閉の機能、およびハンズフリー機能をオフにしてください。

- 自転車用リアキャリアを装着したり、キャリアに自転車を積んだり降ろしたりするとき
- 車両後方で荷物を積んだり降ろしたりするとき
- スペアタイヤを取り出すなど、ラゲッジルームで作業をするとき
- 車両後部を清掃するとき
- 自走式の洗車機を使用するとき
- 高圧ジェット噴射による洗浄をするとき
- 車両の点検や整備をするとき
- 動物がリアバンパーの下に侵入したとき

注意

- 12Vバッテリーのバッテリー上がりや故障などで正常に動作しないときは、手動でテールゲートを閉じることができます。手動で閉じるときは、テールゲート中心部を押しながらゆっくりと閉じてください。勢いよく閉じたり、無理に力を入れて閉じたり、テールゲートの側面を持って閉じたりすると、テールゲートを破損するおそれがあります。テールゲートを閉じるとき、テールゲートが非常に重くなることがあります。



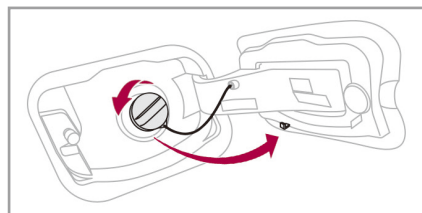
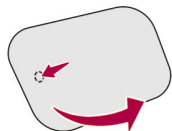
- 連続して自動開閉操作を行うと、モーターの加熱により動作が停止することがあります。約10分間待ってから再度自動開閉操作をしてください。約10分間経過するまでは手動でテールゲートを開閉してください。
- テールゲートを操作する前に、車に積もった雪や着氷を取り除いてください。テールゲートが凍結しているときは、車内の空調の熱で氷が溶けたことを確認してから操作してください。
- ハンズフリー機能装備車は、積雪や暴雨のときには、自動的にハンズフリー機能がオフになったり、正常に作動しない場合があります。
- 自走式の洗車機を使用するときは、テールゲートが不意に開かないように、ドアおよびテールゲートを施錠し、スマートキーを車両周辺の検知エリアから出してください。また、自動開閉の機能、およびハンズフリー機能装備車は、ハンズフリー機能をオフにしてください。



- 近くに強い電波を発する設備があるときや、携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているときに、ハンズフリー機能が作動しないことがあります。
- 自転車用リアキャリアを装着しているときは、自動開閉の機能、およびハンズフリー機能装備車は、ハンズフリー機能をオフにしてください。

各部の開閉のしかた

フュエルリッド (給油口)



ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。

1. 給油フラップの後ろ側を押して開きます。
2. フュエルキャップを左（反時計方向）に回してはずします。
3. はずしたフュエルキャップは、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。
4. 給油ノズルを給油口に一番奥まで差し込み給油を開始します。

5. 給油ノズルのオートストップが3回働いたら、それ以上給油口にあふれるまで給油しないでください。
6. 給油が終わったらノズルを抜きます。
7. フュエルキャップを取り付けます。
8. 給油フラップを閉めます。



警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、燃料が少なくなっています。
警告灯が点灯した場合、残量は約6リットルです。早めに燃料を補給してください。
もし燃料をすべて使用してしまった場合、少なくとも10リットル以上は給油してください。



- 燃料タンクの容量は、ガソリン車が約52リットル、ディーゼル車が約53リットルです。
- 燃料残量警告灯の三角のマークはフュエルリッドの方向を示しています。

警告

- 給油中はエンジンを停止してください。
- ストップ&スタートの停止モードのまま給油しないでください。必ず、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてエンジンを停止してください。
- 給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料が熱でぼう張し、あふれて火災を起こすおそれがあります。
- 給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。

注意

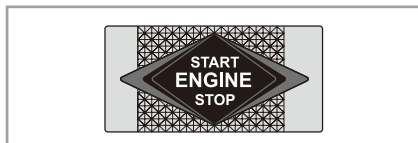
指定の燃料を使用してください。

第3章 運転装置の使いかた

エンジンの始動	3-2
ステアリング／ホーン	3-6
DS E-TOGGLE	3-7
ドライブモード	3-13
DSアクティブスキャンサスペンション	3-15
エレクトリックパーキングブレーキ	3-16
ヒルスタートアシスタンス	3-20
ESC (エレクトロニックスタビリティ コントロール)	3-21
SCR (選択式還元触媒) システム (ディーゼル車)	3-25
DPF (ディーゼルパティキュレートフィルター) (ディーゼル車)	3-28
ストップ&スタート	3-29
レーンキープアシスト	3-33
ドライバアテンションアラート	3-39

アクティブセーフティブレーキ	3-44
トラフィックサインインフォメーション	3-53
アクティブクルーズコントロール (ストップ&ゴー機能付き)	3-59
レーンポジショニングアシスト	3-69
スピードリミッター	3-77
ブラインドスポットモニターロングレンジ	3-80
フロント／バックソナー	3-82
バックカメラ	3-87
360° ビジョン	3-91
リアクロストラフィックアラート	3-97

エンジンの始動



スマートキーが車内にあるときに、エンジンを始動および停止することができません。

警告

- エンジンを始動するときは、必ずパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジンが始動している状態のときは、車から離れないでください。

注意

車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。

●エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. シフトポジションがPになっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。



ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。



- エンジンの始動条件を満たしていない場合は、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。
- ステアリングロック装備車は、ENGINE START/STOPスイッチを押すとステアリングロックが解除されます。ステアリングロックが解除できないときは、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。ハンドルを左右に回しながらENGINE START/STOPスイッチを押してください。
- ステアリングロック装備車は、ステアリングロックが解除されるとき、作動音がしたり、ハンドルがわずかに動いたりすることがあります。
- エンジン始動後は、不必要に長い時間の暖機運転は必要ありません。
- ガソリン車は、エンジンが冷えた状態では、触媒コンバーターを早期に暖機する必要があるため、エンジン始動後しばらくの間アイドリング中にエンジンの振動が発生する場合がありますが、故障ではありません。

*仕様により異なります。

●エンジンの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションを**P**にします。
3. アクティブクルーズコントロール(ストップ&ゴー機能付き) / レーンポジショニングアシスト*をオフにします。
4. **ENGINE START/STOP**スイッチを押します。
5. エンジンが停止します。



- エンジンを停止すると、シフトポジションが自動的に**P**になります。
- ステアリングロック装備車は、エンジンを停止するとステアリングがロックされます。
- ステアリングロック非装備車は、エンジンを停止するとシフトポジションが**P**でロックされます。
- ステアリングロック装備車は、エンジンを停止してもステアリングがロックされないときは、ハンドルを左右に回してステアリングをロックしてください。



- 車を完全に停止しないとエンジンは停止しません。

●ENGINE START/STOPスイッチのポジション

オフ

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、ブレーキペダルを踏まずに**ENGINE START/STOP**スイッチを押すとオフになります。また、**ENGINE START/STOP**スイッチがスタートポジション（エンジンが始動している状態）のとき、**ENGINE START/STOP**スイッチを押すとオフになります。

ハザードランプが使用できます。

アクセサリーポジション

ENGINE START/STOPスイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずに**ENGINE START/STOP**スイッチを押すと、アクセサリーポジションになります。

警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリ装備が使用できます。

スタートポジション

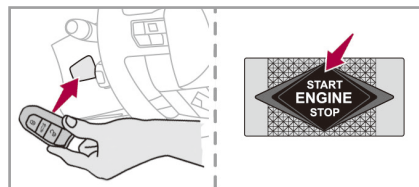
ブレーキペダルを踏みながら**ENGINE START/STOP**スイッチを押すと、スタートポジションになります。

エンジンが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリ装備が使用できます。

● エンジンの緊急始動

スマートキーが車内にあるにも関わらず、**ENGINE START/STOP**スイッチを押してもエンジンが始動しない場合は、以下の手順でエンジンを始動します。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. シフトポジションが**P**になっていることを確認します。
3. ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当てます。



4. ブレーキペダルを踏みながら**ENGINE START/STOP**スイッチを押します。
5. エンジンが始動します。



ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

● エンジンの緊急停止

緊急時のためにエンジンを強制的に停止することができます。

強制的にエンジンを停止するには、**ENGINE START/STOP**スイッチを約5秒間押し続けます。

⚠ 警告

走行中にエンジンを停止すると、ハンドルやブレーキの操作力の補助がなくなり、ハンドルが重くなったりブレーキの効きが悪くなります。車両のコントロールが難しくなるため、すみやかに安全な場所に停車してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

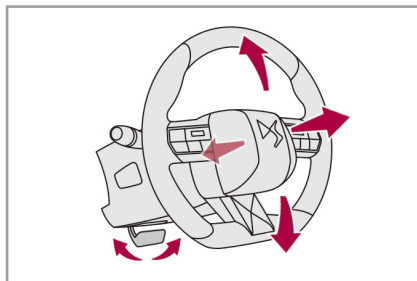


- 緊急時以外は使用しないでください。
- ステアリングロック装備車は、エンジンの緊急停止後、車両が停止すると同時にステアリングがロックされます。
- スマートキーが車内にないときは、ドアを閉じるとメッセージが表示されます。車内にスマートキーがない状態でエンジンを停止しようとする、緊急停止の操作を確認するメッセージが表示されます。エンジンを停止するには、**ENGINE START/STOP** スイッチを約5秒間押し続けます。
- エンジンを再始動するには、スマートキーが必要です。

運転装置の使いかた

ステアリング／ホーン

●チルト・テレスコピックステアリング



ロックレバーを手前に引くと、ステアリングのロックが解除されます。ステアリングホイールの高さや奥行きを調整し、ロックレバーを押し下げてロックしてください。ステアリングがしっかり固定されていることを確かめてください。

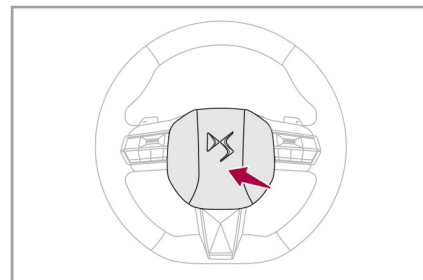
⚠ 警告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

⚠ 注意

シート位置を調整してからステアリング位置を調整してください。

●ホーン



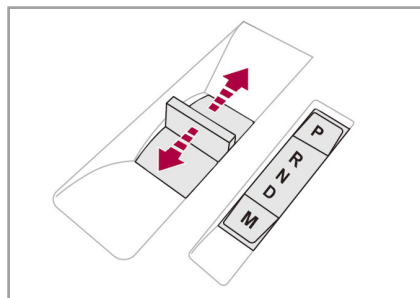
ステアリングホイールのセンターパッドを押してください。



ホーンを使用する際には、節度を守り、差し迫った危険を感じるなどの緊急の場合に使用してください。

DS E-TOGGLE

● プッシュセレクト／シフトポジション



プッシュセレクトを前後に動かす、またはプッシュセレクトの右側にあるスイッチを押してシフトポジションを選択します。選択されているシフトポジションは、インストルメントパネルおよびプッシュセレクトの右側にあるインジケータに表示されます。**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてもしばらくの間、インジケータにシフトポジションが表示されます。

P. パーキング：前輪がロックされた状態になります。駐車するとき、またはエンジンを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。

- ・ **P**にシフトするときは、スイッチ**P**を押します。
- ・ エンジンを停止すると、シフトポジションが自動的に**P**になります。

R. リバース：後退します。

エンジンがアイドリング状態で、車が停止しているときにシフトしてください。

- ・ **P**から**R**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクトを強く押します。
- ・ **N**から**R**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクトを押します。
- ・ **D**から**R**にシフトするときは、プッシュセレクトを強く押します。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

N. ニュートラル：動力が伝わらない状態です。

- ・ **P**から**N**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクトを押すか引きます。
- ・ **D**から**N**にシフトするときは、プッシュセレクトを押します。
- ・ **R**から**N**にシフトするときは、プッシュセレクトを引きます。

D. ドライブ：走行に応じて自動的にギアが切り替わります。

- ・ **P**から**D**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクトを強く引きます。
- ・ **N**から**D**にシフトするときは、プッシュセレクトを引きます。
時速5km以下のときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクトを引きます。
- ・ **R**から**D**にシフトするときは、プッシュセレクトを強く引きます。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

運転装置の使いかた

M. マニュアルシフトポジション：パドルスイッチを使って手動でギアを切り替えます。アクセルペダルを踏み込んだまま操作することができます。

- ・ **M**にシフトするときは、**D**にシフトしてからスイッチ**M**を押してください。
- ・ **M**から**D**にシフトするときは、ブッシュセレクターを押すか、スイッチ**M**を押します。

警告

停止中または極低速（時速5km以下）で走行中に運転席ドアを開けると、シフトポジションが自動的に**P**になります。特に、極低速で走行中にシフトポジションが**P**になると、車が急停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションなどを破損するおそれがあります。極低速で走行中に運転席ドアを開かないでください。

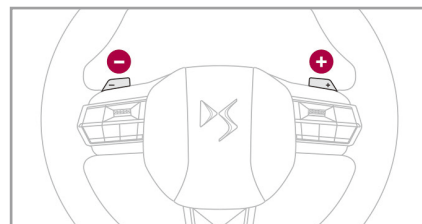
注意

Rや**D**にシフトするときは、エンジン回転がアイドリングまで下がっていることを確認してください。



- マニュアルモードのシフト操作は、エンジン回転と走行速度の許容範囲内でのみ行うことができます。その範囲を超えるときは、一時的にオートマチックモードになります。
- ブッシュセレクターは操作後に手を放すと元の位置に戻ります。

● パドルスイッチ



ステアリングの裏側にパドルスイッチがあります。シフトポジションが**D**または**M**のとき、右側（+）のスイッチでシフトアップ、左側（-）のスイッチでシフトダウンします。



- シフトポジションが**D**のとき、パドルスイッチでのギアの切り替えは一時的な操作です。シフト操作後は、走行に応じて自動的にギアが切り替わります。
- パドルスイッチを使って、シフトポジションを**N**または**R**に切り替えることはできません。また、**R**から他のポジションに切り替えることもできません。

●シフトタイミングインジケータ*



マニュアルモードで走行中、燃費向上のためにシフトチェンジを促して燃費向上のアドバイスをします。

例えば、アクセルペダルを軽く踏んで運転している状況で、システムが燃費向上の観点から現在のギアよりも1段または2段高いギアを使用した方が良いと判断した場合、インストルメントパネルに矢印のマークと推奨ギア*が表示されます。



- シフトタイミングインジケータの機能をオフにすることはできません。
- 追い越しをするときなどアクセルペダルを強く踏み込んだときは表示されません。
- シフトタイミングインジケータは、以下の変速は促しません。
 - ・1速への変速
 - ・リバースギアへの変速

⚠警告

シフトタイミングインジケータはあくまで燃費向上のための機能です。実際のギアシフトは運転者が周囲の交通量や安全性に応じて判断して行ってください。誤った変速は事故につながるおそれがあります。

●クリーブ現象

停車中にシフトポジションをD、RまたはMにすると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。特にエンジン始動直後やエアコン作動時などエンジン回転が高いときには車が動こうとする力が強くなります。そのため、お子さまが乗車しているときは、エンジンが始動している状態のままでお子さまだけを残して車を離れないでください。点検のためにエンジンが始動している状態のままで車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトポジションをPにしてください。

*仕様により異なります。

●キックダウン

追い越しなどで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでください。シフトダウンが起こり、エンジン回転が最高に達するまでそのギアを維持し、より短い時間で加速することができます。

ある一定の速度に達すると、自動的にシフトアップします。安全のため、急にアクセルペダルを離してもシフトアップはしません。

●エンジンブレーキ

長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、**D**レンジでもより効果的にエンジンブレーキを効かせるため自動的に低いギアに切り替わりますが、状況に応じて随時、シフトポジションを**M**レンジにして低いギアを選択することができます。(たとえば**D→3**、**3→2**)
ただし、**2**から**1**への切り替えは急激な減速を伴いますので、滑りやすい道路条件(雪道や凍った道路)では十分にご注意ください。

●シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んでいないと**P**から他のシフトポジションにすることはできません。



警告音とともにこのアイコンとメッセージが表示されたら、ブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを変更してください。

●トランスミッションの異常



警告音とともに**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムはセーフモードに入り**3**（3速）に固定されて走行します。

セーフモードでは、マニュアルシフトポジションへの切り替えやパドルスイッチを使ってシフトチェンジすることができなくなります。

シフトポジションを**R**にしたときに、大きなショックを伴うことがあります。トランスミッションを損傷することはありません。時速100km以下の速度で走行して、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

●プッシュセレクトの異常



警告音とともに**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、プッシュセレクトに異常があります。このとき、インストルメントパネルにシフトポジションが表示されているのに、プッシュセレクトの横にあるインジケータにシフトポジションが表示されなくなることがあります。

当社指定サービス工場で点検を受けてください。



また、STOP警告灯が点灯するとともにメッセージが表示された場合は、重大な不良が発生しているおそれがあります。直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠ 警告

- 走行中は、シフトポジションを**N**にしないでください。エンジンブレーキが効かなくなり、ブレーキのフェード現象が起きやすくなり事故を起こすおそれがあります。
- 長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、ブレーキペダルとエンジンブレーキを併用してください。ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車から離れるときは、シフトポジションを**P**にして、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。クリープ現象で車がひとりでに動いて、人や物に衝突するおそれがあります。
- エンジンが始動している状態のときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷つけるおそれがあります。

警告

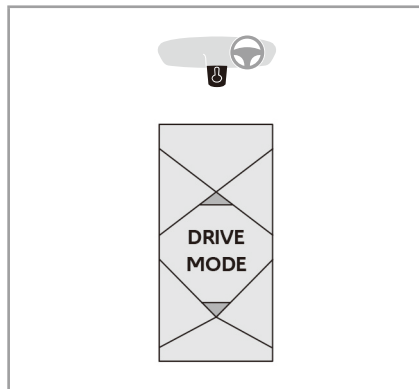
- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- シフトポジションを**R**や**D**にするときは、停止した状態で、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

注意

- 車が完全に停止する前にシフトポジションを**P**、**R**、**D**にしないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。アクセルペダルおよびブレーキペダルは右足で踏んでください。

*仕様により異なります。

ドライブモード



走行状況に応じて、センターコンソールにあるボタンを押してドライブモードを選択することができます。

● ドライブモードの選択

DRIVE MODE ボタンを数回押して、**ECO**、**SPORT**、**COMFORT***、**NORMAL**を選択します。選択するドライブモードはインストルメントパネルに表示されます。



- エンジンを始動する度に自動的に **NORMAL** が選択されます。
- **NORMAL** が選択されている場合を除き、選択されているモードがインストルメントパネルに常に表示されます。
- ドライブモードを切り替えると、インストルメントパネル／タッチスクリーンの画面の色、およびアンビエンスイルミネーションの設定（色、オン／オフおよび明るさ）（仕様により異なる場合があります）が変化します。各ドライブモードに関連付けられた色や設定は、タッチスクリーンの操作でカスタマイズすることができます。インストルメントパネル／タッチスクリーンの画面の色についての詳細は、P.4-41の「色の設定」項を参照してください。アンビエンスイルミネーションの設定についての詳細は、P.5-30の「アンビエンスイルミネーション」項を参照してください。

● ドライブモードの種類

ECO

エアコンはオフにせず、暖房／冷房の作動を最適化することで、燃費を向上させる走行に適しているモードです。また、仕様により、アクセルレスポンス、トランスミッション、ギアシフトインジケータを制御します。

SPORT

アクセルレスポンス、トランスミッション、パワーステアリング、サスペンションダンピング（DSアクティブスキャンサスペンション）*を制御してよりスポーティな走りを実現するモードです。

COMFORT*

フロントウィンドウ上部のカメラで前方の路面の凹凸を識別し、最適なサスペンションダンピングに調整するDSアクティブスキャンサスペンションを作動させるモードです。

NORMAL

通常の走行に適しているモードです。



●仕様により、**SPORT** 選択時は、特別に調整されたエンジン音がスピーカーから出力されます。特別に調整されたエンジン音のオン／オフの設定は、次の方法で行います。

1. をタップします。

は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2. をタップします。
3. **カスタマイズ**をタップします。
4. **サウンドアンビエンスのアクティブスポーツサウンド**をタップしてオン／オフします。

●仕様により、**SPORT** 選択時は、ストップ&スタートが自動的にオフになります。



●**NORMAL** または **ECO** を選択中は、シフトポジションが **D** で走行中にアクセルペダルを放すと、トランスミッションとエンジンの接続を自動的に切り離してエンジnbrakeを解除し、燃料消費量を減少させます。このとき、エンジン回転数が落ち、タコメーターがアイドリング状態を示したり、エンジン音が抑制されたりしますが、異常ではありません。

*仕様により異なります。

DS アクティブスキャンサスペンション*

DS アクティブスキャンサスペンションは、フロントウィンドウ上部のカメラが前方の路面を常時モニターし識別することで、これから走行する路面の凹凸を予測します。また、センサーが感知した、路面の状態、車の積載状態、走行状況、選択されているドライブモードに応じて、4輪のショックアブソーバーの減衰力を即時に最適に電子制御します。このサスペンションシステムにより、常にフラットで快適な乗り心地、高い静粛性と走行安定性を保って走行します。



フロントウィンドウ上部のカメラを使用した路面のモニターは、ドライブモードの**COMFORT**を選択時、時速約13km～130kmで走行中に作動します。ただし、夜間、霧、雪、雨量が多い場合には作動しません。



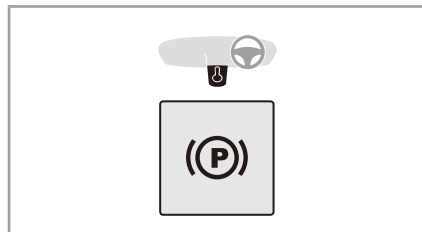
システムに異常が発生したときは、警告灯が点灯します。

次の操作でDS アクティブスキャンサスペンションの初期化をしてください。

1. **ENGINE START/STOP**スイッチをオフにして30秒以上待ちます。
2. **ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにして5秒以上待ちます。
3. エンジンを開始します。

問題が解消されない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

エレクトリックパーキングブレーキ



エレクトリックパーキングブレーキには、以下の機能があります。

- ・エンジンが停止したときに自動的にパーキングブレーキをかけ、パーキングブレーキ作動中にアクセルペダルを踏むとパーキングブレーキが自動的に解除されるオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能
- ・パーキングブレーキスイッチの操作でパーキングブレーキの作動／解除をいつでも手動で行うことができる手動作動機能

●オートマチックエレクトリックパーキングブレーキの作動

パーキングブレーキをかける

エンジンを停止するとエレクトリックパーキングブレーキが自動的にかかりま

す。
(P) パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケータが点灯し、メッセージが表示されます。

⚠ 警告

駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケータが点灯していることを確認してください。

パーキングブレーキを解除する

シフトポジションがD、MまたはRでアクセルペダルを踏むとエレクトリックパーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

(P) パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケータが消灯し、メッセージが表示されま



す。
パーキングブレーキが自動的に解除されない場合は、運転席ドアが確実に閉まっているか確認してください。

● パーキングブレーキの手動操作

パーキングブレーキをかける

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

(P) パーキングブレーキがかかる
と、インストルメントパネルの
ブレーキ警告灯とパーキングブ
レーキスイッチのインジケーターが点灯
し、メッセージが表示されます。



運転席ドアが開いた状態でパーキング
ブレーキをかけずにシフトポジション
をPから他のポジションにすると、警
告音とともにメッセージが表示されま
す。

パーキングブレーキを解除する

ENGINE START/STOPスイッチがア
クセサリーポジションのとき、またはエ
ンジンが始動している状態のときに、ブ
レーキペダルを踏みながら、パーキング
ブレーキスイッチを押し込んでから放す
と、パーキングブレーキが解除されます。

(P) パーキングブレーキが完全に解
除されると、インストルメント
パネルのブレーキ警告灯とパー
キングブレーキスイッチのインジケー
ターが消灯し、メッセージが表示されま
す。



ブレーキペダルを踏まずにパーキング
ブレーキスイッチを押し込んで放す
と、パーキングブレーキは解除されず、
メッセージが表示されます。

⚠ 警告

- エンジンが始動している状態で停車
しているときは、誤ってアクセルペ
ダルを踏まないように注意してくだ
さい。ブレーキが解除され、車が飛
び出すおそれがあります。
- 駐車中は必ずパーキングブレーキを
かけてください。
- 駐車して車を離れるときは、ブレー
キ警告灯およびパーキングブレーキ
スイッチのインジケーターが点灯し
ていることを確認してください。
- エレクトリックパーキングブレーキ
は、お子さまでも簡単に解除できま
す。**ENGINE START/STOP** ス
イッチがアクセサリーポジションの
状態のまま、またはエンジンが始動
している状態のままで、お子さまを
車内に残して車を離れないでくださ
い。
- 12Vバッテリーが上がったときな
ど、エレクトリックパーキングブ
レーキが作動しない場合は、輪止め
をして車が動き出さないようにし、
当社指定サービス工場にご連絡くだ
さい。



坂道に駐車するときには、シフトポジションを**P**にする前に、パーキングブレーキスイッチを引いてパーキングブレーキをかけてください。また、シフトポジションを**P**にしたら、タイヤを路肩に斜めに当ててください。

● システムの解除

気温が低下して路面が凍結するような状況などでは、次の方法でオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能をオフにしてください。

1. エンジンを開始します。
2. パーキングブレーキが解除されている場合は、パーキングブレーキスイッチを手前に引いて、パーキングブレーキをかけます。
3. ブレーキペダルを離します。
4. パーキングブレーキスイッチを10秒以上、15秒以下押し続けます。
5. パーキングブレーキスイッチを離します。
6. ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを2秒以上引きます。



オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、自動でパーキングブレーキをかけたり解除することができません。手動で操作してください。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を復帰させるときは、再度機能を解除する操作を行ってください。機能が復帰すると、インストルメントパネルの警告灯が消灯します。

●非常ブレーキ

ブレーキシステム（フットブレーキ）が故障したり、運転者が運転不能な状態に陥ったときなどの緊急時には、パーキングブレーキスイッチを引き続けて車両を停止します。

非常ブレーキ作動中は、ESCが作動して、車の安定性を確保します。

非常ブレーキに異常が発生した場合はメッセージが表示されます。

警告

非常ブレーキの使用は、緊急時のみにとどめてください。



この警告灯が点灯しているときは、ESCシステムに異常があり、ESCによる車の安定性は確保されません。車が完全に停止



するまで、パーキングブレーキスイッチを繰り返し引いて安定性を確保してください。

ヒルスタートアシスタンス

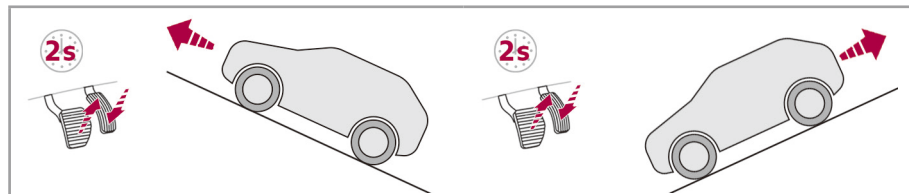
ヒルスタートアシスタンスは坂道発進を補助するための機能で、ブレーキペダルから足を離しても一定時間（ブレーキペダルからアクセルペダルまで足を移動する間）ブレーキがかかった状態を維持します。

この機能は以下の条件がすべて揃ったときに作動します。

- ・坂道で車が完全に停止してブレーキペダルが踏まれている。
- ・運転席ドアが閉まっている。
- ・坂道の勾配が適正である。

警告

ヒルスタートアシスタンス作動中は、車から出ないでください。やむを得ずエンジンが始動している状態のまま駐車して車を離れるときは、パーキングブレーキをかけ、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケータが点灯していることを確認してください。



● 登り坂で前方へ発進するとき

シフトポジションがDまたはMのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。



ヒルスタートアシスタンスの機能を解除することはできません。ただし、パーキングブレーキをかけると、ヒルスタートアシスタンスの機能が一時的に解除されます。

● 下り坂で後方へ発進するとき

シフトポジションがRのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

● ヒルスタートアシスタンスの故障



システムに異常が発生したときは、警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

ESC (エレクトロニック スタビリティコントロール)

ESCは急なハンドル操作や急ブレーキ時および滑りやすい路面の走行時などに、次の機能を総合的に制御して運転を補助し車両の安定性を高めます。

- ・ ABS (アンチロックブレーキシステム)
- ・ EBF (電子式制動力制御装置)
- ・ EBA (ブレーキアシスト)
- ・ ASR (トラクションコントロール)
- ・ DSC (ダイナミックスタビリティコントロール)

また、衝突や追突などで衝撃を受けるとESCが自動ブレーキを作動させ、多重事故の危険を低減させるPCSB (ポストコリジョンセーフティブレーキ) も装備しています。

●ABS (アンチロックブレーキシステム)

電子式制動力制御装置 (EBF) を備えたABSシステムは、ホイールがロックしそうになるとABSが作動して、滑りやすい路面での操縦安定性を向上させます。

●EBA (ブレーキアシスト)

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキ時のペダルの動きに応じて作動し、ブレーキの効きを最大限に高めて停止距離を短縮する装置です。

●ASR (トラクションコントロール)

路面状況に応じた制御をすることによって、急加速時のホイールスピンを防止して、車の走行安定性を向上させる機能です。

●DSC (ダイナミックスタビリティコントロール)

4輪のブレーキとエンジンの出力を自動的に制御することによって、旋回時の前輪または後輪の横滑りを防止する機能です。



- ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリポジションの状態のまま、またはエンジンが始動している状態のまま、ホイールやタイヤ交換などの作業を行い、シャフトを回転させると、メモリに故障情報が入力されてABS警告灯が点灯する場合があります。当社指定サービス工場にご相談ください。
- ABSやEBAが作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 凍結した路面や砂地などのオフロードを走行するときは、ASRシステムをオフにしてください。

●システムの異常

(ABS) ABSの機能に異常が発生したときは、ABS警告灯が点灯します。ブレーキをかけたときに車のコントロールを失う可能性があります。通常のブレーキは機能します。注意して速度を下げたて走り、当社指定サービス工場てシステムの点検を受けてください。

(!) ブレーキシステムに異常が発生したときは、警告音とともにブレーキ警告灯、ABS警告灯およびSTOP警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。直ちに停車してエンジンを停止し、当社指定サービス工場にて連絡ください。

⚠ 警告

ABSやEBAは、どのような状況下でも制動距離を短くする装置ではありません。

路面の摩擦によっては、かえって制動距離が伸びることがありますので、滑りやすい路面では慎重に運転してください。

この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

●ASR / DSCシステムの作動

エンジンを始動すると、ASR / DSCシステムは自動的に作動可能状態になります。車両の走行安定性に問題が生じたときは、システムが作動して車両を制御します。



ASR / DSCシステムが作動すると、ASR / DSC警告灯が点滅して運転者に注意を促します。

● ASRシステムのオン／オフ

雪道や泥道で動けなくなったときなどに、ある程度ホイールスピンをさせてタイヤの接地力を回復させる必要が発生します。このようなときに、手動でASRシステムをオフにすることができます。ASRシステムのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。



ASRシステムをオフにすると、ASR OFF警告灯が点灯するとともにメッセージが表示され、運転者にASRシステムがオフになったことを知らせます。

オフにしたシステムは、タッチスクリーンの設定でオンにできます。また、次の状態で自動的にオンになります。

- ・ **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにする。
- ・ 時速50km以上で走行する。

● ASR / DSCシステムの異常



システムに異常が発生したときは、警告音とともにASR / DSC警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠ 警告

- ASR / DSCシステムは、通常の運転状況下において安全性を向上させるもので、オーバースピードや危険な運転を補正する装置ではありません。急カーブや滑りやすい路面では、従来と同じく慎重に運転してください。この装置は、タイヤやホイール、ブレーキ部品、電子部品などの仕様が正しく、かつ当社指定サービス工場で適正な整備や修理を受けた状態で使用したときに効果を発揮します。事故のあとや大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
- この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

運転装置の使いかた

●PCSB（ポストコリジョンセーフティブレーキ）

ポストコリジョンセーフティブレーキは、事故などで衝突を検知すると自動ブレーキをかけることで車両を減速させ、多重事故の危険を低減させるシステムです。

このシステムは、以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

- ・衝突によりエアバッグやシートベルトプリテンションシステムが作動したとき
- ・衝突したあとも車両のブレーキシステムや電気系統が正常に作動しているとき
- ・運転者がアクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいないとき

⚠ 警告

ポストコリジョンセーフティブレーキは、二次衝突による被害を軽減することを目的としていて、どのような状況下でも衝突を回避できるシステムではありません。システムを過信しないでください。システムを過信すると重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



運転者がアクセルペダルやブレーキペダルを踏むと自動ブレーキは解除されます。

システムの異常



システムに異常が発生したときは、警告音とともに、ASR / DSC 警告灯またはエアバッグ警告灯が**SERVICE** 警告灯とともに点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場でのシステムの点検を受けてください。

SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）

DS 4はSCR（選択式還元触媒）システムとDPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）を採用しています。

SCRは、AdBlue®を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。



●AdBlue®の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue®の補充は早めに行ってください。AdBlue®の補充は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

●SCRに異常が発生したまま走行を続けるとエンジンを始動できなくなります。当社指定サービス工場での点検を受けてください。

●走行可能距離の表示

AdBlue®の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。

走行可能距離が2400km以内の場合、ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、警告音とともに警告灯が点灯／点滅し、エンジンを始動できなくなるまでの走行可能距離をお知らせするメッセージを表示します。

警告灯	走行可能距離	対処方法
	800kmから2400km	AdBlue®の残量が少なくなっています。早めに当社指定サービス工場でのAdBlue®の補充をしてください。
 または 	100kmから800km	AdBlue®の残量がわずかになっています。すみやかに当社指定サービス工場でのAdBlue®の補充をしてください。
	100km以内	AdBlue®の残量がわずかになっています。AdBlue®の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。直ちに当社指定サービス工場でのAdBlue®の補充をしてください。
	0km	AdBlue®の残量がなくなったため、エンジンを始動できません。当社指定サービス工場にご連絡ください。

運転装置の使いかた

● 走行可能距離の再表示

次の方法で走行可能距離を再表示させることができます。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **セーフティ**をタップします。
5. **チェック**をタップします。



走行可能距離が2400km以上の場合
は、**ENGINE START/STOP**スイッチ
をアクセサリポジションにする、
またはエンジンを始動しても走行可能
距離は表示されません。走行可能距離
は、上記の方法で確認することができます。

● SCRシステムの異常

SCRシステムに異常が発生したら、次のような警告が表示されます。

警告が続けて表示される場合は、直ちに
当社指定サービス工場でシステムの点検
を受けてください。

そのまま走行を続けると、約1100km
走行したあとは、エンジンを停止すると、
再始動できなくなります。

SCRシステムに異常がある場合



SCRシステムに異常が発生した場合は、
警告音とともに **AdBlue®** 警告灯および
自動診断警告灯が点灯し、メッセージが
表示されます。



一時的に警告が表示されることがあり
ますが、その後、警告灯が消灯すれば
SCRシステムの異常は解消されてい
ます。

SCRシステムの異常が解消されない
場合は、エンジンを始動する度に警告
が表示されます。

当社指定サービス工場でシステムの点
検を受けてください。

SCRシステムの異常により、走行可能距離が1100km以内になった場合



SCRシステムに異常が発生したあと、異常が解消されないまま約50km走行すると、警告音とともに**AdBlue®**警告灯が点滅および自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

この警告が表示されると、走行可能距離は約1100km以内です。

そのまま走行を続けると、約1100km走行したあとは、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。



SCRシステムの異常が解消されない場合は、走行中は、30秒ごとにメッセージが表示されます。
また、エンジンを始動する度に警告が表示されます。

SCRシステムの異常によりエンジンを始動できなくなった場合



ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリポジションにする、または**ENGINE START/STOP**スイッチをスタートポジションにすると、警告音とともに**AdBlue®**警告灯が点滅および自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

SCRシステムの異常によりエンジンを始動できません。当社指定サービス工場にご連絡ください。

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）（ディーゼル車）

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）は排気ガス中に含まれるススを捕集し、燃焼（再生）処理します。捕集したススが一定量堆積し、警告が表示されると、時速60km以上の速度で走行し、堆積したススを燃焼（再生）処理することが必要です。

注意

- DPFの故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ススが一定量堆積し、警告が表示されたまま長時間走行しないでください。
 - ・指定以外の燃料を補給しないでください。
 - ・指定以外のエンジンオイルを使用しないでください。

注意

- ススの燃焼（再生）処理が完了するまでエンジンを停止しないでください。燃焼（再生）処理が完了していない状態で一定期間エンジンの始動／停止を繰り返すと、エンジンオイルに悪影響をおよぼすことがあります。
- ススの燃焼（再生）処理を車両が停止した状態で行わないでください。

●ススの燃焼（再生）処理



DPFにススが一定量堆積すると、**SERVICE**警告灯が一時的に点灯するとともにメッセージが表示されます（警告音がする場合があります）。警告が表示されたら、道路状況を見て、すみやかに時速60km以上、エンジン回転数2500rpm以上で約15分間走行してください。ススの燃焼（再生）処理が行われます。燃焼（再生）処理が終了すると、警告灯が消灯します。



警告音とともに**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されたら、すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。



- 時速60km以上の速度でしばらく走行しても警告灯が消灯しない場合は当社指定サービス工場で点検を受けてください。
- ススの燃焼（再生）処理を行うとき、時速60km以上で走行できない状況の場合、まずアイドリング状態で約15分待ってから、エンジン回転数2500rpm以上で約15分間走行してください。
- ご購入いただいてから最初の燃焼（再生）処理中は、焦げたような臭いがありますが、異常ではありません。
- 長時間の低速走行後やアイドリング運転後の発進や加速時に、排気管から白い煙（水蒸気）が出ることがありますが、異常ではありません。

ストップ&スタート

ストップ&スタートには交通渋滞や赤信号などで停止しているときにエンジンを止める停止モードと、発進するときにエンジンをかけるスタートモードがあります。

エンジンの始動は瞬時で騒音もなく、都市部での使用において燃費と排出ガスの削減を可能にします。

●作動条件

ストップ&スタートは以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

- ・運転席ドアが閉まっているとき
- ・運転席のシートベルトが締められているとき
- ・12Vバッテリーの電力が十分にあるとき
- ・エンジンが異常に熱くなっていないとき
- ・外気温が0℃以上、35℃以下のとき

●停止モードへの移行

すべての作動条件を満たしている、および以下のときに停止モードに移行します。

- ・シフトポジションが**D**または**M**でブレーキペダルを踏んで停止したとき
- ・停止中にシフトポジションを**N**にしたとき



エンジンが停止すると、インストルメントパネルの表示灯が点灯します。

また、タイマーが停止時間の積算を行います。時間は、エンジンを始動する度にゼロにリセットされます。

運転装置の使いかた

⚠ 警告

停止モードのまま給油しないでください。必ず**ENGINE START/STOP**スイッチを押してエンジンを停止してください。



- 車庫入れなど、**R**からギアを入れ替えたときやステアリングを回したときは、エンジンは数秒間停止モードになりません。
- スタートモードへ移行してから時速8kmを超えていないときは、エンジンは停止モードになりません。
- 停止モードによって、ブレーキの効きやパワーステアリングに影響が出ることはありません。

●停止モードにならないとき

いずれかの作動条件を満たしていない、または以下のときは、エンジンは停止モードになりません。

- ・坂道の勾配が急なとき
- ・ドライブモードの**SPORT**が選択されているとき*
- ・エアコンが曇りとりモードのとき
- ・車内の温度を快適に保つためにエンジンの運転が必要なとき



インストルメントパネルの表示灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●スタートモードへの移行

以下のときにスタートモードに移行します。

- ・シフトポジションを**D**か**M**にしてブレーキペダルを放したとき
- ・シフトポジションが**N**でブレーキペダルを放し、シフトポジションを**D**か**M**にしたとき
- ・シフトポジションが**P**でブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを**R**、**N**、**D**、**M**のいずれかにしたとき
- ・シフトポジションを**R**にしたとき



エンジンが始動すると、インストルメントパネルの表示灯が消灯します。

*仕様により異なります。

●自動的にスタートモードになる とき

すべての作動条件を満たしている場合でも、以下のときに自動的にスタートモードに移行します。

- ・ドライブモードの**SPORT**以外を選択したとき*
- ・シフトポジションが**N**で時速1kmを超えたとき



インストルメントパネルの表示灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●ストップ&スタートのオン／オフ

ストップ&スタートのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。



ストップ&スタートをオフにすると、インストルメントパネルの表示灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

注 意

停止モードのときにストップ&スタートをオフにすると、直ちにエンジンが始動します。



エンジンを始動すると、ストップ&スタートはオンになります。

●ストップ&スタートの故障



システムに故障が発生したときは、インストルメントパネルの表示灯が点滅したのち連続点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

停止モードのときに故障した場合は、警告灯が点灯してエンジンが始動しません。**ENGINE START/STOP**スイッチをオフしてからエンジンを再始動してください。

●点検時の注意点

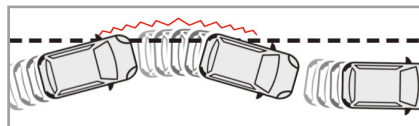
このシステムではストップ&スタート専用設計された12Vバッテリーを使用しています。不適当なバッテリーの使用はシステムの故障につながります。バッテリーの交換は当社指定サービス工場にご相談ください。

警告

エンジンルームでどのような作業を行うときも、あらかじめ**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてエンジンを停止してください。ストップ&スタートによりエンジンが急に始動し、作動中の部品に巻き込まれるなどして重大な傷害を受けるおそれがあります。

*仕様により異なります。

レーンキープアシスト



フロントウィンドウ上部のカメラが走行車線の端、路肩、および走行車線の車線マーカを検知し、車両が車線を逸脱する可能性があるとは判断したとき、警告表示とハンドル操作を自動修正して衝突を避ける支援をします。



レーンキープアシストの作動中は、警告灯が点滅します。



- レーンポジショニングアシスト*が作動中は、レーンキープアシストの作動が停止される場合があります。



- レーンキープアシストが作動すると、ハンドルが自動的に動いてハンドル操作を修正します。
- レーンキープアシストが作動しても、運転者がハンドルをしっかり持ち操作を行うことで、ハンドル操作の自動修正を中断することができます。

●作動条件

レーンキープアシストは以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

- ・時速70km～時速180kmで走行しているとき
- ・車線が中央線で区切られているとき
- ・運転者がハンドルを両手でしっかり持っているとき
- ・方向指示器が作動していないとき
- ・ASRシステムがオンのとき
- ・ESCシステムが正常に作動しているとき

⚠ 警告

レーンキープアシストは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。また、前方車両との車間距離、自車両の走行速度やブレーキ操作の自動制御を行いません。車両が車線を逸脱する可能性があるとは判断されたときのみ作動します。運転者はハンドルをしっかり持ち、前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。また、長時間の運転などで疲れているときは適度な休憩をとってください。



方向指示器が作動している間と方向指示器の作動停止後の数秒間は、車両が車線を逸脱する可能性があるとは判断されても、システムは運転者による意図的な車線変更と判断し、ハンドル操作の自動修正を行いません。

● システムのオン／オフ

レーンキープアシストのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。



システムをオフにすると、警告灯が点灯します。



エンジンを始動すると、レーンキープアシストはオンになります。

⚠ 警告

以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- ・カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- ・カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- ・フロントウィンドウにひび割れや損傷があるとき
- ・フロントウィンドウのカメラの位置がずれたとき、カメラのカバーがはずれているとき
- ・視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- ・前方に水、雪、土ぼこりなどの巻き上げや水蒸気、煙があるとき
- ・ESCシステムが作動して車両を制御しているとき
- ・12Vバッテリーの電圧が低下しているなどの異常があるとき
- ・路面の水たまりなどの反射光が強いとき
- ・前方の車両に近付きすぎたとき

⚠ 警告

- 次のような道路を走行しているとき
 - 急なカーブや細い道路、曲がりくねった道路
 - 急な上り坂や下り坂など、路面勾配が変化する道路
 - 左右に傾きのある道路
 - 深いわだちがある道路
 - 整備されていない荒れた道路
 - 起伏や段差が多い道路
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- 車両の高さや傾きが変わるような改造をしているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- 影などの影響で車線と車線の端、車線の外側との区別が分かりにくいとき

運転装置の使いかた

● 警告表示

警告灯	意味
	・ レーンキープアシストはオフになっています。 ・ スペースセーバータイヤを装着しているなどを検知し、レーンキープアシストが自動的にオフになった、または作動を停止しました。
-	・ レーンキープアシストはオンになっていますが、作動条件を満たしていません。 ・ 車線マーカーを検知しました。時速70km以上で走行しています。
	・ 車両が車線を逸脱する可能性があるかと判断し、ハンドル操作の自動修正をしました。システムは運転者がハンドルを両手で持っているかと判断しています。 ・ システムは運転者がハンドルをしっかりと持っていないと判断しました。警告音とともにメッセージが表示されます。この警告は、ハンドル操作の自動修正が完了する、または運転者がハンドルをしっかりと持つまで続きます。 ・ ハンドル操作の自動修正中、システムは車両が車線を逸脱すると判断しました。警告音とともにメッセージが表示され、運転者が適切なハンドル操作を行い車両を車線内に戻すように注意を促します。



- ハンドル操作の自動修正が10秒以上継続するような状況では、警告音とともにメッセージを表示して運転者に注意を促します。それでも運転者が車線内を走行するために必要なハンドル操作をすることができないとシステムが判断すると、機能が中断されます。
- ハンドル操作の自動修正が連続して何度も作動すると、連続した長い警告音が鳴ることがあります。警告音は運転者が適切なハンドル操作を行うまで続きます。
- 運転者がハンドルをしっかりと持っても、ハンドルを保持するように促すメッセージが表示されることがあります。

● システムの異常



仕様により、警告音システムに異常が発生したときは、**SERVICE**警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。この場合、レーンキープアシストが作動していても、警告音が正常に作動しないことや、警告音が鳴らないことがあります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。



システムに異常が発生したときは、警告音とともにレーンキープアシストの警告灯と**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。



仕様により、フロントウィンドウのカメラが覆われ、カメラの視界が遮られると、レーンキープアシストの警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近がステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。カメラの視界が確保されるとシステムの作動が再開し、警告灯が消灯します。

● 作動が停止される条件

レーンキープアシストは、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ・ ASRシステムがオフになったとき
- ・ ESCシステムが車両を制御しているとき
- ・ 時速70km以下、または時速180km以上で走行しているとき
- ・ スペースセーバータイヤを装着したとき（運転者の操作により作動を解除してください）
- ・ 急なハンドル操作、アクセル操作、ブレーキ操作を検知したとき
- ・ 車線マーカール上を走行しているとき
- ・ 方向指示器を作動させたとき
- ・ カーブを走行中に、カーブ内側にある車線マーカールを越えたとき
- ・ 角度のきついカーブを走行しているとき
- ・ 上り坂や下り坂など、路面勾配が変化する道路を走行しているとき
- ・ 道路工事区間を走行しているとき
- ・ ハンドル操作の自動修正中に運転者の対処が行われなかったとき
- ・ 走行車線の幅が極端に狭いとき

⚠ 警告

- システムに異常がある、ASRシステムがオフになっている、標準装備のスペースセーバータイヤを装着しているときなどは、レーンキープアシストがオンの場合でも、システムの作動が停止され、ハンドルの自動修正が行われない場合や、警告音や警告表示が発せられない場合があります。レーンキープアシストがオンでも、運転者はハンドルをしっかり持ち、前方に注意し安全運転に努めて走行してください。
- 以下のようなときは、レーンキープアシストをオフにしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・タイヤの交換やタイヤ空気圧の調整などを行うとき、タイヤ周辺部分の修理やメンテナンスを行うとき
 - ・路面状態のよくない道路を走行しているとき
 - ・滑りやすい路面を走行しているとき
 - ・不安定な路面を走行しているとき
 - ・悪天候のとき

⚠ 警告

- ・サーキットなどを走行しているとき
- ・点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- ・フロントウィンドウのカメラが故障したとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- 冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

⚠ 警告

- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
- 傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

*仕様により異なります。

ドライバーアテンションアラート

ドライバーアテンションアラートには以下の2つの機能が備わっています。

- ・連続運転警告
- ・疲労検知システム

これらの機能は、次のいずれかの条件を満たすと初期化されます。

- ・ENGINE START/STOPスイッチをオフにして数分間経過した
- ・運転席のシートベルトをはずしてドアを開けた

警告

ドライバーアテンションアラートは、運転時間やハンドル操作から運転者の疲労増加や注意力の低下を検知し、運転者へ休憩をとるように促すシステムです。疲労時の運転を補助するものではありません。システムを過信せず、十分に休憩をとり、安全運転に努めて適切なハンドル操作をしてください。



レーンポジショニングアシスト*が作動中は、ドライバーアテンションアラートの作動が停止される場合があります。

●連続運転警告



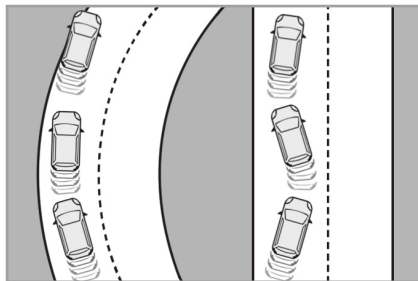
連続運転警告は、運転者が休憩をとらずに時速70km以上で2時間以上走行したとシステムが検知したとき、警告音とともにメッセージを表示し、運転者に休憩をとるように促します。

連続運転警告は、車両を停止させるまで、1時間おきに警告を表示します。



時速70km以下で走行しているときはシステムは作動を停止し、走行時間として積算されません。

● 疲労検知システム



疲労検知システムは、フロントウィンドウ上部のカメラで走行車線の車線マーカを検知し、車両のふらつきから運転者の疲労増加や注意力の低下を判断し、警告音とともにメッセージを表示して運転者に休憩をとるように促します。高速道路や自動車専用道路など、時速70km以上で走行しているときの使用が効果的です。



疲労検知システムが車両のふらつきを検知すると、警告音とともにメッセージを表示します。

走行状態が改善されない場合、4回目の警告からは異なる警告音とともにメッセージが表示されます。



- 疲労検知システムは、システムの作動開始から最大30分間、運転パターンの解析を行います。システムが運転パターンの解析を行っている間は、システムによる警告は行われません。
- 路面の状態が悪い道路の走行中や、強い風が吹いているときなどは、運転者の疲労の増加や注意力の低下の程度に関わらず、警告を表示することがあります。

● システムのオン／オフ

ドライバーアテンションアラートのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム(ADAS)の設定」項を参照してください。



システムをオフにすると、ドライバーアテンションアラートの警告灯が点灯します。



エンジンを始動すると、ドライバーアテンションアラートはオンになります。

● システムの異常



仕様により、警告音システムに異常が発生したときは、**SERVICE**警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。この場合、ドライバーアテンションアラートが作動していても、警告音が正常に作動しないことや、警告音が鳴らないことがあります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。



システムに異常が発生したときは、警告音とともにドライバーアテンションアラートの警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。



仕様により、フロントウィンドウのカメラが覆われ、カメラの視界が遮られると、ドライバーアテンションアラートの警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近がステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。カメラの視界が確保されるとシステムの作動が再開し、警告灯が消灯します。

⚠ 警告

- 以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
 - ・ カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
 - ・ カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
 - ・ フロントウィンドウにひび割れや損傷があるとき
 - ・ フロントウィンドウのカメラの位置がずれたとき、カメラのカバーがはずれているとき
 - ・ 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
 - ・ 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
 - ・ 前方に水、雪、土ぼこりなどの巻き上げや水蒸気、煙があるとき
 - ・ ESCシステムが作動して車両を制御しているとき
 - ・ 12Vバッテリーの電圧が低下しているなどの異常があるとき

⚠ 警告

- 路面の水たまりなどの反射光が強いとき
- 前方の車両に近付きすぎたとき
- 次のような道路を走行しているとき
 - 急なカーブや細い道路、曲がりくねった道路
 - 急な上り坂や下り坂など、路面勾配が変化する道路
 - 左右に傾きのある道路
 - 深いわだちがある道路
 - 整備されていない荒れた道路
 - 起伏や段差が多い道路
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- 車両の高さや傾きが変わるような改造をしているとき
- 車線マーカが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき

⚠ 警告

- 影などの影響で車線と車線の端、車線の外側との区別が分かりにくいとき
- 以下のようなときは、ドライバーアテンションアラートをオフにしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - スペースセーバータイヤを装着したとき
 - エンジンが始動している状態のままけん引されるとき
 - オフロード走行するとき
 - サーキットなどを走行しているとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムをオフにしてください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

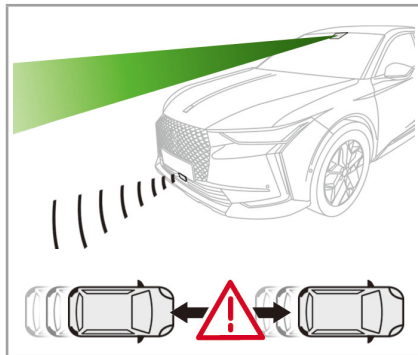
⚠ 警告

- フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- 冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

警告

- 傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

アクティブセーフティ ブレーキ



アクティブセーフティブレーキは、フロントウィンドウ上部のカメラとフロントバンパーのレーダーにより前方の車両や停車中の車両、歩行者、自転車を検知し、衝突の危険性が高まったとき、警告を表示して運転者に注意を促します。また、運転者の衝突回避動作が遅れたときは、自動ブレーキを作動させることで車両の速度を落とし、衝突の回避支援、または衝突時の速度を低減するシステムです。

アクティブセーフティブレーキには以下の3つの機能が備わっています。

- ・ディスタンスアラート
- ・エマージェンシーブレーキ
- ・インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

● 作動条件

アクティブセーフティブレーキは以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

- ・前進走行しているとき
- ・ASRシステムがオンのとき
- ・ブレーキシステムが正常に作動しているとき
- ・乗員全員がシートベルトを着用しているとき
- ・直線道路を一定の速度で走行しているとき



(⊗) いずれかの作動条件を満たしていないとき、警告灯が点灯し、アクティブセーフティブレーキは自動的にオフになります。ただし、走行状況、道路状況、天候状況など、さまざまな条件により、システムの検知精度が落ちたり、一時的に検知できない状態では、警告灯が点灯しない場合があります。

⚠ 警告

- アクティブセーフティブレーキは、どのような状況下でも衝突を回避できるシステムではありません。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な車間距離を保って走行してください。安全の確保は運転者の義務です。
- ブレーキの作動をアクティブセーフティブレーキのみに頼らないでください。衝突事故を起こすことがあります。常に車間距離に注意して走行し、運転者の判断でブレーキを踏むなどの適切な操作をしてください。
- アクティブセーフティブレーキは、走行状況、道路状況、天候状況など、さまざまな条件により、衝突の可能性が高い場合でも作動が遅れたり、作動しない場合があります。また、衝突の可能性がないなど、思わぬ場面でも作動することがあります。システムを過信せず、安全運転に努めてください。また、運転者が常に操作可能な状態を保ってください。

⚠ 警告

- この車両は、システムが正常に作動できるかどうかを常に診断しています。車両の状態がシステムの正常な作動に影響を及ぼすと判断された場合は、運転者への警告なしにシステムの作動を停止する場合があります。
- システムは、エンジンを始動した直後は作動しません。
- 以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
 - ・カメラの前のフロントウィンドウやフロントバンパーのレーダーやレーダーの周辺に泥や雪、汚れなどが付着しているとき
 - ・カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
 - ・フロントバンパーのレーダーにステッカーを貼っている、レーダーの前面が覆われているとき
 - ・フロントウィンドウにひび割れや損傷があるとき

⚠ 警告

- ・フロントバンパーに損傷があるとき、これまでにフロントバンパーの損傷を修復したことがあるとき
- ・フロントウィンドウのカメラの位置がずれたとき、カメラのカバーがはずれているとき
- ・ブレーキなどの関連部品が冷えている、過熱している、濡れているなどのとき
- ・12Vバッテリーを再接続したあとなど、システムの初期化が行われているとき
- ・視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- ・前方に水、雪、土ぼりなどの巻き上げや水蒸気、煙があるとき
- ・ESCシステムが作動して車両を制御しているとき
- ・12Vバッテリーの電圧が低下しているなどの異常があるとき
- ・路面の水たまりなどの反射光が強いとき
- ・前方の車両に近付きすぎたとき

⚠ 警告

- トラクター、サイドカーなど、対象車両の形状が特殊なとき
- 次のような道路を走行しているとき
 - 急なカーブや曲がりくねった道路
 - 急な上り坂や下り坂など、路面勾配が変化する道路
 - 左右に傾きのある道路
 - 深いわだちがある道路
 - 整備されていない荒れた道路
 - 起伏や段差が多い道路
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- 車両の高さや傾きが変わるような改造をしているとき
- 以下のようなときは、アクティブセーフティブレーキをオフにしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
 - スノーチェーンを装着しているとき

⚠ 警告

- タイヤの交換やタイヤ周辺部分の修理やメンテナンスを行うとき、エンジンルームのメンテナンスなどを行うとき
- 自走式の洗車機を使用するとき
- エンジンが始動している状態のままけん引されるとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき
- フロントバンパーに損傷があるとき
- フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが故障したとき
- ストップランプが故障しているとき



- アクティブセーフティブレーキは、二輪車や動物も検知します。ただし、路上の落下物や、体高が50cm以下の動物などは検知しません。
-  運転席シートベルトまたは／および助手席シートベルトが着用されていないときは、 インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイのシートベルト警告灯およびアクティブセーフティブレーキの警告灯が点灯します。このとき、アクティブセーフティブレーキは解除状態です。シートベルトを着用するとシステムは作動状態になります。
- システムが前方の車両などを検知すると、自動ブレーキの作動準備による作動音がしたり、減速するように感じられることがありますが、異常ではありません。

●ディスタンスアラート

前方の車両との車間距離や走行車線に進入した歩行者や自転車との距離が設定した車間距離を下回ると警告を表示します。

ディスタンスアラートの警告表示機能



警告レベル1：設定した車間距離を下回っているときに、警告が表示されるとともにメッセージが表示されます。走行している車両に対してのみ表示される警告です。



警告レベル2：警告レベル1の状態が持続し、さらに前方の車両との接近状況から、そのままでは衝突に至ると判断されたときは、警告が表示されるとともに警告音が鳴り、メッセージが表示されます。

警告レベル3：警告レベル2が表示されたあと、前方車両との衝突の危険があると知らせるため、断続的に自動ブレーキを作動させ、運転者に対して警告を行うことがあります。



- ディスタンスアラートの警告は、車間距離だけではなく自車両および前方の車両の速度差や自車両の運転操作の状態、旋回中かどうかなどの情報を総合して表示されます。
- 自車両の接近速度が高いとき、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されることがあります。
- 低速走行時は警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。

車間距離の設定

車間距離は以下の3種類から選択できます。

- ・長い：早めに警告が表示されます。
- ・標準：標準的な車間距離です。
- ・短い：やや遅れて警告が表示されます。

車間距離は、次の方法で設定します。

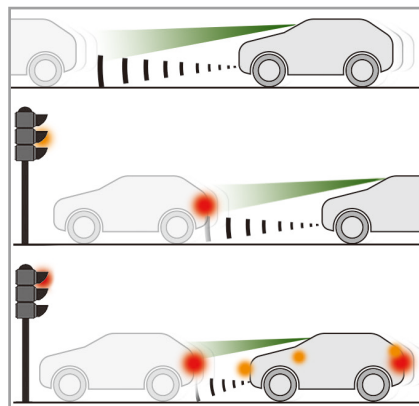
1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **機能**をタップします。
4. **アクティブセーフティブレーキ**の  をタップします。
5. カーソルを動かすか、バーをタップして車間距離を選択します。



●警告時間を**長い**に設定すると、早めに警告が表示されるため、警告が表示される頻度が高くなります。安全運転に影響がないと判断できる場合は、車間距離を**標準**または**短い**に設定することで、警告が表示される頻度が低くなる場合があります。

●ENGINE START/STOP スイッチをオフにしても、警告時間の設定は保持されます。

● エマージェンシーブレーキ



ディスタンスアラートの警告音が鳴ったあと、運転者の衝突回避動作が遅れた場合に、自動ブレーキが作動し、衝突回避を支援したり、衝突時の速度を低減します。

() エマージェンシーブレーキの作動中は、アクティブセーフティブレーキの警告灯が点滅します(約10秒間)。

作動条件

エマージェンシーブレーキは以下のときに作動します。

- ・ 時速10km～時速140kmで走行中に、走行中の前方車両を検知したとき
- ・ 時速80km以下で走行中に、停車中の前方車両や自転車、歩行者を検知したとき

⚠ 注意

- エマージェンシーブレーキによる自動ブレーキが作動しても、運転者の操作でブレーキペダルを踏み続けてください。
- エマージェンシーブレーキによる自動ブレーキで車両が停止すると、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。ブレーキペダルを踏んでクリープ現象による車の発進を防止してください。



- 次のようなときは、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - ・ アクセルペダルを踏み込んだとき
 - ・ ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
- 自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。
- エマージェンシーブレーキが作動するとブレーキペダルが固く感じたり、振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。
- 走行速度が時速30kmまでは、自動ブレーキにより車両が停止する場合があります。また、停止しない場合でも、自動ブレーキにより最大で時速50kmの減速を行います。ただし、道路状況や天候、車両の状態などに異なります。

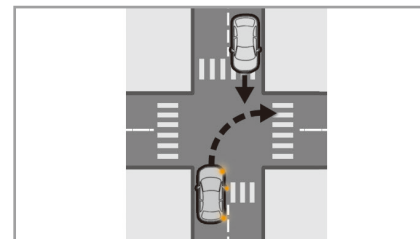
● インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

運転者のブレーキ操作が不十分で、衝突の危険があるときは自動ブレーキが作動します。



インテリジェントエマージェンシーブレーキアシストは運転者がブレーキ操作を行ったときにのみ作動します。

● 交差点右折時の作動



アクティブセーフティブレーキは、交差点で右折して対向車の進路を横切るとき、衝突の可能性が高いとシステムが判断した場合にも作動します。

作動条件

- ・ 対向車の進路を横切るとき
- ・ 右方向の方向指示器が作動しているとき
- ・ 時速5km～時速20kmで走行中
- ・ 対向車の側面に衝突するおそれがあるとき

⚠ 警告

交差点の形状によっては正しく作動しない場合があります。

MEMO

この機能は対向車線を走行している車両にのみ作動します。二輪車には作動しません。

● システムのオン／オフ

アクティブセーフティブレーキのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。



システムをオフにすると、アクティブセーフティブレーキの警告灯が点灯します。



● 走行中はアクティブセーフティブレーキをオフにすることができません。

● エンジンを始動すると、アクティブセーフティブレーキはオンになります。

● 以下のようなときは、システムは自動的に解除されます。

- 運転席シートベルトまたは助手席シートベルトをはずしたとき
- 適切なサイズのスペアタイヤを装着して走行していないとき
- ブレーキペダルの作動に異常があるとき

MEMO

- ストップランプが故障しているとき
- 車両のセンサー、電子部品、ブレーキシステムなどに異常があるとき
- 大きな衝撃を受けたとき（エアバッグが作動したときなど）

● システムの異常



仕様により、警告音システムに異常が発生したときは、**SERVICE** 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。この場合、アクティブセーフティブレーキが作動していても、警告音が正常に作動しないことや、警告音が鳴らないことがあります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。



システムに異常が発生したときは、警告音とともにアクティブセーフティブレーキの警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。



エンジンを停止後しばらく経過してから再度始動したとき、アクティブセーフティブレーキの警告灯と **SERVICE** 警告灯が点灯した場合は、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。



仕様により、フロントウィンドウのカメラまたはフロントバンパーのレーダーが覆われ、カメラの視界が遮られたり、レーダーの性能が発揮できなくなると、アクティブセーフティブレーキの警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近やフロントバンパーのレーダーがステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか、レーダーが覆われていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。カメラの視界が確保される、レーダーの性能が発揮できる状態になるとシステムの作動が再開し、警告灯が消灯します。

⚠ 警告

- フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやレーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- 冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- フロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪などが付着するとカメラやレーダーが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- フロントバンパーのレーダーにステッカーなどを貼り付けしないでください。

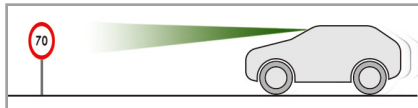
警告

- 車内に荷物を積みすぎたり、ルーフキャリアに荷物を高く積みすぎたりしないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
- 傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- フロントバンパーの修理、塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。

警告

- フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

トラフィックサインインフォメーション



トラフィックサインインフォメーションは、カメラが車両の速度規制標識を認識して、インストルメントパネルに制限速度を表示する機能です。

インストルメントパネルに表示された制限速度は、アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）やスピードリミッターの走行速度に設定することができます。

警告

- トラフィックサインインフォメーションが正しく作動するために、スピードメーターの速度の単位は必ずkm/h表示を使用してください。誤ってmph表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告

- 以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
 - ・カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
 - ・カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
 - ・フロントウィンドウにひび割れや損傷があるとき
 - ・フロントウィンドウのカメラの位置がずれたとき、カメラのカバーがはずれているとき
 - ・視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
 - ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
 - ・前方に水、雪、土ぼこりなどの巻き上げや水蒸気、煙があるとき
 - ・12Vバッテリーの電圧が低下しているなどの異常があるとき
 - ・路面の水たまりなどの反射光が強いとき
 - ・前方の車両に近付きすぎたとき

警告

- 次のような道路を走行しているとき
 - ・急なカーブや曲がりくねった道路
 - ・急な上り坂や下り坂など、路面勾配が変化する道路
 - ・左右に傾きのある道路
 - ・深いわだちがある道路
 - ・整備されていない荒れた道路
 - ・起伏や段差が多い道路
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- 車両の高さや傾きが変わるような改造をしているとき
- 速度規制標識が車、立木、汚れなどによって見えにくいとき
- 速度規制標識が損傷するなどして見えにくいとき
- 以下のような個別の状況に応じて規制された速度制限は認識されません。
 - ・悪天候（雨、雪など）
 - ・大気汚染
 - ・スペースセーバータイヤやスノーチェーンを装着しての走行

警告

- パンク修理キットで応急修理をしたタイヤでの走行

● インストルメントパネルの表示

トラフィックサインインフォメーションの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。



①：速度規制標識の制限速度表示



②：速度規制標識の速度規制区間終了の表示



● 制限速度の表示

タイプ1



トラフィックサインインフォメーションは作動していますが、認識した速度規制標識はありません。



トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度を表示しました。



認識した速度規制標識の制限速度に対して走行速度が時速5km超過すると、初回超過時は、インストルメントパネルの制限速度表示が約10秒間点滅します。



速度規制標識の認識機能はオン／オフすることができます。オン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。
エンジンを始動すると、速度規制標識の認識機能はオンになります。

タイプ2



トラフィックサインインフォメーションは作動していますが、認識した速度規制標識はありません。



トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、警告音とともに制限速度を表示しました。



認識した速度規制標識の制限速度に対して走行速度が超過すると、インストルメントパネルの制限速度表示が数秒間点滅します。



認識した速度規制標識の制限速度に対して走行速度が超過した状態でしばらく走行を続けると、警告音とともにインストルメントパネルの制限速度表示がさらに数秒間点滅します。



●速度規制標識認識時の警告音はオン／オフすることができます。警告音のオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしても、速度規制標識認識時の警告音のオン／オフの設定は保持されます。



●制限速度超過時の警告音はオン／オフすることができます。警告音のオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム(ADAS)の設定」項を参照してください。



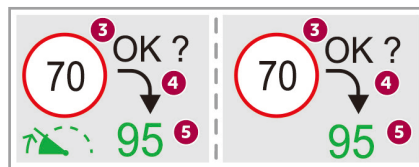
制限速度超過時の警告音をオフにすると、トラフィックサインインフォメーションの警告灯が数秒間表示されます。エンジンを始動すると、制限速度超過時の警告音はオンになります。

●速度規制標識の認識機能をオフにすることはできません。

●速度の設定

インストルメントパネルに表示された制限速度をアクティブクルーズコントロール(ストップ&ゴー機能付き)やスピードリミッターの走行速度に設定することができます。

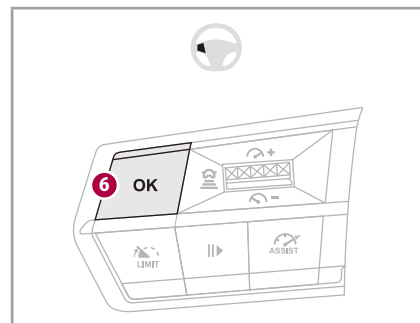
1. アクティブクルーズコントロール(ストップ&ゴー機能付き)またはスピードリミッターをオンにしてから、作動状態にします。
2. トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識すると、警告音とともに(警告音はタイプ2のみ)インストルメントパネルに制限速度③が表示され、OK?④が点灯します。



●認識された速度制限と現在の設定速度の差が時速5km以下のときは、**OK?④**は表示されません。

●道路状況により異なる制限速度が連続して表示されることがあります。

3. ステアリングスイッチのOKボタン⑥を押すと、表示された制限速度③を設定速度⑥として記憶します。



● 道路標識の認識機能



システムが進路禁止の道路標識を認識し、車両が進路禁止区域に進出したと判断したときは、進路禁止の道路標識とともにメッセージが表示されます。

道路標識の認識機能のオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。



ENGINE START/STOPスイッチをオフにしても、道路標識の認識機能のオン／オフの設定は保持されます。

● システムの異常



仕様により、警告音システムに異常が発生したときは、**SERVICE** 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。この場合、トラフィックサインインフォメーションが作動していても、警告音が正常に作動しないことや、警告音が鳴らないことがあります。当社指定サービス工場点検を受けてください。



仕様により、システムに異常が発生したときは、警告音とともにトラフィックサインインフォメーションの警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場点検を受けてください。



仕様により、フロントウィンドウのカメラが覆われ、カメラの視界が遮られると、トラフィックサインインフォメーションの警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近がステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。カメラの視界が確保されるとシステムの作動が再開し、警告灯が消灯します。

警告

- トラフィックサインインフォメーションは、法定速度を守った走行や、安全運転を支援する機能です。システムを過信せず、運転者の責任の下で速度規制標識を確認し、走行速度には十分注意してください。
- 速度規制標識の角度や配置、汚れ、気象条件（雨、雪、光など）によっては、カメラが速度規制標識を正しく読み取ることができなかったり、制限速度を表示しない場合があります。
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムをオフにしてください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。

警告

- ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- 冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
- 傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

アクティブクルーズ コントロール (ストップ&ゴー機能付き)



アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）は、アクセルペダルを踏まなくてもドライバーによって設定された速度を一定に保って走行します。また、フロントウィンドウ上部のカメラとフロントバンパーのレーダーにより同じ方向に走行している前方の車両を検知し、前方の車両との距離が接近した場合には、自動的に速度を落としてあらかじめ設定した車間距離を保ったり、前方車両が停止したときは、ブレーキの自動操作を行い、前方車両に続いて自車両も停止します。完全停止後、前方車両が約3秒以内に再発進すれば、自車両は前方車両を追従して発進します。自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。

⚠ 警告

- アクティブクルーズコントロールは速度規制標識の制限速度および安全に走行するために必要な車間距離を認識しません。運転者の責任の下で速度規制標識を確認し、走行速度や車間距離に十分注意してください。
- アクティブクルーズコントロールシステムを作動させている場合においても、常に車間距離に注意して走行してください。前方を走行している車両との車間距離を適切に保つのは、運転者の義務です。
- 前方の車両や周囲の車両の走行状況によっては、フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが誤って前方の車両を検知し、前方の車両との車間距離や自車両の速度が正しく制御されない場合や、追従走行がスムーズに行われない場合があります。走行中は常に両手でハンドルをしっかり持ち、必要に応じてアクセルペダルやブレーキペダルの操作をしてください。

⚠ 警告

- アクティブクルーズコントロールシステムを使用しない場合には、アクティブクルーズコントロールをオフまたは停止してください。誤ってシステムが働いてしまうのを防止します。
- 急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合にはブレーキペダルを踏んで減速してください。
- 以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
 - ・カメラの前のフロントウィンドウやフロントバンパーのレーダーやレーダーの周辺に泥や雪、汚れなどが付着しているとき
 - ・カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
 - ・フロントバンパーのレーダーにステッカーを貼っている、レーダーの前面が覆われているとき
 - ・フロントウィンドウにひび割れや損傷があるとき

⚠ 警告

- ・フロントバンパーに損傷があるとき、これまでにフロントバンパーの損傷を修復したことがあるとき
- ・フロントウィンドウのカメラの位置がずれたとき、カメラのカバーがはずれているとき
- ・ブレーキなどの関連部品が冷えている、過熱している、濡れているなどのとき
- ・視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- ・前方に水、雪、土ぼこりなどの巻き上げや水蒸気、煙があるとき
- ・ESC システムが作動して車両を制御しているとき
- ・12V バッテリーの電圧が低下しているなどの異常があるとき
- ・路面の水たまりなどの反射光が強いとき
- ・前方の車両に近付きすぎたとき
- ・トラクター、サイドカーなど、対象車両の形状が特殊なとき

⚠ 警告

- ・次のような道路を走行しているとき
 - ・急なカーブや曲がりくねった道路
 - ・急な上り坂や下り坂など、路面勾配が変化する道路
 - ・左右に傾きのある道路
 - ・深いわだちがある道路
 - ・整備されていない荒れた道路
 - ・起伏や段差が多い道路
- ・トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- ・車両の高さや傾きが変わるような改造をしているとき
- 以下のようなときは、アクティブクルーズコントロールをオフまたは停止してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・歩行者や自転車などが混在している道路や市街地
 - ・滑りやすい路面
 - ・曲がりくねった道路
 - ・勾配の激しい道路
 - ・旋回するとき
 - ・トンネルや橋に進入するとき
 - ・ラウンドアバウトに進入するとき

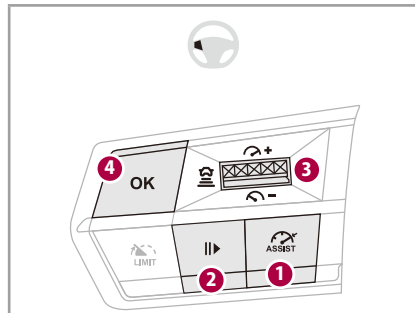
⚠ 警告

- ・オートバイなどの細い車両の後方を走行しているときや、前方の車両が車線の中央を走行していないとき
- ・悪天候のとき
- ・雪が降っているとき
- ・視界不良のとき
- ・フロントウィンドウやフロントバンパーに損傷があるとき
- ・フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたとき
- ・フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが故障したとき
- ・ストップランプが故障しているとき
- ・車両のフロント部にアクセサリを取り付けたり、塗装をしたとき
- ・ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- ・サーキットなどを走行しているとき
- ・エンジンが始動している状態のままけん引されるとき

警告

- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- スノーチェーンやスパイクタイヤを装着して走行しているとき
- スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
- フロントウィンドウのカメラ部分が覆われているとき
- フロントバンパーのレーダーの前面が覆われているとき

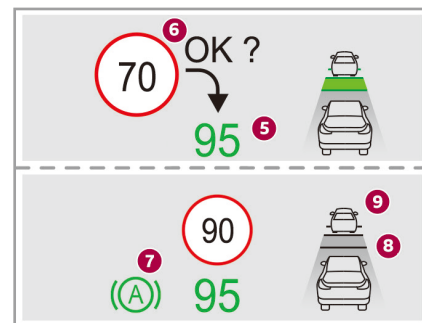
● コントロールスイッチ



アクティブクルーズコントロールは、ステアリングスイッチのボタンを使用して設定します。

- ①：アクティブクルーズコントロールのオン/オフ切り替え
- ②：システムの一時的停止/復帰/自動ブレーキによる車両停止後の再発進許可
- ③：速度設定/設定速度の増加と減少/車間距離の表示と設定
- ④：速度設定/トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

● インストルメントパネルの表示



アクティブクルーズコントロールの情報は、インストルメントパネルのディスプレイにミニビューとして表示されます。

- ⑤：設定スピード表示
- ⑥：速度規制標識の制限速度表示
- ⑦：自動ブレーキによる車両停止時の表示
- ⑧：車間距離設定表示
- ⑨：前方車両の位置表示



システムが前方の車両を検知すると、前方車両の位置表示⑨に車両のアイコンが表示されます。

● アクティブクルーズコントロールの設定

ステアリングスイッチの**ASSIST**ボタン①を押すと、アクティブクルーズコントロールがオンになります（ミニビューが点灯）。アクティブクルーズコントロール機能が使用可能になりますが、速度は設定されていません。

レーンポジショニングアシスト装備車は、再度ステアリングスイッチの**ASSIST**ボタン①を押すとレーンポジショニングアシストがオンになり、さらにもう一度押すとアクティブクルーズコントロール／レーンポジショニングアシストがオフになります（ミニビューが消灯）。

レーンポジショニングアシスト非装備車は、再度ステアリングスイッチの**ASSIST**ボタン①を押すとアクティブクルーズコントロールがオフになります（ミニビューが消灯）。



ENGINE START/STOP スイッチをオフにすると作動停止しますが、アクティブクルーズコントロールのオン／オフの設定は保持されます。

● 走行速度の設定

以下のすべての作動条件を満たすと、**OK?**が表示されます。ステアリングスイッチのボタン③を上または下に動かすか、**OK**ボタン④を押すと、走行速度が設定されます。走行速度が設定されると、自動的にその速度を維持して走行します（ミニビューが緑色に点灯）。

- ・ 時速180km以下で走行しているとき、または停止中にブレーキペダルを踏んでいるとき（停止中に走行速度を設定すると、アクティブクルーズコントロールは一時停止状態になります）
- ・ 運転席ドアが閉まっているとき
- ・ 運転席シートベルトが締められているとき
- ・ シフトポジションが**D**または**M**のとき
- ・ エレクトリックパーキングブレーキがかかっていないとき

設定できる速度は時速30km～時速180kmです。

警告

道路状況や交通状況に応じた車速を設定してください。誤った速度設定は事故につながるおそれがあります。



- 時速30km以上で走行中は、ステアリングスイッチのボタン③を上または下に動かすか、OKボタン④を押すと、走行速度はその速度に設定されます。停止中にブレーキペダルを踏んでいるとき、または時速30km未満で走行中に、ステアリングスイッチのボタン③を上または下に動かすか、OKボタン④を押すと、走行速度は時速30kmに設定されます。
- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにする、アクティブクルーズコントロールをオフにする、またはスピードリミッターをオンにすると、設定された速度が初期化されます。

設定速度の変更

定速走行中（ミニビューが緑色に点灯）に、ステアリングスイッチのボタン③を上動かすと設定速度が増加し、下動かすと設定速度が減少します。すぐにボタンを離すと1km / hずつ、ボタンを保持すると5km / hずつ速度が変化します。

また、アクティブクルーズコントロールが作動中、トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、ステアリングスイッチのOKボタン④の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

警告

速度を変更するときに急加速または急減速することがありますので、十分注意してください。

システムの一時的停止／復帰

アクティブクルーズコントロールを一時的に停止するには、ステアリングスイッチのボタン②を押すか、ブレーキペダルを踏みます（ミニビューにIIまたはII>のアイコンが表示されます）。

また、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ・ ESCシステムが車両を制御しているとき
- ・ エレクトリックパーキングブレーキが操作されたとき
- ・ シフトポジションをDまたはMからNにしたとき
- ・ シフトポジションをRまたはPにしたとき
- ・ シートベルトをはずしたとき
- ・ 運転席ドアを開けたとき

停止されたシステムを復帰するには、すべての作動条件を満たしているときにステアリングスイッチのボタン②かOKボタン④を押します。

運転装置の使いかた

●車間距離の設定

すべての作動条件を満たしているときにステアリングスイッチのボタン③の操作で希望する車間距離を設定します。

1. ステアリングスイッチのボタン③を押して車間距離設定を表示させます。
2. ステアリングスイッチのボタン③を押して車間距離を切り替えます。

車間距離は3段階で設定できます。

バーが1つ：短い

バーが2つ：標準

バーが3つ：長い



●ENGINE START/STOPスイッチ

をオフにする、アクティブクルーズコントロールをオフにする、またはスピードリミッターをオンにしたりしても、車間距離の設定は保持されます。

- 追い越しのために方向指示器を作動させた場合は、設定した走行速度を保ったまま、一時的に前方の車両に接近することができます。

●システムの異常



システムに異常が発生したときは、警告音とともに**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。また、設定速度表示が消えて一が橙色に表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警告

- フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやレーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- 冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- フロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪などが付着するとカメラやレーダーが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- フロントバンパーのレーダーにステッカーなどを貼り付けしないでください。

警告

- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
- 傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- フロントバンパーの修理、塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。
- フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。



- アクティブクルーズコントロールを使用中でも、アクセルペダルを踏んで加速することができます。この間、アクティブクルーズコントロールの作動は停止されます。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。その際、走行速度が設定速度を超過している間は速度の表示が点滅します。
- 急な登り坂では設定速度まで加速できない、または設定速度を維持できないことがあります。
- ストップランプに異常が発生するとアクティブクルーズコントロールが作動しなくなることがあります。

運転装置の使いかた

● システムの作動状況

インストルメントパネルの表示	意味
	アクティブクルーズコントロールはオンになっていますが、作動条件が満たされていないため、機能を作動させることができません。
	アクティブクルーズコントロールはオンになっています。すべての作動条件が満たされ、機能の作動を待機しています。
	アクティブクルーズコントロールが一時停止しています。作動条件が満たされていないため、機能を作動させることができません。
	アクティブクルーズコントロールが一時停止しています。すべての作動条件が満たされ、機能の作動を待機しています。
	アクティブクルーズコントロールが作動しています。検知範囲内の前方に車両がいます。
	一時的にアクティブクルーズコントロールが停止しています。運転者がアクセルペダルを踏み込んで加速しました。
	状況に応じて、アクセルペダルを踏み込んで加速するか、ブレーキペダルを踏んで速度を落としてください。 警告音とともにメッセージが表示されます。
	前方の車両との車間距離が急激に短くなりました。そのままでは衝突に至ると判断されたため、ブレーキペダルを踏むなど、すぐに運転者の操作が必要です。 警告音とともにメッセージが表示されます。

インストルメントパネルの表示	意味
	作動条件を満たしていないために、アクティブクルーズコントロール機能を作動できません。メッセージが表示されます。
	・自動ブレーキにより車両が停止しました。完全停止後、約3秒以内に前方車両が再発進すれば、自車両はゆっくりと発進し、設定された速度と車間距離を保ちながら走行します。 ・自動ブレーキにより車両が停止しました。完全停止後、約3秒以上経過したため、発進するには、ステアリングスイッチのボタン②を押すか、アクセルペダルの操作が必要です。

警告

- 自動ブレーキにより車両が停止したら、次のことをお守りください。
 - ・運転者は車両から離れないでください
 - ・テールゲートを開けないでください
 - ・車両から乗り降りしないでください
 - ・シフトポジションを**R**にしないでください
- 自動ブレーキにより車両が停止したあと、再発進するときは、車両前方の歩行者や自転車、動物に注意してください。システムは歩行者や自転車、動物を検知しないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転者は周囲をよく確認してから再発進してください。



自動ブレーキにより車両が停止したあと、運転者による操作がない場合は、数分後に自動的にエレクトリックパーキングブレーキが作動します。

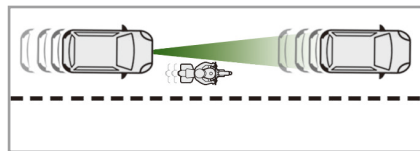
運転装置の使いかた

●カメラやレーダーが検知できない状況

次のような状況では、必要に応じてブレーキペダルの操作で減速する、システムの作動を一時停止するなど、運転者による操作を行ってください。

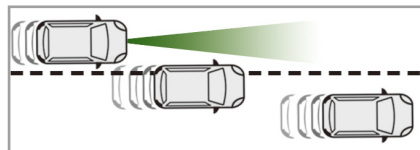
カメラやレーダーが正常に車両を検知できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

オートバイなどの幅の狭い車両



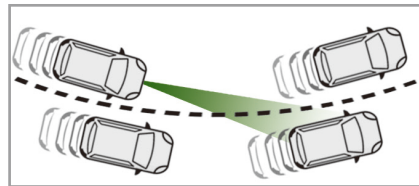
システムの作動を一時停止してください。

車線の中央を走行していない車両



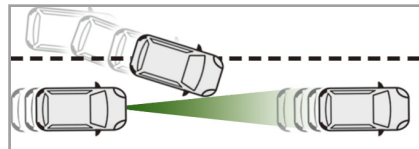
必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

旋回時やラウンドアバウトに進入するとき



システムの作動を一時停止してください。

前方の車両が急速に速度を落としたときや、前方の車両と自車両の間に急に別の車両が進入したとき



必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

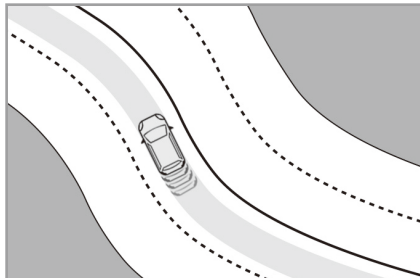


アクティブクルーズコントロールは、以下の車両や歩行者などは検知しません。

- 停止している車両
- 対向車線を走行している車両
- 前方を横切って通過する車両
- 歩行者、自転車、動物

*仕様により異なります。

レーンポジショニングアシスト*



レーンポジショニングアシストは、アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）と連動して機能するシステム（DSドライブアシスト）です。フロントウィンドウ上部のカメラが走行車線を検知し、運転者が設定した走行車線上の車両の位置を維持して走行します。

高速道路や自動車専用道路などで走行しているときに効果的です。

アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の詳細は「アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）」項を参照してください。



- レーンポジショニングアシストの作動中は、ハンドルが自動的に動いて微調整を行い、走行車線上の車両の位置を維持します。
 - レーンポジショニングアシストの作動中も、運転者がハンドル操作を行うことで作動を一時的に停止し、走行車線上の車両の位置を変更できます。位置の変更を行ったら、レーンポジショニングアシストの作動が再開されるまで、走行車線上の車両の位置を運転者のハンドル操作によって維持してください。
- ただし、運転者が設定する車両の位置が走行車線の右側または左側に寄りすぎている場合は、システムが自動的に車両の位置を走行車線の中心方向へ戻す動作を行います。

●作動条件

レーンポジショニングアシストは以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

- ・アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の機能がオンで、正常に作動しているとき
- ・走行車線が検知されているとき
- ・運転者がハンドルを両手でしっかり持っているとき
- ・ESCシステムが正常に作動しているとき
- ・ASRシステムがオンのとき
- ・スペースセーバータイヤを装着していないとき
- ・車体に対して横方向の強い力が働いていないとき
- ・方向指示器が作動していないとき

⚠ 警告

- レーンポジショニングアシストは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。長時間の運転などで疲れているときは適度な休憩をとってください。走行中は常に両手でハンドルをしっかりと持ち、必要に応じてアクセルペダルやブレーキペダルの操作をしてください。
- 必要に応じて、ハンドルを操作してレーンポジショニングアシストの作動を一時的に停止させるか、ブレーキペダルを踏んでレーンポジショニングアシストの作動を停止してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
 - ・カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき

⚠ 警告

- ・カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- ・フロントウィンドウにひび割れや損傷があるとき
- ・フロントウィンドウのカメラの位置がずれたとき、カメラのカバーがはずれているとき
- ・視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- ・前方に水、雪、土ぼこりなどの巻き上げや水蒸気、煙があるとき
- ・ESCシステムが作動して車両を制御しているとき
- ・12Vバッテリーの電圧が低下しているなどの異常があるとき
- ・路面の水たまりなどの反射光が強いとき
- ・前方の車両に近付きすぎたとき

⚠ 警告

- ・次のような道路を走行しているとき
 - ・急なカーブや曲がりくねった道路
 - ・急な上り坂や下り坂など、路面勾配が変化する道路
 - ・左右に傾きのある道路
 - ・深いわだちがある道路
 - ・整備されていない荒れた道路
 - ・起伏や段差が多い道路
- ・トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- ・車両の高さや傾きが変わるような改造をしているとき
- ・車線マーキーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- ・消された車線マーキーがまだ見えている道路を走行するとき
- ・道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき

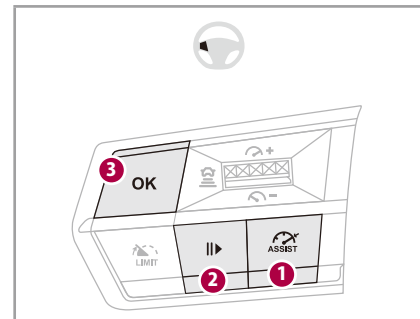
警告

- 以下のようなときは、レーンポジショニングアシストを使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・ タイヤの交換やタイヤ空気圧の調整などを行うとき、タイヤ周辺部分の修理やメンテナンスを行うとき
 - ・ 悪天候のとき
 - ・ 雪が降っているとき
 - ・ 視界不良のとき
 - ・ フロントウィンドウに損傷があるとき
 - ・ フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき
 - ・ フロントウィンドウのカメラが故障したとき
 - ・ 滑りやすい路面を走行しているとき
 - ・ 工事などによって規制された車線があるときや仮設の車線がある道路を走行しているとき
 - ・ 高速道路などの料金所周辺を走行しているとき
 - ・ サーキットなどを走行しているとき

警告

- ・ 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- ・ スノーチェーンやスパイクタイヤを装着して走行しているとき
- ・ スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき

● システムのオン／オフ



アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の機能がオンまたは作動中のとき、ステアリングスイッチの**ASSIST**ボタン①を押すと、システムがオンになり、インストルメントパネルの表示灯が点灯します。

再度ステアリングスイッチの**ASSIST**ボタン①を押すと、システムがオフになり、インストルメントパネルの表示灯が消灯します。レーンポジショニングアシストがオフになると同時にアクティブクルーズコントロールもオフになります。



ENGINE START/STOP スイッチをオフにすると作動停止しますが、レーンポジショニングアシストのオン／オフの設定は保持されます。

● 表示灯について



いずれかの作動条件が満たされておらず、システムが作動していないときは、インストルメントパネルの表示灯が灰色に点灯します。



すべての作動条件が満たされ、レーンポジショニングアシストが作動しているときは、インストルメントパネルの表示灯とミニビューのサイドラインが緑色に点灯します。



システムに異常がある場合は、インストルメントパネルの表示灯が橙色に点灯します。

● 作動が停止される条件

レーンポジショニングアシストは、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止されます。

- ・ 方向指示器を作動させたとき
- ・ 走行車線の外側を走行しているとき
- ・ ハンドルを強く握ったとき
- ・ 急なハンドル操作を検知したとき
- ・ 一定時間以上、ハンドルをしっかりと持っていないとき
- ・ アクセル操作、ブレーキ操作を検知したとき
- ・ アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）の作動を停止したとき
- ・ ASRシステムをオフにしたとき
- ・ ESCシステムが車両を制御しているとき
- ・ 走行車線の検知が十分に行えないとき



- 運転者がハンドルをしっかりを持っていないとシステムが判断すると、段階的に警告が表示されます。そのまま一定時間以上経過すると、レーンポジショニングアシストがオフになります。引き続きレーンポジショニングアシストを使用する場合は、ステアリングスイッチの**ASSIST**ボタンを押してオンにしてください。
- ブレーキペダルを踏むとアクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）の作動が停止されるため、レーンポジショニングアシストの作動も停止されます。ブレーキペダルを放してもレーンポジショニングアシストの作動は再開されません。レーンポジショニングアシストの作動を再開するには、アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）を作動させてください。



- アクセルペダルを踏むと一時的にレーンポジショニングアシストの作動が停止されますが、アクセルペダルを放すと作動が再開されます。
- 走行車線の検知が十分に行えずレーンポジショニングアシストの作動が停止されると、レーンキープアシストが作動します。再度作動条件が満たされると、レーンポジショニングアシストの作動が再開されます。

運転装置の使いかた

● システムの作動状況

ステアリングスイッチの操作	インストルメントパネルの表示	意味
ASSIST ボタン① またはボタン②押下		アクティブクルーズコントロールが一時停止しています。 レーンポジショニングアシストはオフになっています。
		アクティブクルーズコントロールおよびレーンポジショニングアシストの作動が停止しています。
ASSIST ボタン① またはOK ボタン③押下		アクティブクルーズコントロールが作動しています。 レーンポジショニングアシストはオフになっています。
		アクティブクルーズコントロールが作動しています。 レーンポジショニングアシストはオンになっていますが、作動条件が満たされていないため、システムは作動していません。
ASSIST ボタン①押下		アクティブクルーズコントロールおよびレーンポジショニングアシストが作動しています。ハンドル操作を自動制御し走行車線内のポジションを維持しながら走行しています。
ボタン②押下		運転者の操作によりアクティブクルーズコントロールおよびレーンポジショニングアシストが一時停止しています。



- 運転状況や走行操作に関して注意が必要な場合、警告音がしたり、運転者の操作を促すメッセージや警告メッセージが表示されたりします。インストルメントパネルにメッセージが表示された場合は、表示された指示に従い適切な運転操作を行ってください。
- 路面状態の良い、長い直線道路を走行中、運転者がハンドルをしっかりと持っていても警告が表示されることがあります。

●システムの異常



システムに異常が発生したときは、警告音とともに**SERVICE**警告灯およびレーンポジショニングアシストの表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- 冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

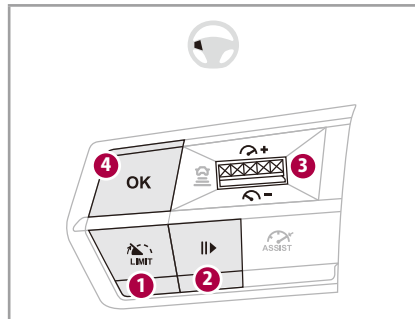
警告

- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
- 傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

スピードリミッター

スピードリミッターは、あらかじめドライバーが設定した速度（最低時速30km以上）を超えて走行しないようにする機能です。設定速度以上にアクセルペダルを踏み込んでも加速しません。

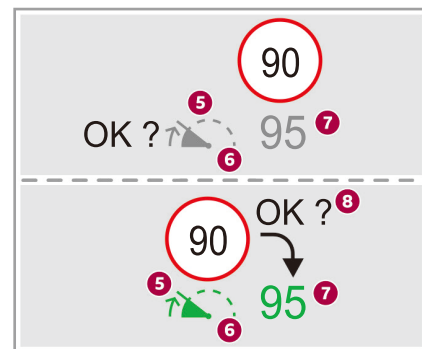
● コントロールスイッチ



スピードリミッターは、ステアリングスイッチのボタンを使用して設定します。

- ①：スピードリミッターのオン／オフ切り替え
- ②：システムの作動／停止
- ③：設定速度の増加と減少
- ④：システムの作動／トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

● インストルメントパネルの表示



スピードリミッターの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

- ⑤：スピードリミッターオン／オフ表示
- ⑥：スピードリミッター作動（緑色）／停止（灰色）表示
- ⑦：設定スピード表示
- ⑧：トラフィックサインインフォメーションの速度規制標識の制限速度表示

●スピードリミッターの設定

ステアリングスイッチの**LIMIT** ボタン①を押すと、スピードリミッターがオンになります（スピードリミッターオン／オフ表示⑤が灰色に点灯）。スピードリミッター機能が使用可能になり、設定速度が表示されます（機能は停止されています）。

ステアリングスイッチの**LIMIT** ボタン①を押す、または**ASSIST** ボタンを押すとシステムはオフになりますが（スピードリミッターオン／オフ表示⑤が消灯）、速度の設定は保持されます。



ENGINE START/STOP スイッチをオフにすると作動停止しますが、スピードリミッターのオン／オフの設定は保持されます。

●最高速度の設定

ステアリングスイッチのボタン③を上下に動かして希望する速度を設定します。上に動かすと設定速度が増加し、下に動かすと設定速度が減少します。すぐにボタンを離すと1km / hずつ、ボタンを保持すると5km / hずつ速度が変化します。

また、スピードリミッターの作動中、トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、ステアリングスイッチの**OK** ボタン④の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

●スピードリミッターの作動

ステアリングスイッチのボタン②か**OK** ボタン④を押すとスピードリミッターが作動します（スピードリミッター作動／停止表示⑥が緑色に点灯）。アクセルペダルを踏み込んでもその速度以上では走行しません。再度ステアリングスイッチのボタン②を押すと、スピードリミッターが停止します。

警告

スピードリミッターを過信せず、走行速度には十分注意してください。



スピードリミッターが作動中でも、アクセルペダルをいっばいに踏み込むことで一時的に加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。一定時間以上、走行速度が設定速度を超えた状態で走行すると、警告音が鳴ります。また、急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合は、警告音とともに速度の表示が点滅します。

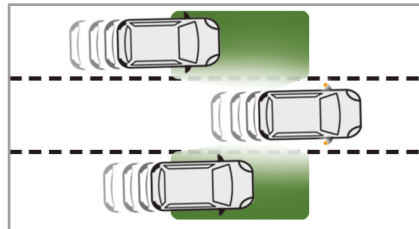
これらの場合、スピードリミッターは一時的に作動を停止します。車速が設定速度まで戻ると、スピードリミッターは再度作動します。

● システムの異常

速度表示が消えて一が数秒間点滅したあとに点灯（橙色）したときは、システムに異常があります。

当社指定サービス工場で点検を受けてください。

ブラインドスポットモニター ロングレンジ



ブラインドスポットモニターロングレンジは、リアバンパーに埋め込まれたレーダーが、隣接する車線を後方から急速に接近してくる車両や（最大75m後方までモニターします）、ドアミラーでの確認が困難な範囲に車両が進入した際に、その存在を検知して運転者に警告するシステムです。

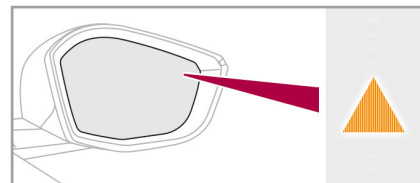
⚠ 警告

- ブラインドスポットモニターロングレンジは安全確認を補助するための装備であり、ルームミラーやドアミラーの代わりではありません。運転者の責任の下で、道路状況、他車との距離、相対速度を必ず確認し、車線変更などを行ってください。
- ブラインドスポットモニターロングレンジは、走行状況、道路状況、天候状況など、さまざまな条件により、作動が遅れたり、作動しない場合があります。また、思わぬ場面でも作動することがあります。システムを過信せず、安全運転に努めてください。



- ブラインドスポットモニターロングレンジは、乗用車、大型車、オートバイなどの車両を検知対象とします。
- ブラインドスポットモニターロングレンジをオフにすることはできません。

●システムの警告のしかた



ドアミラーの確認が困難な範囲に車両を検知した直後、または隣接する車線を後方から接近してくる車両を検知した直後に、検知した側のドアミラーの警告灯が点灯します。検知した側の方向指示器を作動させた場合は、約1秒後にドアミラーの警告灯が点滅します。



エンジンを始動するとドアミラーの警告灯が一時的に点灯します。

● 作動条件

ブラインドスポットモニター（ロングレンジ）は以下の作動条件を満たしているときに作動します。

- ・ 自車両を含めた周囲すべての車両が隣接した車線の同じ方向に走行している
- ・ 追い越しをしている場合、他車との速度差が時速15km未満
- ・ 道路状況が混雑していない
- ・ 追い越しをしている場合、追い越し状態が継続していて、かつ追い越された車両が依然としてブラインドゾーンにある

⚠ 警告

以下のものや状況の場合、ドアミラーの警告灯は点灯／点滅しません。

- ・ 静止しているもの（駐車している車両、壁、街灯、道路標識など）
- ・ 自車とは逆方向に走行している車両
- ・ リアバンパーに損傷があるとき

● システムの故障



システムに異常が発生したときは、**SERVICE** 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場でのシステムの点検を受けてください。

⚠ 警告

- ドアミラーにある警告ゾーン、およびリアバンパーにあるレーダーをステッカーなどで覆わないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場での点検を受けてください。レーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 悪天候や冬季には、泥や氷雪などでレーダーが覆われないように注意してください。
- リアバンパーの修理、塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。

注意

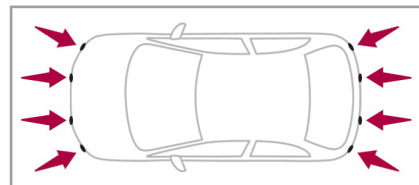
洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上リアバンパーにあるレーダーから離してご使用ください。



- システムは雨や雪、外気温の急激な変化などの天候に左右される可能性があります。
- 濡れた路面を走行しているときに、霧状の水しぶきなどを誤って検知することがあります。

運転装置の使いかた

フロント／バックソナー



フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが障害物（歩行者、車、立木、門など）を検知して、警告音、タッチスクリーンの表示、インストルメントパネルの警告灯で運転者にお知らせします。



- フロント／バックソナーをオフにすることはできません。
- エンジンを始動した直後は、タッチスクリーンが完全に起動するまで画面表示や警告音でのソナーの警告は行われません。

●システムの作動

システムは、次のときに作動開始します。

バックソナー

- ・シフトポジションをRにしたとき
- ・後退しているとき（例えば下り坂など。シフトポジションがNの場合も含む）



●システムが作動開始すると、チャイムが1回鳴るとともにタッチスクリーンに画面が表示されます。ただし、警告音がミュートされている場合などでは、作動開始時にチャイムは鳴りません。

●システムの作動と同時に障害物との接近が検知された場合は、チャイムは鳴らず、ソナーの警告音が鳴る場合があります。

●次のときはシステムに異常が発生している場合があります。

- ・システム作動時にチャイムが鳴らないとき
- ・障害物に接近してもソナーの警告音が鳴らないとき
- ・タッチスクリーンに画面が表示されないとき



- ・障害物に接近してもタッチスクリーンに障害物との距離を表示するバーが表示されないとき
- ・警告メッセージが表示されたとき

フロントソナー

時速10km以下で走行中に車両前方の障害物が検知されたとき



フロントソナーは、次のときに作動を停止します。

- ・時速10km以上のとき
- ・障害物が車両前方の検知範囲から出たとき
- ・シフトポジションがDまたはMで数秒間停止したとき

*仕様により異なります。

手動で作動させる*

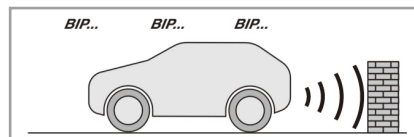
システムは、シフトポジションがRのとき、次の方法で手動で作動させることができます。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **機能**をタップします。
4. **パーキングセンサー**をタップします。

MEMO

システムを手動で作動させた場合、作動開始時にチャイムは鳴りません。

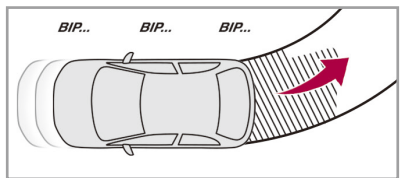
● ソナーの警告音



システムは、警告音で障害物とのおおよその距離をお知らせします。障害物に接近すると、警告音の頻度が上がり、およそ30cm以内に接近すると連続した警告音に変わります。

MEMO

- バックソナーの警告音は、ハンドルを切った角度に応じて障害物の検知範囲が変化します。
 例えば、ハンドルを右に切った場合は、障害物の検知範囲が右方向に変化します。



MEMO

- 仕様により、車両が停止すると数秒後に警告音が消音されます。再度車両が動き出す、または障害物が車両に接近すると、警告音が再開されます。
-  タッチスクリーンの画面左側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、警告音の音量を調整できます。
-  タッチスクリーンの画面左側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、警告音をミュートできます。ミュート解除するには、再度アイコンをタップします。

運転装置の使いかた

● ソナーの表示



システムは、警告音に加え、タッチスクリーンの表示の色で障害物とのおおよその距離をお知らせします。

- ・ 白色のバー：遠い
- ・ 橙色のバー：近い
- ・ 赤色のバー：とても近い（危険を表すアイコンが表示されます）



また、システムが障害物を検知している間は、インストルメントパネルのソナーの警告灯が点滅します。



- 画面右上の×をタップすると、タッチスクリーンの表示が消え、タッチスクリーンの画面による警告表示を行いません。また、ソナーの警告音が一時的に消音されます。



- 運転者の操作によって、警告音がミュートされている場合や、タッチスクリーンの表示が消されている場合でも、システムが障害物を検知している間は、インストルメントパネルのソナーの警告灯が点滅します。

● システムの異常



システムに一時的な異常（騒音などにより誤ってソナーの警告が発せられた場合や周辺環境に影響を受けた場合など）が発生したときは、短い警告音とともにインストルメントパネルのソナー警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

システムに故障などその他の異常が発生したときは、長い警告音とともにインストルメントパネルのソナー警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。



仕様により、センサーが覆われ、センサーの性能が発揮できなくなると、インストルメントパネルのソナーの警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、センサーがステッカーなどで覆われていないか、物などでセンサーが覆われていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。

センサーの性能が発揮できる状態になるとシステムの作動が再開し、警告灯が消灯します。



以下のときはシステムの機能が制限されたり、システムが作動しない場合があります。

-  **SERVICE** 警告灯が点灯したとき
- タッチスクリーンの画面がフリーズしたとき
- タッチスクリーンの画面が真っ暗で何も映らないとき
- スピーカーに異常が発生したとき

⚠ 警告

- 以下のようなときは、センサーが障害物を検知しないことがあります。
 - センサーが検知することが困難な範囲に障害物があるとき、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入ったとき
 - 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
 - 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）
 - 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
 - フロント／リアバンパーに損傷があるとき
 - フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどしたとき
 - 重い荷物を積むなどして車両姿勢が傾いているとき
 - 悪天候（雨、雪、霧など）

⚠ 警告

- 以下のような形状の障害物はセンサーが検知しないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。
 - 細い木、針金、フェンス、ポール、ロープなどの細いもの
 - 背の低いもの
 - 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）
 - 縁石などの低い段差
 - 工事などによる路面の凹凸
- フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず弊社指定サービス工場で点検を受けてください。センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。

注意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。



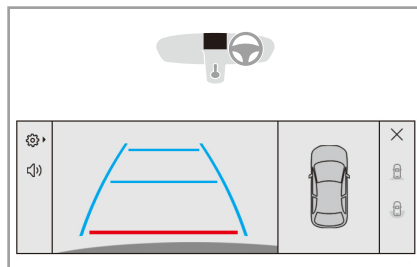
- 車両を停止させなければならないような重大な異常が発生した場合は、システムが解除される場合があります。
- オートマチックトランスミッションに異常が発生した場合は、シフトポジションを**R**にしてもシステムは作動しません。
- スピーカーに異常が発生した場合は、ソナーの警告音は鳴りません。
- 以下のようなときは、障害物がない場合でもシステムが警告を発する場合があります。
 - 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき



- フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどしたとき
- シフトポジションを**R**にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。
- フロント／リアバンパーの真下付近や車両の下は検知しません。

*仕様により異なります。

バックカメラ *



リアバンパーに取り付けられたカメラ、およびリアバンパーに埋め込まれたセンサーがタッチスクリーンに車両後方および後方周囲の映像を映し出し、駐車や出庫の際の安全確認を補助します。

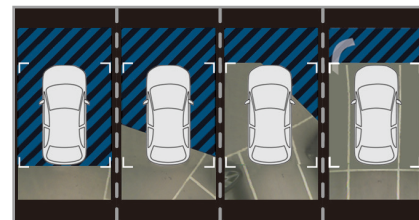
タッチスクリーンの画面は4分割され、左側／右側にメニュー、中央左側にバックビュー、中央右側に車両上方からの映像が表示されます。

●バックビュー

バックビューは、リアバンパーに取り付けられたカメラが車両後方の映像を映し出します。オートモードで作動し、リアバンパーに埋め込まれたセンサーが周囲の状況を検知することで、障害物がリアバンパーの後方約30cm（バックビューの赤いライン）に近付くと自動でスタンダードビューからズームビューに切り替わります。

また、タッチスクリーンの画面右側に表示されるメニューのアイコンをタップしてスタンダードビューとパノラミックビューを切り替えることができます。

●車両上方からの映像



車両上方からの映像は、リアバンパーに取り付けられたカメラの映像を合成して表示します。駐車や出庫の際に、車両後方周囲の障害物を確認できます。バックビューに連動して作動します。



- 停止してしばらく経過すると、車両後方以外の映像が表示されなくなります。
- 作動直後は、正しい映像を表示するまでに時間がかかることがあります。

運転装置の使いかた

●バックカメラの設定



タッチスクリーンの画面左側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、警告音の音量を設定できます。



仕様により、リアバンパーに取り付けられたカメラを洗浄するためのウォッシャーが装備されている場合があります。ウォッシャーが装備されている場合は、次の操作を行うと、カメラに向けてウォッシャー液が噴射されます。

タイプ1の場合：

タッチスクリーンの画面左側に表示される  をタップしてから、 をタップする。

タイプ2の場合：

リアワイパーのウォッシャーを作動させる。



タッチスクリーンの画面左側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、ソナーの警告音をミュート／ミュート解除できます。

●バックカメラの作動／解除

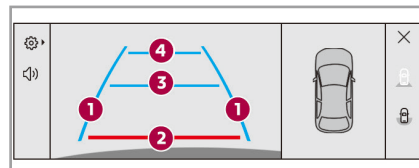
バックカメラは、シフトポジションをRにすると作動します。

バックカメラは、次のときに解除になります。

- ・シフトポジションをRからDまたはMにしたあと、時速10km以上で走行したとき
- ・タッチスクリーン右上の×をタップしたとき

●バックビューの表示

スタンダードビュー

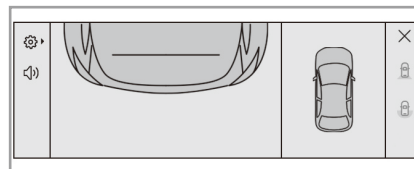


車両後方の映像がタッチスクリーンに表示されます。

映像には距離や車幅の目安となるラインが表示されます。

- ・ 縦の青いライン①：ドアミラーを除いた車幅の目安です。ハンドル操作と連動しています。
- ・ 赤いライン②：リアバンパーの後方約30cmの目安です。
- ・ 横の青いライン③④：それぞれリアバンパーから1m、2m後方の目安です。

ズームビュー



障害物がリアバンパーの後方約30cm（バックビューの赤いライン）に近付くと車両を上から見たような映像がタッチスクリーンに表示されます。



タッチスクリーンの映像は、車や障害物などが実際より遠くに見えることがあります。必ず目視やミラーで確認をしてください。

パノラミックビュー



垂直駐車から後退して出るときに、左右から近付く車、自転車や歩行者を映し出す映像がタッチスクリーンに表示されます。

⚠ 警告

画面だけを見ながら運転操作をしないでください。必ず目視やミラーで確認をしてください。



タッチスクリーンの画面右側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、スタンダードビューからパノラミックビューに切り替えることができます。

警告

- バックカメラは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
- バックカメラの映し出す映像を過信せず、必ず目視やミラーでの確認も行ってください。
- リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやセンサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- カメラが故障したときはシステムを使用しないでください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。
- カメラに泥や雪などが付着すると映像の映りが悪くなります。常に汚れを落としてください。

注意

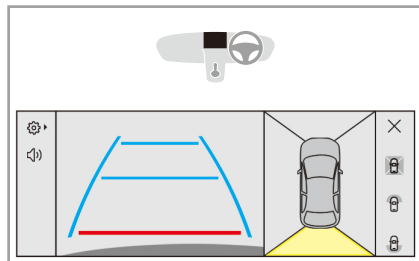
洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上カメラやセンサーから離してご使用ください。



- カメラレンズの特性により映像がゆがむことがあります。
- 気象条件などにより、映像が見えにくくなる場合があります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
- シフトポジションをRにしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。

*仕様により異なります。

360° ビジョン*

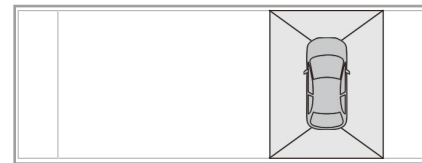


フロントグリルのカメラ、ドアミラー下部のカメラ、リアバンパーに取り付けられたカメラ、およびフロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが、タッチスクリーンに車両前方／後方／側方および前方／後方周囲の映像を映し出し、駐車や出庫の際の安全確認を補助します。タッチスクリーンの画面は4分割され、左側／右側にメニュー、中央左側にフロント／サイド／バックビュー、中央右側に車両上方からの映像が表示されます。

●フロント／バックビュー

フロント／バックビューは、フロントグリルのカメラおよびリアバンパーに取り付けられたカメラが車両前方／後方の映像を映し出します。オートモードで作動し、フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが周囲の状況を検知することで、障害物がフロントバンパーの前方またはリアバンパーの後方約30cm（フロント／バックビューの赤いライン）に近付くと自動でスタンダードビューからズームビューに切り替わります。また、タッチスクリーンの画面右側に表示されるメニューのアイコンをタップして、スタンダードビュー、フロントパノラミックビュー、リアパノラミックビューを切り替えることができます。

●車両上方からの映像



車両上方からの映像は、フロントグリルのカメラ、ドアミラー下部のカメラ、およびリアバンパーに取り付けられたカメラの映像を合成して表示します。駐車や出庫の際に、車両周囲の障害物を確認できます。フロント／バックビューに連動して作動します。また、車両上方からの映像の前後左右にある各セクションをタップすると、タッチスクリーン画面中央左側に表示されるフロント／サイド／バックビューの表示を切り替えることができます。



- フロントビューへの切り替えは、時速16km以下のときに可能です。
- 作動直後は、正しい映像を表示するまでに時間がかかることがあります。

●360° ビジョンの設定



タッチスクリーンの画面左側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、次の設定ができます。

- ・警告音の音量
- ・画面の明るさ
- ・画面のコントラスト



仕様により、リアバンパーに取り付けられたカメラを洗浄するためのウォッシャーが装備されている場合があります。ウォッシャーが装備されている場合は、次の操作を行うと、カメラに向けてウォッシャー液が噴射されます。

タイプ1の場合：

タッチスクリーンの画面左側に表示されるをタップしてから、をタップする。

タイプ2の場合：

リアワイパーのウォッシャーを作動させる。



タッチスクリーンの画面左側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、ソナーの警告音をミュート／ミュート解除できます。

●360° ビジョンの作動／解除

360° ビジョンは、シフトポジションを**R**にすると作動します（バックビューが表示されます）。

また、次の方法で手動で作動させることもできます。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン

 を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。
3. **機能**をタップします。
4. **360° カメラ**をタップします。

360° ビジョンは、次のときに解除されます。

- ・フロントビューが表示されている状態で、時速16km以上で走行したとき
- ・タッチスクリーン右上の×をタップしたとき

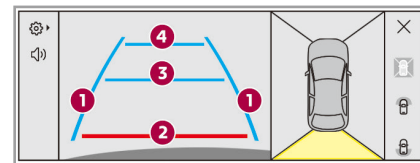


360° ビジョンが作動したあと、シフトポジションにより次のように映像が切り替わります。

- ・シフトポジションを**R**にするとバックビューが表示されます
- ・シフトポジションを**P、N、D、M**にするとフロントビューが表示されます

●フロント／バックビューの表示

スタンダードビュー



映像には距離や車幅の目安となるラインが表示されます。

バックビュー

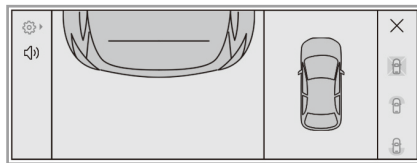
- ・縦の青いライン①：ドアミラーを除いた車幅の目安です。ハンドル操作と連動しています。
- ・赤いライン②：リアバンパーの後方約30cmの目安です。
- ・横の青いライン③④：それぞれリアバンパーから1m、2m後方の目安です。

運転装置の使いかた

フロントビュー

- ・ 縦の黄色いライン①：ドアミラーを除いた車幅の目安です。ハンドル操作と連動しています。
- ・ 赤いライン②：フロントバンパーの前方約30cmの目安です。
- ・ 横の黄色いライン③④：それぞれフロントバンパーから1m、2m前方の目安です。

ズームビュー



障害物がフロントバンパーの前方またはリアバンパーの後方約30cm（フロント／バックビューの赤いライン）に近付くと車両前方または後方を上から見たような映像に切り替わります。

また、ズームビューはオフにすることができます。オフにすることで、スタンダードビューから自動的にズームビューに切り替わらなくなります。オン／オフは、次の方法で設定します。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン

 を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。
3. **機能**をタップします。

4. **360° カメラ**の  をタップします。

5. **ビューアダプテーション**をタップしてオン／オフします。



タッチスクリーンの映像は、車や障害物などが実際より遠くに見えることがあります。必ず目視やミラーで確認をしてください。

フロント／リアパノラミックビュー



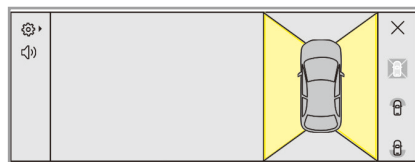
垂直駐車から前進または後退して出るときに、左右から近づく車、自転車や歩行者を映し出す映像がタッチスクリーンに表示されます。

タッチスクリーンの画面右側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、スタンダードビューからフロントパノラミックビューまたはリアパノラミックビューに切り替わります。

警告

画面だけを見ながら運転操作をしないでください。必ず目視やミラーで確認をしてください。

●サイドビューの表示



左右のドアミラー下部に取り付けられたカメラの映像を表示し、車両側方の安全確認の補助をします。

タッチスクリーンの画面中央右側に表示される車両上方からの映像の車両左右にある各セクションをタップすると、画面中央左側の映像がサイドビューに切り替わります。

警告

画面だけを見ながら運転操作をしないでください。必ず目視やミラーで確認をしてください。



- フロントドアを開けると、開けた側のサイドビューの映像が表示されなくなります。ドアを閉じると、サイドビューの映像が再度表示されます。
- ドアミラーを格納すると、サイドビューの映像が表示されなくなります。ドアミラーを展開すると、サイドビューの映像が再度表示されます。
- シフトポジションがRで、一定の速度以上で走行すると、画面中央左側の映像はサイドビューからバックビューに切り替わります。

⚠ 警告

- 360° ビジョンは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
- 360° ビジョンの映し出す映像を過信せず、必ず目視やミラーでの確認も行ってください。
- フロント／リアバンパー、またはドアミラーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやセンサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- カメラが故障したときはシステムを使用しないでください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。

⚠ 警告

- カメラに泥や雪などが付着すると映像の映りが悪くなります。常に汚れを落としてください。

注意

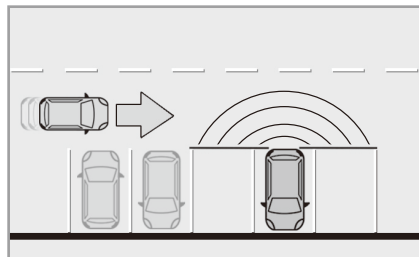
洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上カメラやセンサーから離してご使用ください。

MEMO

- カメラレンズの特性により映像がゆがむことがあります。
- 気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
- シフトポジションをRにしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。

*仕様により異なります。

リアクロストラフィックアラート*



リアクロストラフィックアラートは、リアバンパーに埋め込まれたレーダーを使用して、車両後側方の目視での確認が困難な範囲に接近してくる車両、オートバイ、自転車、歩行者の存在を検知して運転者に警告するシステムです。最大40mまで離れた位置から、時速3km以上で接近してくる車両などを検知します。

警告

- リアクロストラフィックアラートは運転を補助する機能です。システムを過信せず、運転者は常に周囲の状況を確認し、安全運転に努めてください。後退するときや、視界の悪い状況では、速度を落としてゆっくり走行し、車両周囲の安全を確認しながら運転してください。安全の確保は運転者の義務です。
- リアクロストラフィックアラートは、走行状況、道路状況、天候状況など、さまざまな条件により、作動が遅れたり、作動しない場合があります。また、思わぬ場面でも作動することがあります。システムを過信せず、安全運転に努めてください。



リアクロストラフィックアラートは、フロント／バックソナー、バックカメラ*、360° ビジョン*と連動して作動します。

●リアクロストラフィックアラートの作動

リアクロストラフィックアラートは、以下のときに作動します。

- ・停止中でシフトポジションがRのとき
- ・シフトポジションがRで、時速10km以下で後退しているとき

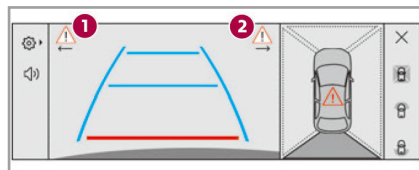
運転装置の使いかた

●リアクロストラフィックアラートの表示

自車両の右後方または左後方から接近してくる車両などを検知すると、タッチスクリーンに検知した側のアイコン①②が点滅します。自車両が後退しているときに検知すると、警告音も発せられます。



フロント／バックソナーが表示されている場合



バックカメラ*または360° ビジョン*が表示されている場合



フロント／バックソナー、バックカメラ、360° ビジョンなどに異常が発生しているときや、これらの機能の表示をタッチスクリーンの操作で解除しているとき、またはタッチスクリーンに異常が発生しているときなどでも、自車両が後退中に接近してくる車両などを検知した場合は、警告音により運転者に警告を発します。

●リアクロストラフィックアラートのオン／オフ

リアクロストラフィックアラートのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム (ADAS) の設定」項を参照してください。



ENGINE START/STOP スイッチをオフにしても、リアクロストラフィックアラートのオン／オフの設定は保持されます。

*仕様により異なります。

● システムの異常

システムに異常が発生すると、次のとき、警告音とともにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

- ・シフトポジションをRにしたとき
- ・後退しているとき
- ・リアクロストラフィックアラートをオンにしようとしたとき

仕様により、リアバンパーのレーダーが覆われ、レーダーの性能が発揮できなくなると、メッセージが表示されます。直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。

その後、レーダーがステッカーなどで覆われていないか、物などでレーダーが覆われていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。

レーダーの性能が発揮できる状態になるとシステムの作動が再開します。

⚠ 警告

●以下のようなときは、システムが作動しないことがあります。

- ・レーダーが検知することが困難な範囲に車両などがあるとき、または一度検知した車両などが、レーダーが検知することが困難な範囲に入ったとき
- ・路面に雪や落ち葉が積もっているとき
- ・リアバンパーに損傷があるとき
- ・リアバンパーに衝撃を受け、レーダーの設置位置がずれるなどしたとき
- ・重い荷物を積むなどして車両姿勢が傾いているとき
- ・外気温に急激な変化があったとき
- ・リアバンパーのレーダーが、泥や雪、ステッカーなどで覆われているとき
- ・豪雨、降雪、濃霧などの悪天候時、水たまりなどの濡れた路面を走行しているとき

⚠ 警告

- リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。レーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- リアバンパーのレーダーが故障したときはシステムをオフにしてください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- リアバンパーのレーダーが、泥や雪などで覆われていると車両などの検知ができません。常に汚れを落としてください。
- リアバンパーの修理、塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。

注 意

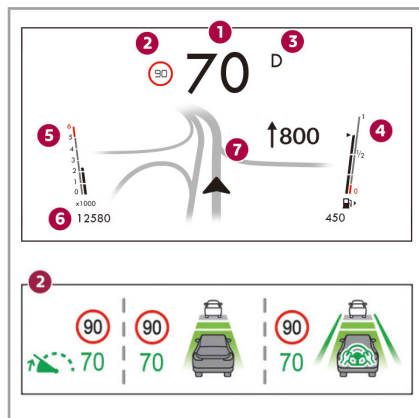
洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上リアバンパーにあるレーダーから離してご使用ください。

第4章 メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル	4-2
DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ	4-6
警告灯類／表示灯類	4-12
冷却水温度計	4-34
サービスインジケーター	4-35
エンジン油量インジケーター	4-38
オドメーター	4-39
マニュアルチェック	4-40
インストルメントパネルの調整（言語／色／明るさ）	4-41
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、 方向指示器、ハザードランプ）	4-43
ワイパー／ウォッシャー	4-59
間接式タイヤ空気圧警告	4-64
DSナイトビジョン	4-67
ドライブコンピューター	4-71

インストルメントパネル

●インストルメントパネルの表示



1. スピードメーター
2. トラフィックサインインフォメーション／アクティブクルーズコントロール／レーンポジショニングアシスト*／スピードリミッター
3. シフトポジション／ドライブモード
4. 燃料計／走行可能距離
5. タコメーター
6. オドメーター
7. カスタマイズ可能なディスプレイゾーン

警告

- スピードメーターの速度の単位は必ずkm/h表示を使用してください。誤ってmph表示(マイル)にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 安全上の理由から、インストルメントパネルの設定などの操作は、車両を停止してから実施してください。

MEMO

警告灯および表示灯は、状況により点灯位置が異なる場合があります。

●ディスプレイゾーンのカスタマイズ

インストルメントパネルのディスプレイゾーンは最大6つのページ(DSナイトビジョン非装備車は最大5つのページ)を切り替えて表示することができます。また、それぞれのページにおいて、1つまたは2つの情報(ウィジェット)をお好みにより選択して表示させることができます。

ディスプレイゾーンのウィジェットの表示パターンは次の2通りです。

- ・1つのウィジェットをディスプレイゾーンの中央に大きく表示する
- ・2つのウィジェットをディスプレイゾーンの左右に小さく表示する

ディスプレイゾーンに表示できるウィジェットは次の6種類から選択することができます。

- ・ADAS
- ・計器類
- ・ラジオ／メディア
- ・ナビゲーション(DS IRISシステム装備車)
- ・トリップコンピューター
- ・ナイトビジョン*

*仕様により異なります。



- 初期状態ではいくつかのページがウィジェットを選択された状態で用意されています。これらのページもカスタマイズすることができます。
- システムのバージョンによって、ディスプレイの表示内容やカスタマイズできる項目が異なる場合があります。

●ディスプレイゾーンのカスタマイズのしかた



インストルメントパネルのディスプレイゾーンのカスタマイズは、ディスプレイゾーンの各ページにウィジェットを追加または削除して行います。カスタマイズを行うには、まず次のように操作してください。

1. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2. をタップします。
3. **カスタマイズ**をタップします。
4. **ディスプレイのカスタマイズ**をタップします。

5. **運転席情報のカスタマイズ**をタップします。



①をタップすると、インストルメントパネルのディスプレイゾーンおよびタッチスクリーンのホームページのカスタマイズについての動画による説明を閲覧できます。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

ウィジェットの追加

1. タッチスクリーンを左右にスワイプして、またはページ番号をタップしてカスタマイズするページを選択します。
2.  または  をタップします。
3. 画面上に表示される追加したいウィジェットをタップします。



●DSエクステンデッドヘッドアップ

ディスプレイ装備車は、上段の横長の  をタップすると、DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイのディスプレイゾーンのカスタマイズ、下段の  をタップするとインストルメントパネルのディスプレイゾーンのカスタマイズができます。

- ウィジェットを追加するための空き領域がない場合はメッセージが表示されます。

ウィジェットの削除

1. タッチスクリーンを左右にスワイプして、またはページ番号をタップしてカスタマイズするページを選択します。
2. 削除したいウィジェットをロングタップし、 がハイライトされたら、指がタッチスクリーンに触れた状態のまま、 へドラッグ&ドロップします。

ページの追加

ディスプレイゾーンは最大6つのページ（DSナイトビジョン非装備車は最大5つのページ）まで追加することができます。ページを追加するには、 をタップします。



ページの最大数を越えたためにページを追加できない場合はメッセージが表示されます。

ページの削除

1. 削除したいページのページ番号をロングタップします。
2.  がハイライトされたら、指がタッチスクリーンに触れた状態のまま、 へドラッグ&ドロップします。
3. **削除する**をタップします。

*仕様により異なります。

ページレイアウトの変更

ウィジェットの配置を移動してディスプレイゾーンのレイアウトを変更することができます。

1. タッチスクリーンを左右にスワイプして、またはページ番号をタップしてレイアウト変更するページを選択します。
2. 移動させたいウィジェットをロングタップし、指がタッチスクリーンに触れた状態のまま、希望する位置へドラッグ&ドロップします。

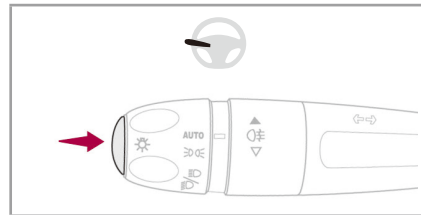


- ページレイアウトを変更するとき、インストルメントパネルのディスプレイゾーンに配置されているウィジェットをDSエクステンデッドヘッドアップディスプレイのディスプレイゾーンに移動したり、DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイに配置されているウィジェットをインストルメントパネルのディスプレイゾーンに移動したりすることはできません。*



- タッチスクリーンのボタン を押し、タッチスクリーンに表示されたホームページ上を指1本でロングタップすると、インストルメントパネル／DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ*のディスプレイゾーンまたはタッチスクリーンのカスタマイズを選択するページにアクセスすることができます。
- をタップする、または他のページへ移動する操作を行うと、変更を保存するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。希望する操作の選択項目をタップしてください。

● ディスプレイゾーンのページの切り替えかた

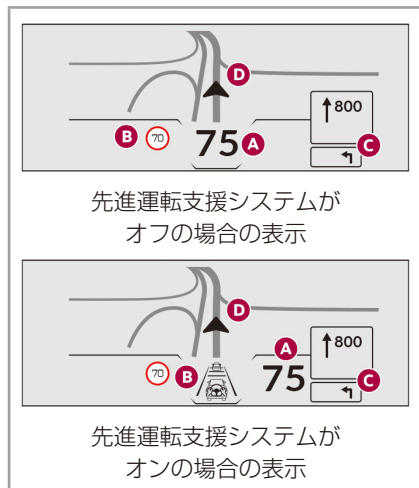


ライトスイッチレバー先端のスイッチを押すとディスプレイゾーンのページが切り替わります。



- DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ装備車は、インストルメントパネルのディスプレイゾーンのページを切り替えると、DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイのディスプレイゾーンの表示も連動して切り替わります。
- ライトスイッチレバー先端のスイッチを押すとインストルメントパネルに表示されたメッセージを閉じることができます。

DS エクステンデッド ヘッドアップディスプレイ*



DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイは、運転者が前方を見ながら運転に必要な情報を確認できるように、フロントウィンドウに先進運転支援システムの作動状況や走行に関する様々な情報を表示します

- A. スピードメーター表示エリア
- B. 先進運転支援システム（トラフィックサインインフォメーション／アクティブクルーズコントロール／レーンポジショニングアシスト*）表示エリア
- C. ナビゲーションの次の案内情報などの表示エリア（DS IRISシステム装備車）
- D. カスタマイズ可能なディスプレイゾーン／様々なメッセージなどの表示エリア



DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイをオンにすると、一部の表示内容は、DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイに表示され、インストルメントパネルには表示されなくなります。

●DSエクステンデッドヘッド アップディスプレイの設定

DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイの設定を行うには、まず次のように操作してください。

1. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタンを押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2. をタップします。
3. **明るさ**をタップします。

オン／オフ

DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイの表示をオン／オフすることができます。

オン／オフするには、**ヘッドアップディスプレイ**をタップします。

*仕様により異なります。

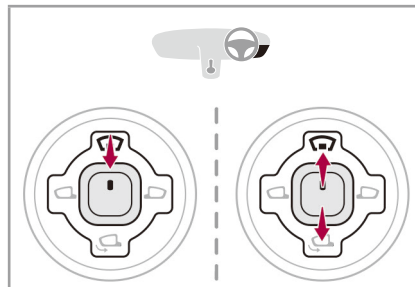


DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイをオンにしてから表示されるまで数秒間かかります。

明るさ調整

DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイは周囲の明るさに応じて表示の明るさが自動で調整されます。*手動で明るさを調整するには、**ヘッドアップディスプレイの明るさのカーソル**を動かすか、バーをタップします。

高さ調整



ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに、運転席側ダッシュボードのレバーを上側（中央の位置）に回してから、上下に動かして、ディスプレイが見やすい高さになるように調整します。



- オン／オフは通知センターからも行えます。
 1. タッチスクリーンの画面を上から下にスワイプします。
 2. **HUD**をタップします。
- 明るさの調整は通知センターからも行えます。
 1. タッチスクリーンの画面を上から下にスワイプします。
 2. **明るさ**をタップします。
 3. のバーをタップするか、カーソルを動かします。
- 明るさ、高さは、DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイがオンのときに調整できます。
- ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてもDSエクステンデッドヘッドアップディスプレイの設定は保持されます。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

●ディスプレイゾーンのカスタマイズ

DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイのディスプレイゾーンは最大6つのページ（DSナイトビジョン非装備車は最大5つのページ）を切り替えて表示することができます。また、それぞれのページにおいて、1つの情報（ウィジェット）をお好みにより選択して表示させることができます。

ディスプレイゾーンに表示できるウィジェットは次の2種類から選択することができます。

- ・ADAS
- ・ナビゲーション（DS IRISシステム装備車）



- 初期状態ではいくつかのページがウィジェットを選択された状態で用意されています。これらのページもカスタマイズすることができます。
- システムのバージョンによって、ディスプレイの表示内容やカスタマイズできる項目が異なる場合があります。

●ディスプレイゾーンのカスタマイズのしかた



DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイのディスプレイゾーンのカスタマイズは、ディスプレイゾーンの各ページにウィジェットを追加または削除して行います。

カスタマイズを行うには、まず次のように操作してください。

1. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2. をタップします。
3. **カスタマイズ**をタップします。
4. **ディスプレイのカスタマイズ**をタップします。

5. **運転席情報のカスタマイズ**をタップします。



① をタップすると、インストルメントパネルのディスプレイゾーンおよびタッチスクリーンのホームページのカスタマイズについての動画による説明を閲覧できます。

ウィジェットの追加

1. タッチスクリーンを左右にスワイプして、またはページ番号をタップしてカスタマイズするページを選択します。
2.  または上段の横長の  をタップします。
3. 画面上に表示される追加したいウィジェットをタップします。



- 下段の  をタップするとインストールパネルのディスプレイゾーンのカスタマイズができます。
- ウィジェットを追加するための空き領域がない場合はメッセージが表示されます。

ウィジェットの削除

1. タッチスクリーンを左右にスワイプして、またはページ番号をタップしてカスタマイズするページを選択します。
2. 上段のウィジェットをロングタップし、 がハイライトされたら、指がタッチスクリーンに触れた状態のまま、 へドラッグ&ドロップします。

ページの追加

ディスプレイゾーンは最大6つのページ（DSナイトビジョン非装備車は最大5つのページ）まで追加することができます。ページを追加するには、 をタップします。



ページの最大数を超えたためにページを追加できない場合はメッセージが表示されます。

ページの削除

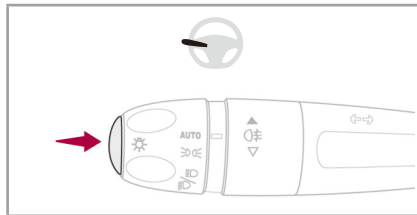
1. 削除したいページのページ番号をロングタップします。
2.  がハイライトされたら、指がタッチスクリーンに触れた状態のまま、 へドラッグ&ドロップします。
3. **削除する**をタップします。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた



- タッチスクリーンのボタン  を押し、タッチスクリーンに表示されたホームページ上を指1本でロングタップすると、インストルメントパネル／DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイのディスプレイゾーンまたはタッチスクリーンのカスタマイズを選択するページにアクセスすることができます。
-  をタップする、または他のページへ移動する操作を行うと、変更を保存するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。希望する操作の選択項目をタップしてください。

● ディスプレイゾーンのページの切り替えかた



ライトスイッチレバー先端のスイッチを押すとディスプレイゾーンのページが切り替わります。



- DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイのディスプレイゾーンのページを切り替えると、インストルメントパネルのディスプレイゾーンの表示も連動して切り替わります。



- ライトスイッチレバー先端のスイッチを押すとDSエクステンデッドヘッドアップディスプレイに表示されたメッセージを閉じることができます。

⚠ 警告

- ヘッドアップディスプレイを見続け
ないでください。前方の歩行者や動
物、障害物などを見落とすおそれが
あります。
- ヘッドアップディスプレイの明るさ
や高さは、安全運転に支障がないよ
うな適切な状態に調整してくださ
い。不適切な状態に調整すると、運
転者の視界の妨げになり、思わぬ事
故につながるおそれがあります。必
要に応じて、運転席の高さも調整し
てください。
- ヘッドアップディスプレイは停車中
に操作してください。

注意

- ダッシュボード上の映写部の上に物
を置かないでください。また、映写
部の内部を触ったり、先の尖ったも
のを押し付けしないでください。装置
が故障する原因になります。

注意

- ダッシュボード上の映写部付近に飲
み物などを置かないでください。水
やその他の液体を映写部にこぼす
と、装置が故障する原因になります。



- 気象条件（雨、雪、光など）によっ
ては、ヘッドアップディスプレイが
見づらかったり、一時的に影響を受
ける場合があります。
- お使いのメガネ（サングラス、偏光
レンズなど）によっては、ヘッドアッ
プディスプレイの表示が読み取りづ
らい場合があります。
- フロントウィンドウの交換が必要な
場合は、当社指定サービス工場にご
相談ください。DSエクステンデッ
ドヘッドアップディスプレイを適切
に表示させるためには、専用のフロ
ントウィンドウに交換する必要があります。

警告灯類／表示灯類

●警告灯について

警告灯には、ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると点灯するものがあります。数秒後、またはエンジンを始動するとそれらの警告灯は消灯します。

いずれかの警告灯が、車が動き出す前まで点灯していたり、走行中に点灯または点滅したときは、関連する情報を参照してください。

いくつかの警告灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの警告灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

●表示灯について

表示灯は、作動状態を表示するものと機能停止を表示するものがあります。

いくつかの表示灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの表示灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

警告

- STOP 警告灯と連動して警告灯が表示されたときは直ちに車を停止させてください。
- 警告灯が表示される故障は、深刻なケガや車両へのダメージを引き起こすおそれがあります。安全な場所に停車し点検してください（6-7ページ参照）。



高速道路など自動車専用道路での燃料切れは、道路交通法違反になります。走行前に燃料が十分あることを確認してください。

● 赤色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	STOP	点灯／警告音／メッセージ	エンジン、ブレーキ、パワーステアリング、オートマチックトランスミッションなどに異常が発生しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	12V バッテリー	点灯	12Vバッテリーの充電機能に異常が発生しています。	エンジンを始動すると消灯します。警告灯が消えない場合は、直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。 エレクトリックパーキングブレーキがかからない場合は、輪止めをしてください。
	半ドア	点灯／メッセージ (時速10km以下)	いずれかのドアまたはテールゲートが開いています。	ドアまたはテールゲートを閉めてください。
		点灯／警告音／メッセージ (時速10km以上)		

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	シートベルト	点灯	・シートベルトを着用していません。 ・着用していたシートベルトをはずしました。	ベルトを引き出しバックルに差し込んでください。 警告はシートベルトを着用するまで続きます。
		点滅／警告音		
(P)	エレクトリック パーキング ブレーキ	点灯	エレクトリックパーキングブレーキがかかっています。	アクセルペダルを踏むと、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に解除されます。 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを押してエレクトリックパーキングブレーキを解除してください。
		点滅	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能が作動しません。作動／解除機構に故障が発生しています。	直ちに安全で水平な場所に車を停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
(!)	ブレーキ	点灯	ブレーキ液量が大幅に低下しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止し、当社推奨のブレーキ液を補給してください。問題が解消されない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

*仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
 	ブレーキ	点灯	電子式制動力制御装置（EBFD）に異常が発生しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	冷却水温	点灯 (STOP警告灯も点灯／警告音、およびメッセージが表示される場合があります)	冷却水の温度が過剰に上昇しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	エンジン油圧	点灯	油圧が不足しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	パワーステアリング	点灯／警告音	パワーステアリングに異常が発生しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	DSアクティブスキャンサスペンション*	点灯	DSアクティブスキャンサスペンションに異常が発生しています。	詳細は「DSアクティブスキャンサスペンション」項を参照してください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

●黄色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
4 	SERVICE	点灯（一時的）／ メッセージ	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 ・タイヤ空気圧 ・リモコンの電池切れ など 解決しない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／メッセージ	重大な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 当社指定サービス工場で点検を受けてください。
			エレクトリックパーキングブレーキ故障のメッセージが表示されたら、オートマチックでの解除ができません。	当社指定サービス工場にご連絡ください。
		点灯／ メッセージ （仕様により 警告の有無が 異なります）	警告音システムに異常が発生しています。	次の機能が作動していても、警告音が正常に作動しないことや、警告音が鳴らないことがあります。 当社指定サービス工場で点検を受けてください。 ・トラフィックサインインフォメーション ・アクティブセーフティブレーキ ・レーンキープアシスト ・ドライバーアテンションアラート

警告灯／表示灯	状態	意味	対処方法
	SERVICE (ディーゼル車)	点灯（サービスインジケータースパナマークが点滅し、その後点灯）	定期点検整備時期を経過しています。 直ちに当社指定サービス工場にて定期点検整備を受けてください。
	AdBlue® (ディーゼル車)	点灯（一時的）／メッセージ	AdBlue®の残量が少なくなっています。 走行可能距離は800kmから2400kmです。 早めに当社指定サービス工場にてAdBlue®の補充をしてください。
		点灯または点滅／警告音／メッセージ	AdBlue®の残量がわずかになっています。 走行可能距離は100kmから800kmです。 すみやかに当社指定サービス工場にてAdBlue®の補充をしてください。
		点滅／警告音／メッセージ	AdBlue®の残量がわずかになっています。 走行可能距離は100km以内です。 直ちに当社指定サービス工場にてAdBlue®の補充をしてください。
			AdBlue®の残量がなくなりました。 エンジンを始動できません。 当社指定サービス工場にご連絡ください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	SCRシステム (ディーゼル車)	点灯／警告音／メッセージ (自動診断警告灯も点灯)	SCRシステムに異常が発生しています。	一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すればSCRシステムの異常は解消されています。 SCRシステムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動する度に警告が表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点滅／警告音／メッセージ (自動診断警告灯も点灯)	SCRシステムに異常が発生しています。 走行可能距離は1100km以内です。	直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
			SCRシステムの異常によりエンジンを始動できません。	当社指定サービス工場にご連絡ください。
	予熱表示灯 (ディーゼル車)	点灯 (一時的)	ENGINE START/STOP スイッチを押しました。	予熱表示灯が消灯したら、ブレーキペダルを踏んでいるときにエンジンが始動します。 予熱表示灯の点灯時間は、気温によって変化します。 エンジンがかからないときは、 ENGINE START/STOP スイッチをオフにし、再度エンジン始動の操作を行い、予熱表示灯が消灯するのを待ってください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯	状態	意味	対処方法
	オートマチック エレクトリック パーキング ブレーキ	点灯	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能が解除されています。
		点灯／メッセージ (SERVICE 警告 灯も点灯)	手動操作によるエレクトリックパーキングブレーキの締結ができません（エンジンが始動している状態での締結ができません）。
		点灯／メッセージ (SERVICE 警告 灯も点灯)	パーキングブレーキに異常が発生しています。自動／手動操作ともに動作しません。
	ブレーキ	点灯	注意して速度を下げて走行し、当社指定サービス工場点検を受けてください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
4	 アクティブ セーフティ ブレーキ	点灯	アクティブセーフティブレーキ機能がオフになっています。	詳細は「アクティブセーフティブレーキ」項を参照してください。
		点滅	アクティブセーフティブレーキの自動ブレーキが作動中です。	前方の車両との衝突速度を抑制するために自動的にブレーキが作動しました。ブレーキを踏んでスピードを落としてください。
		点灯／ メッセージ (仕様により 警告の有無が 異なります)	フロントウィンドウのカメラまたはフロントバンパーのレーダーが覆われ、カメラの視界が遮られたり、レーダーの性能が発揮できなくなっています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近やフロントバンパーのレーダーがステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか、レーダーが覆われていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。
		点灯／警告音／ メッセージ	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
	 	点灯 (SERVICE 警告 灯も点灯)	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	エンジンを停止し、再度始動しても消灯しない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	アクティブ セーフティ ブレーキ	点灯 (シートベルト警 告灯も点灯)	運転席シートベルトまたは／および助手 席シートベルトが着用されていません。 アクティブセーフティブレーキが一時的 にオフになっています。	アクティブセーフティブレーキをオンにするに は、運転席シートベルトおよび助手席シートベル トを着用してください。
	ABS (アンチロック ブレーキ)	点灯	アンチロックブレーキシステムに異常が 発生しています。	通常のブレーキとして機能します。 注意して速度を下げて走行し、当社指定サービス 工場で点検を受けてください。
	パワー ステアリング	点灯	パワーステアリングに異常が発生してい ます。	注意して速度を下げて走行し、当社指定サービス 工場で点検を受けてください。
	ASR OFF	点灯／メッセージ	ASRシステムがオフになっています。	詳細は「ESC（エレクトロニックスタビリティコ ントロール）」項を参照してください。
	ASR / DSC	点滅	ASR / DSCシステムが作動中です。	システムは正常です。 安定した走行に戻ると消灯します。
		点灯／警告音／ メッセージ	ASR / DSCシステムに異常が発生し ています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	非常ブレーキ (エレクトリックパーキングブレーキ)	点灯／メッセージ (SERVICE 警告灯も点灯)	非常ブレーキに異常が発生しています。	エレクトリックパーキングブレーキの自動解除ができない場合は、ブレーキペダルを踏みながら手動操作で解除してください。 当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	ヒルスタートアシスタンス	点灯／メッセージ (SERVICE 警告灯も点灯)	ヒルスタートアシスタンス機能に異常があります。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	トラフィックサインインフォメーション	点灯（数秒間） (仕様により警告の有無が異なります)	制限速度超過時の警告音がオフになりました。	エンジンを始動すると、制限速度超過時の警告音はオンになります。
		点灯／警告音／メッセージ (仕様により警告の有無が異なります)	トラフィックサインインフォメーションに異常があります。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／メッセージ (仕様により警告の有無が異なります)	フロントウィンドウのカメラが覆われ、カメラの視界が遮られています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近がステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	レーンキープアシスト	点灯	レーンキープアシスト機能がオフまたは停止されています。	詳細は「レーンキープアシスト」項を参照してください。
		点滅	方向指示器が作動していないとき、走行車線を逸脱する可能性があるとして判断されました。 ハンドル操作の自動修正が行われます。	詳細は「レーンキープアシスト」項を参照してください。
		点灯／メッセージ（仕様により警告の有無が異なります）	フロントウィンドウのカメラが覆われ、カメラの視界が遮られています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近がステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。
		点灯／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	レーンキープアシスト機能に異常があります。	レーンキープアシスト機能が作動していません。注意して走行し、当社指定サービス工場にて点検を受けてください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	レーン ポジショニング アシスト*	点灯／警告音／ メッセージ (SERVICE警告 灯も点灯)	レーンポジショニングアシスト機能に異常があります。	レーンポジショニングアシスト機能が作動していません。 注意して走行し、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／メッセージ	ストップ&スタートシステムが手動でオフになりました。	ストップ&スタートシステムをオンにしてください。
	ストップ& スタート	点灯	外気温が0℃以下、+35℃以上のため、ストップ&スタートシステムが自動的にオフになりました。	外気温が0℃以上、+35℃以下のとき、システムが作動します。
		点滅後に点灯／ メッセージ	ストップ&スタートシステムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。

*仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ドライバー アテンション アラート	点灯	ドライバーアテンションアラートがオフになっています。	詳細は「ドライバーアテンションアラート」項を参照してください。
		点灯／警告音／メッセージ	ドライバーアテンションアラートに異常があります。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／メッセージ (仕様により警告の有無が異なります)	フロントウィンドウのカメラが覆われ、カメラの視界が遮られています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近がステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。
	フロント／ バックソナー	点滅	ソナーが障害物を検知しています。	詳細は「フロント／バックソナー」項を参照してください。
		点灯／警告音／メッセージ (SERVICE 警告灯が点灯する場合があります)	フロント／バックソナーの機能に異常があります。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	フロント／バックソナー	点灯／メッセージ（仕様により警告の有無が異なります）	フロント／リアバンパーのセンサーが泥や雪などで覆われています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロント／リアバンパーのセンサーの汚れを取り除いてください。
	エアバッグ	点灯／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	エアバッグまたはシートベルトプリテンションシステムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	ポスト コリジョン セーフティ ブレーキ	点灯（ASR／DSC 警告灯またはエアバッグ警告灯）／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	ポストコリジョンセーフティブレーキに異常が発生しています。	すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	アクティブ ボンネット	点灯／メッセージ	アクティブボンネットが作動しました。	ボンネットに触らないでください。 専門業者にけん引を依頼するか、低速（時速30km以下）で走行し、直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／警告音／メッセージ	アクティブボンネットに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	空気圧警告	点灯／警告音／メッセージ	タイヤの空気圧に異常があります。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。 タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。
		点灯／警告音／メッセージ (SERVICE 警告灯も点灯)	タイヤ空気圧警告システムに異常が発生しています。システムは作動していません。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。 直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	リアフォグランプ	点灯	リアフォグランプが点灯しています。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	燃料残量	点灯／警告音／メッセージ	燃料の残量が約6リットル以下になりました。	燃料が少なくなっています。早めに燃料を補給してください。 ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動する度に警告灯は点灯します。 燃料タンクの容量は、ガソリン車が約52リットル、ディーゼル車が約53リットルです。 燃料がなくなるまで、走行を続けしないでください。排気ガス浄化システムおよび点火系統が損傷するおそれがあります。
		点灯	排気ガス浄化システムに異常が発生しています。	エンジンを始動しても警告灯が消えない場合は、直ちに当社指定サービス工場での点検を受けてください。
	自動診断	点滅	エンジン制御システムに異常が発生しています。	触媒コンバーターが損傷するおそれがあります。当社指定サービス工場にご連絡ください。
		点灯／警告音／メッセージ	インテリジェントハイビームまたはフロントウィンドウ上部に備えられたカメラに異常があります。	当社指定サービス工場にご連絡ください。
	インテリジェントハイビーム	点灯／警告音／メッセージ	インテリジェントハイビームまたはフロントウィンドウ上部に備えられたカメラに異常があります。	当社指定サービス工場にご連絡ください。

*仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	DS マトリクスLED ヘッドライト*	点灯／警告音／メッセージ	DSマトリクスLEDヘッドライトまたはフロントウィンドウ上部に備えられたカメラに異常があります。	当社指定サービス工場にご連絡ください。
		点灯／メッセージ（仕様により警告の有無が異なります）	フロントウィンドウのカメラが覆われ、カメラの視界が遮られています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近がステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。
	DSナイト ビジョン*	点灯	・DSナイトビジョンはオンになっていますが、走行速度か外気温のどちらか、またはその両方が作動条件を満たしていません。赤外線カメラの映像をインストルメントパネルに表示させることができますが、歩行者や動物などを検知して運転者に注意喚起する機能は作動しません。 ・表示灯が点灯するとともにメッセージが表示された場合は、システムに異常があります。	詳細は「DSナイトビジョン」項を参照してください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

● 緑色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	レーン ポジショニング アシスト*	点灯	レーンポジショニングアシストが作動しています。	詳細は「レーンポジショニングアシスト」項を参照してください。
	ウィンカー	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが上または下に動かされています。	ライトスイッチレバーを水平にすると消灯します。
	ポジション ランプ	点灯	ライトスイッチがポジションランプの位置にあります。または、ライトスイッチが AUTO の位置にあり、デイトタイムランニングランプが点灯しています。	—
	ロービーム	点灯	ライトスイッチがロービームの位置にあります。または、ライトスイッチが AUTO の位置にあります。(周囲の明るさに応じて点灯)	—
	DS マトリクスLED ヘッドライト*	点灯	タッチスクリーンの設定で機能がオンになっていて、ライトスイッチが AUTO の位置にあります。 機能が作動しています。	—

*仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	インテリジェントハイビーム	点灯	タッチスクリーンの設定で機能がオンになっていて、ライトスイッチが AUTO の位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ロービームが点灯しています。	—
		点灯	タッチスクリーンの設定で機能がオンになっていて、ライトスイッチが AUTO の位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ハイビームが点灯しています。	—
	ストップ＆スタート	点灯	赤信号などで停止したときに、ストップ＆スタートによってエンジンが停止しています。	発進時には警告灯が消灯し、自動的にエンジンがかかります。
		数秒間点滅して消灯	停止モードが一時的に使用不可、または自動的にスタートモードになりました。	詳細は「ストップ＆スタート」項を参照してください。
	DS ナイトビジョン*	点灯	DSナイトビジョンが作動中です。 赤外線カメラの映像をインストルメントパネルに表示させることができます。歩行者や動物などを検知して、運転者に注意喚起する機能が作動しています。	詳細は「DSナイトビジョン」項を参照してください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

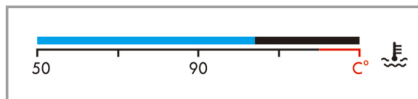
● 青色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ハイビーム	点灯	ライトスイッチレバーが手前に引かれています。	ライトスイッチレバーを再度手前に引くとロービームに戻ります。

● 灰色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	DS マトリクスLED ヘッドライト*	点灯	タッチスクリーンの設定で機能がオンになっていて、ライトスイッチが AUTO の位置にあります。ただし、作動条件が満たされていないため、DSマトリクスLEDヘッドライトの作動が停止しています。	詳細は「DSマトリクスLEDヘッドライト」項を参照してください。
	レーン ポジショニング アシスト*	点灯	作動条件が満たされていないため、レーンポジショニングアシストの作動が停止しています。	詳細は「レーンポジショニングアシスト」項を参照してください。
	DS ナイトビジョン*	点灯	タッチスクリーンの設定でDSナイトビジョンがオンになっていますが、周囲が暗い、ヘッドランプが点灯しているなどの作動条件を満たしていません。赤外線カメラの映像をインストルメントパネルに表示させる機能や、歩行者や動物などを検知して運転者に注意喚起する機能は作動していません。	詳細は「DSナイトビジョン」項を参照してください。

冷却水温度計



オーバーヒートすると、警告音とともに冷却水温警告灯とSTOP警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

直ちに車を安全な場所に止めて、数分間アイドリングを行ってからエンジンを停止してください。その後はすみやかに当社指定サービス工場にご連絡ください。



- 冷却水温度計は、インストルメントパネルのカスタマイズ可能なディスプレイゾーンに表示されます。インストルメントパネルのディスプレイゾーンの詳細は、P.4-2の「インストルメントパネル」項を参照してください。
- 冷却水の補給は当社指定サービス工場にお申し付けください。

サービスインジケーター

サービスインジケーターは、お客様に次のメーカー推奨点検時期がいつ頃かをお知らせするものです。次の点検まで3000km以内、またはあと60日以内になったとき、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動したあとの数秒間、インストルメントパネルに表示されます。

また、タッチスクリーンからも次のメーカー推奨点検時期を確認することができます。

● サービスインジケーター表示一覧

表示	状態	意味
	点灯（数秒間）	次の点検まで1000km から3000km、またはあと21日から60日で点検時期となる場合。次の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点灯	次の点検まで1000km以内、またはあと21日で点検時期となる場合。次の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点滅後に点灯 （ガソリン車）	
	点滅後に点灯 （SERVICE警告灯も点灯） （ディーゼル車）	点検時期を経過したことを示しています。点検時期を経過してからのおよその走行距離や点検時期を経過したことをお知らせするメッセージ（両方またはどちらか一方）が表示されます。

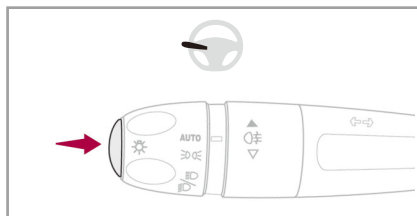


点検時期のお知らせは、走行距離と前回の点検時期から割り出されています。最後の点検から2年を経過した場合にもスパナマークが点灯します。

● ゼロリセット

当社指定サービス工場では、定期点検終了後にサービスインジケータをリセットして、次の定期点検時期をお知らせするようにしています。もし、お客様がご自分でリセットする際には以下の方法で行います。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
2. ライトスイッチレバーの先端のスイッチを押します。



3. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにします。
4. 数字のカウントダウンが始まります。
5. カウントダウンが終了したら、押していたスイッチを放します。
6. リセットが完了。スパナのマークが消えます。



リセット直後に12Vバッテリーをはずすと、リセットが無効になります。ドアを施錠して少なくとも5分間待ってから、12Vバッテリーをはずしてください。

● サービスインジケータの再表示

次の方法でサービスインジケータを再度表示させることができます。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **セーフティ**をタップします。
5. **チェック**をタップします。

エンジン油量インジケーター*

ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、油量の状態が数秒間表示されます。

油量は、車体が水平な場所にあってエンジン停止後30分以上経過しているときに正確に表示されます。

● エンジンオイル量が不足しているとき



警告音とともに**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。エンジンオイルレベルゲージで正確な量を確認し、不足しているときは補充してください。エンジンオイルが不足したまま使用すると、エンジンが損傷するおそれがあります。

● オイルレベルセンサーが故障しているとき

メッセージが表示されます。車体を水平な場所に置き、エンジン停止後30分以上経過してからエンジンオイルレベルゲージで測定してください。油量に問題がなければ、オイルレベルセンサーが故障しているので、当社指定サービス工場にご連絡ください。



オイルレベルゲージ



ゲージには2ヶ所のマークがあります。

A : オイル量最大
これを越えないようにしてください。

B : オイル量最少
Aと**B**の間になるようにオイルを補充してください。

*仕様により異なります。

オドメーター

オドメーターは、ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに表示されます。



距離の単位は必ずkm表示を使用してください。
設定はタッチスクリーンで行います。

マニュアルチェック

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、タッチスクリーンの操作でインストルメントパネルに以下の情報を表示させることができます。

- ・エンジン油量インジケーター*
- ・サービスインジケーター
- ・走行可能距離（ディーゼル車）
- ・タイヤ空気圧警告
- ・現在の不具合状況



マニュアルチェックの情報は、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、毎回表示されます。

マニュアルチェックは、次の方法で実行します。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **セーフティ**をタップします。
5. **チェック**をタップします。

*仕様により異なります。

インストルメントパネルの調整(言語／色／明るさ)

インストルメントパネルの調整を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。

●言語の設定

インストルメントパネルの言語を切り替えることができます。言語の切り替えは、次の方法で行います。

1.  をタップします。
2.  をタップします。
3. 希望する言語をタップします。しばらくすると言語が切り替わります。



インストルメントパネルの言語の設定は、タッチスクリーンの言語の設定と連動しています。

●色の設定

インストルメントパネルの色の設定は各ドライブモードに関連付けられています。ドライブモードを切り替えると、インストルメントパネルの色も連動して切り替わります。

ドライブモードに関連付けられているインストルメントパネルの色はカスタマイズすることができます。色の選択は、次の方法で行います。

1. インストルメントパネルの色を設定したいドライブモードを選択します。
2. **カスタマイズ**をタップします。
3. **画面の色**をタップします。
4. 希望する色をタップします。



- インストルメントパネルの色の設定は、タッチスクリーンの色の設定と連動しています。
- ドライブモードの詳細は、P.3-13の「ドライブモード」項を参照してください。

●明るさ調整

インストルメントパネルの明るさを調整することができます。明るさの調整は、次の方法で行います。

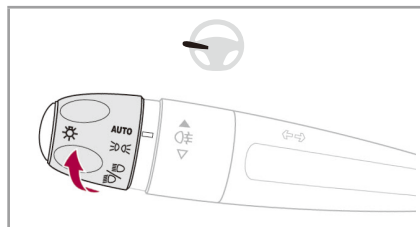
1. **明るさ**をタップします。
2. **コックピットの明るさ**のカーソルを動かすか、バーをタップして調整します。



- 周囲が暗いときや夜間にインストルメントパネルの明るさを調整できます。
- インストルメントパネルの明るさを調整すると、タッチスクリーンの明るさも調整されます。
- インストルメントパネルの明るさは通知センターからも行えます。
 1. タッチスクリーンの画面を上から下にスワイプします。
 2. **明るさ**をタップします。
 3. ☀のバーをタップするか、カーソルを動かします。

ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）

●ヘッドランプ



ライトスイッチレバーのリングを回して操作します。

AUTO

オートライトモード



ポジションランプが点灯します。

⚠ 警告

ポジションランプは、他の車からあなたの車を確実に確認できるほどの十分な明るさではありません。事故のおそれがありますので、周囲が暗いときや視界が悪いときは、ヘッドランプを点灯してください。

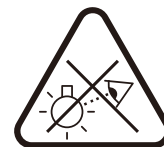


ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

ヘッドランプをハイビームに切り替えるときは、ライトスイッチレバーを手前に引きます。再度、手前に引くとロービームに切り替わります。

⚠ 警告

点灯中のLEDヘッドライトを至近距離から直視しないでください。LEDヘッドライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。



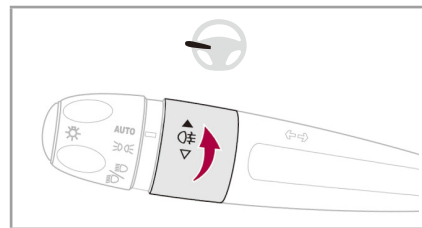


- 低温高湿度のとき、ヘッドランプやテールランプのレンズ内側が曇ることがありますが異常ではありません。点灯して数分後にはなくなります。
-  ライト類に異常が発生した場合は、警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

● パッシング

ライトスイッチレバーを浅く手前に引くと、パッシングライトとして使用できます。

● リアフォグランプ



ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。



ライトスイッチレバーのリングを前方へ回すと点灯します。後方へ回すと消灯します。

⚠ 警告

リアフォグランプは昼夜問わず晴天時や雨天時には使用しないでください。後続車に眩惑を与えます。



オートライトでヘッドランプが点灯中に、リアフォグランプを点灯させると、周囲が明るくなってもヘッドランプとリアフォグランプは点灯し続けます。リングを回してリアフォグランプを消灯してください。リアフォグランプと同時にヘッドランプも消灯します。

● デイタイムランニングランプ

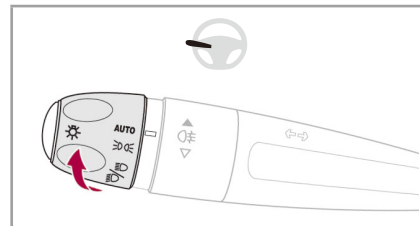
エンジンを始動すると、ライトスイッチレバーが**AUTO**の位置で周囲が明るいときにデイタイムランニングランプだけが自動的に点灯します。デイタイムランニングランプが点灯中は、インストルメントパネル内のポジションランプ表示灯が点灯します。

⚠ 警告

点灯中のデイタイムランニングランプを至近距離から直視しないでください。LEDライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。



● オートライト



周囲が暗くなったり、オートモードでウィンドウワイパーが作動すると、自動的にポジションランプやヘッドランプが点灯します。周囲が明るくなったりワイパーが停止すると、自動的に消灯します。

作動

リングを**AUTO**位置に回します。

機能解除

リングを**AUTO**以外の位置に回します。

警告

- 昼間の霧や雪のときは、周囲が明るいのでオートライトが作動しないことがあります。安全のため、手動でライトを点灯してください。
- フロントウィンドウの雨滴／日射センサーを覆わないでください。オートライト機能が正常に作動しません。
- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとフロントウィンドウの雨滴／日射センサーが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。



● **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにすると、すべてのライトが消灯します（フォローミーホーム機能がオンのときを除く）。再度ライトを点灯するには、**AUTO** から他の位置にライトスイッチレバーのリングを回すか、いったん **AUTO** にしてから他の位置にライトスイッチレバーのリングを回してください。

● **ENGINE START/STOP** スイッチがオフの状態、マニュアル操作でライトを点灯したまま運転席側のドアを開けると、ライト消し忘れブザーが鳴ります。ライトスイッチレバーのリングを **AUTO** 位置に回すとライトが消灯します。

● **ENGINE START/STOP** スイッチがオフの状態でライトを点灯したままにすると、12Vバッテリーのバッテリー上がりを防止するために一定時間後、自動的に消灯します。



-  雨滴／日射センサーに異常が発生した場合は、自動的にヘッドランプが点灯します。警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

* 仕様により異なります。

● 駐車時照明機能（フォローミーホーム）

周囲が暗いときや夜間にエンジンを停止したあとしばらくの間、ヘッドランプ、ポジションランプなどが点灯したままになります。

オート操作

エンジンを停止すると、自動的に作動します。

マニュアル操作

手動で作動させるには、ENGINE START/STOPスイッチをオフにして、パッシング（ライトスイッチレバーを浅く手前に引く）します。

キャンセル操作

キャンセルするには、パッシング（ライトスイッチレバーを浅く手前に引く）します。

フォローミーホームのオン／オフと点灯時間の設定

フォローミーホームのオン／オフと点灯時間の設定は、次の方法で行います。

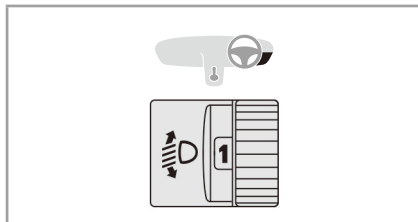
1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **ライト**をタップします。
5. **フォローミーホームライト**をタップしてオンまたはオフにします。
6.  をタップします。
7. カーソルを動かすか、バーをタップして点灯時間を設定します。

● エクステリアサイドランプ*

周囲が暗いときや夜間、ドアのロックを解除したときなどに、しばらくの間ドアミラー下部にあるエクステリアサイドランプが点灯します。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

●ヘッドランプ照射角度調整*



ラゲッジルームに重量物を積んでヘッドランプが上向きになったときは、対向車に眩しくないよう、ダイヤルの数値を上げて照射角度を下向きにしてください。



ダイヤルの4、5、6は未使用の目盛りです。照射角度の調整はできないため使用しないでください。

●照射角度自動調整機能（DSマトリクスLEDヘッドライト装着車）

車の積載状態に応じて、ヘッドランプの照射角度を自動的に調整します。



自動調整機能に異常が発生した場合は、警告音とともに**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。このとき、ヘッドランプは一番下向きの位置に自動調整されます。

⚠ 警告

異常が発生した場合は、ヘッドランプに触らず、当社指定サービス工場で点検を受けてください。感電する可能性があります。

●パーキングライト*

路肩に駐車する場合、ポジションランプを片側（車両通行側）のみ点灯させることができます。

ENGINE START/STOPスイッチをオフにしてから、ライトスイッチレバーを点灯させたい方に操作します（**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてからしばらく経過すると、パーキングライトを点灯させることができなくなります）。警告音とともに表示灯（ウィンカー）が点灯し、片方のポジションランプが点灯します。

以下のとき、パーキングライト機能はオフになります。

- ・ライトスイッチレバーを戻す
- ・**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにする
- ・エンジンを始動する

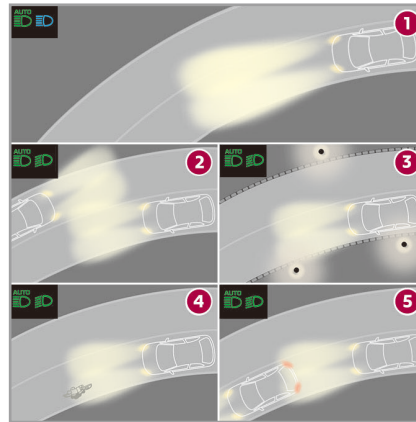
*仕様により異なります。

●インテリジェントハイビーム

フロントウィンドウ上部に備えられたカメラによって周囲の明るさと運転状況を検知し、ヘッドライトのロービームとハイビームを自動的に切り替える機能です。

⚠警告

インテリジェントハイビームは操作を補助する機能です。運転者の責任の下で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従って、正しく使用してください。



- ①：ハイビーム点灯。ハイビームが必要な場合
- ②：ロービーム点灯。対向車がある場合
- ③：ロービーム点灯。周囲が明るいためハイビームが不要な場合
- ④：ロービーム点灯。先行車などがある場合
- ⑤：ロービーム点灯。先行車などがある場合

機能のオン／オフ

1. ライトスイッチレバーのリングを**AUTO**位置に回します。
2. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
3. をタップします。
4. **車両設定**をタップします。
5. **ライト**をタップします。
6. **インテリジェントハイビーム**をタップしてオン／オフします。



- ライトスイッチレバーの操作ではインテリジェントハイビームをオフにできません。
- インテリジェントハイビームは時速45km以上で走行すると作動を開始します。時速35km以下になると作動が停止します。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた



●ENGINE START/STOPスイッチをオフにしてもシステムのオン／オフの設定は保持されます。

ハイビーム／ロービームの切り替え条件

以下のときにロービームが点灯します。

- ・周囲の明るさが十分にあり、運転状況がハイビームの点灯に適さないとき

AUTO ロービームが点灯すると、この表示灯が点灯します。



以下のときにハイビームが点灯します。

- ・周囲の明るさが十分になく、運転状況がハイビームの点灯に適したとき

AUTO ハイビームが点灯すると、この表示灯が点灯します。



作動を中断する

システム作動中でも、ライトスイッチレバーを手前に引くことでインテリジェントハイビーム機能を中断し、オートライトモードに切り替えることができます。インテリジェントハイビームに戻したいときは、再度ライトスイッチレバーを手前に引きます。



●機能を中断または再度作動させると、状況により、ハイビームまたはロービームが点灯します。

●降雪、豪雨、濃霧などで視界が不十分なとき、またはリアフォグランプを点灯させたときは、自動的にインテリジェントハイビームの機能が一時中断されます。機能が一時中断されると、表示灯が消灯します。その後、システムがインテリジェントハイビーム機能の作動に適していると判断する、またはリアフォグランプを消灯すると、インテリジェントハイビーム機能が再度作動します。

システムの異常

AUTO インテリジェントハイビームまたはフロントウィンドウ上部に備えられたカメラに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 以下のようなときは、機能が正確に作動しないことがあります。
 - ・ 降雪、豪雨、濃霧などの悪環境のとき
 - ・ フロントウィンドウが汚れている、曇っている、ステッカーを貼っているなど、カメラ部分の視界が不十分なとき
 - ・ 看板や標識などに反射した強い光が車両に当たっているとき
- カメラは以下のような対象物は検知しません。
 - ・ 歩行者のように光を発しないもの
 - ・ 高速道路の中央分離帯などで光を遮られている車両
 - ・ 急勾配な坂の頂上やふもと、曲がりくねった道、交差点などにおける周囲の車両
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

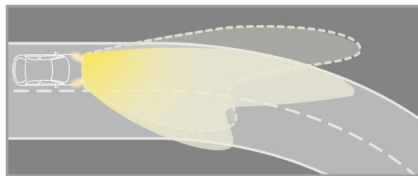
- フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムを使用しないでください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントウィンドウ上部のカメラ付近にステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- 冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

⚠ 警告

- 傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

●ダイナミックコーナリングライト*



ステアリングが一定の角度以上回っているとき、ヘッドライトがカーブの内側を照らします。ステアリングが一定の角度まで回っていないときや、シフトポジションがRのときは作動しません。

機能のオン／オフ

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **ライト**をタップします。
5. **アダプティブライト**をタップしてオン／オフします。



- ダイナミックコーナリングライトのオン／オフの設定は、DSアクティブLEDビジョンおよびDSマトリクスLEDヘッドライトのオン／オフの設定と連動しています。
- 仕様により、ダイナミックコーナリングライトのオン／オフの設定ができない場合があります。

●DSアクティブLEDビジョン*

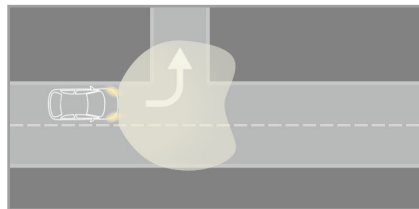
DSアクティブLEDビジョンは、走行速度に応じてLEDヘッドランプの照射範囲を自動的に変化させるシステムです。

⚠ 警告

DSアクティブLEDビジョンは夜間の走行中の視界を補助する機能です。運転者の責任の下で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従って、正しく使用してください。

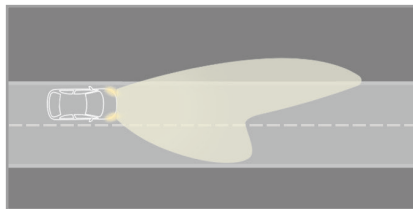
*仕様により異なります。

市街地モード



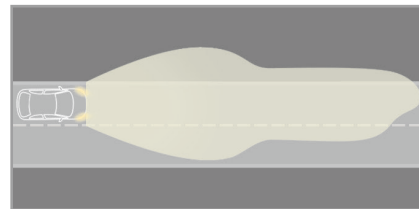
ヘッドランプの前方への照射範囲を適度に保ったまま、ヘッドランプモジュールを外側方向へ向け、照射範囲を横方向に拡大して照射します。夜間の交差点などでの視認性を高めます。照射距離は約230mです。
時速50km以下で約3秒間走行すると作動します。

郊外モード



ヘッドランプの前方への照射範囲を広げて照射し、横方向への照射範囲は十分に保ったまま、ヘッドランプモジュールの配光を減光します。照射距離は約240mです。
時速50km以上、時速110km以下で約2秒間走行すると作動します。

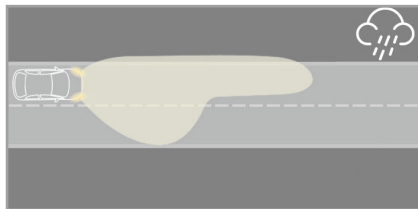
ハイウェイモード



高速走行時にハイビームを点灯してより遠方の視認性を向上します。照射距離は約280mです。
時速110km以上で約5秒間走行すると作動します。
時速90km以下で約5秒間走行すると作動が停止します。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

悪天候モード

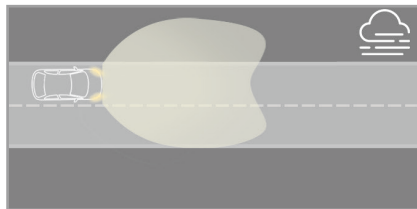


ヘッドランプモジュールの配光を強めて横方向の照射範囲を広げ、走行車線の車線マーカの視認性を高めます。また、ハイビームの照射範囲を制御して濡れた路面からの反射光を抑えて照射します。照射距離は約220mです。

時速70km以下で走行中、フロントワイパーを作動させてから約2分経過すると作動します。

時速70km以上で走行すると、フロントワイパーが作動中でも郊外モードまたはハイウェイモードに切り替わります。

フォグモード



照射距離は約180mです。

時速70km以下で走行中、リアフォグランプを点灯させると作動します。

時速70km以上で走行すると、リアフォグランプが点灯中でも郊外モードまたはハイウェイモードに切り替わります。

機能のオン／オフ

1. ライトスイッチレバーのリングを **AUTO** 位置に回します。
2.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
3.  をタップします。
4. **車両設定**をタップします。
5. **ライト**をタップします。
6. **アダプティブライト**をタップしてオン／オフします。



- ライトスイッチレバーの操作では DS アクティブLED ビジョンをオフにできません。
- DS アクティブLED ビジョンのオン／オフの設定は、ダイナミックコーナリングライトおよびDSマトリクスLEDヘッドライトのオン／オフの設定と連動しています。

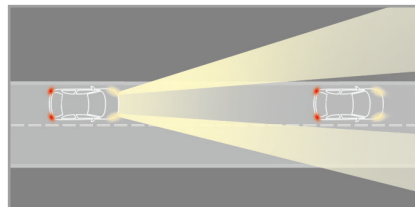
●DSマトリクスLEDヘッドライト*

DSマトリクスLEDヘッドライトは、フロントウィンドウ上部のカメラによって先行車や対向車のランプや街路灯などの明るさ、また前方のカーブを含む道路状況を検知し、ハイビームの照射範囲を自動的に変化させるシステムです。独立したハイビーム用のLEDランプユニットが段階的にそれぞれ点灯／消灯し、先行車や対向車へのまぶしさを抑えながら、前方視界の確保を補助します。

⚠ 警告

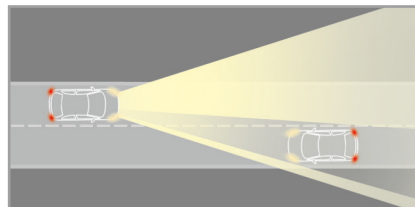
DSマトリクスLEDヘッドライトは、夜間の走行中の視界を補助する機能です。運転者の責任の下で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従って、正しく使用してください。

先行車がある場合



先行車を検知すると、先行車の周囲を照らすLEDランプユニットのみ消灯します。
先行車が検知されなくなると消灯したLEDランプユニットを再度点灯します。

対向車がある場合



対向車を検知すると、対向車の周囲を照らすLEDランプユニットのみ消灯します。
対向車とすれ違ったあとは、消灯したLEDランプユニットを再度点灯します。

市街地など周囲の明るさが十分にあるエリアに入った場合

街路灯が並んでいる道路や、明るい街中に入った場合は、車両外側から内側に向かって段階的にハイビーム用のLEDランプユニットが消灯し、ロービームの点灯に切り替わります。

市街地などから出て周囲の明るさが十分ではないエリアに入った場合

街路灯が少なく明るさが十分でない道路などに入った場合は、車両内側から外側に向かって段階的にハイビーム用のLEDランプユニットが点灯し、ロービームからハイビームに切り替わります。

*仕様により異なります。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

機能のオン／オフ

1. ライトスイッチレバーのリングを **AUTO** 位置に回します。
2.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
3.  をタップします。
4. **車両設定**をタップします。
5. **ライト**をタップします。
6. **アダプティブライト**をタップしてオン／オフします。

AUTO  DSマトリクスLEDヘッドライトが作動すると表示灯が点灯します。



- DSマトリクスLEDヘッドライトのオン／オフの設定は、ダイナミックコーナリングライトおよびDSアクティブLEDビジョンのオン／オフの設定と連動しています。
- DSマトリクスLEDヘッドライトをオフにすると、オートライトモードに切り替わります。
- ライトスイッチレバーの操作ではDSマトリクスLEDヘッドライトをオフにできません。
- DSマトリクスLEDヘッドライトは時速40km以上で走行すると作動を開始します。時速20km以下になると作動が停止します。
- AUTO**  DSマトリクスLEDヘッドライトがオンの状態でも、作動条件が満たされていないときは作動が停止されます。このとき、灰色の表示灯が点灯します。
- ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもシステムのオン／オフの設定は保持されます。

作動を中断する

システム作動中でも、ライトスイッチレバーを手前に引くことでDSマトリクスLEDヘッドライトの作動を中断し、オートライトモードに切り替えることができます。

DSマトリクスLEDヘッドライトの作動を再開したいときは、再度ライトスイッチレバーを手前に引きます。



- 濃い霧が発生している場所を走行しているとき、またはリアフォグランプを点灯させたときは、自動的にDSマトリクスLEDヘッドライトが一時中断されます。DSマトリクスLEDヘッドライトが一時中断されると、表示灯が消灯します。その後、システムがDSマトリクスLEDヘッドライトの作動に適していると判断する、またはリアフォグランプを消灯すると、DSマトリクスLEDヘッドライトの作動が再開します。
- 降雪や濃霧などで視界が不十分なときは、運転者の操作でDSマトリクスLEDヘッドライトをオフにすることをお勧めします。

システムの異常

AUTO  仕様により、フロントウィンドウのカメラが覆われ、カメラの視界が遮られると、警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止してください。その後、フロントウィンドウのカメラ付近がステッカーなどで覆われていないか、物などでカメラの視界が遮られていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。カメラの視界が確保されるとシステムの作動が再開し、表示灯が消灯します。

AUTO  DSマトリクスLEDヘッドライトまたはフロントウィンドウのカメラに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告

- 以下のようなときは、機能が正確に作動しないことがあります。
 - ・降雪、豪雨、濃霧などの悪環境のとき
 - ・フロントウィンドウが汚れている、曇っている、ステッカーを貼っているなど、カメラ部分の視界が不十分なとき
 - ・看板や標識などに反射した強い光が車両に当たっているとき
- カメラは以下のような対象物は検知しません。
 - ・歩行者のように光を発しないもの
 - ・高速道路の中央分離帯などで光を遮られている車両
 - ・急勾配な坂の頂上やふもと、曲がりくねった道、交差点などにおける周囲の車両
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

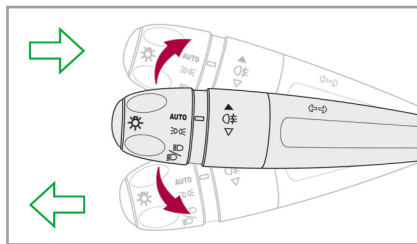
警告

- フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムを使用しないでください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- フロントウィンドウの雨滴／日射センサーを覆わないでください。DSマトリクスLEDヘッドライトが正常に作動しません。
- 冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

⚠ 警告

- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
- 傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

●方向指示器



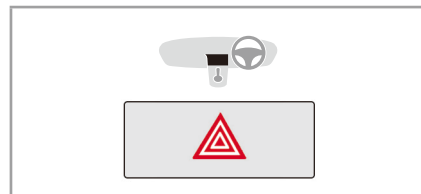
右方向に出す場合：ライトスイッチレバーを上動かします。

左方向に出す場合：ライトスイッチレバーを下動かします。



- 車線変更などのとき、ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かし方の方向指示器が3回点滅します。
- 時速80km以上で運転している際に方向指示器を20秒以上作動させた場合、作動音が徐々に大きくなります。

●ハザードランプ



ENGINE START/STOPスイッチのポジションに関係なくスイッチを押すと作動します。
他車に緊急停車中であることを示します。

緊急制動表示灯

急ブレーキをかけると、減速度によってハザードランプが自動的に点滅を始めます。車が加速を始めると自動的に解除されますが、スイッチを押して解除することもできます。



渋滞の最後尾についたときは、手動でハザードランプを点滅させて、他の運転者に警告してください。

ワイパー／ウォッシャー

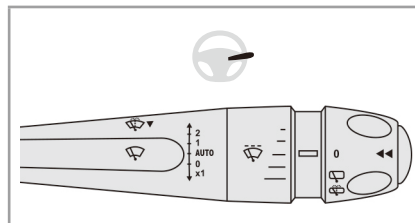
注意

- ウィンドウガラスが乾いているときは、ワイパーを使用しないでください。ウィンドウに傷を付けることがあります。
- 外気温が高温のときや、低温で凍結のおそれがあるときは、ワイパーがウィンドウに張り付いていないか確認してください。ワイパーを損傷するおそれがあります。



- ウィンドウガラスやワイパーに雪が積もっているときや凍結しているときは、ワイパーを使用する前に取り除いてください。
- 自走式の洗車機で洗車したあとにワイパーを作動させると、一時的にいつもと異なる音が発生したり、拭拭性能が低下したりすることがありますが、異常ではありません。ワイパーブレードの交換は必要ありません。

●フロントワイパー



ワイパーレバーは以下のように5段階で作動します。

2 高速作動

1 通常作動

AUTO 自動作動

0 停止

x1 一回作動



- ワイパーレバーが**0**または**AUTO**の位置にあるときは、レバーを浅く手前に引いてから放すと、ワイパーが1回だけ作動します。
- ワイパーレバーを一回作動の位置(**x1**)にして保持している間は、ワイパーが作動し続けます。
- ワイパーレバーが高速作動や通常作動のポジションにあるときでも、時速5km以下で走行している場合はワイパーの休止時間が長くなる場合があります。時速10kmを超えると元の休止時間に戻って作動します。
- ENGINE START/STOP**スイッチをオフにするとボンネットの収納位置にあるフロントワイパーがわずかに動作することがありますが、異常ではありません。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

●オートワイパー

ワイパーをオートモードにしておくと、雨滴／日射センサーが感知した雨滴量やセンサーの感度に応じて自動的にフロントワイパーが作動します。

作動

ワイパーレバーを**AUTO**の位置にするとオートモードが作動します。フロントワイパーが一回作動するとともにメッセージが表示されます。

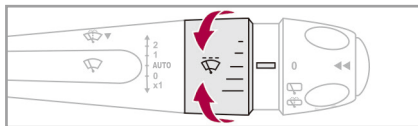
解除

ワイパーレバーを**AUTO**以外の位置にするか、**0**の位置にするとオートモードが解除されます。メッセージが表示されます。

MEMO

システムに異常が発生すると、ワイパーレバーが**AUTO**の位置では間欠作動となります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

センサーの感度調整



センサーの感度を調整するときは、ワイパーレバーのリングを上下に回します。リングを下側に回すと雨滴／日射センサーの感度が低くなります。リングを上側に回すと雨滴／日射センサーの感度が高くなります。センサーの感度が高いほど、雨に反応しやすく、フロントワイパーの休止時間が短くなります。リングを上側に回して感度を高くするとフロントワイパーが一回作動します。

MEMO

- ワイパーレバーが**AUTO**の位置で、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにして1分以上経過すると、次回エンジン始動時はフロントワイパーが次のように作動します。
 - ・外気温が3℃以下の場合、時速10km以上で走行すると雨滴量に応じてオートモードで作動開始します。
 - ・外気温が3℃以上の場合、エンジンを始動すると雨滴量に応じてオートモードで作動開始します。
- 霧、霜、雪など、天候状態によってはオートワイパーが作動しない場合があります。手動でフロントワイパーを作動させてください。

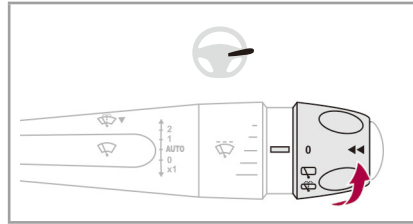
⚠ 注意

洗車する際は、オートワイパー機能を解除し、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてください。水滴によってオートワイパーが突然作動して、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあります。

注意

- フロントウィンドウの雨滴／日射センサーを覆わないでください。
- フロントウィンドウが凍結しているときは、氷などが完全に溶けるまでオートワイパーの使用を控えてください。

●リアワイパー



リングを回すとリアワイパーが作動します（間欠式）。リングをいっぱいまで回している間、ウォッシャー液が噴射され、ワイパーが作動します。リングを放すと数秒後にワイパーが停止します。



停止



間欠作動



ウォッシャー作動



- ENGINE START/STOP** スイッチをオフにして1分以上経過すると、リングが間欠作動の位置にあっても、リアワイパーはオフの状態になります。再度作動させるには、リングをいったん停止の位置に回してから、間欠作動の位置に戻してください。
- リングをウォッシャー作動の位置に回すとリアワイパーが一回作動します。リングを放すと自動的に間欠作動の位置に戻ります。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

リバース連動リアワイパー

フロントワイパーを作動中にシフトポジションをRにすると、リアワイパーが作動します。

シフトポジションをRから変更すると、リアワイパーは停止します。

この機能のオン／オフの設定は次の方法で行います。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン

 を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。
3. **車両設定**をタップします。
4. **セーフティ**をタップします。
5. **リバース連動リアワイパー**をタップしてオン／オフします。



リアウィンドウに雪が積もっているときやテールゲートにキャリアを取り付けているときは、リバース連動機能をオフにすることをお勧めします。

●フロントウィンドウウォッシャー

ワイパーレバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射され、フロントワイパーが作動します。ワイパーレバーを放すと数秒後にフロントワイパーが停止します。

⚠ 警告

外気温が低温で凍結のおそれがあるときは、フロントウィンドウが暖まるまでウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ウォッシャー液がウィンドウガラスに凍り付き、視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。

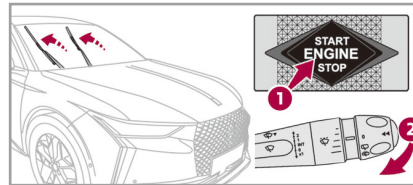
注意

タンク内のウォッシャー液が不足して、ウォッシャー液が噴射されないときは、ウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ワイパーを損傷するおそれがあります。



ウィンドウウォッシャーを作動させるとエアコンが自動的に内気モードに切り替わり外のいやな臭いを遮断します。

●ワイパーブレードの交換



ワイパーブレードの交換は、ワイパーをメンテナンスポジションにしてから行います。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチ①をオフにしてから45秒以内にワイパーレバー②を操作するとワイパーが中央に停止します。(メンテナンスポジション)
2. ワイパーブレードを交換するときはこの位置にしてください。
3. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動してワイパーレバーを操作すると、ワイパーは元の位置に戻ります。

⚠ 警告

傷んだり汚れたワイパーブレードは視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。すべてのウィンドウで良好な視界が確保されるまでは走行しないでください。



- ワイパーブレードを長持ちさせるには、次のことに気をつけてください。
 - ・丁寧に取り扱いってください。
 - ・せっけん水で定期的に洗ってください。
 - ・紙や異物を挟まないでください。
 - ・ワイパーゴムが摩耗しているときは早めに交換してください。
- ワイパーアームの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。
- ウィンドウガラスに撥水コーティング剤を使用する場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。

間接式タイヤ空気圧警告

走行中にESCシステムが検知しているタイヤの回転に関する情報をもとにして、タイヤの空気圧に変化があった場合に、警告をする機能です。



警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯が点灯し、メッセージが表示された場合はすみやかに停止し、タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。

間接式タイヤ空気圧警告システムは、タイヤ空気圧を適正空気圧に調整し、システムの初期化がされているときに正常に作動します。



- 低速で走行しているときは、タイヤ空気圧の変化の感知が効果的に行われない場合があります。
- 次のような場合は、警告が遅く作動する場合があります。
 - ・タイヤの空気圧が急激に低下したとき
 - ・時速40km以下で走行しているとき
 - ・急なハンドル操作や加減速が繰り返される走行をしているとき
- 警告はシステムの初期化が行われるまで続きます。

●間接式タイヤ空気圧警告システムの初期化

タイヤの空気圧を調整したり、ホイールを変更したりした場合は、必ず間接式タイヤ空気圧警告機能を初期化してください。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **車両設定** をタップします。
4. **セーフティ** をタップします。
5. **タイヤ空気圧警告システムの初期化** をタップします。
6. **初期化する** をタップします。



スノーチェーンの脱着については、その都度初期化する必要はありません。

注意

- 初期化を行う前に、すべてのタイヤの空気圧が適正であることを確認してください。
- 間接式タイヤ空気圧警告機能は、初期化時の空気圧が適正であるかどうかを検知することはできません。

●システムの異常



間接式タイヤ空気圧警告システムに異常が発生した場合は、警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯および**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告

- 間接式タイヤ空気圧警告システムを過信しないでください。システムはどのような状況下でも空気圧の低下を検知し警告できるシステムではありません。
- タイヤの空気圧が不足したままで走行すると、車両の安定性を損なったり、制動距離が長くなったりします。また、タイヤの早期劣化、偏摩耗、燃費の悪化につながります。



- タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月一回の割合でチェックしてください。空気圧の調整をする場合は、タイヤが冷えている状態で行ってください。空気圧の調整は、走行後1時間以上経過してから、または10km以内の走行後であれば可能です。タイヤが温まった状態で空気圧を調整すると、タイヤが冷えたときに空気圧が低下し、警告が作動することがあります。
- 標準サイズではないスペアタイヤやスペースセーバータイヤを装着すると、タイヤ空気圧の変化の感知が停止されることがあります。この場合、間接式タイヤ空気圧警告灯が点灯します。適正空気圧に調整された正しい仕様のタイヤを装着し、システムの初期化がされると、警告灯が消灯し、システムが作動を再開します。

* 仕様により異なります。

DS ナイトビジョン *

DS ナイトビジョンは、フロントグリルの赤外線カメラで夜間に見えにくい前方の歩行者や動物を検知し、映像化することで運転者に注意を促すシステムです。



DS ナイトビジョンは、インストルメントパネルのカスタマイズ可能なディスプレイゾーンに表示されます。インストルメントパネルのカスタマイズ可能なディスプレイゾーンの詳細は、P.4-2の「インストルメントパネル」項を参照してください。

● 作動条件

DS ナイトビジョンは以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

- ・ エンジンが始動している状態のとき
- ・ 周囲が暗いとき
- ・ ヘッドランプが点灯しているとき
- ・ 外気温が-30℃以上、+28℃以下のとき
- ・ 時速160km以下で走行しているとき

⚠ 警告

- DS ナイトビジョンは、夜間の走行中に見えにくい前方の歩行者や動物の認知を補助する機能です。この機能には限界があります。システムを過信せず、前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。
- 周囲の状況によっては、フロントグリルの赤外線カメラが前方の歩行者や動物を検知するタイミングが遅れたり、注意喚起を行わない場合や、駐車してある他の車両のエンジンなどを検知し、誤った注意喚起を行う場合があります。
- 体高が50cm以下の動物は検知しません。
- DS ナイトビジョンの画面だけを見ながら運転操作をしないでください。必ず目視で確認してください。
- 運転中にDS ナイトビジョンの画面を見続けしないでください。前方の歩行者や動物を見落とすおそれがあります。

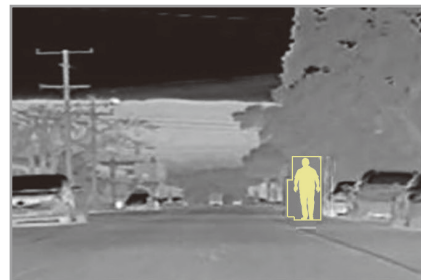
⚠ 警告

- 注意喚起枠が表示された場合は、前方に歩行者や動物がいるおそれがあります。周囲の安全を十分に確認して走行してください。
- 以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
 - ・視界が悪いとき（雪、雨、霧など）
 - ・フロントグリルの赤外線カメラに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
 - ・フロントグリルの赤外線カメラのレンズに傷が付いたとき
 - ・外気温が高温のとき
 - ・急勾配な坂の頂上やふもとを走行しているとき
 - ・曲がりくねった道や角度のきついカーブを走行しているとき
 - ・車体に衝撃を受け、カメラの設置位置がずれたり、故障したとき
 - ・当社指定サービス工場以外でフロントグリルの塗装や塗装面の修復を行ったとき



- DSナイトビジョンは、ストップ＆スタートの停止モードのときも作動します。
- DSナイトビジョンは、車両前方約15m～200mの間にいる歩行者や動物を検知します。検知距離は、周囲の状況により変化します。
- DSナイトビジョンは、歩行者や動物を検知した場合、検知対象が車両前方最大約100mの位置まで近づくと運転者に注意喚起を行います。

●DSナイトビジョンの表示



システムが歩行者や動物を検知すると、黄色の注意喚起枠とともにインストルメントパネルのディスプレイゾーンに表示されます。
検知された歩行者や動物は、温度が高いほど明るく表示されます。



システムが歩行者や動物と衝突する危険を検知すると、赤外線カメラの映像に危険を表すシンボルが表示され、注意喚起枠が赤色に変化します。



インストルメントパネルのディスプレイゾーンにDSナイトビジョンの映像が表示されていない場合は、システムが歩行者や動物と衝突する危険を検知すると、危険を表すシンボルや注意喚起枠とともに、赤外線カメラの映像を一時的にインストルメントパネルに表示します。

●表示灯について



タッチスクリーンでDSナイトビジョンをオンにしても、周囲が明るいときやヘッドランプが点灯していないときは、インストルメントパネルの表示灯が灰色に点灯します。赤外線カメラの映像を表示する機能や、歩行者や動物などを検知して運転者に注意喚起する機能は作動していません。



全ての作動条件が満たされているときは、表示灯が緑色に点灯します。赤外線カメラの映像を表示する機能や、歩行者や動物などを検知して、運転者に注意喚起する機能が作動しています。



走行速度か外気温のどちらか、またはその両方が作動条件を満たさない場合は、表示灯が橙色に点灯します。赤外線カメラの映像を表示することができますが、歩行者や動物などを検知して運転者に注意喚起する機能は作動していません。

●DSナイトビジョンのオン／オフ

DSナイトビジョンのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。オン／オフのしかたは、P.5-22の「先進運転支援システム（ADAS）の設定」項を参照してください。

●システムの異常



表示灯が橙色に点灯するとともにメッセージが表示されたときは、システムに異常があります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

- フロントバンパーやフロントグリルに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。赤外線カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントグリルの赤外線カメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- 冬季に、ボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- フロントグリルの赤外線カメラに泥や雪などが付着すると正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- フロントグリルの塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によっては赤外線カメラが正常に作動しなくなることがあります。

注意

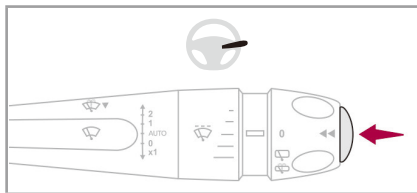
洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上赤外線カメラから離してご使用ください。



仕様により、フロントグリルの赤外線カメラには汚れを落とすためのウォッシャーが装備されています。ウォッシャーが装備されている場合、ウィンドウウォッシャーを一定回数作動させると、ウォッシャー液がフロントグリルの赤外線カメラに噴射されます。

ドライブコンピューター

●コントロールスイッチ



ドライブコンピューターは、ワイパーレバー先端のスイッチを押すことにより、**瞬間燃費**、**トリップ1**、**トリップ2**を切り替えて表示します。



- インストルメントパネルのカスタマイズ設定によっては、ドライブコンピューターが常にインストルメントパネルに表示されます。
- 燃費の単位は切り替えることができます。燃費の単位の切り替えの詳細は、P.5-20の「単位の設定」項を参照してください。

●瞬間燃費

瞬間燃費は、瞬間燃料消費量とエンジン停止時間を表示します。

●トリップ1 / トリップ2

トリップ1 / トリップ2は、以下の情報を表示します。

- ・平均速度
- ・平均燃料消費量
- ・走行距離

例えば、トリップ1を月間の走行の平均に、トリップ2を旅行用に、と使い分けます。

●瞬間燃料消費量



過去数秒間の燃料消費量を表示します。ただし、車の速度が時速30km以上のときのみ作動し、表示します。

●エンジン停止時間



ストップ&スタートによってエンジンが停止した時間を表示します。エンジンを始動する度にゼロにリセットされます。

●平均速度



コンピューターをリセットしてから現在までの平均速度を表示します。

●平均燃料消費量



コンピューターをリセットしてから現在までの平均燃料消費量を表示します。



ご購入いただいてから最初の3,000kmは、カタログなどの数値より燃料消費量が大きくなることがあります。

●走行距離



コンピューターをリセットしてから現在までの走行距離を表示します。

●リセット

トリップ1 / トリップ2をリセットするときは、ワイパーレバー先端のスイッチを2秒以上押し続けます。リセットは各トリップごとに行うことができます。リセット後しばらくはデータ不足のために正確な値が表示されないことがあります。

●トリップレポート*

ENGINE START/STOPスイッチをオフにすると、インストルメントパネルに次の情報を表示します。

- ・ 走行距離
- ・ 走行時間
- ・ 走行可能距離
- ・ エンジン停止時間
- ・ 平均燃料消費量
- ・ オドメーター



仕様により、トリップレポートに表示される項目が異なる場合があります。

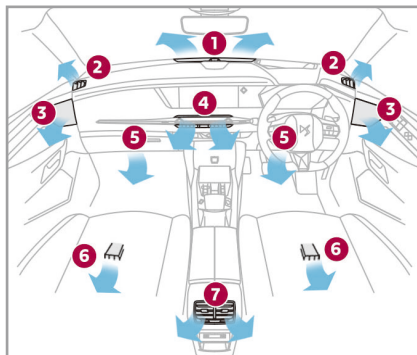
*仕様により異なります。

第5章 室内装置の使いかた

エアコンディショナー.....	5-2
タッチスクリーン.....	5-11
DSスマートタッチ	5-25
ルームランプ.....	5-29
インテリア.....	5-32
ラゲッジルーム.....	5-39

室内装置の使いかた

エアコンディショナー



- ①：フロントウィンドウ吹き出し口
②：サイドウィンドウ吹き出し口
③：ダッシュボード左右吹き出し口
④：ダッシュボード中央吹き出し口
⑤：ダッシュボード足元吹き出し口
⑥：後席用足元吹き出し口
⑦：後席用吹き出し口

ダッシュボード中央、左右の吹き出し口および後席用吹き出し口には、ルーバーやシャッターが付いています。これを使用すると、風向や風量の調整、他の吹き出し口へより多くの風を送るなどができます。

⚠ 注意

ストップ&スタートによってエンジンが停止しているときは、暖房や冷房も止まります。必要に応じてストップ&スタートを解除してください。

MEMO

- 室内の空気の入れ替えが十分に行えるように、装置を適切にコントロールしてください。
 - ・室内と設定温度に差があっても、設定温度は変更する必要はありません。自動制御により、できるだけ早く温度差を解消します。
 - ・外気温度が高温のとき、エンジンの負荷を軽減するために一時的にエアコンを停止することをお勧めします。
- 冬季のエアコンから吹き出す風量は、エンジンが温まる前の冷たいときは少なく、温度が上昇するのに合わせて多くなります。

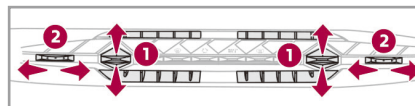
MEMO

- 空気の流れをスムーズにするために、次のことに注意してください。
 - ・ボンネット内の外気取り入れ口がふさがれていないか。
 - ・前席下のエアダクトや吹き出し口がふさがれていないか。
 - ・ラゲッジルーム内の空気排出口がふさがれていないか。
- ダッシュボードには日射センサーがあります。この上に物を置いたり、布を被せるなどしないでください。エアコンが正しく作動しない場合があります。
- エアコンを長期間、快適に使用するためにも、1ヶ月に1度は5分から10分間の使用を推奨しています。
- 長時間、高温の場所に停車すると、室内の温度は非常に高くなります。吹き出し風量を最大にして数分間、換気を行ってください。
- 室内フィルターは定期的に交換してください。2層構造の室内フィルターは、アレルギー物質や悪臭、油汚れの除去に効果を発揮し、室内の空気をよりきれいにします。



- エアコンを正しくお使いいただくため、定期的に点検することを推奨しています。
- 湿度が高いときなど、エアコンを使用していると車体の下から無色の水が流れ出ることがあります。これは空気中の水分が凝結したもので、異常ではありません。
- エアコンを使用していても冷気が出ないときは、使用を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

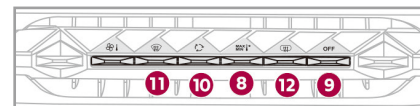
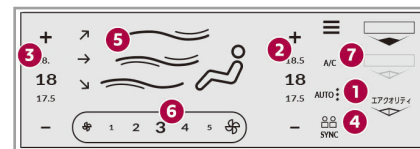
● ダッシュボード中央吹き出し口の風向きの調整と吹き出し口の開閉



運転席と助手席とで、別々にダッシュボード中央吹き出し口の風向きと開閉を調整することができます。

- ①：ノブを上下に動かして、上下方向の風向きを調整します。
- ②：ダイヤルを左右に回して、左右方向の風向きを調整します。
ダイヤルを内側いっぱいまで回すと吹き出し口が閉じます。

● 左右独立式オートエアコン



運転席と助手席とで、別々に温度の設定ができます。

オートモードでは、ディスプレイに表示されているそれぞれの数値になるまで、エアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口が選択されます。

⚠ 注意

寒冷時や雨天時には、ウィンドウの曇りを防ぐためにオートモードを選択してください。

室内装置の使いかた

エアコンの設定画面の表示

エアコンの設定は、タッチスクリーンのエアコン設定画面／ダッシュボードのコントロールパネルで行います。エアコン設定画面は、次の方法で表示します。

1.  をタップするか、ダッシュボードのスイッチ  を押します。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **エアコン（クライメート）** をタップします。

オートモード



- オートモードでは、エアコンが適切に制御できるように、各吹き出し口を開いた状態にしてください。
- ウィンドウが開いていると設定した温度を保てないことがあります。
- ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもエアコンの設定は保持されます。

①：オートモードの設定

AUTO ① をタップするとオートモードになります。

オートモードの作動中は、インジケータの点灯色が変化します。

オートモードでは、作動モードを切り替えることで室内の送風量を調整することができます。作動モードを切り替えるには、**AUTO** ① をタップします。

AUTO SOFT：室内の送風量を制限し、静かで穏やかに作動します。インジケータが一つ点灯します。

AUTO NORMAL：室内の温度を最適に保ちながら、エアコンの作動音を抑えて作動します。インジケータが二つ点灯します。

AUTO FAST：室内の送風量制御を効果的に最大限活かして作動します。インジケータが三つ点灯します。



後席側の室内温度を快適に保つためには、オートモードの作動モードを **AUTO NORMAL** または **AUTO FAST** に設定してください。

②・③：温度の設定

②：運転席側

③：助手席側

ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。

＋をタップすると温度が上がります、－をタップすると温度が下がります。または、数値表示部分を上下にスワイプして温度を設定します。この値は室内温度ではなく、快適さのレベルを表しています。

21に設定しておく、快適な室内となりますが、お好みにより14～28の間を設定してください。



- 左右の温度設定の差が3以上にならないように設定してください。
- 温度を最高に設定したいときは、ディスプレイにHIが表示されるまで＋をタップし、最低に設定したいときは、LOが表示されるまで－をタップします。または、数値表示部分を上下にスワイプしてHIまたはLOに設定します。

④：SYNCモード

助手席側の温度設定を運転席側の設定に合わせる機能です。SYNC④をタップするとオンになります。再度SYNC④をタップするとオフになります。助手席側の温度設定が操作された場合には自動的にオフになります。

SYNCモードがオンのときはアイコンの点灯色が変化します。

マニュアルモード

吹き出し口の切り替え、風量の調整を行うとオートモードはオフになります。オートモードに戻すときは、AUTO①をタップします。オートモードに戻ると、作動モードがAUTO NORMALで作動します。

⑤：吹き出し口の切り替え

アイコンをタップして吹き出し口を選択します。選択されている吹き出し口は矢印のアイコンの点灯色が変化します。

・ フロントウィンドウとサイド
 ウィンドウ

・ ダッシュボード中央と左右

・ 足元

室内装置の使いかた

⑥：風量の調整

ファンのアイコン⑥をタップすると風量が増減します。または、風量の数値表示部分を左右にスワイプするか、数値表示部分をタップして風量を設定します。



風量を**OFF**に設定するとエアコンの全機能が停止します。室温の調整は行われませんが走行により微量の風が吹き出し口から出ます。

⚠ 注意

風量を**OFF**に設定しエアコンの全機能を停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

エアコンの作動／停止

A/C⑦をタップするとエアコン（冷房・除湿機能）は停止します。エアコンを作動させるには、再度**A/C**⑦をタップします。エアコンが作動しているときはアイコンの点灯色が変わります。

⚠ 注意

エアコンを停止させると、ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

クイック作動機能*

ダッシュボードのスイッチ⑧を押すと、車内の温度に合わせて次のように自動的にエアコンを作動します。

- ・室内の温度が低い場合（4℃以下）：温度の設定**HI**／シートヒーターオン*／ステアリングヒーターオン*／足元吹き出し口のみ／風量最大
- ・室内の温度が高くも低くもない場合（4℃～35℃）：温度の設定21℃／エアコンオン／**AUTO FAST**／吹き出し口の切り替え自動／最大風量

- ・室内の温度が高い場合（35℃以上）：温度の設定**LO**／エアコンオン／シートベンチレーションオン*／ダッシュボード中央および左右吹き出し口のみ／最大風量

再度ダッシュボードのスイッチ⑧を押すとクイック作動機能がオフになります。クイック作動機能が作動しているときは、スイッチのインジケーターが赤く点灯します。



車内の温度の状況によってはエアコンの作動のしかたが異なる場合があります。

*仕様により異なります。

エアコンの全機能のオフ

ダッシュボードのスイッチ⑨を押すとエアコンの全機能が停止します。室温の調整は行われませんが走行により微量の風が吹き出し口から出ます。

エアコンの全機能が停止されているときは、スイッチ⑨のインジケーターが赤く点灯します。

⚠ 注意

エアコンの全機能を停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

内／外気の切り替え



外気が車内に入るのを防ぎます。外のいやな臭いの遮断や急速に冷暖房するときを使用します。

ダッシュボードのスイッチ⑩を押す度に内気モード／外気モードが切り替わります。スイッチ⑩のインジケーターが白く点灯しているときは外気モード、赤く点灯しているときは内気モードになっています。

内気モードでの長時間の使用は避けてください。換気が行われず、ウィンドウが曇ることがあります。

⚠ 警告

内気循環モードは、必要以外は使用しないでください。ウィンドウが曇るだけでなく、車内の空気が新鮮でなくなり、運転者の集中力が低下したり疲れやすくなるため、事故やケガにつながるおそれがあります。



ウィンドウウォッシャーを作動する、またはシフトポジションをRにすると自動的に内気モードに切り替わります。

●視界の確保

天候や乗車状況によっては、オートモードを選択していてもウィンドウガラスが曇ることがあります。フロント／リアそれぞれの視界確保モードを作動して曇りを取ってください。

⚠ 警告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントウィンドウ



ダッシュボードのスイッチ⑪を押すと、フロントウィンドウの視界確保モードが作動します。エアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替え、風量、吹き出し口を選択して自動的に曇りを取り除きます。フロントウィンドウの視界確保モードを解除するときは、再度ダッシュボードのスイッチ⑪を押します。フロントウィンドウの視界確保モードが作動しているときは、スイッチ⑪のインジケータが赤く点灯します。

⚠ 警告

冬季にフロントウィンドウのカメラ周辺に雪が積もったり凍結したりするとカメラが正常に作動しません。フロントウィンドウの視界確保モードを作動させて、走行前に雪や氷を取り除いてください。



- フロントウィンドウの視界確保モードを使用しているときは、ストップ＆スタートの停止モードは使用できません。
- フロントウィンドウの視界確保モードを作動させている間もエアコンの風量を調整することができます。エアコンの風量を調整してもフロントウィンドウの視界確保モードは解除されません（仕様により異なります）。

*仕様により異なります。

リアウィンドウ



ダッシュボードのスイッチ⑫を押すと、リアウィンドウの視界確保モードが作動します。リアウィンドウやドアミラーの曇りを取ります。リアウィンドウの視界確保モードは自動的に解除されますが、作動時間は外気温に応じて異なります。手動で解除するときは、再度ダッシュボードのスイッチ⑫を押します。

リアウィンドウの視界確保モードが作動しているときは、スイッチ⑫のインジケーターが赤く点灯します。



リアウィンドウの視界確保モードはエンジンが始動している状態のときに作動します。

● エアクオリティシステム*

エアクオリティシステムには、AQS（エアクオリティシステム）機能とクリーンキャビン機能があります。エアクオリティシステムをオンにすると、どちらの機能も作動します。

AQS（エアクオリティシステム）機能

センサーが車外の空気の質を検知し、内気モード／外気モードを自動で切り替えます。このシステムは、ウィンドウウォッシャーを作動させたときや、シフトポジションをRにしたときは、自動的に内気モードに切り替えます。外気温が5℃以下のときには作動しません。なお、このシステムは車外の臭いを検知しません。

クリーンキャビン機能*

センサーが室内の空気中の微小な粒子（煙草の煙、チリ、ホコリ、カビなど）を検知し、タッチスクリーンに空気質指数を表示します。また、室内の空気を内気循環させることで高効率室内エアフィルターがわずかな時間で空気中の汚れを除去して低減します。



室内エアフィルターが汚れた状態で使用していると、クリーンキャビン機能の性能が低下します。定期的に当社指定サービス工場です室内エアフィルターを交換することで、機能の性能を保つことができます。

室内装置の使いかた

エアクオリティシステムのオン／オフ

エアクオリティシステムのオン／オフは、次の方法で設定します。

1.  をタップするか、ダッシュボードのスイッチ  を押します。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **エアクオリティ** をタップします。
4.  をタップしてオン／オフします。



エアクオリティシステムが作動すると
 の点灯色が変わります。

●換気モード

ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリポジションにしてから数分間、エンジンが停止していてもエアコン設定画面で風量と吹き出し口の切り替えを操作することができます。



- 換気モードは、12V バッテリーの電力が十分なときに作動します。
- 換気モードでは、エアコン（冷房・除湿機能）や暖房機能は作動しません。

タッチスクリーン

タッチスクリーンから、車の設定やオーディオシステムの操作など、以下のような操作や表示が行えます。

- ・ エアコンの操作
- ・ 車の機能の設定
- ・ オーディオの設定
- ・ タッチスクリーンの設定
- ・ ハンズフリー通話の設定
- ・ フロント/バックソナーなどの駐車支援システムの表示
- ・ 時計
- ・ 外気温度計
- ・ ナビゲーション (DS IRIS システム装備車)
- ・ 一部の機能の動画による説明
- ・ 音声コマンド (DS IRIS システム装備車)

警告

安全上の理由から、各種設定などの複雑な操作は、車両を停止してから実施してください。

注意

炎天下で長時間駐車していた場合などで、タッチスクリーンの画面が熱くなることがあります。しばらく待って、温度が下がってからタッチスクリーンを操作してください。

注意

- 爪、ボールペン、ピンなど、先の尖ったものをタッチスクリーンに押し付けないでください。
- 濡れた指でタッチスクリーンを操作しないでください。



- 本書に記載したタッチスクリーン関連の機能や操作方法、表示、デザインなどは、本書の編集時点のもので、タッチスクリーンのシステムのバージョンアップによってこれらが変わることがありますので、ご了承ください。

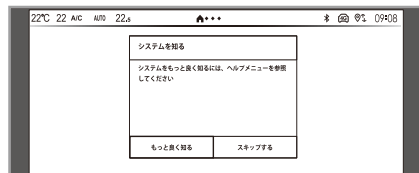


- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしたあと、運転席側のドアを開くとタッチスクリーンが消灯します。
- 走行中はタッチスクリーンの一部の機能が制限される場合があります。
- タッチスクリーンの画面上部にはシステムステータス領域があり、次のような機能の作動状況や接続状況を確認できます。
 - ・ 外気温度計
 - ・ エアコンの作動状況
 - ・ Bluetoothの接続状況
 - ・ Wi-Fiネットワークの接続状況
 - ・ モバイルネットワークの接続状況
 - ・ プライバシー設定の設定状況
 - ・ 時計
 - ・ Apple CarPlay / Android Autoのクイックアクセスボタン (使用中のみ)
- 外気温度計に雪の結晶マークが表示された場合は、路面が凍結している可能性があることをお知らせしています。



- スクリーンを拭く際は、市販の不織布（メガネ拭きなど）をご使用いただけます。
- ナビゲーション（DS IRISシステム装備車）、オーディオ、ハンズフリー通話、Apple CarPlay や Android Auto に関しては、付録を参照してください。
- 本製品は、フリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。ライセンスおよびソースコードについての情報は、次の URL から入手することができます。
<https://www.dsautomobiles.com/en/tools/oss-codes.html>

● タッチスクリーンの初期画面



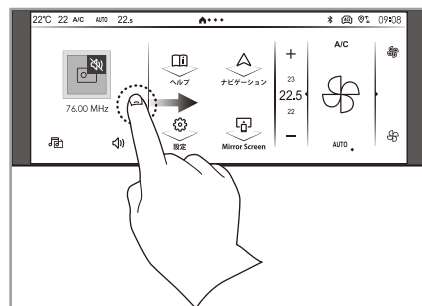
ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、タッチスクリーンに初期画面が表示されます。初期画面では、ヘルプメニューへアクセスするか（**もっとよく知る**をタップ）、またはスキップしてタッチスクリーンの操作を開始する（**スキップする**をタップ）ことができます。



個人用プロフィールが選択されている場合は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、初期画面に**次回から表示しない**が表示されます。**次回から表示しない**をタップして選択すると、初期画面が表示されなくなります。プロフィールについての詳細は、P8-50の「プロフィール」項を参照してください。

*仕様により異なります。

● タッチスクリーンの基本操作



タップ

1本の指で画面に軽く触れ、すぐに離す動作です。選択操作などに使用します。

ロングタップ

指で画面を長く触れる動作です。タッチスクリーンやインストルメントパネル／DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ*のカスタマイズページへの移動や、ページやウィジェットを削除するときに、それらを選択するために使用します。

スワイプ

指が画面に触れた状態で上下左右に払う動作です。画面を上下左右にスクロールするときなどに使用します。

ドラッグ&ドロップ

指が画面に触れた状態のまま、目的の位置まで移動し、指を離す動作です。タッチスクリーンやインストルメントパネル／DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ*のページやウィジェットを削除するときなどに使用します。

● タッチスクリーンのコントロール



タッチスクリーンのボタンを押すと、次のように画面遷移します。

- ・アプリケーション画面が表示されていた場合：直近で使用したホームページが表示されます。
- ・最初（番号1）以外のホームページが表示されていた場合：最初（番号1）のホームページが表示されます。
- ・最初（番号1）のホームページが表示されていた場合：画面遷移しません。

もう一度押すと、次のように画面遷移します。

- ・最初（番号1）以外のホームページが表示されていた場合：最初（番号1）のホームページが表示されます。
- ・最初（番号1）のホームページが表示されていた場合：画面遷移しません。

ホームページ上を左右にスワイプすると、最大6つ（DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ非装備車は5つ）のホームページを切り替えて表示することができます。

室内装置の使いかた

 ダッシュボードのボタンを押すと、先進運転支援システム(ADAS)をオン／オフするためのショートカットページが表示されます。もう一度押すと前の画面に戻ります。

 ダッシュボードのスイッチを押すと、エアコンの設定画面が表示されます。もう一度押すと前の画面に戻ります。

 タッチスクリーンのアイコンをタップすると、画面右側のメニューが表示／非表示されます。

 タッチスクリーンのアイコンをタップすると、前のページに戻ります。変更を保存するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。

 タッチスクリーンのアイコンをタップすると、機能のオン／オフが切り替わります。スライダーのひし形のカーソルが右側にある場合はオンの状態です。左側にある場合はオフの状態です。

 タッチスクリーンのアイコンをタップすると、項目が選択されます。アイコンが塗りつぶされている状態の場合は、項目が選択されている状態です。塗りつぶされていない状態の場合は、項目が選択されていない状態です。

 タッチスクリーンのアイコンをタップすると、機能や項目の説明が表示されます。

 タッチスクリーンのアイコンをタップすると、機能や項目の設定画面が表示されます。

 **ENGINE START/STOP** スイッチがオフの状態のとき、センターコンソールのボタンを短く押すとタッチスクリーンがオン／オフします。

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションの状態、またはエンジンが始動している状態のとき、センターコンソールのボタンを短く押すと、ミュート（消音／停止）になります。長く押すと、タッチスクリーンがスタンバイモードになります（消音／画面中央に時間と日付が表示）。スタンバイモードは、センターコンソールのボタンを押す、タッチスクリーンまたはDSスマートタッチ*をタップすると解除されます。

 センターコンソールのダイヤルを回すと音量の調整ができます。

*仕様により異なります。

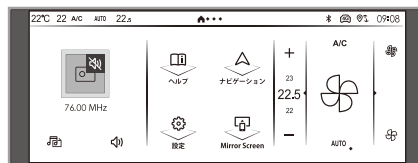


●タッチスクリーンがスタンバイモードのとき、画面を左右にスワイプすると、デジタル時計とアナログ時計を切り替えることができます。

●タッチスクリーンの画面を上から下にスワイプすると、通知センターが表示されます。通知センターでは、さまざまな通知内容の表示と、次の機能のクイック設定を行うことができます。

- ・プロフィール
- ・プライバシー
- ・明るさ
- ・マイデバイス
- ・Wi-Fi
- ・HUD*

●ホームページのカスタマイズ



タッチスクリーンのボタン を押すとホームページが表示されます。ホームページは最大6つ（DS エクステンデッドヘッドアップディスプレイ非装備車は5つ）のページを切り替えて表示することができ、それぞれのページにおいて、次のカテゴリの中からアプリケーションまたは情報（ウィジェット）をお好みにより選択して表示させることができます。

- ・先進運転支援システム（ADAS）
- ・クライメート
- ・ユーザーヘルプ
- ・アプリー覧
- ・ラジオ／メディア
- ・Mirror Screen
- ・ナビゲーション（DS IRIS システム装備車）

- ・電話
- ・シート
- ・設定
- ・音声アシスタント（DS IRIS システム装備車）
- ・ウェブアプリケーション*



- 初期状態ではいくつかのホームページがアプリケーションや情報（ウィジェット）を選択された状態で用意されています。これらのホームページもカスタマイズすることができます。
- システムのバージョンによって、カスタマイズできる項目や表示内容が異なる場合があります。
- ウェブアプリケーションの一部の機能は日本国内では利用できません。

室内装置の使いかた

● ホームページのカスタマイズのしかた



ホームページのカスタマイズは、ホームページの各ページにウィジェットを追加または削除して行います。カスタマイズを行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **カスタマイズ**をタップします。
4. **ディスプレイのカスタマイズ**をタップします。

5. **タッチスクリーンをカスタマイズする**をタップします。



①  をタップすると、インストールメントパネルのディスプレイゾーンおよびタッチスクリーンのホームページのカスタマイズについての動画による説明を閲覧できます。

ウィジェットの追加

1. タッチスクリーンを左右にスワイプして、またはページ番号をタップしてカスタマイズするページを選択します。
2.  または  をタップします。
3. 画面上に表示される追加したいウィジェットをタップします。



ウィジェットを追加するための空き領域がない場合はメッセージが表示されます。

*仕様により異なります。

ウィジェットの削除

1. タッチスクリーンを左右にスワイプして、またはページ番号をタップしてカスタマイズするページを選択します。
2. 削除したいウィジェットをロングタップし、 がハイライトされたら、指がタッチスクリーンに触れた状態のまま、 ヘドラッグ&ドロップします。

ページの追加

ホームページは最大6つ（DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ非装備車は5つ）のページまで追加することができます。

ページを追加するには、 をタップします。



ページの最大数を超えたためにページを追加できない場合はメッセージが表示されます。

ページの削除

1. 削除したいページのページ番号をロングタップします。
2.  がハイライトされたら、指がタッチスクリーンに触れた状態のまま、 ヘドラッグ&ドロップします。
3. **削除する**をタップします。

ページレイアウトの変更

ウィジェットの配置を移動してホームページのレイアウトを変更することができます。

1. タッチスクリーンを左右にスワイプして、またはページ番号をタップしてレイアウト変更するページを選択します。
2. 移動させたいウィジェットをロングタップし、指がタッチスクリーンに触れた状態のまま、希望する位置ヘドラッグ&ドロップします。



- タッチスクリーンのボタン  を押し、タッチスクリーンに表示されたホームページ上を指1本でロングタップすると、インストールメントパネル／DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ*またはタッチスクリーンのカスタマイズを選択するページにアクセスすることができます。
-  をタップする、または他のページへ移動する操作を行うと、変更を保存するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。希望する操作の選択項目をタップしてください。

室内装置の使いかた

●アプリケーション

タッチスクリーンにはいくつかのアプリケーションが用意されています。ホームページに表示される各アプリケーションのアイコンをタップすると、それぞれ次のような設定が行えます。



●アプリ一覧にはすべてのアプリケーションが表示されます。



アプリ一覧は、をタップするか、タッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

は、タッチスクリーンのボタンを押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページに表示されます。



●My Connected Servicesなど、アプリ一覧に表示される一部のアプリケーションは日本国内では利用できません。



先進運転支援システム (ADAS) のオン/オフ設定画面を表示します。また、一部の機能の動画による説明の閲覧ができます。



ゲーム機能が使用できます。*



Apple CarPlay や Android Autoの接続メニューを表示します。

Apple CarPlayやAndroid Autoの使用中は、Apple CarPlayの場合は、Android Autoの場合はが表示されます。アイコンをタップするとApple CarPlayやAndroid Autoの画面を表示します。



タップすると車両の音声認識機能を起動します。(DS IRISシステム装備車)



エアコン、シートヒーター*、シートベンチレーション*やステアリングヒーター*の設定画面を表示します。



シートヒーター*、シートベンチレーション*やマルチポイントランバーサポート*の設定画面を表示します。



ナビゲーションを表示します。(DS IRISシステム装備車)



一部の機能の動画による説明の閲覧や音声アシスタントの音声コマンド (DS IRISシステム装備車) の例を確認できるヘルプメニューを表示します。



オーディオ (ラジオ/メディア) の再生・設定画面を表示します。



日付と時刻の設定画面を表示します。



タッチスクリーンや一部の車両の機能の設定画面を表示します。



ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。

システムにBluetooth接続された機器が1台もない場合やApple CarPlay / Android Auto接続されているスマートフォンなどが1台もない場合は、Bluetooth接続の操作を開始できます。

● 日付と時刻の設定

日付と時刻の設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **システム**をタップします。
4. 時刻／日付の表示をタップします。

時刻の設定

1. **日付／時刻の自動設定**をタップしてオフにします。
2. 時刻の設定値をタップします。
3. 画面を上下にスワイプして時刻を選択します。
4. **適用する**をタップして決定します。

日付の設定

1. **日付／時刻の自動設定**をタップしてオフにします。
2. 日付の設定値をタップします。
3. 画面を上下にスワイプして日付を選択します。
4. **適用する**をタップして決定します。

日付／時刻の自動設定

日付と時刻は自動的に調整されるように設定できます。

ネットワークによる設定

1. **日付／時刻の自動設定**をタップしてオンにします。
2.  をタップします。
3. **ネットワークによる時刻供給**が選択されていることを確認します。

GPSによる設定

1. **日付／時刻の自動設定**をタップしてオンにします。
2.  をタップします。
3. **GPSによる時刻供給**が選択されていることを確認します。

*仕様により異なります。

室内装置の使いかた

4.  をタップします。
5. 現在のタイムゾーンの設定値をタップします。
6. (GMT +9:00) ソウル、東京、ヤクーツクをタップして選択します。



- 仕様により、日付／時刻の自動設定は、ネットワークによる設定またはGPSによる設定のうち、どちらか一方のみが選択可能な場合があります。
- 日付／時刻の自動設定を選択しても正しい日付／時刻に調整されない場合は、手で設定してください。
- 仕様により、日付と時刻の自動設定のしかたが異なる場合があります。
- 時刻形式は次の中から選択できます。
 - 12時間制
 - 24時間制



- 日付形式は次の中から選択できます。
 - DD/MM/YYYY
 - MM-DD-YY
 - YYYY-MM-DD
-  をタップしても日付と時刻の設定ができます。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

● 単位の設定

スピードメーター、走行距離／燃費、温度の単位を変更することができます。単位の設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. システムをタップします。

スピードメーター、走行距離／燃費の単位

スピードメーター、走行距離／燃費の単位を変更するには、**単位：走行距離と燃費**の希望する単位をタップします。しばらくすると単位が変更されます。

*仕様により異なります。

⚠ 警告

スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

温度の単位

エアコンの設定温度やタッチスクリーンに表示される外気温表示の単位を変更するには、**温度**の希望する単位をタップします。しばらくすると単位が変更されます。

● タッチスクリーンの初期化

タッチスクリーンを初期化することができます。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **システム**をタップします。
4. **すべてのシステム設定のリセット**をタップします。
5. **リセットする**をタップします。



- タッチスクリーンを初期化すると、すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。タッチスクリーンのホームページ、DS スマートタッチ*、インストルメントパネル、DS エクステンデッドヘッドアップディスプレイ*のカスタマイズや各種設定はリセットされ、作成したプロフィールは削除されます。
- 仕様により、タッチスクリーンを初期化すると、言語設定がフランス語に切り替わる場合があります。P.4-41の「言語の設定」の操作で言語設定を日本語に切り替えることができます。

● タッチスクリーンのシステム情報の確認

タッチスクリーンのシステムバージョンを確認することができます。

1.  をタップします。

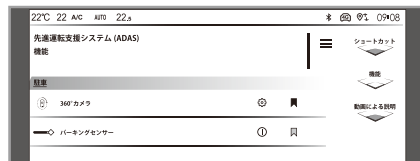
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。

3. **システム**をタップします。

4. 画面を下にスワイプして**システム情報**の項目に表示されているバージョンを確認します。

● 先進運転支援システム (ADAS) の設定



先進運転支援システム (ADAS) の設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。

先進運転支援システム (ADAS) のオン／オフのしかた

先進運転支援システム (ADAS) のオン／オフは、次の方法で設定します。

1. **機能**をタップします。
2. 機能名をタップしてオン／オフします。



仕様により、次の操作でいくつかの先進運転支援システム (ADAS) を一括でオフにすることができます。ただし、一括でオフにした機能は、次回エンジンを始動するとオンになります。

1. **機能**をタップします。
2.  をタップします。
3. オフにしたい機能の機能名をタップします。
4.  をタップします。
5. ダッシュボードのボタン  を長く押します。

ショートカットページ

タッチスクリーンには、先進運転支援システムの通常のオン／オフ設定ページに加え、ショートカットページが用意されています。ショートカットページには、よく使用する機能をお好みで選択してまとめておくことができ、ショートカットページ上で各機能をオン／オフすることができます。

ショートカットページへアクセスし、先進運転支援システムの各機能をオン／オフするには、ダッシュボードのボタン  を押してから各機能名をタップします。または、次の方法でショートカットページへアクセスして各機能をオン／オフします。

1. **ショートカット**をタップします。
2. 機能名をタップしてオン／オフします。

ショートカットページに機能を加える

ショートカットページにお好みの機能を加えるには、次の方法で設定します。

1. **機能**をタップします。
2. ショートカットページに加えたい機能のアイコン  をタップします。追加された機能のアイコンは塗りつぶされた状態 () で表示されます。追加されていない機能のアイコンは塗りつぶされていない状態 () で表示されます。
3. **ショートカット**をタップして、またはダッシュボードのボタン  を押して、選択した機能がショートカットページに加えられていることを確認します。



タッチスクリーンが初期設定の状態では、いくつかの機能がショートカットページにまとめられています。

ショートカットページから機能を削除する

ショートカットページから機能を削除するには、次の方法で設定します。

1. **ショートカット**または**機能**をタップします。
2. ショートカットページから削除したい機能のアイコン  をタップします。



ダッシュボードのボタン  を押すとショートカットページへダイレクトにアクセスできます。

室内装置の使いかた

先進運転支援システム（ADAS）の設定項目一覧

先進運転支援システム（ADAS）のオン／オフページでは次の機能のオン／オフができます。

駐車

- ・ **360° カメラ***：360° ビジョンが作動します。⚙️をタップすると、ズームビューへの自動切り替えをオン／オフできます。
- ・ **パーキングセンサー***：フロント／バックソナーが作動します（シフトポジションがRのとき）。
- ・ **リアクロストラフィックアラート**：リアクロストラフィックアラートがオン／オフします。

アシスト

- ・ **レーンキープアシスト**：レーンキープアシストがオン／オフします。
- ・ **ストップ&スタート**：ストップ&スタートがオン／オフします。
- ・ **アクティブセーフティブレーキ**：アクティブセーフティブレーキがオン／オフします。⚙️をタップすると、車間距離を設定することができます。

- ・ **トラクションコントロール**：ASRシステムがオン／オフします。

道路標識

タイプ1

- ・ **速度規制標識認識（制限速度認識）**：トラフィックサインインフォメーションの速度規制標識の認識機能がオン／オフします。
- ・ **道路標識認識**：トラフィックサインインフォメーションの道路標識の認識機能がオン／オフします。

タイプ2

- ・ **速度超過警告**：トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を超過した状態で一定時間走行し続けた場合に鳴る警告音がオン／オフします。
- ・ **速度規制変更時のサウンド**：トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度を表示した場合に鳴る警告音がオン／オフします。
- ・ **道路標識認識**：トラフィックサインインフォメーションの道路標識の認識機能がオン／オフします。

セーフティ

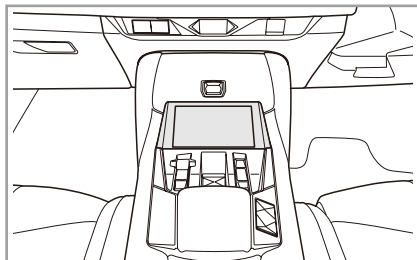
- ・ **ナイトビジョン***：DSナイトビジョンがオン／オフします。
- ・ **ドライバーアテンションアラート**：ドライバーアテンションアラートがオン／オフします。



仕様により、設定項目の表示箇所が異なる場合があります。

*仕様により異なります。

DS スマートタッチ *



●DS スマートタッチについて

DS スマートタッチは、センターコンソールにあるDS スマートタッチの操作パネルに指で触れることで、タッチスクリーンの各アプリケーション、機能やプリセットにワンタッチでアクセスできるショートカットキーとして機能します。ショートカットキーは6種類用意されていて、それぞれをお好みのアプリケーション、機能やプリセット（例えば、運転席側のエアコンの温度設定やナビゲーションの目的地設定（DS IRISシステム装備車）など）のショートカットキーとしてカスタマイズすることができます。また、DS スマートタッチの操作パネルを指でなぞって文字を手書き入力することでナビゲーションの目的地検索（DS IRISシステム装備車）やハンズフリー通話の連絡先の検索をしたり、指先の動作でナビゲーションの地図のスクロールや縮尺の変更（DS IRISシステム装備車）、タッチスクリーンに表示されたメッセージの選択操作などが行えます。



- 本書に記載したDS スマートタッチ関連の機能や操作方法、表示、デザインなどは、本書の編集時点のものです。システムのバージョンアップによってこれらが変わることがありますので、ご了承ください。
- スクリーンを拭く際は、市販の不織布（メガネ拭きなど）をご使用いただけます。

⚠ 警告

安全上の理由から、DS スマートタッチの操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

⚠ 注意

炎天下で長時間駐車していた場合などで、DS スマートタッチの操作パネルが熱くなることがあります。しばらく待って、温度が下がってからDS スマートタッチを操作してください。

注 意

- 爪、ボールペン、ピンなど、先の尖ったものをDSスマートタッチの操作パネルに押し付けしないでください。
- 濡れた指でDSスマートタッチを操作しないでください。

●DSスマートタッチの使いかた

ショートカットキーとして使う



1. DSスマートタッチの操作パネル中央を指でタップし保持（約1秒）します。
2. タッチスクリーンにショートカットキー一覧が表示されたら、使用したいショートカットキーまでDSスマートタッチの操作パネル上で指をスライドします。
3. 使用したいショートカットキーのアイコンがハイライト表示されたら、DSスマートタッチの操作パネルから指を離します。

手書き入力する

DSスマートタッチの操作パネルを指でなぞって文字を手書き入力することで、ナビゲーションの目的地検索（DS IRISシステム装備車）やハンズフリー通話の連絡先の検索などができます。

1. タッチスクリーンのナビゲーションの目的地検索画面（DS IRISシステム装備車）またはハンズフリー通話の連絡先の検索画面で表示されるキーボードのをタップします。
2. タッチスクリーンの画面がキーによる文字入力から手書きでの文字入力に切り替わったら、DSスマートタッチの操作パネルを指でなぞって文字を入力します。
3. タッチスクリーンに表示された検索候補一覧から希望する目的地や連絡先をタップして選択します。



- DSスマートタッチが手書き入力モードのときは、タッチスクリーンの画面を指でなぞって文字入力することができます。
- DSスマートタッチの操作パネルを左にスワイプすると一文字削除できます。状況により、数回スワイプすることが必要な場合があります。
- 手書き入力モードを終了するには、タッチスクリーンのキーボードのアイコンをタップします。
- ナビゲーションの目的地検索の詳細は、P.8-19の「目的地を検索する」項を参照してください。(DS IRIS システム装備車)
- ハンズフリー通話の連絡先の検索の詳細は、P.8-42の「電話をかける」項を参照してください。

地図を操作する (DS IRIS システム装備車)

DS スマートタッチの操作パネル上の指の動作でナビゲーションの地図のスクロールや縮尺の変更ができます。操作のしかたの詳細は、P.8-17の「地図の操作」項を参照してください。

メッセージの選択操作をする

タッチスクリーンに表示されたメッセージの選択操作（「はい」「いいえ」など）を行えます。例えば、「はい」を選択する場合は、DS スマートタッチの操作パネルをタップし、指が操作パネルに触れた状態のまま左にスライドしてから指を離します。

●ショートカットキーのカスタマイズのしかた

1. ショートカットキーとして割り当てたいアプリケーション、機能やプリセットがタッチスクリーンに表示されている状態にします（ホームページや各アプリケーションのページなどが表示された状態）。
2. DS スマートタッチの操作パネルを指でロングタップ（指を動かさずに3秒以上）します。
3. タッチスクリーンにショートカットキー一覧が表示され、メッセージ（**代わりのショートカットを選択してください**）が表示されたら、DS スマートタッチの操作パネルから指を離します。
4. タッチスクリーンに表示されたメッセージ（**代わりのショートカットを選択してください**）が消えてから、カスタマイズしたいショートカットキーをタッチスクリーンの画面上でタップします。

室内装置の使いかた

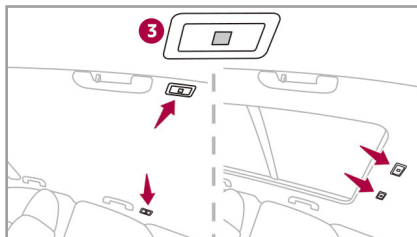
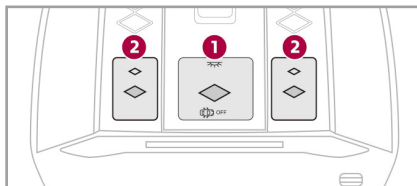
5. DSスマートタッチのショートカットキーとして割り当て可能なアプリケーション、機能やプリセットの一覧がタッチスクリーンに表示され、メッセージ（**ハイライト表示の項目を選んでショートカットを作成。ホームボタンを押すと終了します**）が表示されます。
6. タッチスクリーンに表示されたメッセージ（**ハイライト表示の項目を選んでショートカットを作成。ホームボタンを押すと終了します**）が消えてから、希望するアプリケーション、機能やプリセットをタップします。

タッチスクリーンの画面の ✕ をタップする、またはタッチスクリーンのボタン  を押すと、操作が終了します。



- DSスマートタッチのショートカットキーとして割り当て可能なアプリケーション、機能やプリセットが、表示されているタッチスクリーンの画面にない場合は、DSスマートタッチの操作パネルを指でロングタップ（指を動かさずに3秒以上）するとメッセージが表示されます。
- 初期状態では6つのショートカットキーにメディアやナビゲーション（DS IRIS システム装備車）などのアプリケーションが割り当てられた状態で用意されています。
- システムのバージョンによって、カスタマイズできるショートカットキーの項目や表示内容が異なる場合があります。

ルームランプ



- ①：フロントルームランプ
②：フロントマップランプ
③：リアマップランプ

● フロントルームランプ

フロントルームランプ①は、次の状況で点灯します。

- ・ ドアのロックを解除したとき
- ・ **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしたとき
- ・ ドアが開いたとき
- ・ 車外からスマートキーが操作されたとき
- ・ フロントルームランプにタッチしたとき

また、次の状況では消灯します。

- ・ ドアをロックしたとき
- ・ **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにして30秒後
- ・ **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにしたとき
- ・ エンジンを始動したとき
- ・ 最後のドアが閉まって30秒後
- ・ エンジンが始動している状態のときは、ドアを閉じたとき
- ・ フロントルームランプにタッチしたとき



フロントルームランプに長くタッチしてオフにすると、**OFF**表示灯が点灯し、消灯したままになります。ただし、フロントルームランプにタッチすると点灯します。

● フロントマップランプ／ リアマップランプ

フロントルームランプに連動して点灯／消灯します。また、ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、フロントマップランプ②／リアマップランプ③にタッチすると点灯／消灯します。

● アンビエンスイルミネーション*

アンビエンスイルミネーションは、オン／オフ、明るさの調整、カラーの選択ができます。アンビエンスイルミネーションのオン／オフ、明るさの調整、カラーの選択は、各ドライブモードに関連付けられています。ドライブモードを切り替えると、アンビエンスイルミネーションのオン／オフ、明るさ、カラーの設定も連動して切り替わります。

各ドライブモードに関連付けられているアンビエンスイルミネーションのオン／オフ、明るさ、カラーの設定はカスタマイズすることができます。アンビエンスイルミネーションの設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。

3. アンビエンスイルミネーションのオン／オフ、明るさ、カラーの設定をしたいドライブモードを選択します。



ドライブモードについての詳細は、P.3-13の「ドライブモード」項を参照してください。

オン／オフと明るさの調整

1. 明るさをタップします。
2. アンビエンスライトをタップしてオン／オフします。
3. 明るさのカーソルを動かすか、バーをタップして明るさを調整します。



明るさの調整はアンビエンスイルミネーションがオンのときのみ行えます。

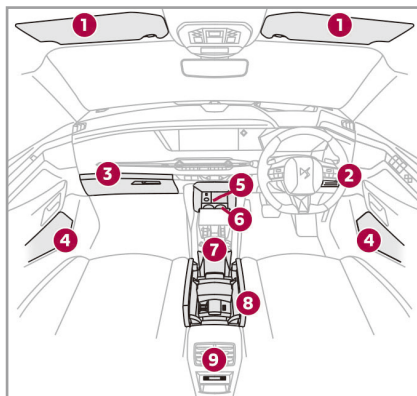
*仕様により異なります。

カラーの選択

1. カスタマイズをタップします。
2. アンビエンスライトの色をタップします。
3. 希望の色をタップして選択します。

インテリア

●各部の名称



- ①：サンバイザー
- ②：カードホルダー＊
- ③：グローブボックス
- ④：ドアポケット
- ⑤：小物入れ＊／ワイヤレス充電器＊／
USBポート／12V電源ソケット
(最大使用電力：120W)
- ⑥：カップホルダー
- ⑦：小物入れ＊
- ⑧：フロントアームレスト（小物入れ）＊
／USBポート＊

⑨：USBポート＊

⚠ 警告

- 小物入れに重い荷物や鋭利なものを
入れないでください。
- できるだけ荷物はラゲッジルームに
積んでください。走行中に荷物が移
動したりくずれたりして、アクセル
ペダルやブレーキペダルを正しく
操作できなくなるなど運転の支障に
なったり、荷物が視界をさえぎった
り、荷物が乗員に当たり、思わぬケ
ガや事故につながるおそれがありま
す。
- 荷物はしっかりと固定または収納し
てください。急ブレーキのときなど
に荷物が放り出されて乗員に当た
り、思わぬケガや事故につながるお
それがあります。

⚠ 注意

ウィンドウガラスに取り付けたアクセ
サリーの吸盤、ダッシュボードの上に
置いた芳香剤の容器、ペットボトルや
メガネなどを車内に放置しないでく
ださい。レンズの働きをして、火災など、
思わぬ事故の原因となります。また、
内装を傷める原因となります。

*仕様により異なります。

● サンバイザー

サンバイザーの裏側には、ミラーが備えつけられています。

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときにカバーを開けるとライトが点灯します。通行券などを挟むカードホルダーも備えつけられています。

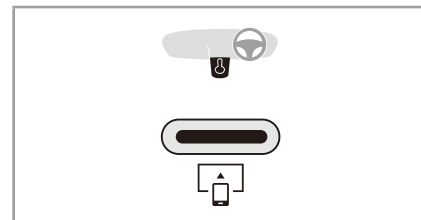
● グローブボックス

ハンドルを引くと開きます。**ENGINE START/STOP**スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに開けると中の照明が点灯します。グローブボックス内には、助手席エアバッグキャンセルスイッチがあります。

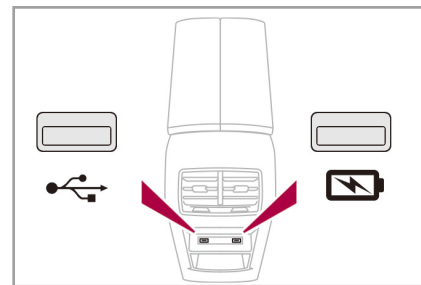
⚠ 警告

グローブボックスのふたを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に身体がぶつかり、ケガをすおそれがあります。

● USBポート



フロントコンソール／
フロントアームレスト内側*



フロントアームレスト後部*



このアイコンで示されたUSBポートは充電専用です。携帯機器を接続すると、接続した機器の充電が行われます。

室内装置の使いかた



このアイコンで示されたUSBポートでは、さまざまなデバイスをつなげ、保存された音楽を車両スピーカーで楽しむことができます（接続する機器やファイル形式により再生できないものもあります）。ステアリングスイッチおよびタッチスクリーンで再生操作が行えます。USBポートを使用すると、接続したデバイスが自動的に検出されます。



このアイコンで示されたUSBポートでは、さまざまなデバイスをつなげ、保存された音楽を車両スピーカーで楽しむことができます（接続する機器やファイル形式により再生できないものもあります）。ステアリングスイッチおよびタッチスクリーンで再生操作が行えます。USBポートを使用すると、接続したデバイスが自動的に検出されます。

また、Apple CarPlay / Android Autoに対応したスマートフォンは、USBで接続してアプリをタッチスクリーンに表示することができます。



●フロントコンソールのUSBポートは、フラップのノブを押して開けるとアクセスできます。

●この車両にはUSB Type-CのUSBポートが装備されています。

●USBポートへ接続すると、自動的に接続した機器の充電が行われます。

●充電専用のUSBポートに接続した携帯機器に保存された音楽は車両スピーカーから再生することはできません。

●使用電力が規定容量を超える機器を使用するとメッセージが表示されることがあります。

●**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしたら、車から離れる前に、USBポートへ接続したすべての携帯機器を取りはずしてください。



仕様により、このアイコンで示されたUSBポートにデバイスを接続しても、車両のシステムで音楽を再生することができない場合があります。

● 12V 電源ソケット



12V 電源（最大使用電力：120W）を使用する際は、カバーを持ち上げてはずし、適切なアダプターを接続します。



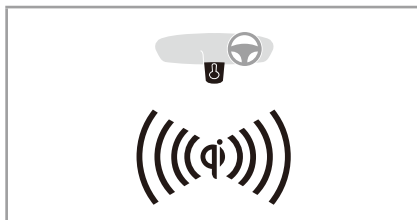
●フロントコンソールの12V 電源ソケットは、フラップのノブを押して開けるとアクセスできます。

●12V 電源ソケットを使用するときは、最大使用電力を守ってください。規定容量を超える電気製品を使用すると、車両ヒューズが切れることがあります。

●接続する機器によっては、車に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性があります。

*仕様により異なります。

●ワイヤレス充電器*



ワイヤレス充電器は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）によるワイヤレス充電規格 Qi に適合したスマートフォンなどの携帯機器を、Qi マークのある充電エリアに置くだけで充電することができます。



- ワイヤレス充電器は、フラップのノブを押して開けるとアクセスできます。
- 「Qi（チー）」は、Wireless Power Consortium の登録商標です。

充電



エンジンが始動している状態のとき（ストップ&スタートのストップモード時も含む）に携帯機器の充電面を下にして、充電エリアの中心付近に置くと、表示灯が緑色に点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると、表示灯が消灯します。



- 携帯機器の充電を開始する前に、充電エリアに異物がないか確認してください。
- 携帯機器の充電は、1度につき1つの機器のみ可能です。
- ドアを開けたり **ENGINE START/STOP** スイッチの操作を行うと一時的に充電が停止することがあります。

表示灯



消灯しているとき

- ・エンジンが停止しています
- ・充電が完了しています
- ・充電エリアに携帯機器がありません

緑色に点灯しているとき

- ・携帯機器を検出しています
- ・充電中です

橙色に点滅しているとき

- ・携帯機器と充電エリアの間に異物があります
- ・携帯機器が充電エリアの中心からずれました

橙色に点灯しているとき

- ・携帯機器に異常があります
- ・携帯機器の温度が上昇しました
- ・ワイヤレス充電器が故障しました



- 表示灯が橙色に点滅したら、携帯機器と充電エリアの間にある異物を取り除くか、携帯機器を充電エリアの中心付近に置き直してください。
- 表示灯が橙色に点灯したら、一旦充電を停止し、しばらくしてから充電を開始してください。解決しない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

警告

- 安全上の理由から、携帯機器を充電する場合、車両を停止した状態で操作してください。
- ワイヤレス充電器が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

警告

- 機器の故障や火災を防ぐために、次のことをお守りください。
 - ・携帯機器と充電エリアの間に金属製のものなどを挟まないでください。
 - ・充電エリアにもものを置かないでください。
 - ・強い衝撃を与えないでください。
 - ・分解や改造をしないでください。
 - ・指定の携帯機器以外は使用しないでください。
 - ・磁気を帯びたものを近付けないでください。
 - ・充電エリアが汚れた状態で充電しないでください。
 - ・充電エリアを水などで濡らさないでください。

注意

携帯機器の充電中は、充電エリアの付近にコインやスマートキーなどの金属製のものなどを置かないでください。発熱により機器が故障するおそれがあります。

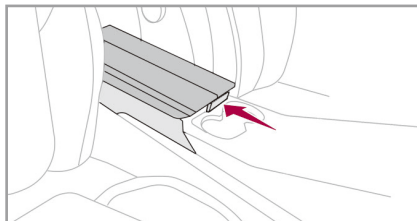


- 充電中は携帯機器の温度が上がることがありますが、異常ではありません。
- 充電中に携帯機器を使用し続けると、携帯機器の保護機能が働き、携帯機器の一部の機能が制限されることがあります。
- 携帯機器にカバーやアクセサリを取り付けた状態で充電しないでください。カバーやアクセサリの種類によっては、充電できないことがあります。
- 近くに強い電波を発する設備があるときは充電できないことがあります。
- 携帯機器の種類により充電できないことがあります。
- 携帯機器の取扱説明書も参照してください。

*仕様により異なります。

● フロントアームレスト

開けた

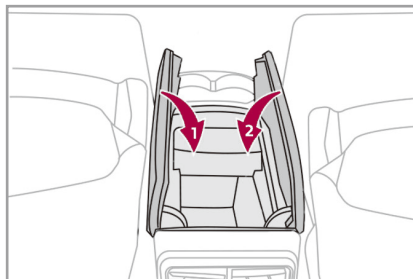


アームレストのボタンを押すとカバーが開きます。仕様により、**ENGINE START/STOP**スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに開けると中の照明が点灯します。



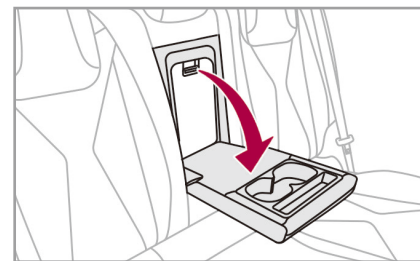
仕様により、フロントアームレストの小物入れにはエアコンの風が送風されます。ただし、冷蔵庫の機能はありませんので食品の保存には使用しないでください。

閉じた



①と②をたたんでアームレストのカバーを閉じます。

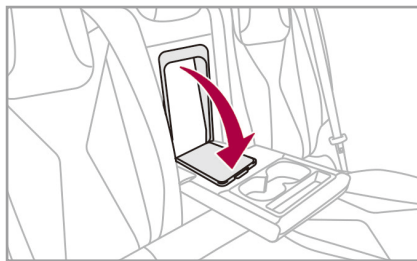
● リアアームレスト*



アームレストを手前に引き下ろします。スマートフォンも置けるペンホルダーとカップホルダーが付いています。

室内装置の使いかた

● スキーフラップ*

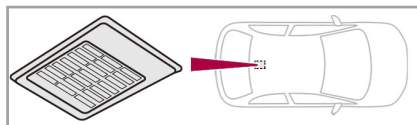


1. リアアームレストを倒します。
2. ハンドルを下に引きます。
3. フラップを下げます。
4. ラゲッジルーム側から荷物を入れます。



使用しないときはスキーフラップを閉じてください。

● ベンチレーショングリル

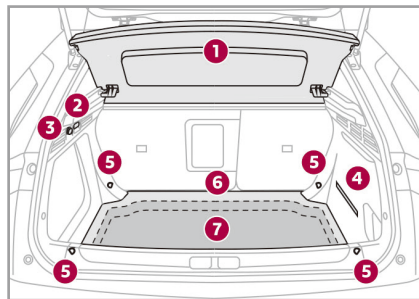


室内側ルーフの後部には、アンテナの冷却用にベンチレーショングリルが装備されています。**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、ベンチレーション機能が作動中にノイズが発生することがありますが異常ではありません。

*仕様により異なります。

ラゲッジルーム

●各部の名称



- ①：リアパーセルシェルフ
- ②：ラゲッジルームランプ
- ③：12V電源ソケット（最大使用電力：120W）*
- ④：固定ストラップ*
- ⑤：固定リング
- ⑥：ラゲッジフロアボード
- ⑦：収納スペース／工具入れ

⚠ 警告

ラゲッジルームに荷物を積む際には、しっかりと荷物を固定してください。固定されていないと荷物が突然動き、走行に影響をおよぼしたり、急ブレーキや事故の際に、荷物により乗員がケガをするおそれがあります。



固定リングには、アクセサリ品のラゲッジネットなどを使用して荷物を固定することができます。

●リアパーセルシェルフ

リアパーセルシェルフは、テールゲートを開くと同時に持ち上げます。

はすしかた

1. 2つのひもをテールゲートからはずします。
2. リアパーセルシェルフを片側ずつ手前に引いてはずします。

取り付けかた

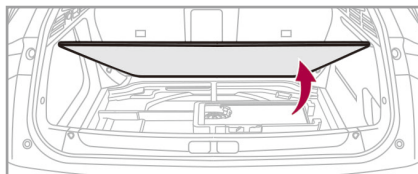
1. リアパーセルシェルフの両端にある固定バーをラゲッジルーム側面のくぼみに合わせ、片側ずつ押し込んで固定します。
2. 2つのひもをテールゲートに取り付けます。

⚠ 警告

リアパーセルシェルフの上には荷物を積まないでください。急ブレーキのときなどに荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

室内装置の使いかた

● 収納スペース／工具入れ



ラゲッジフロアボードの下には収納スペースと工具入れがあります。

● 12V 電源ソケット（ラゲッジルーム）*

12V 電源（最大使用電力：120W）を使用する際は、カバーを持ち上げてはなし、適切なアダプターを接続します。



- 12V 電源ソケットを使用するときは、最大使用電力を守ってください。規定容量を超える電気製品を使用すると、車両ヒューズが切れることがあります。
- 接続する機器によっては、車に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性があります。

● ラゲッジルームランプ

テールゲートの開閉に合せて点灯／消灯します。

点灯時間は、次の状況で変わります。

- ・ ENGINE START/STOP スイッチをオフにして約10分間
- ・ エコノミーモードで約30秒間
- ・ エンジンを開始すると無制限

注 意

ラゲッジルームランプに荷物が触れないようにしてください。

* 仕様により異なります。

第6章 お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ	6-2
内装のお手入れ	6-4
長期間使用しないとき	6-6
エンジンルームの点検	6-7
電球の交換	6-12
ヒューズの交換	6-14
燃費の改善について	6-15
推奨交換時期	6-16
推奨油脂類	6-17
推奨点検時期	6-17

外装のお手入れ

自動車の使用される環境はさまざまで、工場地帯の酸やススを含んだ空気、鉄道沿線の鉄粉、沿岸部の塩分を含んだ風、積雪地帯の融雪剤などは車体に対して腐食、錆といった悪影響を与えます。長期間にわたって車を美しく安全に使用していただくためには、こまめなお手入れをお勧めします。

●洗車機による洗淨

通常のお手入れは、洗車機による洗淨で十分です。ただし、ボンネットの合わせ目、ドアの下などは汚れが残ることが多いので、手洗いをお勧めします。

●手による洗淨（手洗い）

まずホースでたくさん水をかけて、ほこりを落とします。次にスポンジと適当に薄めたカーシャンプーで車体の上から下へと洗います。最後に車体の下側をホースで水をかけてきれいにします。

警告

洗車をするときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。電気部品などに水がかかると、故障や火災などの原因になるおそれがあります。

注意

- 塗装の劣化や車体の腐食や錆を防ぐために、次のような場合は直ちに洗車して汚れを落としてください。
 - ・海岸部を走行したあと
 - ・積雪地帯で融雪剤などを散布した道路を走行したあと
 - ・樹液、花粉、鳥のふん、虫の死がい、コールドタールなどが付着したとき
 - ・泥や塩分を含む汚れなどが付着したとき
 - ・塗装面にガソリンやベンジンなどの有機溶剤が付着したとき
- 溶剤や研磨剤入り洗剤、ガソリンやオイルなどを使用したり、研磨スポンジなどで強くこすったりしないでください。

注意

- 自走式の洗車機を使用するときは、ドアおよびテールゲートを施錠し、スマートキーを車両周辺の検知エリアから出してください。また、ハンズフリーエレクトリックテールゲート装備車は、自動開閉の機能、およびハンズフリー機能をオフにしてください。
- 洗車場などで高圧洗淨する場合、洗淨ノズルを少なくとも30cm以上ボディ（ドアシール、カメラやセンサー、塗装面が弱くなっている箇所など）から離してご使用ください。
- 寒冷時の洗車は行わないでください。ブレーキに水がかかったり、ブレーキ装置に水が入ったりすると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- ボディが熱いときや炎天下での洗車は行わないでください。水や洗剤が拭き取る前に蒸発し、ボディにはん点が残ることがあります。

*仕様により異なります。

注 意

- ワックスがけは塗装面の汚れを洗車などで取り除き、ボディが乾いてから行ってください。ワックスは容器に記載されている説明に従ってかけてください。
- 炎天下でのワックスがけは行わないでください。必ず塗装面が冷えているときにワックスをかけてください。
- 塗装されていないバンパーなどの樹脂部品やゴム部品、ガラス、ミラーやカメラレンズ部にワックスを使用しないでください。ワックスが付着したら、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ拭き取ってください。
- デカール部分には高圧洗浄機を使用しないでください。傷が付いたり、はがれたりするおそれがあります。*
- デカール部分の洗浄は、ホースで25℃～40℃の水をたくさんかけて行ってください。ホースの水はデカールのカット部分へ斜めに当てず、正面からかけてください。*



- 汚れがひどく通常のお手入れでは落とせない場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。
- 塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。

内装のお手入れ

●レザー

レザーは、汚したままにしておくと摩耗してもろくなります。水などで汚れたら早めに拭き取ってください。また、定期的にお手入れすることをお勧めします。清掃は、やわらかい布に石けん液を含ませ、よくしぼって表面を拭きます。その後やわらかい清潔な布で乾拭きします。汚れがひどいときは、市販の皮革用洗剤を使用します。

注 意

- 皮革の表面に水分や油汚れが残っている場合は、清掃前に拭き取ってください。
- 皮革の表面を傷つけるおそれのある汚れは、清掃前に水につけて固くしぼった布で取り除いてください。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤、アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤は使用しないでください。
- 漂白剤（ブリーチ）や、パークロロエチレンなどのドライクリーニングの溶剤は使用しないでください。

注 意

- 皮革用洗剤を使用して清掃するときは、レザー以外の部分に洗剤が付着しないように注意してください。
- 皮革の表面を強くこすらないでください。

●ビニール（インストルメントパネル、ドアトリムパッド、ヘッドライニング）

やわらかい布に温かい石けん液を含ませ、よくしぼって拭きます。

●ディスプレイ（インストルメントパネルやタッチスクリーンなど）

塵やほこりを取り除き、水に浸したやわらかい布を固くしぼってから、軽く拭きます。

注 意

- 固いブラシや布、ティッシュ、乾いた布などでディスプレイの表面をこすらないでください。傷をつけるおそれがあります。
- アルコールや消毒液、石けん液などをディスプレイの表面に直接使用しないでください。傷をつけるおそれがあります。

●布地（ダッシュボード、ドアトリムパッド、シートなど）

表面についた塵やほこりなどを、乾いた布、柔らかいブラシ、掃除機などで取り除いてください。定期的にお手入れすることをお勧めします。

また、1年に1回程度、水に浸した清潔な布を固くしぼってから拭きます。そのあと自然乾燥させてから、柔らかい毛ブラシでブラッシングしてください。

注意

- アルコール、アンモニアや、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
- スチームクリーナーを使用しないでください。布地がはがれるなど、シートを損傷してしまうおそれがあります。

注意

- シミが付いてしまったらこすらないでください。こするとシミが広がったり、汚れが染み込んでしまうおそれがあります。長時間放置すると落ちにくくなるので、できるだけ早めに取り除いてください。汚れや固形物、水分などをできるだけ取り除いてから、シミの周りから中心に向かって叩くように拭いてください。



- 固形物の汚れは、柔らかいブラシや掃除機で取り除いてください。液体汚れは水に浸したマイクロファイバークロスを固くしぼってから拭き、そのあと乾拭きしてください。
- シミ抜きには、汚れの種類によって使用する洗剤などを使い分けてください。
 - ・インクや口紅などの油性の汚れは、中性洗剤を使用してください。
 - ・嘔吐物の汚れは、炭酸水などを使用してください。



- ・血液汚れは、シミ部分に小麦粉を振りかけ、乾燥させてから掃除機などで取り除いたあと、少し水に浸した布を固くしぼってから拭いてください。
- ・泥汚れは、乾燥させたあとブラシなどで取り除いてから、少し水に浸した布を固くしぼってから拭いてください。
- ・チョコレートやアイスクリームの汚れは、ぬるま湯を含ませた布を固くしぼって拭いてください。
- ・ジュースなどの甘い飲料の汚れは、ぬるま湯を含ませた布を固くしぼって拭いてください。ぬるま湯で落ちない場合は、レモン汁を使用してください。
- ・ヘアジェル、コーヒー、トマトソース、ビネガーなどの汚れは、ぬるま湯とレモン汁を使用してください。

●アルカンタラ®

表面についた塵やほこりなどを、乾いた布、柔らかいブラシ、掃除機などで取り除いてください。そのあと、ぬるま湯に浸した綿などの柔らかい清潔な布を固くしぼってから拭いてください。定期的にお手入れすることをお勧めします。

注 意

- アルカンタラ®は表面を強くこすると傷が付いたり変色の原因となります。
- プリントクロスや吸水紙でアルカンタラ®を拭かないでください。
- スチームクリーナーを使用しないでください。

●シートベルト

石けん水をつけた固くしぼった布で、ベルト部分だけを拭きます。

清掃時は、金属部分に水が付かないようにしてください。

当社販売店では、シートベルトに使用できるクリーニング製品を取り扱っています。

●ウィンドウガラス、ミラー

市販のガラス専用クリーナーで洗浄してください。

●フロアマット、カーペット

車外に取りはずし、ほこりや砂を十分に落として内装用洗剤で洗ってください。

警 告

車内を清掃するときは、ホースで水をかけたり、高圧洗浄機などを使用しないでください。また、洗剤などの液体をこぼさないでください。電気部品などにかかると、故障や火災につながるのであります。

長期間使用しないとき

車を長期間使用しないときは、保管中の故障を防ぐために以下の保守を行ってください。

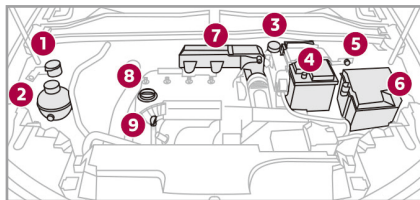
●保管前に行うこと

- ・タイヤのフラツスポット（変形）を防ぐために、タイヤ空気圧を規準より30～50%ぐらい上げてください。
- ・12Vバッテリーのプラス端子（+）をはずしてください。
- ・必要に応じて、ボディーカバーをかけてください。

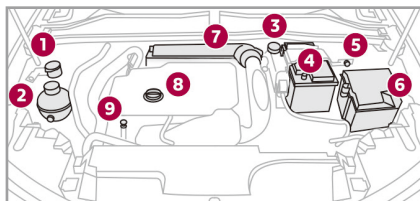
●保管中に行うこと

- ・1ヶ月に1回程度、12Vバッテリーの端子を接続し、エンジンを始動して数分～数十分そのままの状態で12Vバッテリーを充電してください。

エンジンルームの点検



ガソリンエンジン



ディーゼルエンジン

- ①：ウィンドウウォッシャー液タンク
- ②：クーラント（冷却水）タンク
- ③：ブレーキフルードタンク
- ④：12Vバッテリー
- ⑤：アースポイント（－）
- ⑥：ヒューズボックス
- ⑦：エアフィルター
- ⑧：エンジンオイル注入口
- ⑨：エンジンオイルレベルゲージ

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気や冷却水が噴き出ている場合は、ボンネットを開けないでください。やけどやケガを負うおそれがあります。
- 作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
- エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが冷えていることを確かめてください。エンジンが熱いときは、**ENGINE START/STOP**スイッチがオフになっていてもファンが回りだして、思わぬケガをすることがあります。
- エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが停止しているのを確認し、スマートキーを車外に出してください。また、シフトポジションが**P**で、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。
- ディーゼルエンジンは高圧の燃料噴射装置を採用しています。点検や整備は当社指定サービス工場にお申し付けください。

⚠ 警告

- 熱くなっているエンジンの部品には触れないでください。また、熱くなっているエンジンまたはエキゾーストシステムの上に、オイルなどの液体をこぼさないでください。やけどや火災のおそれがあります。
- 手や衣類（スカーフやマフラーなど）をファンなどから離してください。手や衣類が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

エンジンルームのカバー類を取りはずすときは、止めているクリップを損傷しないように注意してください。また、取り付けるときにも注意して取り付けてください。カバーがしっかりと取り付けられていないと、走行中にはずれて可動部に巻き込まれるなどして、故障や事故の原因になることがあります。

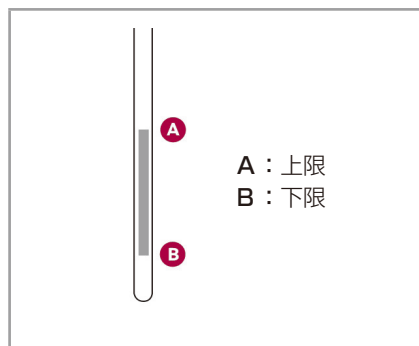
注 意

エンジンルームへの高圧洗浄は、電子機器への影響を避けるためにも絶対におやめください。

● エンジンオイル

点検

1. 車を水平な場所に停めます。
2. エンジンを停止して30分以上経過してからオイルレベルゲージを抜き取り、布でオイルを拭き取ります。
3. 元の穴にいっぱい差し込み、再び静かに抜いてゲージに付いたオイルで油量を調べます。



レベルゲージに付着したオイルの汚れ具合も点検します。オイルはエンジンの回転によって消費されますので、次のオイル交換までの間にオイルを補充しなければいけないことがあります。走行5000kmごとにオイルレベルを点検し、必要に応じて補充してください。オイルの消費量が急に増えたり、汚れがひどくなったときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

遠方へのお出かけ前だけでなく、日頃からエンジンオイルの点検をしてください。

補給

補充する前に、オイルレベルゲージを抜き取っておきます。オイルレベルが上限を越えないようにしてください。補充が完了したあとは、キャップの閉め忘れに注意してください。

交換

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

ただし、市街地や山岳地の走行が多いときには、オイル交換を早めに行います。

⚠ 警告

- オイルレベルゲージを抜き取ったあとは、確実に差し込んでください。オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、エンジンオイルが噴出し火災の原因になるおそれがあります。
- エンジンが始動している状態でエンジンオイルフィラーキャップを開けないでください。エンジンオイルが噴出し、やけどや火災のおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンを正常な作動状態に保つため、エンジンオイルに添加剤を入れることは避けてください。
- オイルの交換の際は、騒音や排気ガス規制を遵守するためにも、当社純正部品のご使用をお勧めします。

オイルフィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

交換するオイルフィルターは、当社の純正部品をご使用ください。

● ブレーキフルード

点検

ブレーキフルードの量は、タンクのMAXレベル付近にあれば適正です。定期的に量を確認してください。

交換

ブレーキフルードは、時間がたつと吸湿し耐熱温度が低く（ベーパーロックが起こりやすく）なりますので、定期的に交換してください。

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

⚠ 警告

ブレーキフルードが肌に直接触れるのは避けてください。腐食性が強く、健康に害をおよぼすことがあります。

注意

ブレーキフルードは車の塗装面を傷めますので、付着した際にはすぐに水で洗い流してください。



ブレーキフルードの交換をしたら、タンクのキャップの汚れを落としてから取り付けてください。

●燃料フィルター（ディーゼル車）

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

交換する燃料フィルターは、当社の純正部品をご使用ください。

●冷却水（クーラント）

点検

点検は、エンジンを停止してから1時間以上経過して、冷却水が冷えていることを確認してから行ってください。冷却水が少ないときは、冷却水を補給します。冷却水の減りが著しいときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。冷却水の補給には、当社純正クーラントを希釈して使用してください。

警告

ラジエーター内の圧力が低下する前にキャップをはずすと、高温の冷却水が噴出しやけどの原因になります。



冷却水の補給は当社指定サービス工場にお申し付けください。

交換

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

●ウォッシャー液

タンク内のウォッシャー液が少ないときは、当社の推奨品で補給してください。

●12Vバッテリー

特に寒冷地の使用では、冬になる前に当社指定サービス工場でのチェックをご依頼ください。

●エアフィルター、室内フィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

市街地やほこりが多いところでの走行が多いときは、早めに交換してください。交換はお近くの当社指定サービス工場にご依頼ください。

●ブレーキパッド

ブレーキパッドは運転の状況により消耗の度合いが変わります。定期的に点検を受けてください。ブレーキパッドが摩耗するとブレーキフルードのレベルも下がります。

● ブレーキディスク

ブレーキディスクは消耗部品です。当社指定サービス工場で定期的に点検を受けてください。

● エレクトリックパーキング ブレーキ

交換の必要はありませんが、異常が発生した場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

● オートマチックトランス ミッションフルード (ATF)

交換の必要はありません。

● AdBlue®の補充 (ディーゼル車)

補充頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

ただし、運転の状況により消費の度合いが変わります。また、AdBlue®警告が表示されたら、当社指定サービス工場で補充をしてください。

AdBlue®の残量がなくなると、エンジンを始動できなくなります。

⚠ 注意

環境汚染防止のために、使用済みのエンジンオイルやブレーキフルードなどは、絶対に地面や下水に廃棄しないでください。

注意

車のパフォーマンスを最大に引き出すためには、パワーステアリングやブレーキシステム同様、当社が指定する部品を使用することが重要です。

電球の交換

⚠ 警告

- 電気回路を改造しないでください。
- LED ランプに触らないでください。
感電し重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
- 点灯中のLED ヘッドランプを至近距離から直視しないでください。
LED ヘッドライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。



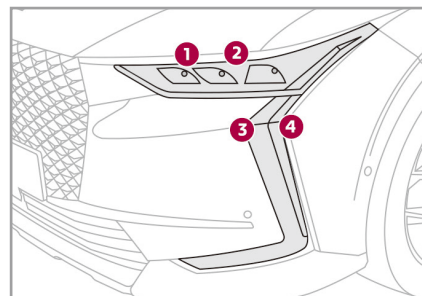
注意

- ヘッドランプの透明レンズはプラスチック製です。溶剤を使用したり、粗い布などで強くこすらないでください。
- 高圧洗車機を使用するときは、ヘッドランプ付近に長時間当てないでください。塗装がはがれるおそれがあります。



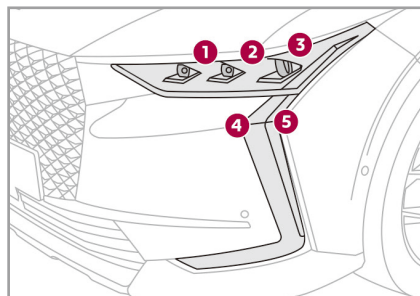
- インストルメントパネルのウィンカー表示灯の点滅が早くなったときは、点滅が早い方の方向指示灯の電球切れが考えられます。
- 低温高湿度のときなど、ヘッドランプの透明レンズの内側が曇ることがありますが、異常ではありません。
ライトが点灯すると、数分で消滅します。

●ヘッドランプ



LEDヘッドライト装着車

- ①：ハイビームヘッドランプ（LED）
- ②：ロービームヘッドランプ（LED）
- ③：デイトタイムランニングランプ／ポジションランプ（LED）
- ④：デイトタイムランニングランプ／ポジションランプ／方向指示器（LED）



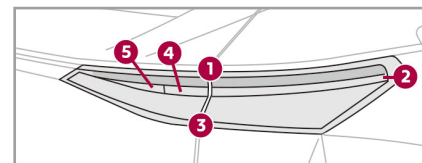
DSマトリクスLEDビジョン
ヘッドライト装着車

- ①：ロービームヘッドランプ（LED）
- ②：ダイナミックコーナリングランプ（LED）
- ③：ロービーム／ハイビームヘッドランプ（マトリクスヘッドライト機能付き）（LED）
- ④：デイトタイムランニングランプ／ポジションランプ（LED）
- ⑤：デイトタイムランニングランプ／ポジションランプ／方向指示器（LED）



- ヘッドランプ類の交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。
- 仕様により、ヘッドランプの各ランプの位置が異なる場合があります。

●テールランプ



- ①：方向指示器（LED）
- ②：ストップランプ（LED）
- ③：ポジションランプ（LED）
- ④：リバースランプ（LED）
- ⑤：リアフォグランプ（LED）



- テールランプ類の交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。
- 仕様により、テールランプの各ランプの位置が異なる場合があります。

●エクステリアサイドランプ／ ルームランプ／マップランプ／ ラゲッジルームランプなどその 他のランプ類

エクステリアサイドランプ／ルームランプ／マップランプ／ラゲッジルームランプなど、その他のランプの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。

ヒューズの交換

ヒューズの交換は、当社指定サービス工場にご相談ください。

注意

- 車の電気回路は、出荷時に装着されている装備に合わせて設計、製作されています。推奨していないアクセサリーの取り付け、アクセサリーの不適切な取り付け、ワイヤーハーネスの加工などは、他の電装品の正常な作動を妨げたり火災の原因となることがあります。
- 当社では、当社が供給や推奨していない、10mA以上の電流を消費するアクセサリーの取り付けや、当社の指示に従わない装着方法によって発生した車、および機器の不具合の修理については、その費用を負担いたしません。
- エンジンルームの30A以上の大容量ヒューズは、車の電装システムを二重に保護しています。これに関わる作業は、当社指定サービス工場にお任せください。

注意

- アクセサリーその他の電気製品の取り付けは、当社指定サービス工場にご依頼ください。

燃費の改善について

燃費は、車の設計だけではなく、車の状態や運転方法によって大きく影響を受けます。車を最良の状態に保ち燃費をよくするためにも、定期的に点検整備を行ってください。

● エンジンのコンディション

主要部品については、少なくとも年に1回は点検を受けてください。

● エアフィルター

フィルターがつまるとエンジンの効率が悪化します。ほこりの多い環境や市街地での走行が多いときは、こまめに点検を受けてください。

● 手荷物など

ラゲッジルームに不用品な手荷物などが積みっぱなしになっていると、車両重量が増加して、燃費の悪化につながります。ルーフキャリアやスキーキャリアなどのアクセサリは、風の抵抗を受けて燃費を悪化させます。必要がなくなったらすみやかに取りはずしてください。

● タイヤ

交換するときは、現車と同一サイズで当社が推奨する銘柄、グレードのタイヤを使用してください。また、タイヤ空気圧が低すぎるとより多くの燃料が消費されます。適切なタイヤ空気圧に調整して走行してください。

● 運転方法

エンジン始動後に長時間の暖機運転は必要ありません。運転時は、ゆっくり発進し、急加速や空ぶかしを避けてください。走行中は一定のスピードを保つようにしてください。走行速度が上がると燃費も悪化します。法定速度を遵守して、スムーズな運転を心がけてください。エンジン始動後の数分間は、適正温度の状態と比較して2倍以上燃費が悪化します。あらかじめ走行経路を考慮して、無駄な走行をなくしましょう。

お手入れ・メンテナンス

推奨交換時期

車の使用頻度が高いとき、市街地や高温環境下での使用が多いときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

エンジンオイル		1年または10,000kmごと
オイルフィルター		1年または10,000kmごと
ブレーキフルード		2年ごと
エアフィルターエレメント		4年または20,000kmごと
スパークプラグ	ガソリン車	4年または20,000kmごと
室内フィルター		1年または10,000kmごと
燃料フィルター	ディーゼル車	4年または20,000kmごと
クーラント		10年または160,000kmごと
補機ドライブベルト	ガソリン車	5年または90,000kmごと
	ディーゼル車	6年または120,000kmごと
タイミングベルト	ガソリン車	5年または90,000kmごと
タイミングベルトキット	ガソリン車	10年または180,000kmごと
タイミングベルトキットおよびクーラントポンプ	ディーゼル車	10年または180,000kmごと

● エンジンオイルについて

上記の交換時期は、推奨する化学合成ベースのエンジンオイル（例：TOTAL QUARTZ INEO RCP 5W-30）を使用した場合です。

当社の規格により推奨されるオイルは、ACEA規格のオイルよりも優れた特性を備えています。

注 意

エンジンオイルに添加剤を使用することは厳禁です。

● AdBlue®の補充頻度について（ディーゼル車）

AdBlue®の補充は、1年または10,000kmごとに当社指定サービス工場で行ってください。

推奨油脂類

エンジンオイル
TOTAL QUARTZ INEO RCP 5W-30

ブレーキフルード
純正ブレーキフルード（DOT4）

クーラント
純正クーラント

推奨点検時期

車の使用頻度が高いとき、通常よりも厳しい状態の使い方をしたときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

タイミングベルトの点検	ガソリン車	1年ごと
クーラントpHの点検		初回4年または120,000km。 以降、1年または10,000kmごと
DPF（ディーゼル パティキュレートフィルター） の詰まりの点検	ディーゼル車	初回180,000km。 以降10,000kmごと

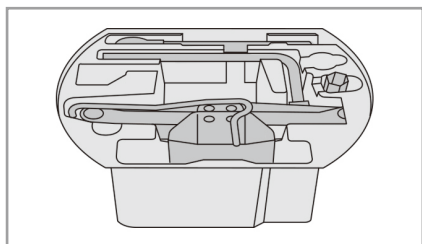
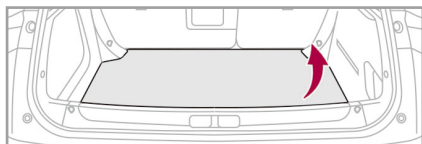
もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換.....	7-2
パンク修理キット.....	7-8
12Vバッテリーが上がったとき	7-13
けん引されるとき.....	7-19
AdBlue [®] （尿素水）の補充（ディーゼル車）.....	7-21
燃料切れしたとき（ディーゼル車）.....	7-23

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換*

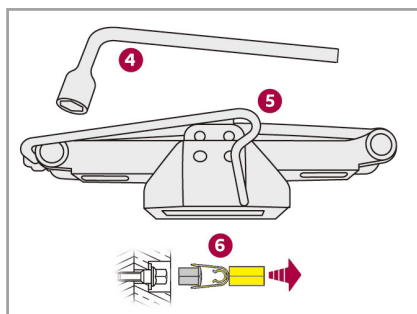
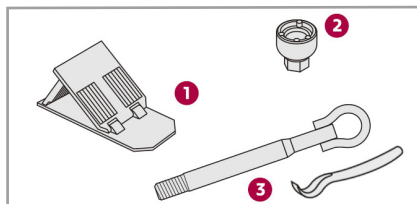
● 工具の取り出し



ジャッキと工具は、ラゲッジフロアボードの下にある工具入れに格納されています。

ストラップを引いてラゲッジフロアボードを持ち上げると工具入れにアクセスできます。

● ジャッキと工具



- ①：輪止め*
- ②：ホイールレンチアダプター（盗難防止ボルト用）*
- ③：けん引ボルト／カバーオープナー*
- ④：ホイールレンチ
- ⑤：ジャッキ
- ⑥：専用ピンセット*



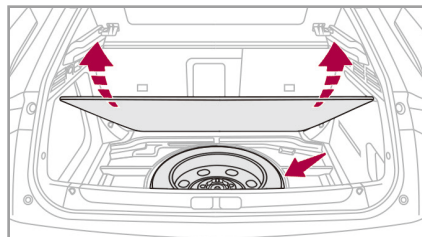
ホイールレンチアダプター②はグローブボックスの中に入っていることがあります。

*仕様により異なります。

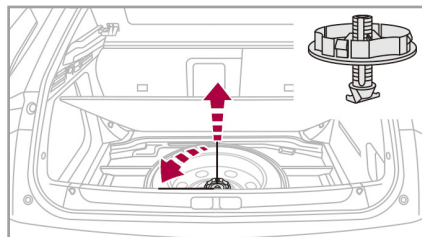
●スペアタイヤの取り出し

スペアタイヤは、ラゲッジフロアボードの下に格納されています。

1. ストラップを引いてラゲッジフロアボードを持ち上げます。



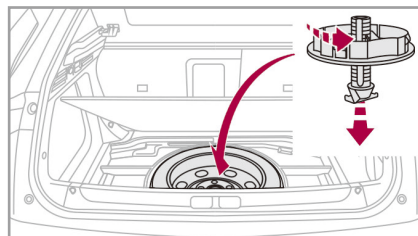
2. 工具入れを取り出します。
3. 中央のナットをゆるめ、取りはずします。



4. スペアタイヤを取り出します。

●タイヤの格納

1. タイヤを入れます。
2. ナットを少しゆるめ、ホイールの中央にねじ込みます。



3. タイヤが正確に収まっていることを確認して、きつく締めます。
4. 工具入れをホイールの中央に戻します。



- タイヤを格納しないと、ナットは取り付けられません。
- 常用タイヤはラゲッジフロアボードの下に格納できない場合があります。

●タイヤ交換後の処理

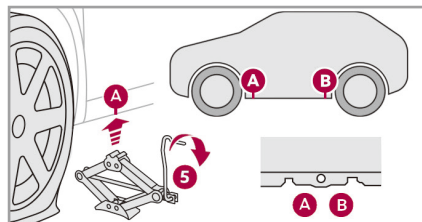
1. 交換したスペアタイヤの空気圧を確認してください。
2. はずしたタイヤの修理を早急に行い、スペアタイヤと交換してください。



タイヤ交換を行ったあとは、間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットを行ってください。

もしものとき

● ホイールの取りはずし



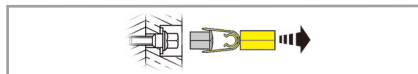
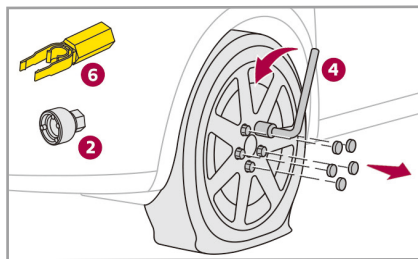
硬く平坦な路面で安全な場所に車を停めます。

ENGINE START/STOPスイッチをオフにし、シフトポジションがPになっていること、エレクトリックパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

取りはずすタイヤと対角位置にあるタイヤに、輪止め*を当てます。



ホイールカバー装着車は、ホイールカバー上部のスポーク部を両手で引っ張って取りはずします。

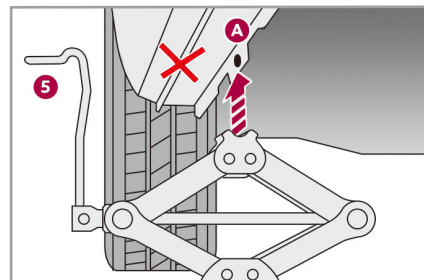


1. 専用ピンセット⑥を使用して、ボルトカバーをはずします。*
2. ホイールレンチ④でボルトを少しゆるめます。
盗難防止ボルトをゆるめるときは、ホイールレンチアダプター②をホイールレンチ④に取り付けます。*

注意

ホイールレンチアダプター②にインパクトレンチは絶対に使用しないでください。破損するおそれがあります。

3. ジャッキ⑤を車の下側フレームA部分（リアはB部分）にあてがい、軽くジャッキアップしてジャッキがA（もしくはB）に確実に収まっていることを確認してください。

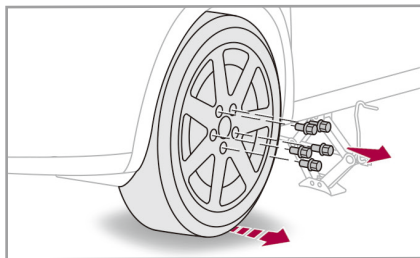


注意

プラスチック仕上げ部分にはジャッキをあてがわないでください。

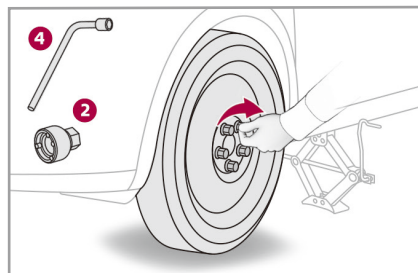
4. タイヤが地面から完全に離れるくらいまでジャッキアップします。

*仕様により異なります。



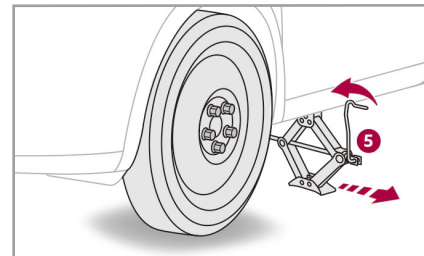
5. ボルトをはずします。なくさないように注意してください。
6. ホイールをはずします。

●ホイールの取り付け

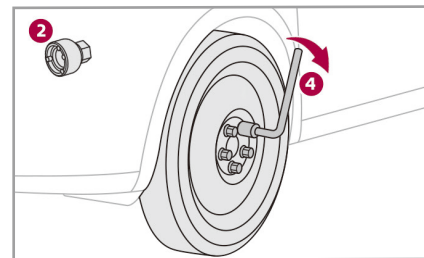


1. ホイールをハブにはめます。
2. ボルトを差し込み、手で止まるまで回します。
3. ホイールレンチ④を使ってボルトを軽く締めます。
盗難防止ボルトを締めるときは、ホイールレンチアダプター②をホイールレンチ④に取り付けます。*

4. ジャッキ⑤を完全にゆるめ、タイヤを接地させます。



5. ホイールレンチ④を使って、ボルトを対角線上に2～3回に分けてしっかり締めます。
盗難防止ボルトを締めるときは、ホイールレンチアダプター②をホイールレンチ④に取り付けます。*



もしものとき

6. はずしたボルトカバーをそれぞれのボルトに取り付けます。*



ホイールカバー装着車は、ホイールカバーの切り欠き部をタイヤのバルブ位置に合わせてから、手のひらで押し付けるようにして取り付けます。

⚠ 警告

- ジャッキアップするときは、必ず輪止め*を使用し、絶対に車の下に入らないでください。バランスが崩れた場合に車がジャッキからはずれ、落下するおそれがあります。
- ホイールボルトとハブのネジ部に注油したり、他のボルトを使用しないでください。走行中にネジがゆるみ、タイヤがはずれのおそれがあります。
- ジャッキアップするときは、乗員を全員車両から降ろしてください。

⚠ 警告

- ジャッキアップ中はエンジンを始動させないでください。エンジン始動時や始動した状態のエンジンの振動により、ジャッキがはずれのおそれがあります。
- 指定された場所以外にジャッキを装着しないでください。車両が損傷したり、ジャッキがはずれのおそれがあります。
- 標準サイズではないスペアタイヤ／スペースセーバータイヤを2本以上同時に使用しないでください。
- パンクした常用タイヤのホイールカバーをスペアタイヤ／スペースセーバータイヤに装着しないでください。

⚠ 注意

- タイヤを交換するときは、必ず同じサイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。
- スペースセーバータイヤ／スペアタイヤの空気圧を定期的に点検してください。

⚠ 注意

- 標準サイズではないスペアタイヤ／スペースセーバータイヤ使用時の最高速度は時速80kmです。また、約80km以上走行しないでください。
- 標準サイズではないスペアタイヤ／スペースセーバータイヤを使用するときは、アクティブセーフティブレーキなどの運転支援システムを解除してください。
- 標準サイズではないスペアタイヤ／スペースセーバータイヤは一時的な使用に限られています。常用タイヤのパンクなどで使用したときは、早急にパンクの修理を行い交換してください。
- 搭載されているジャッキやレンチ、スペアタイヤ／スペースセーバータイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車のものを使用したり、他の用途に使用しないでください。

*仕様により異なります。

注意

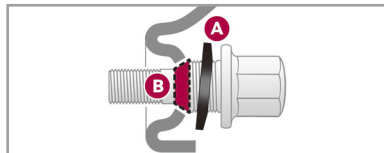
盗難防止ボルトの専用アダプター*を使用するときは丁寧に扱ってください。インパクトレンチを使用したり、急激な力を加えたり、乱暴にレンチを回すと、ピンを破損することがあります。



- 盗難防止ボルトの専用アダプター*の番号を控えておいてください。紛失した際に、番号から複製を入手することができます。
- ホイールボルトの締め付けトルクは10daNm（約9.5kgm）です。



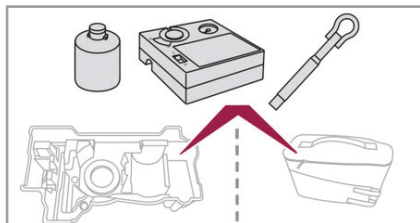
- アルミホイールの代わりにスペースセーバータイヤを使用するとき、ホイールボルトの平ワッシャー **A** がリムに接せず遊んでいても問題ありません。ホイールボルトの円錐状の部分 **B** によって確実にホイールを固定します。



もしものとき

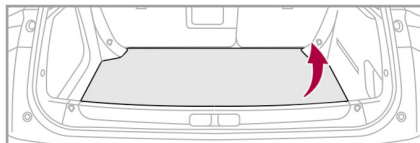
パンク修理キット*

●パンク修理キットの場所

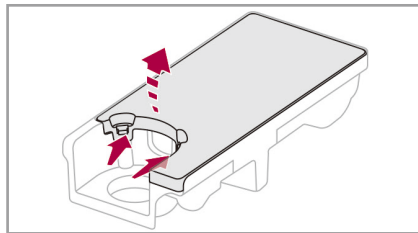


パンク修理キットと工具は、ラゲッジフロアボードの下にある工具入れまたは専用バッグに格納されています。

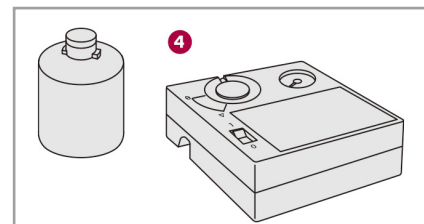
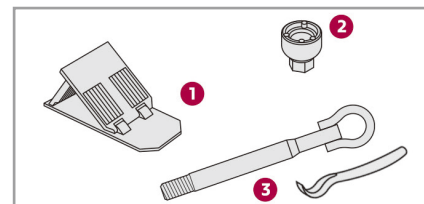
1. ストラップを引いてラゲッジフロアボードを持ち上げます。



2. 仕様により、工具入れのタブを引いてカバーを開きます。



●パンク修理キットと工具



- ①：輪止め*
- ②：ホイールレンチアダプター（盗難防止ボルト用）*
- ③：けん引ボルト／カバーオープナー*
- ④：パンク修理キット

*仕様により異なります。



- ホイールレンチアダプター②はグローブボックスの中に入っていることがあります。
- パンク修理キットは当社販売店で買い求めいただけます。
- タイヤのトレッド部以外の損傷によるパンクは、パンク修理キットを使用して修理することができません。
- タイヤに刺さった釘などは抜かずにそのまま応急修理をしてください。
- 修理キットを使用するときは、すべての手順を行ってください。

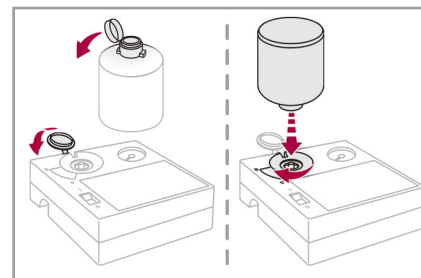
●使いかた

1. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
2. シフトポジションがPになっていること、エレクトリックパーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. 修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーをはがして、車内の運転者から見える位置に貼り付けます。

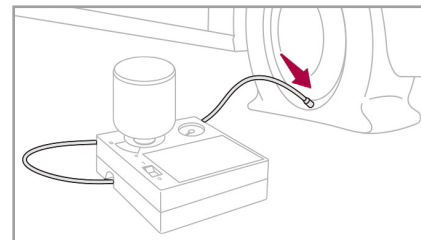
⚠ 警告

修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーを車内の運転者から見える位置に必ず貼り付けてください。

4. コンプレッサーの保護カバーを開けます。
5. 修理剤カートリッジのキャップを取りはずします。
6. コンプレッサーに修理剤カートリッジを取り付け、表示に合わせて時計回りに回して固定します。

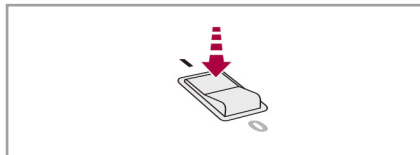


7. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、修理するタイヤのバルブに接続します。



もしものとき

8. スイッチが**0**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードをフロントコンソールの12V電源ソケットに差し込みます。
9. エンジンを始動します。
10. スイッチを**I**にして、空気圧を運転席側または助手席側ドアピラー部に表示されている適正值まで昇圧します。



⚠ 警告

- コンプレッサーのホースをつなぐ前に、電源を入れないでください。修理剤が噴き出すおそれがあります。
- パンク修理キットはコンプレッサーで圧力をかけて修理剤をタイヤに注入します。修理剤の注入中にホースをバルブから抜かないでください。ホースの口から修理剤が噴き出すおそれがあります。

⚠ 警告

- 修理剤が目や口に入らないように十分注意してください。

⚠ 注意

7分以内に運転席側または助手席側ドアピラー部に表示されている適正值まで昇圧しないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

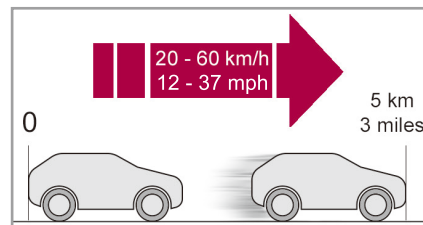
11. スイッチを**0**にします。
12. 修理剤カートリッジを反時計回りに回してコンプレッサーから取りはずします。
13. コンプレッサーの保護カバーを閉じます。

14. コンプレッサーを取りはずします。



パンク修理キットを取りはずすときは、修理剤が車に付着しないように気をつけてください。付着するとシミになるおそれがあります。

15. 直ちに走行してタイヤ内に修理剤を行き渡させます。このとき、時速**20**～**60km**で約**5km**走行します。



16. シフトポジションを**P**にしてから、エレクトリックパーキングブレーキをかけます。
17. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、修理するタイヤのバルブに接続します。

- 18.スイッチが**0**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードをフロントコンソールの12V電源ソケットに差し込みます。
- 19.スイッチを**1**にして、空気圧が運転席側または助手席側ドアピラー一部に表示されている適正值までであること（空気の漏れがないこと）を確認します。

⚠ 注意

空気圧が低下しているときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

- 20.スイッチを**0**にしてからコンプレッサーを取りはずします。
- 21.再度、時速**20 ～ 60km**で約**5km**走行します。
- 22.走行後、再度、手順16～手順19を行い、空気圧が運転席側または助手席側ドアピラー一部に表示されている適正值までであること（空気の漏れがないこと）を確認します。

⚠ 注意

空気圧が低下しているときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

- 23.スイッチを**0**にしてからコンプレッサーを取りはずし、元の位置に格納します。
- 24.時速**80km**以下で走行し、できるだけ早く当社指定サービス工場でのタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠ 警告

- パンク修理キットで修理したタイヤで走行するときは、**時速80km**以下で走行してください。
- パンク修理キットで修理したあとは、約**200km**以上走行しないでください。できるだけ早く当社指定サービス工場でのタイヤの修理、交換を行ってください。
- パンク修理キットはお子さまには使用させないでください。

⚠ 警告

- パンク修理剤の有効期限はカートリッジに表示されています。
例：EXP：04/2030
Ⅱ
2030年4月まで
- パンク修理剤には有効期限があります。定期的に当社指定サービス工場での点検を受けてください。



- タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。
- 修理剤は一度しか使用できません。使用後は、新品の修理剤を当社販売店でお買い求めください。
- 使用済みの修理剤カートリッジは当社指定サービス工場までお持ちいただくか、地域条例に従って廃棄してください。

もしものとき

●タイヤの空気圧を点検する

コンプレッサーを使用してタイヤの空気圧を点検することができます。

1. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、車両のタイヤのバルブに接続します。
2. スイッチが**○**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードをフロントコンソールの12V電源ソケットに差し込みます。
3. エンジンを始動します。
4. 空気圧が運転席側または助手席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
 - ・昇圧：スイッチを**I**にする。
 - ・減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
5. スイッチを**○**にしてからコンプレッサーを取りはずし、元の位置に格納します。



タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。

12V バッテリーが上がったとき

万一、12Vバッテリーが上がってしまいエンジンの始動ができなくなったときは、充電器（バッテリーチャージャー）で充電するか、同じ電圧（12V）のバッテリーで始動させます。

接続には、市販のブースターケーブルを使用します。ケーブルの接続時は、車の充電系統に損傷を与えないように正しく接続してください。

警告

12Vバッテリーを交換するときは、車両に搭載されている交換前と同一仕様のバッテリーと交換してください。12Vバッテリーの交換については、当社指定サービス工場にご相談ください。



この車両は、押しがけによるエンジンの始動はできません。

● 12Vバッテリーに関する警告ラベルについて

12Vバッテリーには次の警告ラベルが貼り付けられています。ラベルの注意事項に必ず従ってください。



火気を近づけないでください。



保護メガネ、ゴム手袋を着用して取り扱ってください。バッテリー液による失明、やけどの原因となります。



お子さまなど、取り扱い方法や危険性を十分に理解していない人に触らせないでください。



バッテリー液は希硫酸です。目に入ると失明したり、やけどの原因となります。



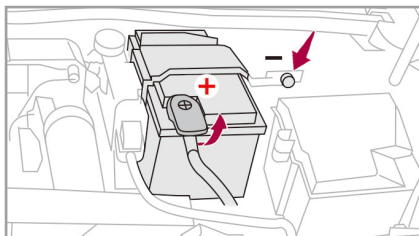
取扱説明書の注意事項を参照してください。



12Vバッテリーから発生するガスが引火爆発の原因となります。

もしものとき

● 12Vバッテリーの位置

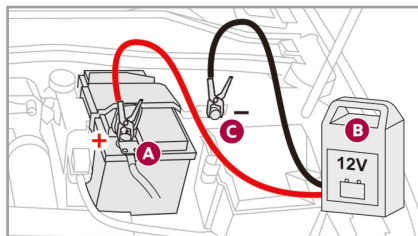


12Vバッテリーはエンジンルーム左側（ボンネットを開いて右側）にあります。アースポイントはバッテリー横の矢印で示した箇所にあります。

注意

充電器のマイナス端子（-）や救援車の12Vバッテリーのマイナス端子（-）は、12Vバッテリーの横にあるアースポイントに接続してください。絶対にECU（エレクトロニックコントロールユニット）やヘッドランプの背面にある金属部分へ接続しないでください。ECU（エレクトロニックコントロールユニット）やヘッドランプを損傷するおそれがあります。

● 充電器を使用して充電する



1. オーディオ機器やヘッドライトなど、車両の電装品をすべてオフにします。
2. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
3. シフトポジションが**P**になっていることを確認します。
4. 充電器**B**の電源がオフになっていることを確認します。
5. 充電器**B**のケーブルに傷などの損傷がないことを確認します。
6. 12Vバッテリー**A**のプラス端子（+）のカバーをはずします。*
7. 最初に充電器**B**のマイナス端子（-）をアースポイント**C**に接続し、次にプラス端子（+）を12Vバッテリー**A**のプラス端子（+）に接続します。
8. 充電器の取扱説明書に従って充電します。

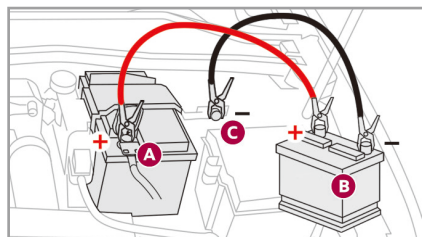
9. 充電が完了したら、充電器**B**の電源をオフにします。
10. 充電器**B**の電源をオフにしてから、接続したケーブルを12Vバッテリー**A**からはずします。
11. 接続したケーブルをアースポイント**C**からはずします。
12. 12Vバッテリー**A**のプラス端子（+）のカバーを取り付けます。*

注意

充電器は12Vのものを使用してください。12V以外の充電器を使用すると、車両の電装部品を破損するおそれがあります。

*仕様により異なります。

●他のバッテリーで始動する



1. 自車両と救援車が接触しない位置に停車します。
2. オーディオ機器やヘッドライトなど、自車両と救援車両の電装品をすべてオフにします。
3. 自車両と救援車両のエンジンを停止します。
4. 自車両のシフトポジションがPになっていることを確認します。
5. 自車両の12VバッテリーAのプラス端子(+)のカバーをはずします。*
6. 12VバッテリーA(自車両の上がったバッテリー)・B(救援車のバッテリー)のプラス端子(+)を赤いケーブルで接続します。

7. 電源を供給する救援車の12VバッテリーBのマイナス端子(-)に、黒いケーブルを接続します。
8. 未接続の黒いケーブルを、自車両のアースポイントCに接続します。
9. 救援車のエンジンを始動し、そのままの状態の数分間待ちます。
10. 自車両のエンジンを始動します。
始動しない場合は、しばらくしてから再度操作してください。
11. エンジンがアイドリング状態になったら、接続したケーブルをつないだときと逆の手順ではずします。
12. 12VバッテリーAのプラス端子(+)のカバーを取り付けます。*
13. 約30分ほど自車両のエンジンが始動している状態のままにします。

⚠ 警告

救援車のバッテリーでのエンジンの始動は、車庫や屋内などの換気の悪い場所では行わないでください。排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒により重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

注意

- この車両を救援車として使用したり、この車両の12Vバッテリーで他の車両のバッテリーを充電したりしないでください。
- 救援車のバッテリーは12Vのものを使用してください。



自車両のエンジンを始動したあと、12Vバッテリーの充電が十分に行われていない状態で走行を開始すると、ストップ&スタートなど、車両の機能に影響をおよぼすことがあります。

もしものとき

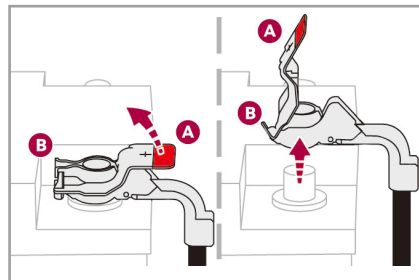
● ケーブルのはずしかた／接続のしかた

車を1ヶ月以上使用しないときは、12Vバッテリーの電力を維持するためにケーブルのプラス端子(+)をはずしておきます。

ケーブルのプラス端子(+)をはずす前に、次のことを確認してください。

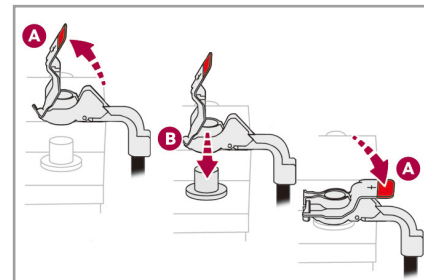
- ・すべてのドア、テールゲート、ウィンドウ、スライディングガラスルーフ*が閉じている
- ・オーディオ機器やヘッドライトなど、車両の電装品がすべてオフになっている
- ・ENGINE START/STOPスイッチをオフにし、約4分経過した

はずしかた



1. 12Vバッテリーのプラス端子(+)のカバーをはずします。*
2. ロックタブAをいっぱいまで起こしてからクリップBを持ち上げてはずします。

接続のしかた



1. ロックタブAをいっぱいまで起こします。
2. クリップBが12Vバッテリーのプラス端子(+)の上部に来るように位置を合わせ、クリップBの位置がずれないように、上から12Vバッテリーに押し当てます。
3. ラグを広げてロックタブAを倒し、クリップをロックします。
4. 12Vバッテリーのプラス端子(+)のカバーを取り付けます。*

注意

クリップは正しい位置にないとロックしません。無理にロックタブを倒さないでください。

● 12Vバッテリーを再接続したとき

エンジンを始動する前に、ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリポジションにしたまま約1分間保持します。電子機器の初期化が行われます。長時間12Vバッテリーの接続をはずしていたときは、次の機能の初期化や再設定が必要な場合があります。

- ・スマートキー
- ・パワーウィンドウ
- ・スライディングガラスルーフ* など

注 意

電子機器に異常を感じたら、当社指定サービス工場にご連絡ください。



- 12Vバッテリーを再接続したあと、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにしたとき、またはエンジンを始動したときに、アクティブセーフティブレーキに故障が発生したことを示すメッセージなどが表示されることがありますが、これは異常ではありません。走行を開始すると表示されなくなります。



- ストップ&スタートは一度12Vバッテリーの接続をはずすと数時間は停止モードになりませんが、これは異常ではありません。

*仕様により異なります。

⚠ 警告

- 12Vバッテリーのプラス端子(+)とマイナス端子(-)を逆に接続しないでください。
- エンジンが始動している状態のときは、12Vバッテリーのプラス端子(+)からケーブルをはずさないでください。
- ケーブルのプラス端子(+)とマイナス端子(-)を絶対に接触させないでください。
- 12Vバッテリーのプラス端子(+)が周辺の金属と接触しないようにしてください。
- 救援車の12Vバッテリーのマイナス端子(-)は自車両の12Vバッテリーのマイナス端子(-)に直接つながないでください。必ず自車両のアースポイントに接続してください。
- 12Vバッテリーは可燃性のガスを発生しますので、12Vバッテリーの近くでは火気を避けてください。
- 12Vバッテリーのバッテリー液は腐食性の強い希硫酸です。万一皮膚にバッテリー液がかかった場合は、大量の水で洗い流してください。

警告

- 凍った12Vバッテリーを充電すると爆発するおそれがあります。12Vバッテリーが凍ったら新品と交換してください。
- 黒いケーブル（マイナスケーブル）を車体に接続する際には、燃料系統やブレーキホース／パイプに接触させないでください。
- ケーブルがエンジンルーム内の回転部分や可動部分に接触しないよう注意してください。



- バッテリーは硫酸や鉛などの有害物質を含んでいます。環境汚染防止のため、正しく廃棄してください。
- 12Vバッテリーの充電が不十分なときは、ストップ&スタートなど、一部の機能が自動的にオフになることがあります。

●バッテリー上がり防止モード

12Vバッテリーの電圧が一定レベル以下の場合、エアコンやリアウィンドウデフォグなどの多く電力を消費する機能が自動的にオフになります。オフになった機能は、12Vバッテリーの電圧が回復したあと、自動的にオンに戻ります。

●エコノミーモード

エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大40分行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。エンジンを再始動すると、電源の供給が再開されます。すぐにアクセサリを使用したいときは、エンジンを数分間始動している状態のままにしてください。エンジンが始動している状態のままでいた時間の倍の間、アクセサリを使用できます。ただし、この時間は5～30分に限られます。



- 12Vバッテリーが弱っているときは、エンジンの再始動ができなくなるおそれがあります。
- 12Vバッテリーの充電が不十分なときは、電源の供給時間が短くなることがあります。

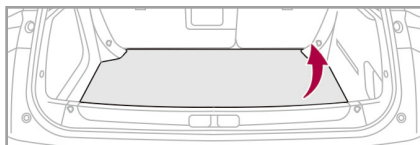
*仕様により異なります。

けん引されるとき

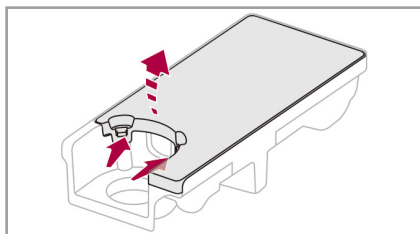
●けん引ボルトの場所

けん引ボルトは、ラゲッジフロアボードの下にある工具入れまたは専用バッグに格納されています。

1. ストラップを引いてラゲッジフロアボードを持ち上げます。



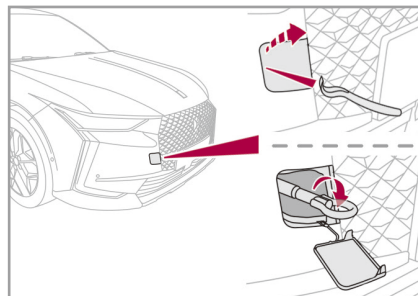
2. パンク修理キット装備車は、仕様により、工具入れのタブを引いてカバーを開きます。



●けん引について

この車両は前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。けん引が必要なときは、当社指定サービス工場またはけん引の専門業者にご依頼ください。

やむを得ず4輪が接地した状態でけん引されるときは、次のように行います。



1. カバーのすき間に、カバーオープナー*またはボディを傷つけないプラスチック製の先の平らな工具などを差し込み、手前に引いてはずします。
2. けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。

3. 自車両および他車のけん引フックにロープをかけ、ロープの中央に0.3m平方（30cm×30cm）以上の白い布を付けます。
4. エンジンを始動します。
5. パーキングブレーキを解除します。
6. シフトポジションを**N**にします。

⚠ 警告

運転者はけん引される車両に乗り、けん引している前方の車両に追突しないよう注意してください。

注意

- 以下のときは、必ず当社指定サービス工場またはけん引の専門業者にご依頼ください。
 - ・高速道路で走行中に車両が故障した。
 - ・エンジンを始動できない。
 - ・シフトポジションが**N**にならない。
 - ・ステアリングロック装備車は、ステアリングロックが解除できない。

注意

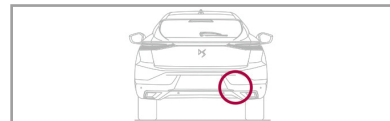
- ・パーキングブレーキが解除できない。
- ・この車専用のけん引ボルトが使用できない。
- 4輪が接地した状態でけん引されるときは、以下の点にご注意ください。
 - ・エンジンを始動してください。
 - ・シフトポジションは**N**にしてください。シフトポジションが**N**以外でけん引すると、ブレーキシステムやオートマチック・トランスミッションなどが損傷するおそれがあります。また、次回エンジンを始動するとき、ブレーキアシストが作動しないことがあります。
 - ・ステアリングロック装備車は、ステアリングロックを解除してください。
 - ・パーキングブレーキを解除してください。
 - ・時速30km以下で、できるだけ短距離の移動にとめてください。
- 前輪を持ち上げた状態でけん引されるときは、パーキングブレーキを解除してください。

注意

- この車より重量の重い車両でけん引してください。
- 4輪が接地した状態の車両がけん引されるときは、必ずけん引ボルトを使用してください。
- けん引ボルト以外の箇所にけん引フックをかけないでください。
- 長い下り坂では4輪が接地した状態でけん引しないでください。ブレーキが過熱し効かなくなり、事故につながることがあります。レッカー車で前輪を持ち上げるか、4輪を持ち上げた状態でけん引してください。
- けん引される車両は、ハザードランプをオンにしてください。



- 車両が動かないときや異常な音がするときなどは、けん引せずに当社指定サービス工場またはけん引の専門業者へご連絡ください。
- この車両で他車をけん引することはできません。
- けん引中は、アクティブセーフティブレーキなどの運転支援システムを解除してください。
- リア側のけん引ボルト取り付け位置は他車をけん引するためのものではありません。使用しないでください。



AdBlue®（尿素水）の補充 （ディーゼル車）

DS 4はAdBlue®を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。AdBlue®は走行すると消費され、減少します。

AdBlue®の補充は、当社指定サービス工場にお申し付けください。



- AdBlue®の補充は、当社指定サービス工場での定期点検整備ごとに行われます。
- AdBlue®の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue®の補充は早めに行ってください。
- AdBlue®（アドブルー）はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

●緊急時にお客様がご自分で AdBlue®を補充する

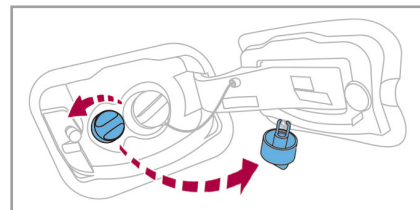
AdBlue®の残量がなくなり、エンジンが始動できなくなったときは、約10.0リットル以上のAdBlue®を補充すると、エンジンを始動できるようになります。

注 意

ガソリンスタンドなどに設置されている補充装置を使用しないでください。AdBlue®が補充口からあふれるおそれがあります。



補充したAdBlue®の量が正しく検知されるには、数分間走行する必要があります。



1. 平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
2. エンジンを停止します。
3. 給油フラップを開けます。
4. 青色のキャップをゆるめます。
5. 青色のキャップを取りはずします。
6. 補充が終わったら、青色のキャップを締めて戻します。

⚠ 注 意

AdBlue®は、無色、透明、無臭で、身体に触れても無害の尿素水溶液です。万一目に入ったり、皮膚に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。違和感がある場合は、すぐに医師の診断を受けてください。また、誤って飲み込んでしまったときは、コップ1～2杯の水または牛乳を飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

注意

●AdBlue[®]を補充するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷するおそれがあります。

- AdBlue[®]以外の尿素水を使用しないでください。
- AdBlue[®]を水道水などで希釈しないでください。
- AdBlue[®]を他の薬品と混ぜたりしないでください。
- AdBlue[®]が車両の塗装面に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

●AdBlue[®]を保管するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷したり、AdBlue[®]の成分が変質して刺激臭が発生するおそれがあります。

- AdBlue[®]を車内に放置しないでください。
- AdBlue[®]を指定以外の容器で保管しないでください。
- AdBlue[®]は容器を密閉し、直射日光の当たらない風通しの良い、気温が25℃を超えない場所に保管してください。



●AdBlue[®]の残量がなくなった場合は、AdBlue[®]の補充後、以下の操作を行ってください。

1. 5分以上待ちます。その間、以下の操作は行わないでください。
 - 解錠する
 - 運転席ドアを開ける
 - 車内にスマートキーを持ち込む
2. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにして10秒以上待ちます。
3. エンジンを始動します。

●AdBlue[®]の補充後は、エンジンの始動に通常よりも数秒間長かかる場合があります。

●AdBlue[®]はISO規格 (ISO 22241-1) に準拠したものを使用してください。

●AdBlue[®]タンクの容量は約15リットルです。

●AdBlue[®]は凍結しても、解凍すればそのまま使用できます。



●使用済みのAdBlue[®]の容器は、地域条例に従って廃棄してください。

燃料切れしたとき（ディーゼル車）

燃料を補給後、次の操作を行い、燃料系統のエア抜きをしてください。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. シフトポジションがPになっていることを確認します。
3. **ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにします。
4. 約1分間待って、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにします。
5. エンジンを始動します。



- エア抜きを行う前に、少なくとも5リットル以上の燃料を補給してください。
- エンジンが始動しないときは、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにし、再度エア抜きをしてください。
- エア抜きの操作を繰り返してもエンジンが始動しないときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

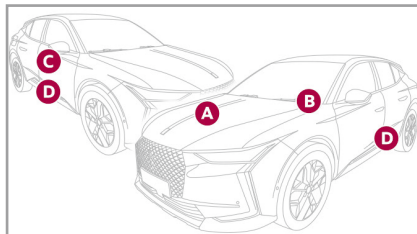
車両データ・アクセサリ類・索引

車両データ	8-2
アクセサリ類	8-3
索引	8-6
付録	8-13

車両データ

車両データ

● 識別表示



A 車台番号（エンジンルーム内）

B 車台番号（フロントガラス下側）

C 認証ラベル

D タイヤ仕様と車体塗色コードラベル

タイヤとホイールサイズ、適正空気圧、車体色などが記載されたラベルが、運転席側または助手席側のピラー部に貼られています。

⚠ 注意

タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。

注意

- タイヤのサイズによっては、タイヤチェーンが装着できません。詳しくは当社指定サービス工場へお問い合わせください。
- タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月1回の割合でチェックしてください。必ず当社が指定する空気圧に調整してください。



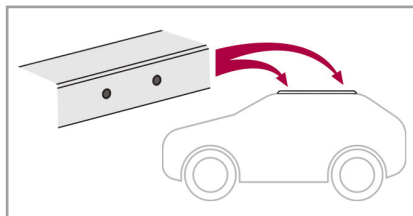
- タイヤの空気圧が低すぎると、燃費が悪くなります。
- 仕様により、ラベルの貼付位置が異なる場合があります。

アクセサリ類

アクセサリ類は、当社の純正部品を使用してください。取り付けは、付属の取扱説明書に従ってください。

● ルーフキャリア

ルーフレール装備車

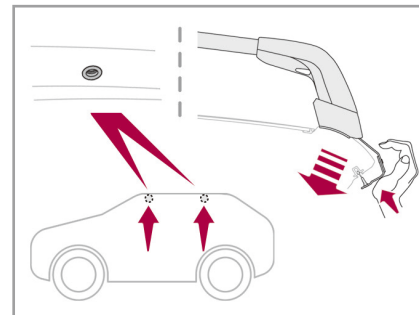


キャリアを取り付けるときは、ルーフレールのマークに合わせて取り付けてください。

荷物を積んだあと、もう一度キャリアを確実に固定してください。

ルーフレールは取りはずしできません。

ルーフレール装備車以外



キャリアの固定箇所はドアの下に隠れています。

⚠ 警告

- ルーフキャリアは当社純正品をキャリアに付属の取扱説明書に従って正確に取り付けてください。
- 当社純正以外のルーフキャリアを使用したり、指示通りに取り付けなかったりした場合、ルーフキャリアや荷物が落下し、事故やケガにつながるおそれがあります。
- 荷物の固定には、細すぎたり、損傷したひもや不適切なひもは使用しないでください。荷物を固定する際には、適切なひもを使用し、しっかりと固定してください。やむを得ず荷物がルーフ部分から突き出る場合は、適切な目印を取り付けて周囲に知らせてください。
- ルーフキャリアに荷物を積む際には、キャリアに付属の取扱説明書に記載されているルーフキャリア許容荷重を超えないようにしてください。

⚠ 警告

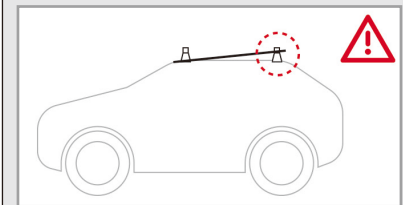
- ルーフに重たい荷物や大きな荷物を積んでいると、車両の重心が変わったり風の抵抗が大きくなり走行に影響を与えます。速度を控えたり、急ブレーキ、急ハンドルを避けるなど慎重な運転を心がけてください。

⚠ 注意

- キャリアの高さには注意してください。特に高速走行を行うと、予想以上に負荷がかかるので思わぬトラブルの原因となることがあります。
- ルーフレール装備車は、荷物を積むときは、ルーフレールに直接荷物を積んだり、ロープで固定せず、キャリアを使用してください。

注意

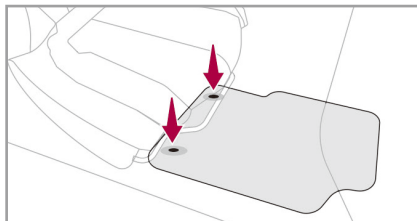
ルーフキャリアを取り付けているときは、スライディングガラスルーフ*を開閉しないでください。スライディングガラスルーフを破損するおそれがあります。



使用しないときはルーフキャリアを取りはずしてください。

* 仕様により異なります。

●フロアマット*



取り付けるときは、フロアマットを正しい位置に合わせ、クリップで留めてください。フロアマットがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠ 警告

- 車両側に装備されている固定フックに適したフロアマットのみ使用してください。また、2枚以上のフロアマットを重ねて使用しないでください。ペダル操作の妨げになります。
- 当社指定以外のフロアマットの使用は、ペダル操作の妨げになるだけでなく、クルーズコントロール／スピードリミッター機能の使用の妨げにもなり、重大な事故につながるおそれがあります。

数字

12V電源ソケット 5-34、5-40
12Vバッテリー 6-7、6-10、7-13
360° ビジョン 3-91

アルファベット

ABS (アンチロックブレーキシステム) 3-21
AdBlue® 3-25、7-21
ASR (トラクションコントロール) 3-21
DPF (ディーゼルパティキュレートフィルター) ... 3-28
DSC (ダイナミックスタビリティコントロール) ... 3-21
DSアクティブスキャンサスペンション 3-15
DSアクティブLEDビジョン 4-52
DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ ... 4-6
DSスマートタッチ 5-25
DSドライブアシスト 3-69
DSナイトビジョン 4-67
DSマトリクスLEDヘッドライト 4-55
DS E-TOGGLE 3-7
EBA (ブレーキアシスト) 3-21
ENGINE START/STOPスイッチ 9、3-2

ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール) ... 3-21
i-Sizeチャイルドシート 1-20、1-28
ISOFIXチャイルドシート 1-20、1-27
PCSB (ポストコリジョンセーフティブレーキ) ... 3-24
SCR (選択式還元触媒) システム 3-25
USBポート 5-33

あ

アクセサリ類 8-3
アクティブクルーズコントロール 15、3-59
アクティブセーフティブレーキ 3-44
アクティブボンネット 1-35
アプリケーション 5-18
アームレスト 5-37
アラーム 2-18
アンビエンスイルミネーション 5-30
イモビライザー (盗難防止システム) 2-11
インストルメントパネル 4-2
インストルメントパネルの調整 4-41
インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト ... 3-49
インテリジェントハイビーム 4-49

ウィンドウウォッシャー……………4-61、4-62
 エアクオリティシステム……………5-9
 エアコンディショナー(エアコン) ……13、5-2
 エアバッグ……………1-29
 エアバッグの作動条件……………1-33
 エアフィルター……………6-7、6-10、6-15、6-16
 エクステリアサイドランプ……………4-47
 エコノミーモード……………7-18
 エマージェンシーブレーキ……………3-48
 エレクトリックパーキングブレーキ……………10、3-16
 エンジンオイル……………6-7、6-16、6-17
 エンジンオイルの点検……………6-8
 エンジンの始動……………9、3-2
 エンジンブレーキ……………3-10
 エンジン油量インジケーター……………4-38
 エンジンルームの点検……………6-7
 オイル交換……………6-9
 オートエアコン……………13、5-3
 オートドアロック……………2-17
 オートライト……………4-45
 オートワイパー……………4-60

オドメーター……………4-39

か

カーテンエアバッグ……………1-33
 間接式タイヤ空気圧警告……………4-64
 キックダウン……………3-10
 給油……………5、2-38
 緊急用キー……………2-14
 クリープ現象……………3-9
 クルーズコントロール……………15、3-59
 グローブボックス……………5-33
 警告灯……………4-12
 けん引されるとき……………7-19
 工具……………7-2、7-8
 固定リング……………5-39

さ

サービスインジケーター……………4-35
 サイドエアバッグ……………1-32
 左右独立式オートエアコン……………13、5-3
 サンシェード……………2-26

シートの調整…………… 6、1-2、1-3
シートヒーター…………… 1-7
シートベルト…………… 8、1-16
シートベルト着用／非着用ディスプレイ… 14、1-17
シートベンチレーション…………… 1-9
シートポジションメモリー…………… 1-5
識別表示…………… 8-2
自動防眩バックミラー…………… 8、1-12
シフトタイミングインジケーター…………… 3-9
シフトポジション…………… 3-7
シフトロック…………… 3-10
ジャッキと工具…………… 7-2
照射角度自動調整機能…………… 4-48
ショートカットキー…………… 5-26
使用燃料について…………… 1-36
触媒コンバーター…………… 1-40
助手席エアバッグキャンセルスイッチ…………… 14、1-31
推奨交換時期…………… 6-16
推奨点検時期…………… 6-17
推奨油脂類…………… 6-17
スキーフラップ…………… 5-38

ステアリングヒーター…………… 1-10
ステアリング…………… 7、3-6
ストップ&スタート…………… 14、3-29
スノーチェーン／スノーネット…………… 1-38
スーパードアロック…………… 2-8
スピードリミッター…………… 15、3-77
スペアタイヤ…………… 7-2
スマートキー…………… 4、2-2
スライディングガラスルーフ…………… 2-25
先進運転支援システム（ADAS）の設定 …… 5-22

た

ダイナミックコーナリングライト…………… 4-52
タイヤの交換…………… 7-2
タイヤの点検…………… 1-36
タイヤ空気圧…………… 1-36、8-2
タッチスクリーン…………… 12、5-11
チャイルドシート…………… 1-20
チャイルドセーフティ…………… 2-17
着座検知…………… 1-18
駐車時照明機能（フォローミーホーム）…………… 4-47

チルト・テレスコピックステアリング…………… 7、3-6
 デイタイムランニングランプ…………… 4-45
 ディスタンスアラート…………… 3-47
 ディスプレイゾーン… 4-2、4-3、4-5、4-8、4-10
 テールゲート…………… 2-29
 テールランプの交換…………… 6-13
 電球の交換…………… 6-12
 電池の交換（スマートキー）…………… 2-9
 電動ドアミラー…………… 8、1-11
 ドアロック…………… 2-16
 冬季用タイヤ…………… 1-37
 ドライバーアテンションアラート…………… 3-39
 ドライブコンピューター…………… 4-71
 ドライブモード…………… 3-13
 トラフィックサインインフォメーション…………… 3-53

な

燃料…………… 1-36
 燃料タンクの容量…………… 5、2-38

は

パーキングブレーキ…………… 10、3-16
 パーキングライト…………… 4-48
 ハザードランプ…………… 4-58
 バックカメラ…………… 3-87
 バックミラー…………… 8、1-12
 パッシング…………… 4-44
 バッテリー…………… 6-7、6-10
 バッテリーが上がったとき…………… 7-13
 パドルスイッチ…………… 3-8
 パワーウィンドウ…………… 5、2-22
 パワーウィンドウの初期化…………… 2-23
 ハンズフリーエレクトリックテールゲート…………… 2-31
 パンク修理キット…………… 7-8
 半ドア警告…………… 2-14
 非常ブレーキ…………… 3-19
 ヒューズの交換…………… 6-14
 表示灯…………… 4-12
 ヒルスタートアシスタンス…………… 3-20
 ファーサイドエアバッグ…………… 1-32
 フォグランプ…………… 11、4-44

ブッシュセクター……………3-7
フォローミーホーム……………4-47
フュエルリッド……………5、2-38
ブラインドスポットモニターロングレンジ……………3-80
ブレーキ……………10、3-16
ブレーキアシスト（EBA）……………3-21
ブレーキフルード……………6-7、6-9、6-16、6-17
フロアマット……………8-5
プロキシミティキーレスエントリー……………2-2
フロントアームレスト……………5-37
フロントエアバッグ……………1-30
フロント／バックソナー……………3-82
フロントシート……………6、1-2、1-3
フロントシートベルト……………8、1-16
フロントワイパー……………11、4-59
ヘッドランプの交換……………6-12
ヘッドランプ照射角度調整……………4-48
ヘッドレスト……………7、1-4、1-14
ベンチレーショングリル……………5-38
保安炎筒……………1-39
ホイールの交換……………7-2

方向指示器……………11、4-58
ホームページ……………5-15
ホーン……………3-6
ボンネット……………5、2-28

ま

マップランプ……………5-30
マニュアルチェック……………4-40
マニュアルロック……………2-15
マルチポイントランバーサポート……………1-6
ミラー……………8、1-11、1-12

ら

ライトスイッチ……………11、4-43
ラゲッジルーム……………5-39
ラゲッジルームランプ……………5-40
ランバーサポート……………6、1-3、1-4、1-6
リアアームレスト……………5-37
リアウィンドウキャンセルボタン……………5、2-23
リアクロストラフィックアラート……………3-97
リアシート……………1-14

リアシートベルト…………… 1-16
リアパーセルシェルフ…………… 5-39
リアフォグランプ…………… 11、4-44
リアヘッドレスト…………… 1-14
リアワイパー…………… 4-61
リトラクタブルドアハンドル…………… 2-13
リモコン…………… 2-2
ルーフキャリア…………… 8-3
ルームランプ…………… 5-29
レーンキープアシスト…………… 3-33
レーンポジショニングアシスト…………… 3-69
冷却水温度計…………… 4-34
冷却水の点検…………… 6-7、6-10、6-16、6-17

わ

ワイパー…………… 11、4-59、4-61
ワイパーブレードの交換…………… 4-63
ワイヤレス充電器…………… 5-35



- 接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。
- 利用可能な Bluetooth の機能、およびその表示内容は、携帯電話の種類とその設定、および契約内容によって異なります。詳細はお客様がお使いの携帯電話会社へお問い合わせください。
- Bluetooth[®] は Bluetooth SIG, Inc. の商標です。
- Apple、iPhone、Apple CarPlay、および Siri は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Google、Android および Android Auto[™] は、Google LLC. の商標です。
- Wi-Fi[®] は Wi-Fi Alliance[®] の登録商標です。
- タッチスクリーンのシステムのバージョンアップによって、操作や表示、アイコンのデザイン、色などが変更されることがあります。

ナビゲーション／オーディオ／ハンズフリー通話（タッチスクリーン）

ナビゲーション（DS IRISシステム装備車）	8-14
機器の接続と設定	8-24
オーディオ	8-32
オーディオの設定	8-39
ハンズフリー通話	8-41
音声コマンド（DS IRISシステム装備車）	8-47
プロフィール	8-50
プライバシー設定	8-55
システムのソフトウェアなどの更新	8-57
ヘルプメニューについて	8-63
ウェブアプリケーションについて	8-64

警告

安全上の理由から、各種設定など複雑な操作は、車両を停止してから実施してください。

ナビゲーション (DS IRIS システム装備車)

⚠ 警告

- ナビゲーションはあくまでも走行の参考にしてください。システムの精度や道路状況により、不適切な案内をすることがあります。ルートのご案内時でも、必ず実際の道路標識や交通規制（一方通行など）に従って走行してください。
- 安全上の理由から、ナビゲーションの操作は、車両を停止してから行ってください。



- ナビゲーションを使用することにより、以下の利用規約に同意したことになります。
https://www.tomtom.com/en_gb/legal/eula-automotive/?388448
- 車両のモバイルネットワークの電波状況によっては、ナビゲーションの機能が制限されることがあります。



- ナビゲーションのオンライン交通情報や天気予報など、コネクテッド機能を利用するには、MYDS アプリまたは DS サービスストア (<https://services-store.dsautomobiles.jp/>) 上でコネクテッドナビゲーションの利用申し込みが必要です。詳しくは、当社販売店または DS コール (0120-92-6813 9:00-19:00 年中無休) にお問い合わせください。
また、コネクテッド機能のご利用前に、タッチスクリーンのプライバシー設定を**車両情報と位置情報を共有する**にしてください。プライバシー設定の詳細は、P.8-55の「プライバシー設定」項を参照してください。
- コネクテッド機能の無料利用期間には制限があります。無料利用期間についての詳細は、DS サービスストア (<https://services-store.dsautomobiles.jp/>) をご覧ください。

●ナビゲーションへの切り替え

ナビゲーションへ切り替えるには、△をタップします。

△は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

●ナビゲーションの初期画面

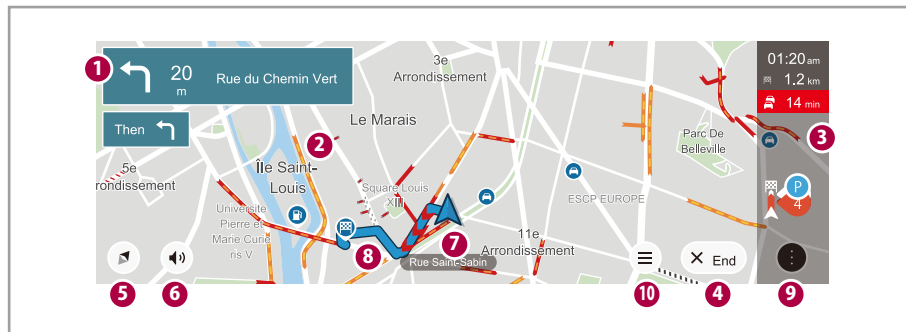
△ をタップすると初期画面が表示される場合があります。初期画面では、ルート履歴の設定ができます。

OK をタップするとナビゲーションの画面が表示されます。



詳細はこちらをタップすると、ナビゲーションに関するプライバシーポリシーを確認できます。

●地図画面の表示内容



①：次の案内情報

次の案内ポイントの交差点までの目安距離などを表示します。また、次の案内情報をタップすると目的地までのすべての案内が表示されます。この案内の下には、その次の案内情報が表示されます。

②：渋滞情報

渋滞情報を色で表示します（赤色：重度、橙色：中度、黄色：軽度）。

③：サイドバー

ルート案内中に表示されます。目的地までの到着予想時刻と残りの距離、渋滞などによる予想遅延時間、POI（施設情報）などを表示します。サイドバーは指で上下にスライドすることで、目的地までに利用できる POI（施設情報）を確認することができます。POI（施設情報）のアイコンをタップすると、地図が POI の地点に移動し、POI を経由地として設定したり、マイブレイスとして登録したりできます。また、POI の住所や電話番号などの情報の確認や、POI 周辺の施設を検索したり、POI を目的地として設定したりすることもできます。

- ④：終了ボタン
タップすると、ルート案内を終了します。確認のメッセージが表示されます。
- ⑤：地図の向きが切り替わります。
タップすると、3D（立体表示）、2D ヘッディング（進行方向が上）、2D ノースアップ（北が上）が切り替わります。
- ⑥：ミュートボタン
音声の案内を設定します。タップするとすべての音声案内、アラートの案内のみ、ミュート（消音）を切り替えます。
- ⑦：自車マーク
自車の位置と進行方向を示します。
- ⑧：目的地
ルート案内中の目的地を示します。
- ⑨：オプションボタン
タップすると、ルートオプションパネルが表示されます。ルートオプションパネルでは、目的地情報（目的地名や住所）の表示、経由地の追加、ルートの変更、目的地までのすべての案内の表示、地図の設定などできます。

- ⑩：メインメニュー
タップすると次のメインメニューが表示されます。画面を左右にスワイプすると表示されていないメニューを表示できます。



検索：目的地を検索できます。



自宅の追加／自宅に帰る：自宅を登録し、現在地から自宅までのルート案内を開始できます。



勤務先の追加／勤務先へ行く：勤務先を登録し、現在地から勤務先までのルート案内を開始できます。



最近の目的地：過去に設定した目的地のリスト（目的地履歴）を表示します。



マイプレイス：登録済みの自宅／勤務先、過去に設定した目的地から目的地を検索できます。



マイルート：登録したお好みのルートからルート案内を開始できます。



天候：現在地の気象情報などを確認できます。また、気象情報画面の右上にある車のアイコンをタップすることで、他の場所を検索し、その場所の気象情報などを確認することができます。



設定：地図の各種設定メニューを表示します。



？ ナビゲーションのアプリケーションバージョンやインストール済みの地図情報、著作権情報を表示します。

●地図の操作

地図をスクロールする（地図を動かす）

地図画面に触れると、地図をスクロール（地図を動かす）できます。

- ・ドラッグ：地図画面をタップしてそのままドラッグすると、地図がスクロールします。
- ・スワイプ：地図画面をスワイプすると、その方向に地図がスクロールします。



- 地図画面を2本の指（親指と人差し指）でつまみを回すような動作をすると、地図が回転します。
- DS スマートタッチ装備車は、DS スマートタッチの操作パネルに2本の指で触れ、そのままドラッグすると、地図がスクロールします。

地図の縮尺を変える（拡大／縮小する）

次の方法で地図の縮尺を変えることができます。

- ・画面右下の+をタップすると拡大します。－をタップすると縮小します。
- ・ピンチアウト／ピンチイン：地図画面に2本の指で触れ、指を開くと拡大表示、閉じると縮小表示されます。



- 地図画面が3D表示されているとき、地図画面に2本の指で触れ、上下に動かすと地図の傾きを調整できます。
- DS スマートタッチ装備車は、DS スマートタッチの操作パネルに2本の指で触れ、指を開くと拡大表示、閉じると縮小表示されます。

地図の向きを変える

画面左下の3D／方位磁石／Nのアイコンをタップする度に地図の向きが切り替わります。

- ・3D（3Dのアイコン）：地図を3D表示にします。
- ・2D ヘッディング（方位磁石のアイコン）：車の進行方向が常に画面の上に向くように表示します。
- ・2D ノースアップ（Nのアイコン）：北方向が常に画面の上に向くように表示します。



タップする度にアイコンの形状が3D（3D）、方位磁石（2D ヘッディング）、N（2D ノースアップ）に切り替わります。

現在地を表示する

地図をスクロールしたあと、現在地を表示させるには、**現在地に戻る**をタップします。

● 地図の設定

次のような地図の設定を行うことができます。

- ・ 地図と画面
- ・ ルーティング
- ・ アラートとサウンド
- ・ その他

地図の設定は次の方法で行います。

1. 画面右下の  をタップします。
2. 画面を右へスワイプします。
3.  をタップします。
4. 設定したいカテゴリをタップします。
5. サブカテゴリをタップし、各設定を行います。

地図と画面

地図と画面では、次のような設定ができます。

- ・ **ダウンロードした地図**：システムにインストールされた地図を確認できます。
- ・ **昼夜モード**：地図色の昼モードと夜モードの切り替えをします。
- ・ **地図に表示**：地図に表示する POI（施設情報）の選択や、地図の表示設定ができます。交差点などの複雑な進路変更地点で写実的な画面を表示する機能の設定もできます。
- ・ **到着情報**：ルート案内中、現在地から目的地までの残り距離と残り時間どちらを表示するか、目的地と経由地どちらの地点の情報（残り距離、残り時間など）を表示するか設定します。
- ・ **サイドバー**：ルート案内中のサイドバーに表示される POI（施設情報）を選択します。
- ・ **ズームと方位**：地図の自動拡大／縮小や地図の向きを設定します。
- ・ **到達範囲を表示**＊：到達範囲の表示をオン／オフします。オンの場合は、ルート周辺の地図がハイライトされて表示されます。



地図色の昼モードと夜モードの切り替えは、地図画面右下の  を数回タップしても行えます。

ルーティング

ルーティングでは、次のような設定ができます。

- ・ **好みのルートタイプ**：ルート検索のときに優先される条件を設定します。
- ・ **回避**：ルート検索のときに、なるべく通らないようにする条件を設定します。
- ・ **リルート**：ルート案内中、より良いルートがある場合に、自動でルート変更するのか、ルート変更するかどうか選択できるようにするのか設定します。

アラートとサウンド

アラートとサウンドでは、次のような設定ができます。

- ・ **ガイダンスのプロンプト**：音声案内のタイミングなどを設定します。
- ・ **アラート**：アラートの出しかたを設定します。

その他

その他では、ルート履歴の設定や著作権情報を表示できます。

- ・ **プライバシー**：ルートの履歴やよく行く場所に関わる管理をします。
- ・ **TomTom について**：ナビゲーションのアプリケーションバージョンやインストール済みの地図情報、著作権情報を表示します。



TomTom についての項目は、 ? を
タップしても表示できます。

● 目的地を検索する

目的地を検索するにはいくつかの方法があります。

音声コマンドで検索する

1. 「OK Iris (オーケー アイリス)」と発話します。
2. 「駐車場へ行く」などと発話します。

地図上をタップして検索する

1. 地図上を指でスクロールし、目的地として設定したい地点を表示させます。
2. 目的地として設定したい地点をロングタップしてから指を離します。

住所、施設の電話番号、ジャンル・名称、または緯度経度で検索する

1. 地図画面右上の **Q 検索** をタップします。または、地図画面右下の **≡** をタップし、 **Q 検索** をタップします。
2. **住所、施設の電話番号、ジャンル・名称、緯度経度**の中から検索したい方法をタップし、検索を開始します。

目的地履歴の中から検索する

1. 地図画面右下の **≡** をタップします。
2. **📍 最近の目的地** をタップします。
3. 表示されたリストの中から目的地やカテゴリをタップします。

マイプレイスから検索する

登録済みの自宅／勤務先、過去に設定した目的地から目的地を検索することができます。

1. 地図画面右下の **≡** をタップします。
2. **☆ マイプレイス** をタップします。
3. 表示されたリストの中から目的地をタップします。



● 目的地が検索されたあと、次のような操作ができます。

- ・ **ここへ行く** をタップするとルート案内が開始されます。
- ・ **⋮** をタップしてから、**マイプレイスに追加** をタップすると、検索した目的地を **マイプレイス** に登録できます。

* 仕様により異なります。



- ・ **⋮** をタップしてから（または **⋮**、**詳細**の順でタップしてから）、**Q この付近で検索**をタップすると、目的地周辺の施設を検索できます。
- ・ **⋮** をタップしてから（または **⋮**、**詳細**の順でタップしてから）、**P 駐車場を検索**をタップすると、目的地周辺の駐車場を検索できます。
- 複数のルート候補がある場合は、検索結果を上下にスワイプしてからタップすることで別のルートを選択することができます。
- 音声コマンドの詳細は、P.8-47の「音声コマンド（DS IRIS システム 装備車）」項を参照してください。
- **最近の目的地**のリストは、**リストの編集**をタップしてから選択して消去することができます。

● ルート案内を開始する

ルート案内を開始するには、目的地を検索したあと、**ここへ行く**をタップします。



ルート案内を開始したあと、開始したルートに対して、次のような設定ができます。

- ・ **ルートを消去**
- ・ **代替ルートの検索**
- ・ **通行止め区間を回避**
- ・ **ルートを一部回避**
- ・ **このルート上で回避**
- ・ **指示の表示（ルート情報）**
- ・ **ルートに経由地を追加**
- ・ **マイルルートに追加**
- ・ **ルートタイプを変更**
- ・ **経由地の並べ替え**
- ・ **プレビューの再生**

設定を行うには、次のように操作してください。

1. 地図上のルートをタップします。
2. **⋮** をタップします。
3. **ルートの管理**をタップします。

● 経由地を設定する

目的地までのルート案内を開始してから経由地を設定することができます。

地図上をタップして経由地を設定する

1. 目的地を検索し、ルート案内を開始します。
2. 表示された地図上を指でスクロールし、追加したい経由地を表示させます。
3. 地図上の追加したい経由地をロングタップしてから指を離します。
4. **停車位置を追加（経由地の追加）**をタップします。

POI（施設情報）から検索して経由地を設定する

1. 目的地を検索し、ルート案内を開始します。
2. サイドバーに表示されたオプションボタンをタップします。
3. POI（施設情報）のアイコンをタップして経由地を設定します。



サイドバーに表示された POI（施設情報）のアイコンをタップしてから経由地を設定することもできます。

●現在地から自宅／勤務先までのルートを検索する

あらかじめ自宅／勤務先を登録しておきます。

1. 地図画面右下の をタップします。
2. 自宅に帰る／ 勤務先へ行くをタップします。



自宅／勤務先の登録のしかたは、P.8-22の「自宅／勤務先を登録する」項を参照してください。

●ルート案内を終了する

ルート案内中、地図画面右下の×終了をタップするとルート案内を終了します。ルート案内を終了するか確認のメッセージが表示されます。

● ルートを変更する

ルート案内中、サイドバーに表示されたオプションボタンをタップし、**ルートを変更**をタップすると、次のようなサブメニューが表示され、ルートの変更ができます。

- ・別の選択肢を表示
- ・ルートの一部回避
- ・経由地の並べ替え

● 自宅／勤務先を登録する

自宅／勤務先を登録しておくことで、簡単に自宅／勤務先までのルート検索ができます。

自宅／勤務先の登録

1. 地図画面右下の をタップします。
2. **自宅の追加**／ **勤務先の追加**をタップします。
3. キーボードで住所を入力します。
4. 表示された候補をタップします。
5. **セット**をタップします。



● ☆ **マイプレイス**をタップしてから、**自宅の追加**／**勤務先の追加**をタップしても自宅／勤務先の登録ができます。

● 自宅／勤務先を登録すると、アイコン名が**自宅の追加**／**勤務先の追加**から**自宅に帰る**／**勤務先へ行く**に変わります。



● 自宅／勤務先の登録は、 **自宅の追加**／ **勤務先の追加**をタップしてから、**地図から設定**または をタップして行うこともできます。
地図から設定をタップした場合は、表示された地図上を指でスクロールし、自宅／勤務先として登録したい地点を表示させたあと、その地点をタップします。**セット**をタップすると自宅／勤務先の登録が完了します。

自宅／勤務先の登録を消去する

自宅／勤務先の登録の消去はマイプレイスから行います。

1. 地図画面右下の  をタップします。
2. ☆ **マイプレイス** をタップします。
3. **自宅／勤務先** をタップします。
4. **位置の削除** をタップします。



自宅／勤務先 をタップしたあと、**位置の編集** をタップすると、自宅／勤務先の登録地点を変更することができます。

● マイルートに目的地までのルートを登録する

マイルートにお好みのルートを登録しておくことができます。例えば、自宅からよく行く場所までの決まったルートがある場合などに使用します。

ルートを登録する

1. 目的地を検索し、ルート案内を開始します。
2. 地図上のルートをタップします。
3.  をタップします。
4. **ルートの管理** をタップします。
5. **マイルートに追加** をタップします。
6. 必要に応じてルート名称を変更します。
7.  (←) をタップします。

マイルートからルート案内を開始する

1. 地図画面右下の  をタップします。
2.  **マイルート** をタップします。
3. 表示されたリストの中から、ルートをタップします。

マイルートの登録を削除する

マイルートに登録したルートを個別、またはまとめて削除することができます。個別に削除するには、次のように操作してください。

1. 地図画面右下の  をタップします。
2.  **マイルート** をタップします。
3. **リストの編集** をタップします。
4. 削除したいルートをタップします。
5. **削除** をタップします。

まとめて削除するには、次のように操作してください。

1. 地図画面右下の  をタップします。
2.  **マイルート** をタップします。
3. **リストの編集** をタップします。
4. **すべて選択** をタップします。
5. **削除** をタップします。

機器の接続と設定

警告

安全上の理由から、タッチスクリーン、Bluetooth、Apple CarPlay / Android Auto、USB などの接続設定や操作は、車両を停止してから実施してください。

注 意

携帯電話、スマートフォン、オーディオ機器や USB メモリなどを車内に放置しないでください。炎天下で車内が高温となり、機器の故障の原因となります。

● Bluetooth

ハンズフリー通話や、Bluetooth で音楽などを聴くためには、オーディオ機器や携帯電話を Bluetooth 接続(ペアリング)する必要があります。

タッチスクリーンの操作でオーディオ機器や携帯電話を Bluetooth 接続 (ペアリング) する

1. 接続するオーディオ機器や携帯電話の Bluetooth 機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します (オーディオ機器や携帯電話の説明書を参照)。
2.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
3.  をタップします。
4. **コネクティビティ**をタップします。
5. **マイデバイス**をタップします。

6. **既知のデバイス**、または**近くのデバイス**に表示されたリストの中から接続したいオーディオ機器名や携帯電話名をタップします。
7. **近くのデバイス**に表示されたリストのオーディオ機器名や携帯電話名にタッチした場合は、タッチスクリーンおよび接続する機器に表示されたペアリングコードを確認し、タッチスクリーンの**確定する**をタップします。接続する機器側でも同様に操作します。

オーディオ機器や携帯電話側の操作で Bluetooth 接続（ペアリング）する

1. 接続するオーディオ機器や携帯電話の Bluetooth 機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します（オーディオ機器や携帯電話の説明書を参照）。
2.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
3.  をタップします。
4. **コネクティビティ**をタップします。
5. **マイデバイスを**タップします。
6. オーディオ機器や携帯電話から接続操作をします（オーディオ機器や携帯電話の説明書を参照）。
スマートフォンおよびタッチスクリーンにメッセージが表示されます。
メッセージに従い操作します。



- システムに Bluetooth 接続されている機器が1台もない場合や Apple CarPlay / Android Auto 接続されているスマートフォンなどが1台もない場合は、タッチスクリーンのホームページまたはアプリージに表示される  をタップしても Bluetooth 接続の操作を開始できません。
- システムに Bluetooth 接続されているオーディオ機器や携帯電話、Apple CarPlay / Android Auto 接続されているスマートフォンなどが2台ある場合は、オーディオ機器や携帯電話側の操作で Bluetooth 接続（ペアリング）することはできません。



- システムに同時に接続できる機器は、Bluetooth 接続と Apple CarPlay / Android Auto 接続を合わせて2台までです。3台目の機器の接続操作を行うと、接続を切断する機器を選択するメッセージが表示されます。操作を続行するには、接続を切断する機器名をタップし、**適用する**をタップしてください。
- ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、システムに検知されている機器で、すでにシステムとの Bluetooth 接続設定が完了している機器は自動的に再接続されます（自動再接続を可能にするには、オーディオ機器や携帯電話側での設定が必要な場合があります）。このとき、選択されているプロフィールに機器が関連付けられている場合は、その機器から優先的に再接続されます。プロフィールの詳細は P.8-50 の「プロフィール」項を参照してください。

● Apple CarPlay

Apple CarPlay に対応した iPhone は、USB で接続してアプリをタッチスクリーンに表示して操作することができます。

Apple CarPlay を開始する



iPhone をフロントコンソールのこのアイコンで示された USB ポートに接続します。Apple CarPlay に対応したアプリが表示されます。



- USB 接続の詳細は、P.5-33の「USB ポート」項を参照してください。
- iPhone を接続する前にあらかじめ iPhone の Siri 機能をオンにしてください。



● システムに同時に接続できる機器は、Bluetooth 接続と Apple CarPlay / Android Auto 接続を合わせて2台までです。3台目の機器の接続操作を行うと、接続を切断する機器を選択するメッセージが表示されます。操作を続行するには、接続を切断する機器名をタップし、**適用する**をタップしてください。

● Apple CarPlay を 開 始 し た あと、タッチスクリーンの他のページを表示している状態から Apple CarPlay の画面を表示するには、次の操作を行ってください。

- ・ ホームページ、アプリー一覧またはタッチスクリーンの画面上部のシステムステータス領域に表示される  をタップする。
- ・ ホームページまたはアプリー一覧に表示される  をタップする（システムに Bluetooth 接続された機器がない場合）。



・ Apple CarPlay 接 続 さ れ た iPhone がハンズフリー通話の優先デバイスとなっている場合は、ホームページまたはアプリー一覧に表示される  をタップしてから、**今すぐアクセスする**をタップする、またはステアリングスイッチの  を押す。

・ Bluetooth 接続されている機器がハンズフリー通話の優先デバイスとなっている場合は、ステアリングスイッチの  を長く押す。

ハンズフリー通話の優先デバイスについての詳細は、P.8-44の「ハンズフリー通話の優先デバイスとなっている携帯電話の切り替え」項を参照してください。

- 走行中は Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。
- 接続する iPhone の仕様により認識できないことがあります。



- 接続に必要な USB ケーブルは付属していません。
- Apple CarPlay を使用するには、Apple CarPlay 対応の iPhone とアプリが必要です。
- Apple CarPlay の使用中は、接続している iPhone での Bluetooth 機能は使用できません。
- iPhone で Apple CarPlay の機能を制限している場合は、制限を解除してください。
- Apple CarPlay の使用にはデータ通信料がかかります。
- Apple CarPlay を使用することにより、Apple CarPlay の利用規約および Apple iOS の利用規約に同意したことになります。
- Apple CarPlay の使用中は、車両の位置情報や速度などの車両情報が接続中の iPhone に転送されます。車両情報の取り扱いに関する詳細は、Apple のプライバシーポリシーを参照してください。



- Apple CarPlay および Apple CarPlay 対応アプリの各機能については、他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止されることがあります。
- Apple CarPlay および Apple CarPlay 対応アプリのコンテンツについて、DS AUTOMOBILES は一切の責任を負いません。
- Apple CarPlay および Apple CarPlay 対応アプリを利用したこと、または利用できなかったことによりお客様または第三者にいかなる損害が生じた場合であっても、DS AUTOMOBILES は一切の責任を負いません。

Siri を起動する

Apple CarPlay は Siri による音声操作が可能です。ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン  を長く押すと Siri を起動できます（Siri が搭載された iPhone を接続している場合のみ）。

●Android Auto

Android Auto に対応したスマートフォンは、USB で接続してスマートフォンのアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

Android Auto を開始する

1.  スマートフォンをフロントコンソールのこのアイコンで示された USB ポートに接続します。
2. スマートフォンおよびタッチスクリーンにメッセージが表示されることがあります。メッセージに従い操作します。
3. Android Auto に対応したアプリが表示されます。



- USB 接続の詳細は、P.5-33の「USB ポート」項を参照してください。
- スマートフォンがロックされている場合は、ロックを解除してから再接続してください。



- システムに同時に接続できる機器は、Bluetooth 接続と Apple CarPlay / Android Auto 接続を合わせて2台までです。3台目の機器の接続操作を行うと、接続を切断する機器を選択するメッセージが表示されます。操作を続行するには、接続を切断する機器名をタップし、**適用する**をタップしてください。

- Android Auto を開始したあと、タッチスクリーンの他のページを表示している状態から Android Auto の画面を表示するには、次の操作を行ってください。

- ・ホームページ、アプリー一覧またはタッチスクリーンの画面上部のシステムステータス領域に表示される  をタップする。
- ・ホームページまたはアプリー一覧に表示される  をタップする（システムに Bluetooth 接続された機器がない場合）。



- ・Android Auto 接続されたスマートフォンがハンズフリー通話の優先デバイスとなっている場合は、ステアリングスイッチの  を押す。
- ・Bluetooth 接続されている機器がハンズフリー通話の優先デバイスとなっている場合は、ステアリングスイッチの  を長く押す。
ハンズフリー通話の優先デバイスについての詳細は、P.8-44の「ハンズフリー通話の優先デバイスとなっている携帯電話の切り替え」項を参照してください。
- Android Auto を開始すると Bluetooth の接続設定が自動的に完了します。
- 走行中は Android Auto の動作が制限される場合があります。
- 接続するスマートフォンの仕様により認識できないことがあります。



- 接続に必要な USB ケーブルは付属していません。
- Android Auto を使用するには、Android Auto 対応のスマートフォンとアプリが必要です。
- Android Auto の使用中は、接続しているスマートフォンでの Bluetooth 機能は使用できません。
- Android Auto の使用にはデータ通信料がかかります。
- Android Auto を使用することにより、Android Auto の利用規約および Android OS の利用規約に同意したことになります。
- Android Auto の使用中は、車両の位置情報や速度などの車両情報が接続中のスマートフォンに転送されます。車両情報の取り扱いに関する詳細は、Google のプライバシーポリシーを参照してください。
- Android Auto を使用することにより、Android Auto の利用規約および Android OS の利用規約に同意したことになります。



- Android Auto の使用中は、車両の位置情報や速度などの車両情報が接続中のスマートフォンに転送されます。車両情報の取り扱いに関する詳細は、Google のプライバシーポリシーを参照してください。
- Android Auto および Android Auto 対応アプリの各機能については、他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止されることがあります。
- Android Auto および Android Auto 対応アプリのコンテンツについて、DS AUTOMOBILES は一切の責任を負いません。
- Android Auto および Android Auto 対応アプリを利用したこと、または利用できなかったことによりお客様または第三者にいかなる損害が生じた場合であっても、DS AUTOMOBILES は一切の責任を負いません。

音声認識機能を起動する

Android Auto の音声認識機能を使用するには、ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン  を長く押します。

●USB



フロントコンソールのこのアイコンで示された USB ポートにオーディオ機器や音楽ファイルを保存した USB メモリを接続することで、メディアの再生をすることができます。

USB ポートの詳細は P.5-33 の「USB ポート」項を参照してください。

注 意

USB ポートに、USB ハブを接続しないでください。オーディオが故障するおそれがあります。また、マウスやキーボードなど、オーディオ機器や USB メモリ以外の機器を接続しないでください。



- 接続するオーディオ機器や USB メモリの仕様により認識できないことがあります。
- 接続に必要な USB ケーブルは付属していません。
- 認識可能なファイルフォーマットは WMA (9のみ)、AAC、FLAC、OGG、MP3 です。
対応ビットレートは 32Kbps から 320Kbps です。
対応サンプリングレートは 32kHz、44.1kHz、48kHz です。
- 接続するオーディオ機器の仕様により再生できないことがあります。
- ファイル名などの表示できる文字数や種類には制限があります。
- USB メモリのファイルシステムの対応フォーマットは FAT32 のみです。

●機器の接続の切断

システムと接続したオーディオ機器や携帯電話、スマートフォンなどの接続を切断することができます。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **コネクティビティ** をタップします。
4. **マイデバイス** をタップします。
5. 接続を切断したい機器の機器名をタップします。
接続を切断したあと、再度タップすると、接続が再開されます。

●接続設定の変更

システムと接続したオーディオ機器や携帯電話、スマートフォンなどの接続設定を変更することができます。

接続設定は、オーディオ機器や携帯電話、スマートフォンなどがシステムと接続されているときに、機器がどの接続方法でシステムと接続されるかを設定するものです。

接続設定には、次の2種類があります。

- ・ Apple CarPlay / Android Auto
- ・ Bluetooth

接続設定の変更は、次の方法で行います。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **コネクティビティ**をタップします。
4. **マイデバイス**をタップします。
5. 接続設定を変更したい機器の  をタップします。

6. 希望する接続設定をタップします。

7. **適用する**をタップします。



接続する機器や接続方法によっては、**Apple CarPlay / Android Auto** または **Bluetooth** のどちらか1つの接続しかできない場合があります。

●接続した機器の削除

オーディオ機器や携帯電話、スマートフォンなどの接続を削除することができます。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **コネクティビティ**をタップします。
4. **マイデバイス**をタップします。
5. 接続を削除したい機器の  をタップします。
6. **削除する**をタップします。
7. **削除する**をタップします。

オーディオ

●ラジオを聴く

ラジオモードへの切り替え

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. プレーヤーをタップします。
4.  をタップしてラジオモードへ切り替えます。



ラジオ画面の  をタップするとミュート（消音）になります。もう一度タップするとミュート（消音）が解除されます。

FM / AM の切り替え

1.  をタップします。
2. AM または FM をタップします。



DAB を選択できる場合がありますが日本国内では使用できません。

ラジオ放送局の手動サーチ

 をタップし、タッチスクリーンに表示されるキーボードを使用して周波数を入力するか、 または  をタップします。



キーボードを表示したあと、 または  をタップすると前の画面に戻ります。

ラジオ放送局の自動サーチ

| または | をタップするか、 が表示されているとき、カーソル  を左右に動かすと、自動サーチが開始され、受信可能な放送局が見つかったところで止まります。



自動サーチで合わせたい放送局に止まらない場合は、電波状況が弱いなどが考えられます。手動サーチで放送局を設定してください。

プリセットへの登録

手動サーチまたは自動サーチしたラジオ放送局を各プリセットに登録します。

1. 手動サーチまたは自動サーチしてプリセットしたいラジオ放送局を受信します。
2.  をタップします。
3.  をタップして現在受信しているラジオ放送局をプリセットに登録します。
4.  をタップすると前の画面に戻ります。



登録済みのプリセットにロングタップすると現在受信しているラジオ放送局が上書きされます。

プリセット登録したラジオ放送局の呼び出し

1.  をタップします。
2. 呼び出したいラジオ放送局をタップします。



ステアリングスイッチの設定ボタン  を押すと、登録済みのプリセット一覧がインストルメントパネルに表示されます（何も操作せずにしばらく経過する、または再度ステアリングスイッチの設定ボタン  を押すと登録済みのプリセット一覧の表示がインストルメントパネルから消えます）。ステアリングスイッチの設定ボタン  を上下に動かすとラジオ放送局を選択できます。

受信可能なラジオ放送局のリストの表示
受信可能なラジオ放送局を一覧表示します。

1. **ラジオ局**をタップします。
2. 表示されたリストをタップしてラジオ放送局を選択します。



- ステアリングスイッチの設定ボタン  を上下に動かすと、受信可能なラジオ局が選択されます。
- タッチスクリーンに表示された受信可能なラジオ放送局のリスト一覧の右側にある  をタップすると、ラジオ放送局がプリセットに登録されます。  をタップするとプリセットの登録が解除されます。

●メディアの再生

USB や Bluetooth 接続したオーディオ機器や携帯電話、Apple CarPlay / Android Auto 接続したスマートフォンの音楽などを聴くことができます。各機器の接続のしかたは次のページを参照してください。

- ・ USB 接続：
P.5-33の「USB ポート」項、P.8-30の「USB」項
- ・ Bluetooth 接続：
P.8-24の「Bluetooth」項
- ・ Apple CarPlay 接続：
P.8-26の「Apple CarPlay」項
- ・ Android Auto 接続：
P.8-28の「Android Auto」項



- オーディオ機器や携帯電話、スマートフォンを接続すると自動的に再生が始まります。自動的に再生が始まらない場合は、タッチスクリーンの操作、または接続した機器側の操作で再生してください。
- 接続した機器の仕様により、接続したオーディオ機器や携帯電話、スマートフォン側の操作でメディアの再生／停止などを行わなければならない場合があります。
- メディアの再生の音量を調整する場合は、まず、接続したオーディオ機器や携帯電話、スマートフォンの操作で音量を調整してください。必要に応じて、センターコンソールの音量調整ダイヤルを回して音量を調整してください。

メディアの再生モードへの切り替え

1. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2. をタップします。
3. **プレーヤー** をタップします。
4. をタップしてメディアの再生モードへ切り替えます。

再生と停止

- ▷ をタップして再生します。
- || をタップして停止します。

選曲

|◀または▷| をタップすると前後の曲に変わります。



●ステアリングスイッチの設定ボタン

▲ を上下に動かすと前後の曲に変わります。

●ステアリングスイッチの設定ボタン

▲ を上下に動かして保持する、または |◀または▷| をロングタップすると早戻し／早送りできます。接続した機器の仕様や再生するメディアによっては早戻し／早送りにない場合やミュート（消音）になる場合があります。

プレイリスト

プレイリストをタップすると、あらかじめ作成したプレイリストの順番で曲を再生することができます。

プレイリストは、ライブラリの中にある各フォルダから再生する曲を選択して作成します。

例えば、次のような方法でプレイリストを作成します。

1. **ライブラリ**をタップします。
2. **アルバム**をタップします。
3. プレイリストに追加したい曲が収録されているアルバムをタップします。
4. プレイリストに追加したい曲の右側に表示されている ... をタップします。
5. **次に再生**をタップします。



●音楽ファイルを保存した USB メモリなどを接続した場合、曲がアルバムファベット順などで並んだ状態で、プレイリストが自動作成される場合があります。



●接続した機器の仕様や再生するメディアによってはプレイリストを作成できない場合があります（**プレイリスト／ライブラリ**が表示されません）。

●ステアリングスイッチの設定ボタン

≡ を押すとインストルメントパネルにプレイリストが表示されます（何も操作せずにしばらく経過すると、プレイリストの表示がインストルメントパネルから消えます）。ステアリングスイッチの設定ボタン ▲ を上下に動かしてから押すと曲を選択できます。

●機器の接続をはずすとプレイリストが初期化される場合があります。

再生オプション

次の再生オプションを設定できます。

- ・ リピート再生
- ・ ランダム再生

🔁 をタップしてリピート再生を設定します。

🎵 をタップしてランダム再生を設定します。



- 再生オプションを設定すると、アイコンの点灯色が変化します。
- 再生するメディアによってはランダム再生／リピート再生を設定できない場合があります。

接続済みのオーディオ機器や携帯電話、スマートフォンの切り替え

複数のオーディオ機器や携帯電話、スマートフォンを接続している場合は、次の操作で機器を切り替えることで音楽を聴くことができます。

1. 🎵 (または 🔁) をタップします。
2. 希望するオーディオ機器名や携帯電話名、スマートフォン名をタップします。

接続した携帯電話やスマートフォンなどの音声認識機能を使用した操作

DS IRIS システム装備車の場合

1. ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン 🗣️ を長く押します。
2. 「アルバム<アルバム名>を再生」などと発話します。



- あらかじめ携帯電話やスマートフォンなどの音声認識機能をオンにしてから操作してください。

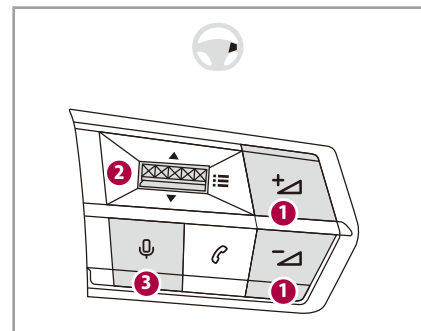


- 接続した携帯電話やスマートフォンなどの音声認識機能を使用した操作は、ハンズフリー通話の優先デバイスとなっている機器で可能です。ただし、Apple CarPlay / Android Auto 接続されている機器がある場合は、ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン 🗣️ を長く押すと、Apple CarPlay / Android Auto の音声認識機能が起動します。

DS IRIS システム非装備車の場合

1. ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン 🗣️ を短く押すまたは長く押します。
2. 「アルバム<アルバム名>を再生」などと発話します。

●ステアリングスイッチ



①：音量調整ボタン

音量を調整できます。－のボタンを長く押すとミュート（消音）することができます。ミュート後、＋または－のボタンを押すとミュートが解除されます。



- あらかじめ携帯電話やスマートフォンなどの音声認識機能をオンにしてから操作してください。
- 複数のオーディオ機器や携帯電話、スマートフォンを接続している場合は、ハンズフリー通話の優先デバイス設定や、どの機器がメディア再生のデバイスとして選択されているかなどによって、音声認識機能で操作できる機器が異なります。ハンズフリー通話の優先デバイスについての詳細は、P.8-44の「ハンズフリー通話の優先デバイスとなっている携帯電話の切り替え」項を参照してください。メディア再生のデバイスの選択についての詳細は、P.8-36の「接続済みのオーディオ機器や携帯電話、スマートフォンの切り替え」項を参照してください。



- Apple CarPlay / Android Auto 接続されている機器がある場合は、ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン  を長く押すと、Apple CarPlay / Android Auto の音声認識機能が起動します。

②：設定ボタン

ラジオモードのとき：上下に動かすと受信可能なラジオ局が選択されます。

押すとプリセット登録したラジオ放送局がインストルメントパネルに表示されます。上下に動かすと表示されたプリセット一覧のラジオ放送局を選択できます。

メディアの再生モードのとき：上下に動かすと前後の曲に変わります。上下に動かして保持すると早戻し／早送りになります。

押すとメディアの再生のプレイリストがインストルメントパネルに表示されます。上下に動かしてから押すと、プレイリストの曲を選択できます。

③：音声認識機能起動ボタン

長く押すと（DS IRIS システム装備車）／短く押すまたは長く押すと（DS IRIS システム非装備車）、接続した携帯電話やスマートフォンなどの音声認識機能が起動します。

オーディオの設定

● サウンド設定

再生時の音質やバランスの調整、すべてのサウンド設定のリセットなど、次の項目などを設定できます。

HiFi 14スピーカー装備車

- ・ バランス
- ・ イコライザー
- ・ スピーカー設定
- ・ リセット

HiFi 14スピーカー非装備車

- ・ アンビエンス設定
- ・ イコライザー
- ・ バランス
- ・ リセット

メディアアプリから設定する

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **設定**をタップします。
4. **サウンド設定**をタップします。
5. 希望する設定を行います。

設定アプリから設定する

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **オーディオ**をタップします。
4. **サウンド設定**をタップします。
5. 希望する設定を行います。

● 音量設定

タッチスクリーンのシステム音声やハンズフリー通話の通話音など、次の項目の音量などを設定できます。

- ・ システム音声（音声アシスタンスやナビゲーションの音声案内の音量）（DS IRIS システム装備車）
- ・ 電話
- ・ システムサウンド
- ・ ナビゲーション（DS IRIS システム装備車）

メディアアプリから設定する

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **設定**をタップします。
4. **音量設定**をタップします。
5. 希望する設定を行います。

設定アプリから設定する

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **オーディオ**をタップします。
4. **音量設定**をタップします。
5. 希望する設定を行います。

ハンズフリー通話

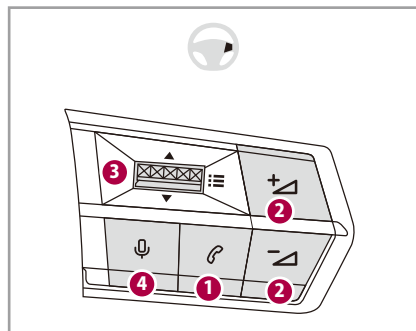
携帯電話を Bluetooth 接続することで、携帯電話を直接操作することなく電話に出たり、電話をかけたりすることができます。

Bluetooth 接続のしかたは P.8-24 の「Bluetooth」項を参照してください。

●ハンズフリー通話・設定画面への切り替え

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップしてメニューを表示します。

●ステアリングスイッチ



①：TEL ボタン

着信があった場合に、短く押すと着信を受け付けます。長く押すと着信を拒否できます。

通話中に長く押すと、電話を切ることができます。

通話中でないときに短く押すと、インストルメントパネルに通話履歴を表示します。

②：音量調整ボタン

通話音量を調整できます。

③：設定ボタン

上下に動かしてインストルメントパネルに表示された通話履歴を上下にスクロールします（まず TEL ボタン①を押して通話履歴を表示させてください）。押すと通話履歴として表示されている電話番号に電話をかけることができます。

④：音声認識機能起動ボタン

長く押すと（DS IRIS システム装備車）／短く押すまたは長く押すと（DS IRIS システム非装備車）、接続した携帯電話やスマートフォンなどの音声認識機能が起動します。

● 電話をかける

⚠ 警 告

安全のため、車両を停止してから発信してください。

発信

1. キーパッドをタップします。
2. タッチスクリーンから電話番号を入力します。
3.  をタップして発信します。



通話中、タッチスクリーンの  をタップすると車両のマイクがミュート（消音）になります。  をタップするとタッチスクリーンにキーボードが表示されます。

通話履歴からの発信

1. 通話履歴をタップします。
2. 表示された通話履歴から希望する電話番号をタップして発信します。

または、次の方法でステアリングスイッチから発信することができます。

1. ステアリングスイッチの TEL ボタン  を短く押します。
2. ステアリングスイッチの設定ボタン  を上下に動かして、インストールメントパネルに表示された通話履歴から希望する電話番号を選択します。
3. ステアリングスイッチの設定ボタン  を押して発信します。

連絡先からの発信

1. 連絡先をタップします。
2. 表示された連絡先から希望する連絡先をタップします。
3. 表示された電話番号をタップして発信します。



 をタップすると、タッチスクリーンで名前や電話番号などを入力して連絡先の検索ができます。日本語は、ひらがなまたはカタカナで登録された連絡先のみ検索ができます。

接続した携帯電話の音声認識機能を使用した発信

DS IRIS システム装備車の場合

1. ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン  を長く押します。
2. 「名前<連絡先名>に電話」などと発話します。



- あらかじめ携帯電話の音声認識機能をオンにしてから操作してください。
- 接続した携帯電話の音声認識機能を使用した操作は、ハンズフリー通話の優先デバイスとなっている機器が可能です。ただし、Apple CarPlay / Android Auto 接続されている機器がある場合は、ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン  を長く押すと、Apple CarPlay / Android Auto の音声認識機能が起動します。

DS IRIS システム非装備車の場合

1. ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン  を短く押すまたは長く押します。
2. 「名前<連絡先名>に電話」などと発話します。



- あらかじめ携帯電話の音声認識機能をオンにしてから操作してください。
- 複数の携帯電話を接続している場合は、ハンズフリー通話の優先デバイス設定によって、音声認識機能で操作できる機器が異なります。ハンズフリー通話の優先デバイスについての詳細は、P.8-44の「ハンズフリー通話の優先デバイスとなっている携帯電話の切り替え」項を参照してください。



- Apple CarPlay / Android Auto 接続されている機器がある場合は、ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン  を長く押すと、Apple CarPlay / Android Auto の音声認識機能が起動します。

●電話を受ける

1. 着信があると着信音が鳴り、タッチスクリーンとインストルメントパネルに表示されます。
2. タッチスクリーンの  をタップするか、ステアリングスイッチの TEL ボタン  を短く押します。



- 着信を拒否するには、タッチスクリーンの  をタップするか、ステアリングスイッチの TEL ボタン  を長く押します。
- 着信したら、ステアリングスイッチの設定ボタン  を上下に動かして **応答する／通話を終了する** を選択し、ステアリングスイッチの設定ボタン  を押すと、電話を受ける／着信を拒否することができます。

●電話を切る

電話を切るには、タッチスクリーンの  をタップするか、ステアリングスイッチの TEL ボタン  を長く押します。



ステアリングスイッチの TEL ボタン  を短く押し、設定ボタン  を押すと電話を切ることができます。

●ハンズフリー通話の優先デバイスとなっている携帯電話の切り替え

ハンズフリー通話をすることができるのは、優先デバイスとなっている携帯電話のみです。優先デバイスとなっている携帯電話を切り替えることで、もう一台の携帯電話でハンズフリー通話ができるようになります。

優先デバイスとなっている携帯電話を切り替えるには、 をタップします。

●通話履歴や連絡先の同期

接続されている携帯電話の通話履歴や連絡先をタッチスクリーンと同期します。同期すると、通話履歴や連絡先がタッチスクリーンに読み込まれます。

1. **設定**をタップします。
2.  をタップします。



Bluetooth 機器の仕様や Bluetooth 接続時の設定によっては、 をタップしても通話履歴や連絡先の同期ができない場合があります。

●連絡先の並べ替え

連絡先を苗字または名前ですべて替ええます。

1. **設定**をタップします。
2. **姓**または**名**をタップします。

●2台目の携帯電話の接続

ハンズフリー通話・設定画面から2台目の携帯電話の Bluetooth 接続（ペアリング）ができます。

1. 接続する携帯電話の Bluetooth 機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します（携帯電話の説明書を参照）。
2. **設定**をタップします。
3. **+ 2台目の電話に接続する**をタップします。
4. **はい**をタップします。
5. **既知のデバイス**、または**近くのデバイス**に表示されたリストの中から接続したい携帯電話名をタップします。
6. **近くのデバイス**に表示されたリストの携帯電話名にタッチした場合は、タッチスクリーンおよび接続する機器に表示されたペアリングコードを確認し、タッチスクリーンの**確定する**をタップします。接続する機器側でも同様に操作します。



システムに Bluetooth 接続されているオーディオ機器や携帯電話、Apple CarPlay / Android Auto 接続されているスマートフォンなどが2台ある場合は、ハンズフリー通話・設定画面から2台目の携帯電話の Bluetooth 接続（ペアリング）はできません。

* 仕様により異なります。

音声コマンド (DS IRIS システム装備車)

音声コマンドで、ラジオやクライメート機能（エアコンやシートヒーターなど）、ナビゲーション、情報コマンド（天気予報など）などの操作ができます。また、Bluetooth 接続した携帯電話でのハンズフリー通話、USB メモリに保存された音楽ファイルの再生操作もできます。



音声コマンドの言語はタッチスクリーンの言語と連動しています。

●音声コマンドで操作する

- 次のいずれかの操作を行います。
 - ・「OK Iris（オーケー アイリス）」と発話します。
 - ・ステアリングスイッチの音声認識機能起動ボタン  を短く押します。
 - ・  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
- チャイムが聞こえてから音声コマンドを発話します。



- 「OK Iris（オーケー アイリス）」と発話して音声コマンドを開始した場合は、チャイムが鳴りません。
- 音声コマンドでの操作は、次の状況では使用できません。
 - ・シフトポジションが **R** のとき
 - ・ハンズフリー通話しているとき
 - ・携帯電話やスマートフォンの音声認識機能が起動しているとき
 - ・車両のモバイルネットワークが利用できないとき
- 音声コマンドを正しく認識させるには、次のようなポイントがあります。
 - ・チャイムが聞こえたあとに発話する（「OK Iris（オーケー アイリス）」と発話して音声コマンドを開始した場合を除く）。
 - ・窓やスライディングガラスルーフ*を閉めて車外の音などを遮断する。
 - ・エアコンの送風量を少なくする、または送風を停止する。



- なるべく自然に、通常話すときの速さと声の大きさに発話する。不自然に言葉を区切ったり、ゆっくり話しすぎたりすると認識されません。
 - 同時に複数の人が話さない。
 - 音声コマンドの一例を確認する。
- 音声コマンドは、通常の正しい運転姿勢のまま発話すれば認識されます。過度に大きな声で発話する必要はありません。
- 音声コマンドでの操作中は、ラジオやストリーミング再生などの音声はミュート（消音）されます。

● 音声コマンドの一例

次のような音声コマンドを使用できます。

- ・ 曲（曲名）を再生
- ・ 次の曲を再生
- ・ ラジオに切り替えて
- ・ FM ラジオをつけて
- ・ 音楽をミュート
- ・ エアコンをつけて
- ・ 1℃上げる
- ・ 暑い
- ・ 風量を弱くして
- ・ 運転席のシートヒーターをつけて
- ・ 名前（連絡先名）に電話
- ・ 電話番号（電話番号の数字）に電話
- ・ 近くの駐車場へ行く
- ・ 今夜の天気は
- ・ 今日の温度は
- ・ 場所（場所の名前）の午後一時の天気は

使用できるコマンドの一例を次の方法でタッチスクリーンから確認することができます。

1. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2. をタップします。
3. **音声アシスタント**をタップします。
4. 確認したい音声コマンドのカテゴリ名をタップします。



使用できるコマンドの一例として表示されていても、一部の音声コマンドは、音声コマンドとして認識されない場合があります。

* 仕様により異なります。

●音声コマンドの設定*

音声コマンドの設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。

 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

2.  をタップします。
3. **音声アシスタント**をタップします。

OK Iris（オーケーアイリス）の聞き取りのオン／オフ

OK Iris（オーケーアイリス）と発話して音声コマンドを開始する機能をオン／オフすることができます。

オン／オフするには、「**OK Iris**」を**聞き取る**をタップします。

発話内容の再利用について

音声アシスタントの改善のために、音声コマンドを使用して発話した内容を再利用します。

発話内容の再利用の許可／不許可は、選択することができます。許可／不許可を選択するには、**データの再利用**をタップします。



発話内容の再利用を許可すると、音声コマンドを使用して発話した内容の文字情報が、暗号化されたあと保存されます。車両の位置情報、音声録音などは保存されません。

プロフィール

プロフィールは、言語やオーディオの設定など、さまざまなタッチスクリーンの設定（タッチスクリーンのホームページおよびインストルメントパネル／DSエクステンデッドヘッドアップディスプレイ*のカスタマイズなどを含む）や、ナビゲーションの目的地履歴や設定（DS IRIS システム装備車）などを記憶し、すぐに呼び出すことができる機能です。

プロフィールには、デフォルトで用意されているゲストプロフィールと、お好みの名前を付けたり、アバターを選んだりすることができる個人用のプロフィールがあります。

ゲストプロフィールはデフォルトのプロフィールです。個人用のプロフィールが選択されていない場合は、すべての設定はゲストプロフィールとして記憶されます。

個人用のプロフィールは、自分専用のプロフィールとして追加して作成できます。

●プロフィールページへの切り替え

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **プロフィール** をタップします。

●個人用プロフィールを作成する

新しい個人用のプロフィールを作成することができます。

1. **+ 新しいプロフィールを作成する** をタップします。
2. **作成する** をタップします。
3. **プロフィール名を入力してください** をタップします。
4. キーボードで希望のプロフィール名を入力します。
5.  (←) をタップします。
6. **次へ** をタップします。
7. 希望するアバターをタップします。
8. **次へ** をタップします。
9. 作成した個人用プロフィールに、Bluetooth 機器（携帯電話など）を関連付ける場合は、**デバイスを関連付ける** をタップします。
機器の関連付けを行わない場合は、**後で行う** をタップし、個人用プロフィールの作成を完了します。

* 仕様により異なります。

10.表示されたリストから関連付けたい機器の機器名をタップします。

11.次へをタップします。

12.希望するプライバシーモードをタップします。

13.次へをタップします。

14.OK をタップします。

Bluetooth 接続（ペアリング）されていない機器を関連付ける場合は、タッチスクリーンおよび接続する機器に表示されたペアリングコードを確認し、タッチスクリーンの**確定する**をタップします。接続する機器側でも同様に操作します。そのあと、**OK** をタップします。



●最大で7つの個人用プロフィールを作成することができます。



●あとからプロフィールに Bluetooth 機器を関連付けることもできます。P.8-53の「携帯電話などの Bluetooth 機器をプロフィールに関連付ける」項を参照してください。

●Bluetooth 機器の関連付けについての詳細は、P.8-53の「携帯電話などの Bluetooth 機器をプロフィールに関連付ける」項を参照してください。

●プライバシーモードの詳細は、P.8-55の「プライバシー設定」項を参照してください。

●仕様により、アバターを選択したあとに言語設定がフランス語に切り替わる場合があります。個人用プロフィールを作成したあと、P.4-41の「言語の設定」の操作で言語設定を日本語に切り替えることができます。



●システムに同時に接続できる機器は、Bluetooth 接続と Apple CarPlay / Android Auto 接続を合わせて2台までです。関連付けたい Bluetooth 機器が3台目の機器の場合、接続を切断する機器を選択するメッセージが表示される場合があります。操作を続行するには、接続を切断する機器名をタップし、**適用する**をタップしてください。

●プロフィールを選択する（切り替える）

ゲスト、または個人用プロフィールを選択する（切り替える）ことができます。

1. 切り替えたいプロフィール名をタップします。
2. **切り替える**をタップします。



プロフィールの選択（切り替え）は通知センターからも行えます。

1. タッチスクリーンの画面を上から下にスワイプします。
2. 表示されたプロフィール名をタップします。
3. 表示されたリストの中から希望のプロフィールをタップします。
4. **切り替える**をタップします。

●個人用プロフィールの設定

個人用プロフィールは、次の設定を行うことができます。

- ・プロフィール名の変更
- ・アバターの変更
- ・Bluetooth 機器（携帯電話など）の関連付けおよび関連付けの解除

個人用プロフィールの設定を行うには、まず次のように操作して設定したい個人用プロフィールに切り替えます。

1. 切り替えたいプロフィール名をタップします。
2. **切り替える**をタップします。
3. システムをもっと良く知るには、ヘルプメニューを参照してくださいが表示されたら、**スキップする**をタップします。
4.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン
 を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。



ゲストプロフィールは各種設定の変更はできません。

プロフィール名を変更する

1. 個人用プロフィール名の横にある  をタップします。
2.  **名前を編集する**をタップします。
3. キーボードでプロフィール名を入力します。
4.  (←) をタップします。

アバターを変更する

1. 個人用プロフィール名の横にある  をタップします。
2.  **アバターを編集する**をタップします。
3. 表示されたリストの中から希望するアバターをタップします。
4.  をタップします。

携帯電話などの Bluetooth 機器をプロフィールに関連付ける

携帯電話などの Bluetooth 機器を個人用プロフィールに関連付けると、個人用プロフィールを切り替えたときや、個人用プロフィールが選択されている状態で **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動したとき、切り替えた／選択されている個人用プロフィールに関連付けられた機器から優先的に Bluetooth 接続され、ハンズフリー通話／メディアの再生の優先デバイスとなります。

Bluetooth 機器を個人用プロフィールに関連付けるには、次の方法で行います。

1. 関連付けたい機器の Bluetooth 機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します（機器の説明書を参照）。
2. 個人用プロフィール名の横にある  をタップします。
3. **+ デバイスを追加する** をタップします。
4. 表示されたリストから関連付けたい機器の機器名をタップします。

5. Bluetooth の接続設定が完了していない機器の機器名をタップした場合は、タッチスクリーンおよび接続する機器に表示されたペアリングコードを確認し、タッチスクリーンの**確定する**をタップします。接続する機器側でも同様に操作します。



- 個人用プロフィールに関連付けることができる Bluetooth 機器は最大2台までです。
- 他の個人用プロフィールに関連付けられている Bluetooth 機器は、別の個人用プロフィールに関連付けることはできません。
- 個人用プロフィールに関連付けられている Bluetooth 機器はハンズフリー通話／メディアの再生の優先デバイスとなります。個人用プロフィールに関連付けられている Bluetooth 機器が2台ある場合は、先に関連付けされた Bluetooth 機器がハンズフリー通話／メディアの再生の優先デバイスとなります。



- システムに同時に接続できる機器は、Bluetooth 接続と Apple CarPlay / Android Auto 接続を合わせて2台までです。関連付けしたい Bluetooth 機器が3台目の機器の場合、接続を切断する機器を選択するメッセージが表示されます。操作を続行するには、接続を切断する機器名をタップし、**適用する**をタップしてください。

携帯電話などの Bluetooth 機器のプロフィールへの関連付けを解除する

1. 個人用プロフィール名の横にある  をタップします。
2. 関連付けを解除したい機器の機器名をタップします。
3. **関連付けを解除する**をタップします。

●個人用プロフィールを削除する

作成した個人用プロフィールは削除することができます。

1. 個人用プロフィール名の横にある

 をタップします。

2. 画面右下の  をタップします。

3. **削除する**をタップします。



ゲストプロフィールは削除することができません。

●ゲストプロフィールをリセットする

ゲストプロフィールをリセットすることができます。ゲストプロフィールとして記憶された設定などはすべて消去されます。

1. ゲストプロフィールの横にある  をタップします。

2. 画面右下の  をタップします。

3. **リセットする**をタップします。



仕様により、ゲストプロフィールが選択されている状態でゲストプロフィールをリセットしたり、他のプロフィールが選択されている状態でゲストプロフィールをリセットしたあとゲストプロフィールに切り替えたりなどをする場合、言語設定がフランス語に切り替わる場合があります。P.4-41の「言語の設定」の操作で言語設定を日本語に切り替えることができます。

プライバシー設定

プライバシー設定は、GPS（車両の位置情報）やその他の車両情報の共有を制限する機能です。

ゲストプロフィールおよび作成した各個人用プロフィール毎にプライバシー設定することができます。



仕様により、プライバシー設定がゲストプロフィールまたは個人用プロフィールに記憶される場合があります。この場合は、プロフィールを切り替えると、切り替えたプロフィールに記憶されたプライバシー設定に再度設定されます。

● プライバシー設定の種類

プライバシー設定には、次の3つの種類のモードがあります。



車両情報と位置情報を共有する：GPS と車両情報の共有を許可します。コネクテッド機能などが使用可能になります。



車両情報を共有する：GPS の共有を制限します。車両情報の共有を許可します。GPS による車両位置情報を必要とする、一部のコネクテッド機能や他社が提供するスマートフォンアプリケーションなどの機能が制限されたり、使用できなくなる場合があります。



プライベートモード：GPS と車両情報の共有を制限します。GPS による車両位置情報と車両情報を必要とする、コネクテッド機能や他社が提供するスマートフォンアプリケーションなどの機能が制限されたり、使用できなくなる場合があります。

● プライバシー設定のモードの切り替え

プライバシー設定のモードの切り替えは次の方法で行います。

1. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2. をタップします。
3. **コネクティビティ**をタップします。
4. **プライバシー**をタップします。
5. 希望するプライバシーモードをタップします。



プライバシー設定は通知センターから
も行えます。

1. タッチスクリーンの画面を上から
下にスワイプします。
2. **プライバシー**をタップします。
3. 表示されたリストの中から希望す
るプライバシーモードをタップし
ます。

システムのソフトウェアなどの更新

より快適にシステムをご利用いただくため、さまざまな機能や操作性の向上を目的にシステムのソフトウェアなどの更新が行われます。更新ソフトのダウンロードは、**ENGINE START/STOP**スイッチがアクセサリポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、車両のモバイルネットワークを利用して自動的に行われます。

●車両のモバイルネットワークを利用できる場合

車両のモバイルネットワークを利用して自動的に更新ソフトをダウンロードできる場合は、次のようにシステムのソフトウェアなどの更新が行われます。

1. **ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、当社の配信サーバーに新しい更新ソフトがある場合は、自動的にダウンロードが開始されます。
タッチスクリーンにメッセージが表示されます。
2. 更新ソフトのダウンロードが完了している場合は、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにするとタッチスクリーンにメッセージが表示されます（インストールにかかるおおよその所要時間も表示されます）。
3. 更新する場合は、**今すぐインストールする**をタップします。更新しない場合は、**後で通知する**をタップします。
4. **今すぐインストールする**をタップした場合は、更新ソフトのインストールが開始されます。

5. インストールが完了すると、次回**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、タッチスクリーンにインストール完了のメッセージが表示されます。



- エンジンが始動している状態のときは、更新ソフトのインストールができません。
- 更新ソフトのインストールは、数分から最大で約30分かかります。
- 更新ソフトのインストールを開始すると、途中でインストールの一時停止やキャンセルはできません。インストール中はエンジンを始動することができなくなるため、車両を移動させることもできなくなります。更新ソフトのインストールは、自宅の駐車場など、インストール開始から完了までの間に車を移動する必要のない場所で実行してください。



- 更新ソフトのインストール中でも、**ENGINE START/STOP** スイッチがオフの状態であれば車両を施錠することができます。
- 車両のモバイルネットワークの電波状況によっては、更新ソフトをダウンロードできない場合があります。この場合は、車両をWi-Fiネットワークに接続し、Wi-Fi 通信で更新ソフトをダウンロードすることができます。Wi-Fi ネットワークの接続のしかたは、P.8-61の「Wi-Fi ネットワークの接続」項を参照してください。
- 更新ソフトのインストールに失敗した場合は、次回 **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動するとタッチスクリーンにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場にご連絡ください。



- 後で通知する**をタップした場合は、次の方法で更新ソフトのインストールを開始できます。
 1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。または、アクセサリポジションにします。
 2. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
 3. をタップします。
 4. **アップデート**をタップします。
 5. **保留中の更新プログラム**に表示されている、インストールしたい更新ソフトをタップします。



- 6. **インストールする**をタップします。
- 更新ソフトのインストールができない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。
- システムのプライバシー設定が**プライバシーモード**のときは更新ソフトのダウンロード／インストールができない場合があります。その場合は、プライバシー設定を**車両情報と位置情報を共有する**にしてください。プライバシー設定の詳細は、P.8-55の「プライバシー設定」項を参照してください。
 - 仕様により、ソフトウェアなどの更新のしかたが異なる場合があります。

●車両のモバイルネットワークを利用できない場合

車両のモバイルネットワークを利用できない場合や、更新ソフトのファイルサイズが大きいために車両のモバイルネットワークでは更新ソフトのダウンロードができない場合は、スマートフォンのテザリング機能や自宅の無線 LAN ルーターなどの Wi-Fi ネットワークに接続し、Wi-Fi 通信でシステムのソフトウェアなどを更新することができます。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにするか、エンジンを始動します。
2. 車両を Wi-Fi ネットワークに接続します。Wi-Fi ネットワークの接続方法は、P.8-61の「Wi-Fi ネットワークの接続」項を参照してください。
3. しばらく経過したあと（約5分）、当社の配信サーバーに新しい更新ソフトがある場合は、メッセージが表示されます。
4. 更新ソフトをダウンロードするには、**ダウンロードする**をタップします。

5. ダウンロードが完了すると、タッチスクリーンにダウンロード完了のメッセージが表示されます。または、タッチスクリーンの画面を上から下にスワイプし、通知一覧から**ダウンロードが完了しました**をタップします。
6. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
7. **今すぐインストールする**をタップします。
8. **インストールする**をタップします。
9. インストールが完了すると、次回 **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにする、またはエンジンを始動すると、タッチスクリーンにインストール完了のメッセージが表示されます。



- エンジンが始動している状態のときは、更新ソフトのインストールができません。
- 更新ソフトのインストールは、数分から最大で約30分かかります。
- 更新ソフトのインストールを開始すると、途中でインストールの一時停止やキャンセルはできません。インストール中はエンジンを始動することができなくなるため、車両を移動させることもできなくなります。更新ソフトのインストールは、自宅の駐車場など、インストール開始から完了までの間に車を移動する必要のない場所で実行してください。
- 更新ソフトのインストール中でも、**ENGINE START/STOP** スイッチがオフの状態であれば車両を施錠することができます。



- 更新ソフトのインストールに失敗した場合は、次回 **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動するとタッチスクリーンにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場にご連絡ください。
- システムのプライバシー設定が**プライバシーモード**のときは更新ソフトのダウンロード／インストールができない場合があります。その場合は、プライバシー設定を**車両情報と位置情報を共有する**にしてください。プライバシー設定の詳細は、P.8-55の「プライバシー設定」項を参照してください。



- 車両が Wi-Fi ネットワークに接続されていれば、当社の配信サーバーに新しい更新ソフトがあるとき、自動的に更新ソフトのダウンロードが行われます。Wi-Fi 接続時の更新ソフトの自動ダウンロードの設定は、次の方法で行います。
 1. をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
 2. をタップします。
 3. **アップデート**をタップします。
 4. **更新プログラムの自動ダウンロードに外部 Wi-Fi ネットワークの使用を許可する**をタップします。



- 仕様により、ソフトウェアなどの更新のしかたが異なる場合があります。

●Wi-Fi ネットワークの接続

スマートフォンのテザリング機能や自宅の無線 LAN ルーターなどの Wi-Fi ネットワークに接続することで、Wi-Fi 通信でシステムのソフトウェアなどを更新することができます。システムのソフトウェアなどの更新の詳細は、P.8-57の「システムのソフトウェアなどの更新」項を参照してください。

Wi-Fi ネットワークの接続は次の方法で行います。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **コネクティビティ**をタップします。
4. **Wi-Fi ネットワーク**をタップします。
5. **Wi-Fi ネットワーク**をタップしてオンにします。

6. 表示された Wi-Fi ネットワーク一覧の中から接続する Wi-Fi ネットワーク名をタップします。

7. 接続する Wi-Fi ネットワークのパスワード（暗号化キー）を入力します。

8. （）をタップします。



●Wi-Fi 機器は安全と認められた場所でのみ使用してください。

●スマートフォンや無線 LAN ルーターなどの操作については、スマートフォンや無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照してください。

●Wi-Fi 通信を利用して更新ソフトのダウンロードをした場合は、別途データ通信料がかかる場合があります。接続の前に、お使いの携帯電話会社へ詳細をお問い合わせください。

●暗号化方式が WPA2 の Wi-Fi ネットワークを使用してください。



●接続設定済みの Wi-Fi ネットワークは、タッチスクリーンの Wi-Fi ネットワークモードがオンの場合、自動的に再接続されます。

●システムのソフトウェアなどの更新ソフトのファイルサイズが大きい場合は、Wi-Fi 通信でのみ更新ソフトをダウンロードすることができます。

●スマートフォンのテザリング機能を利用して更新ソフトをダウンロードする場合は、スマートフォンの電池残量を確認してください。

●Wi-Fi ネットワークの接続の解除

Wi-Fi ネットワークの接続の解除は次の方法で行います。

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **コネクティビティ**をタップします。
4. **Wi-Fi ネットワーク**をタップします。
5. **Wi-Fi ネットワーク**をタップしてオンにします。
6. 表示された Wi-Fi ネットワーク一覧の中から接続を解除したい Wi-Fi ネットワークの  をタップします。
7. **削除する**をタップします。

* 仕様により異なります。

ヘルプメニューについて

ヘルプメニューでは、次の内容の閲覧ができます。

- ・車両の取扱説明書（日本語版を除く）*
- ・一部の機能の動画による説明
- ・音声コマンドの一例（DS IRIS システム装備車）

●ヘルプメニューへの切り替え

1.  をタップします。
 は、タッチスクリーンのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。

●車両の取扱説明書*

車両の取扱説明書（日本語版を除く）を閲覧できます。

取扱説明書をタップします。



- 日本語版の車両の取扱説明書は閲覧できません。
- 取扱説明書の言語はタッチスクリーンの言語設定と連動しています。
- 各国語版の取扱説明書の内容は、欧州仕様車に関する解説です。日本仕様車にはない装備や、日本仕様車とは異なる部分があります。また、お客様の車両には装備されていない物が説明されている場合があります。
- 時速5km以上で走行すると、取扱説明書の閲覧ができなくなります。
- 仕様により、各国語版の取扱説明書の閲覧ができない場合があります

●一部の機能の動画による説明

タッチスクリーンのホームページやインストルメントパネルのカスタマイズ、音声コマンド、一部の先進運転支援システム（ADAS）などの説明を動画で閲覧できます。

1. 動画による説明をタップします。
2. 希望する機能名をタップします。
3. 画面をタップします。



-  をタップすると前の画面に戻ります。
- 動画による説明の内容は、欧州仕様車に関する解説です。日本仕様車にはない装備や、日本仕様車とは異なる部分があります。また、お客様の車両には装備されていない物が説明されている場合があります。

●音声コマンドの一例（DS IRIS システム装備車）

音声コマンドの一例については、P.8-48
の「音声コマンドの一例」項を参照して
ください。

ウェブアプリケーションにつ いて *

ウェブアプリケーションの一部の機能は
日本国内では利用できません。



アプリケーションについての詳細は、
P.5-18の「アプリケーション」項を
参照してください。

* 仕様により異なります。

この取扱説明書は、お車のオーナーが最良の状態で車を使用し、維持できるように作成されています。

装備の解説は、このモデルの最上級仕様にもとづいています。

個々のお車においては、販売国の仕様によって、掲載されている装備のいくつかが該当しない場合があります。

テクニカルデータ、仕様、アクセサリーについては予告なく変更される場合があります。

取扱説明書内のイラストは、正確な描写を目的に作成されておりませんので、実車と一致しない場合があります。

DS AUTOMOBILES の文書による許可を受けていない、この取扱説明書に掲載されている写真、イラスト、文章の一部または全部の転載、複写を禁止します。

編集発行 **Stellantis** ジャパン株式会社 2025/05



DS AUTOMOBILES
Spirit of Avant-Garde

www.dsautomobiles.jp

PMOM - DS425J

お知らせ

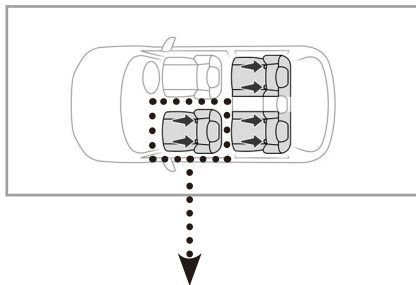


DS AUTOMOBILES

DS 4/DS 4 E-TENSEにおいて、仕様の変更により、取扱説明書の本文の記載と異なる部分がありますので、以下のように追記させていただきます。

○チャイルドシートISOFIXアンカーについて（DS 4/DS 4 E-TENSE: 第1章 1-20ページ「シート位置別チャイルドシート情報」、1-28ページ「ISOFIXチャイルドシートの取り付けかた」）

一部の車両には、助手席にISOFIXチャイルドシートを固定するための金具（チャイルドシートISOFIXアンカー）が装備されていません。



一部の車両には、助手席にチャイルドシート **ISOFIX** アンカーが装備されていません。

○エレクトリックテールゲートのハンズフリー機能について（DS 4: 第2章 2-30ページ「ハンズフリーエレクトリックテールゲート」/DS 4 E-TENSE: 第2章 2-31ページ「ハンズフリーエレクトリックテールゲート」）

一部の車両には、エレクトリックテールゲートが装備されている場合でも、ハンズフリー機能が装備されていません。リアバンパーの下部に足を蹴り出すことで、テールゲートの開閉、または停止を行うことはできません。

○DSアクティブスキャンサスペンションについて(DS 4：第3章 3-14ページ「DSアクティブスキャンサスペンション」／DS 4 E-TENSE:第3章 3-18ページ「DSアクティブスキャンサスペンション」)

一部の車両には、DSアクティブスキャンサスペンションが装備されていません。

DSアクティブスキャンサスペンションが装備されていない車両では、ドライブモードの**SPORT**を選択してもサスペンションダンピングの制御は行われません。また、ドライブモードの**COMFORT**を選択することはできません。(DS 4：第3章 3-12ページ「ドライブモード」／DS 4 E-TENSE: 第3章 3-15ページ「ドライブモード」)